まんが専門誌

ぱふ

特集 大友克洋の世界

¥340

7

まんが専門誌 ぱふ

特集 大友克洋の世界

7

79年6月10日発行・第5巻6号・通巻43号 〒160東京都新宿区西新宿6—3—2唐川ビル TEL 03(348)4610 清彗社 発行人 持田幸雄

●朝日ソノラマの豪華愛蔵本●

大島弓子名作集 PART2 パスカルの群

愛を感じるやさしき心に、瑠璃のような大島弓子の世界は、ハッカのようにしみ込む!!

《目次》パスカルの群、ヒーヒズヒム・10月はふたつある・夏のおわりのト短調・バナナブレッドのプディング・極私的大島弓子の部屋

大島弓子名作集

A5判・定価2,500円

たゆたいつつ愛するやさしい若者たちの青春物語ユーミンは人生の袋小路——青春を見つめる!!

サンコミックス

永遠なる瞳の群

作者の心優しき感受性が、次々とつむぎ出すファンタジーの数々!!

ますむらひろし 新書判・350円

豪華愛蔵本 **アタゴオルは猫の森**

ますむらひろし A5判・2,500円

㈱朝日ソノラマ 〒104 東京都中央区銀座4-2-6 ☎03(563)6021～3

雑誌07561—7 ¥340

まんが専門誌

ぱふ 7 JULY

VoL. 6

from beginning vol. 11

1979

The early worm was caught by an early bird

ぷえーと、ことわざの「早起きは三文の得」というのがあるけれど、これを英語でいうとThe early bird catches a wormというのだ。つまり直訳すると早起き鳥は虫をつかまえることができるとなるんだが、これを受け身になおすと上のよーになって早起き虫は早起き鳥に喰べられちゃうとなって、まったく意味が逆転してしまう。つまり「早起きは三文のソン」となるわけだ。
朝はお陽さまが高くあがるまで寝てよーよ。

ぱふ

7

JULY

1979

CONTENTS

特集
大友克洋の世界

プロフィール 大友克洋 7

大友克洋の仕事 9.46.48

ぱふ美術館

A SPACE GODILLA

Fire-Ball 書き下ろしイラスト 16

無題のイラスト一点 18

マンガ・映画・飲みやのカウンター・森・水 19

インタビュー 大友克洋

取材・構成 真崎 守

作品リスト 35

キャラクター列伝 久保田滋

世代意識を共有できる優れた表現者 渋谷陽一 38

大友克洋とぼくとどういう関係があるんですか？ いや、まてよ… 大森一樹 40

おそろしく現実に近いと感じさせる虚構 鏡 明 42

処女作紹介

"マッチ売りの少女" 大友克洋 44

ひたすら電話を待っている僕 戸川 匡 46

まんが再録作品

夢の蒼穹 53

漫画アクションより再録

大友克洋

ラフ・スケッチ

大友家の白い時空間 矢野敬子 75

今月の話題作 劇画河口下流周辺②飯田耕一郎

タイトルカット高宮成河

GYAのまんが月評④ 五月病 村上知彦 84

ごん⑯／才谷遼 122

B級劇画講座 山松雄吉 西脇英夫 88

culture point 91

BOOKS／新刊コミックス

RECORD／COMICS／といろいろあるよ。

MOTION PICTURE 表紙イラスト大友克洋 106

●新作紹介●スケジュール●今月の話題作●評論について

カツキチくんの試写室通い 香月千成子 111 伊藤聡他

白井佳夫の議論のページ ⑦

ビアンコ・エ・ネーロ 白井佳夫 72

ANIMATION あにめはつらいよ・小田克也 116

●新作紹介他

K先生の講義シリーズ 蔵前仁一 121

●読者がえらぶキャラクター・ベスト100

漫画の中の名優たち 123

まんが家WHO'S WHO⑤ 青池保子 162

コミックス日誌 小野耕世 166

ぱふまんが倶楽部 171

講評

秋竜山

石森史郎

真崎守

編集部

表紙カット／永島慎二

ストーリー部門

佳作

高寺彰彦　三上はやと

松本栄二　加山雅彦

高田健二　若狭茂樹

飛松徹夫

コマ部門

佳作

黒田 歩　伊原よしゆき

ギャグ部門

米谷彰能　三崎章弘

秋竜山の自由ホンポー 192

われらが同人誌 194

同人誌まんが再録 ● 声—内海敏彦 197

松下則之のコラム⑩ 志村葉子のコラム⑩ 217

畑田国男ひとこま劇場 218

VOICE TO VOICE

会員募集　伝言板　ぱふ案内図　注文の仕方 237

もっちゃんのいってみたっていいじゃないか 236

ぱっくなんばあ 238　ぱっくなんばあのそろう店 240

プレゼントだよ 243　次号予告 244　今号の登場 246

ぱふオピニオンラウンジ　かるめら姫 まついなつき 237

さいごにひとこと 237

●目次

●表紙の言葉

木喰静寂

鳴きわたる鳥の声に時をあずけ
ひとつらなりにあふれる空間で
木霊たちが世界を交わしている

今が好き
今のまま　ある　ものが好き

表紙イラスト 真崎 守

STAFF／持田幸雄　合田一志　西村葉子　岩瀬桂子　鈴木香代子　藤井修治　矢野敬子　村石憲一　香月千成子　石橋明子　柳沢 健　塚原一郎　榊原知子　可部達郎

CAMERA／小川春樹

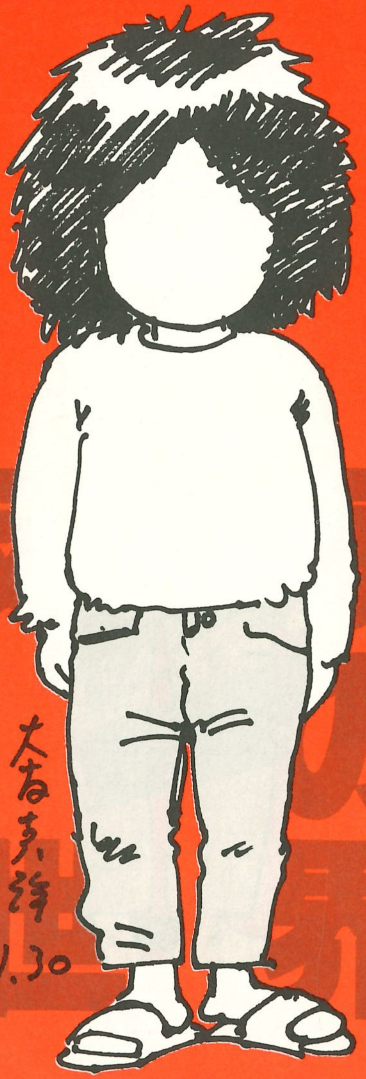
写植／ライム・ライト　小松写植　戸山写植　あいだ工房　光陽印刷

SPECIAL THANKS TO／真崎 守　大友克洋　青池保子　村上知彦　まついなつき　蔵前仁一

●特集―大友克洋の世界

特集

大友克洋の世界



★オール書き下ろし!! ★オール読切!! ビッグ作家陣のオリジナル劇画誌!!

7月号《定価450円》
●好評発売中!!

カスタムコミック

熱い眼と心にモーションをかけたい。手づくりで迫るコミックの醍醐味!!

発行所・日本文芸社

好評発売中!
街で生活するひとへのメッセージとイベントガイド
プレイガイドジャーナル⑦
B6判/136頁/100円

特集○今、自前のことばと動きを

■関東地区販売店●新宿 紀伊國屋、三省堂、模索舎 ●池袋 三省堂 ●神田 三省堂 ●銀座 書店かっぱ、旭屋 ●渋谷 紀伊國屋、西武マップショップ ●横浜西口 有隣堂 ●青山 パイドパイパーハウス

★ルポ
・4・28女たちのパレードデモ
・表現の教室
・都市生活講座

★座談会
・神戸エンカウンタースクール
・なにがなんでも原発に反対する女のグループ
・かんぱにぃ・いろはにほへと

〒542 大阪市南区西清水町34江川直ビル3F ☎06(251)9251

青林傑作シリーズ㉕
7月刊行予定
異国情緒あふれるエロチックロマン!
サロメの唇 手塚治虫著

A5判上製/定価1200円(〒200円)――東京都千代田区神田神保町1―62
青林堂

自筆プロフィール

大友克洋

大友克洋の仕事

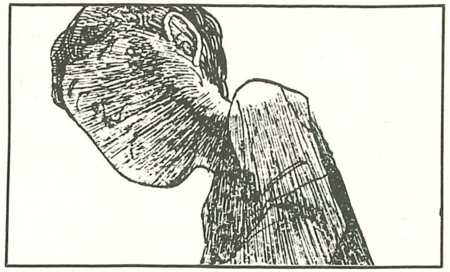
ファイアー・ボール

59 FIRE BALL

絶望的状況下の近未来を舞台に展開する強烈なハードSF。人類支配を目前にしたBIGコンピューター〝アトム〟と、人間としての尊厳を無視した生体実験の犠牲となり、弟をも殺された超能力者との熾烈を極めた攻防。このドラマの背後にあるのは、ちっぽけな兄弟愛と、それを踏みにじった巨大な権力との闘争。生体解剖の末、骸骨同様となった兄が弟の死を察知して、手術台の上に起き上がるシーンは感動的でさえある。強大なエネルギーを発し、周囲を焼き尽しながら時速数百キロの超高速でアトムに迫る一個のファイア・ボールと化した兄。兄を助けるべく出現するもう一つのファイア・ボール。兄弟二つの火炎球体がアトムを破壊してゆく見開きは壮絶の二語に尽きる。

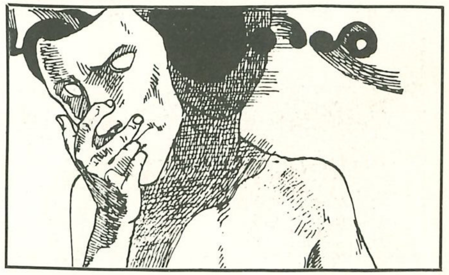
大友克洋の仕事

1 銃声〈マテオ・フィルコネ〉より



大友克洋のデビュー作。プロスペリ・メリメの原作を劇画化したものだが、独特の画法により彼独自の作品に仕上がっている。救いを求めて来た男を、時計欲しさに裏切ってしまった子供と、それを許さぬ父を描いた重みのある作品。

2 親友



エドガー・アラン・ポーの幻想的な短編小説のまんが化。瓜二つ、同姓同名の男によって自分の悪事を邪魔され、追いつめられた男、ウィリアム・ウィルソン。一人の男の善と悪の戦慄すべき葛藤。アラン・ドロン主演で映画にもなった作品（『世にも怪奇な物語』第二話）

3 スマイリーおじさん

マーク・トウエィンの短編に題材を得た作品。賭け事が好きでたまらないスマイリーおじさんを、若い借金取りの目を通して暖かく見守った一篇。

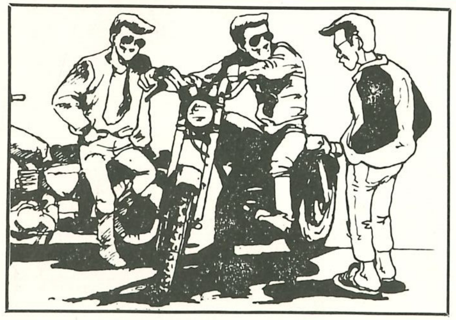
4 橋とそして……

大友克洋の記念すべき初のオリジナル作品。泥沼の戦争。母や妹を守らんとして、橋を守りに行く若い農民。一あえなく捕えられ、橋から吊るされてしまう若者が一瞬の間に垣間見た夢は……？　悲惨。

7 密漁の夜

北洋漁民の悲哀を描く。密漁前夜の酒宴、不安を紛らす為に陽気に振舞う人々。同行する勝も、青春の夜に我が身を委ねるのだった。

9 BOOGIE WOOGIE W



一人前の男を目指す貧しいチンプラ、ヒロは、兄貴分の奈々目と併に、仲間の敵討ちに向かう。情婦みつ子に去られた奈々目は、死の恐怖をみつ子への償いだと考える。刺されて道に倒れる奈々目、そして彼の部屋に帰って来たみつ子…。ラストには、何とも悲しい、そして可笑しいヒロの一言が待っている。

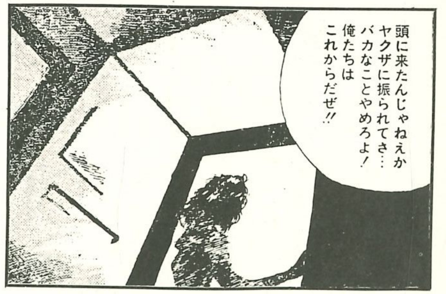
10 ONE DOWN

誰もが経験するであろう、少年から青年へ移る1時期の周囲と自分とのカラ回りを１人の高校生のONE DOWNを通して切ないまでに鋭く、見つめた作品。

11 目覚めよと呼ぶ声あり　コラール」より前奏曲

同僚にバカにされ、店主にはカマを掘られ、恋人にも裏切られたまま、何とはなしに息絶えてしまう若いバーテン。死体になった後も解剖室に廻されて切り刻まれる。生前、死後と周囲から存在を侵害され、もてあそばれる悲劇。

12 心中—'74秋—



浪人中の大友はバイト先で知り合ったけい子をチンピラから守る為に、２人で遠くへ旅出つ。しかし、けい子は彼の愛を偽善と呼び彼に心中を求める。そして列車から飛び降りるけい子。大友も彼女の後を追うが…何と彼が着いた所は幸福駅のホームであった。

13 暗夜行路（傷だらけの天使①）

欲求不満の長距離トラックの運ちゃんの話。他の車よりも高い所に居る為か、好き放題な事をやっている。暴走族をからかい、アベックの車に追突、、その上何と運転しながら…後半で、暴走族に囲まれてしまうのだが、それさえも全く相手にしないのだから恐しい。

14 パック。糞面白くもなかった今日の終りに（傷だらけの天使②）

喜美子は、ヒモである幼馴じみの昭にあいそを尽かしながらも、彼と別れる事が出来ないが、ある日彼女は故郷へ帰る。しかし、そこで彼女が見た物は、生活の為に売春をする妹と老いた母であった。部屋へ帰り、昭が刺された事も知らずに手首を切る喜美子…。

15 短距離走者の連帯（傷だらけの天使③）

茂正は陸上部のエース、高校タイ記録を出すほどのスプリンター。しかし何故か全てに気分がのらない。デートはすっぽかし、授業中にエロ本を読み、テストは無解答で提出。周囲の大学熱にも関心が無い。競技大会の決勝、フライングを連続して失格した彼は、その足で高飛びの女子の所へ走り、キスをする…。

⑱スカッとスッキリ（傷だらけの天使⑥）

何とクソ暑い日が続くんだろう？　うだるような真夏の陽射しの下、白昼夢の様に駆けぬけた珍騒動の顛末。

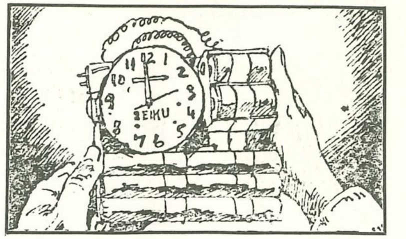
⑯醜悪の軋み（傷だらけの天使④）

日常の家庭生活に倦怠を感じる平均的サラリーマン。中年という時期にさしかかって、彼は何を感じているのか。醜悪さに囲まれて、日常に埋没して麻痺してしまった現代人の感覚を描いた作品。

⑲辻斬り

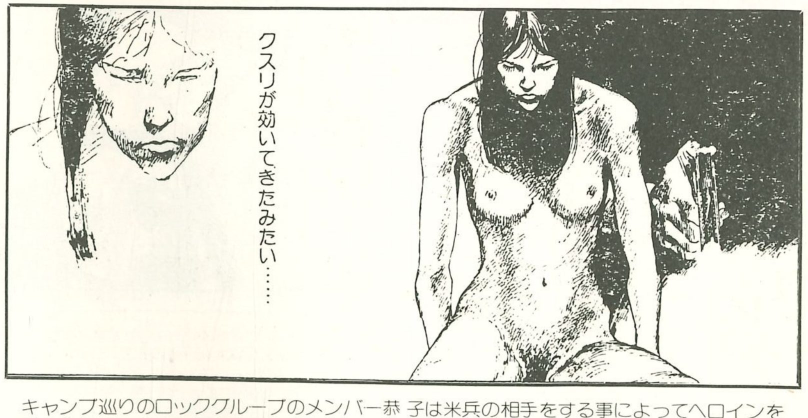
夜な夜な起きる連続猟奇殺人事件。現代の切り裂きジャックの裏側には陰惨な計略と、衝撃的なラストへの不安に濁ったスリルがうずまいている。サイコロジカルミステリー。

⑰チュンパラブギウギチュンパラブギ（傷だらけの天使⑤）



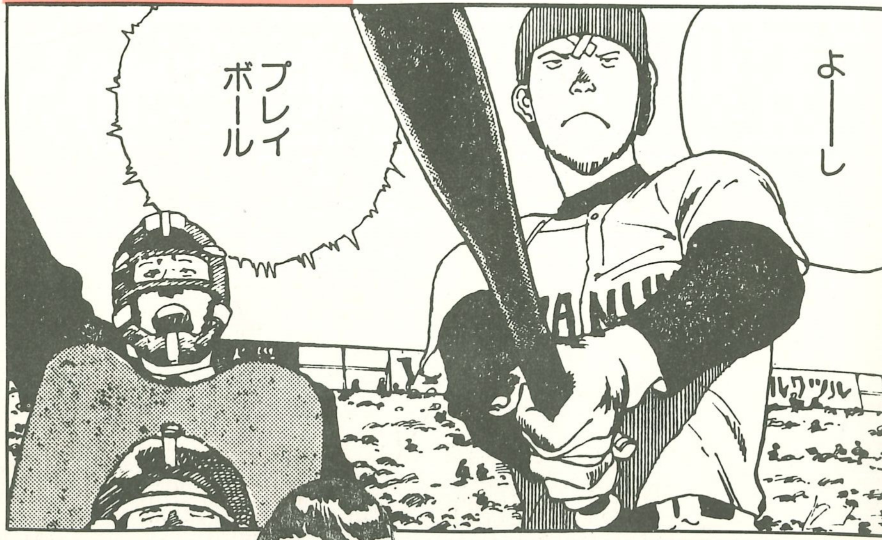
周りの者から馬鹿にされ、無視されて来た男。彼は復讐を期して爆弾を作る。そしてついに爆弾を仕掛けた彼は、その部屋に閉じ込められてしまう。シャッターが上がると、そこは大通りに面したショーケースの中であった。

⑳ROCK（傷だらけの天使⑦）



キャンプ巡りのロックグループのメンバー恭子は米兵の相手をする事によってヘロインを手に入れていた。しかし、彼女の居場所を捜すメンバーの一人が彼女と米兵のいる部屋のドアを開けた時、米兵が彼を射殺する。その光景を前にして、ヤクに溺れてゆく恭子…。

㉒㉓アメリンゴ（前・後編）



甲子園出場の為、大阪にやって来た高校球児達の生の青春像を、浅沼高校野球部員の三人の行動を通して描き切った傑作。試合シーンのリアルさに於いてこの作品に匹敵する物は数少ないだろう。読後の爽快感は特に素晴しい。

㉔鏡地獄

江戸川乱歩の幻想的な短編小説のまんが化。鏡の魔的魅力に取り憑かれて、最後には発狂してしまう男の呪われた物語。

㉕酒井さんちのゆきえちゃん

世の大人達が子供に対して持っている思い込みを独自のタッチで皮肉った作品。子供らの破天荒な遊びの世界と大人達の間での痴漢騒ぎを絡み合わせて描く子供讃歌。

㉖犯す

地方出身の若い工務員が、やりきれない毎日の連続から、強姦者となる。犯される側の口の減らない女子高生と、彼の立場が、後半見事に逆転していて、若者の追いつめられた表情は救いのない緊迫感に満ちている。

520×363%% アクリル
イラスト **大友克洋**

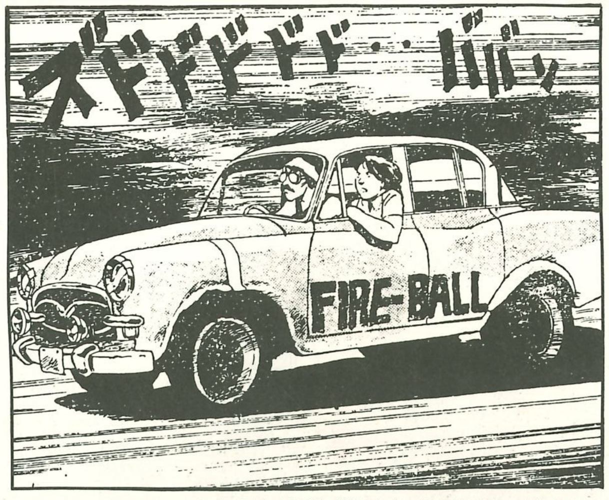
〈A SPACE GODILLA〉

パート1 さらば地球よ
パート2 星へ還る
(原案 大林宣彦・石上三登志)
月刊スターログ日本版 4号・6号より

ぱふ美術館

150×150%%
(但し、『ゴジラ』の上半身天地左右)

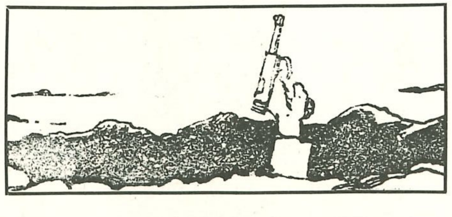
27 HIGHWAY STAR



家出娘のヒッチハイク。やっと捉まえた車は ドアも開かないオンボロ車。ドライバーは一風変わったヒゲ男。ところが、このオンボロ 車が凄い高性能！スピード自慢の相手を次々と破っては金をせしめる。やがて男はスピードキングの名を残して去り、娘は兄の車で家に帰るのだが、スピード違反で捉まった警官 は何と……。

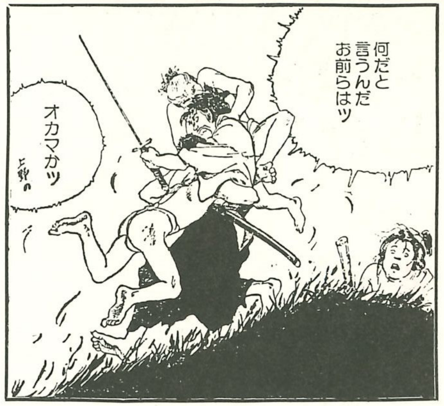
29 School boy on good time

屋上でタバコなんぞフカして不良ぶってる、割と平均的高校生二人に、その先輩二人をまじえた４人組が、手に入れたシンナーを売って金儲けを企み、ヤー様にブン殴られる話…。

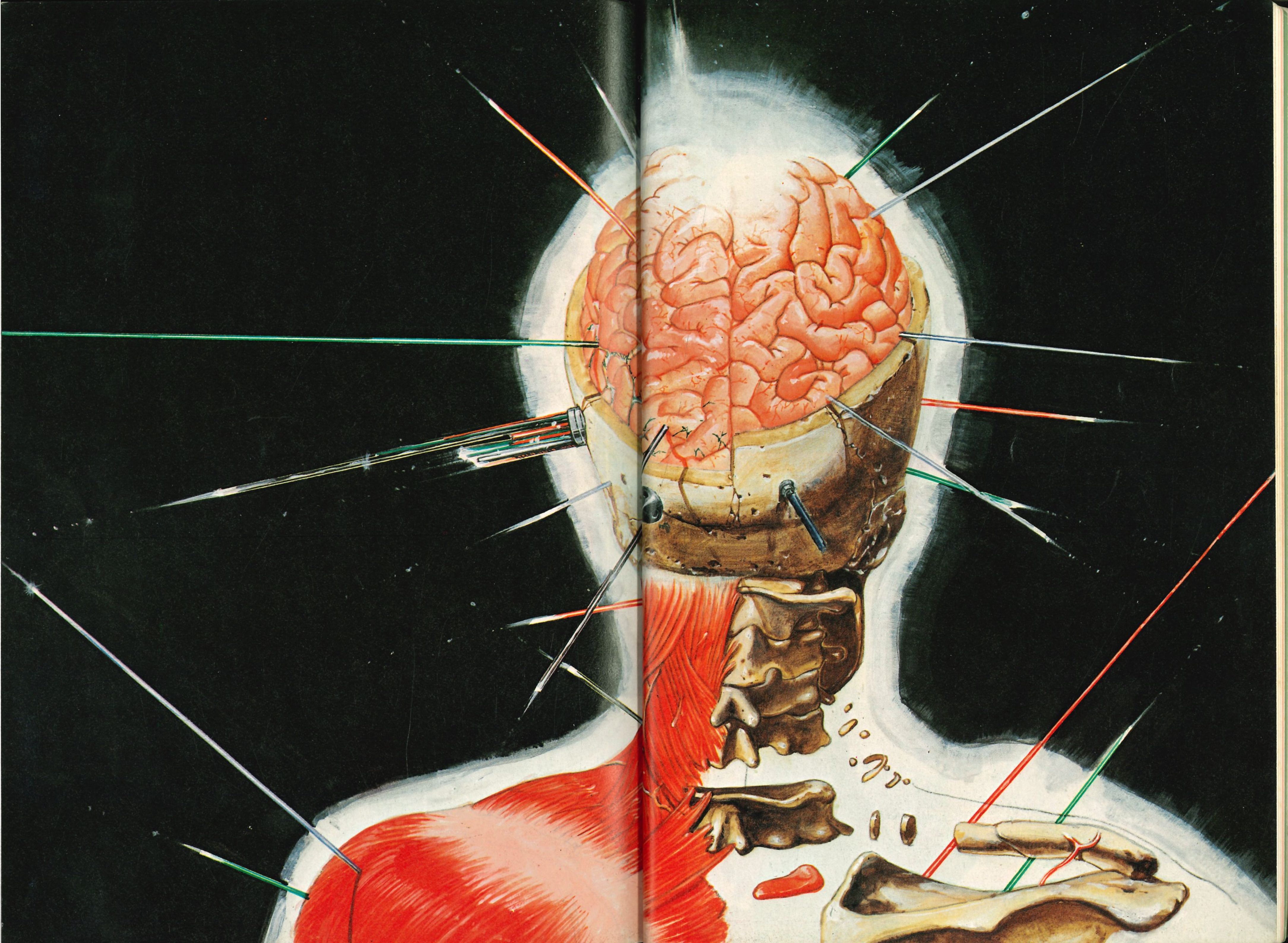


生命と生活が、ある程度保障された青空のないサラリーマン人生と、死と、死と背中合わせの、しかし蒼い空のある最前線。夢と現実とを往き来する主人公…。作品読んで〜〜〜！

28 CHUCK CHECK CHICKEN



大友克洋唯一の時代劇は、御存じ『子連れ狼』の相当ハチャメチャなパロディ版。登場するは、元公儀介錯人、水鴎流拝一刀…ならぬ元香萩藩 解釈人拝三拝、流派は粋応流、そして一子…その名も団子郎!!! 駆け落ちした妻と間男を追って、今日もヒモジイ親子旅。既成の時代劇への哀愁と皮肉、果ては横文字まで飛び出すドタバタの行方は何処!?

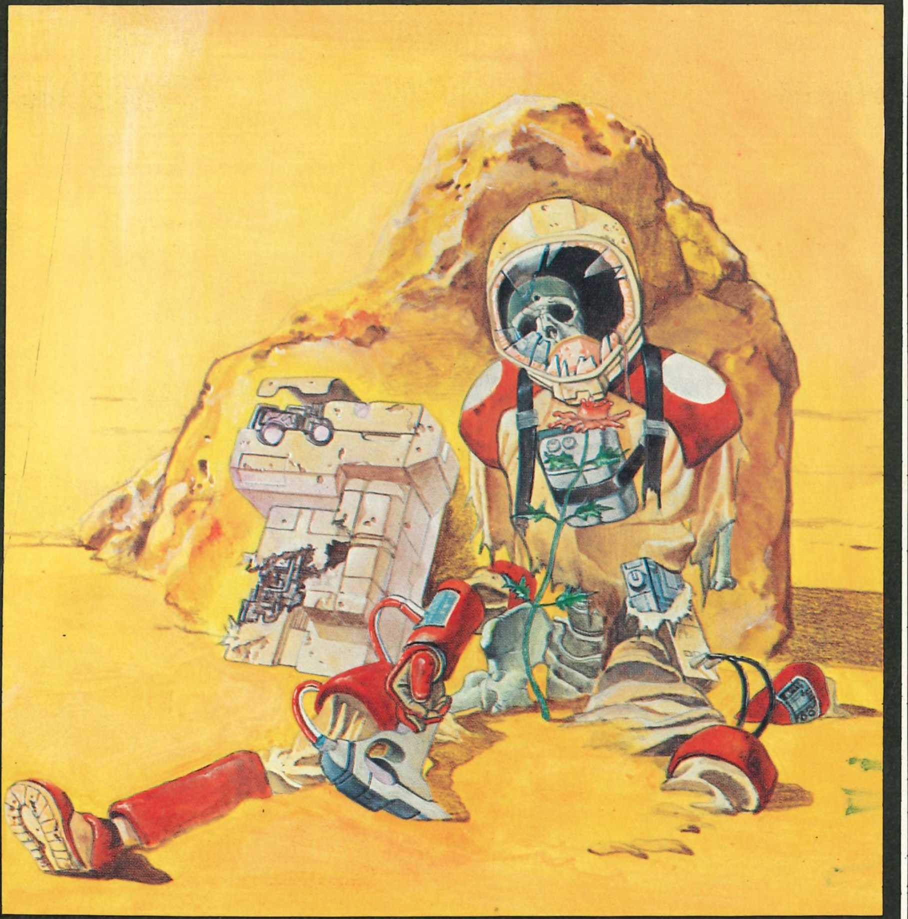


マンガ・映画・飲みやのカウンター・森・水

インタビュー
大友克洋

取材・構成／真崎　守

ぱふ美術館



285×270% アクリル

「COMIC AGAIN」2号
表紙用イラスト
より

大友克洋

——大友さんは、なん年生まれの人？

▶昭和29年です。この４月で25になったばかりです。

——４月のなに座？

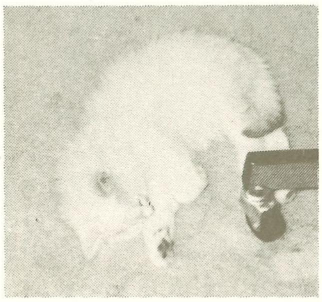
▶おひつじ座……かな？

——そうすると、「漫画アクション」にデビュー作を発表した時は、なん歳だったの？

▶18の時です。

——しばらくは、発表がずいぶんトビトビだったよね。一応コンスタントにやりはじめたのは、いつ頃になるの？

▶そうですね、中学校のときはほんとにマンガ家になりたかったですね。高校にはいっていろんな影響もあって、だんだん離れていきました。映画ばっかり観てました。それで、どっちかというとあの頃は映画をやりたいなあと思っていて、高校時代、まず、上の学校へ行くなら美大みたいなところへ、と思っていたけど、意外と進学校みたいなところでね、まわりが一生懸命勉強するんですよね。昼休みなんかでも……。つまんなかったんで…その頃から、自分でメシ喰いたかったというのがありますね。



——うん。

▶……で、そういう風に考えると絵が一応描けるんで、絵でメシが喰えると。そういうところで「(漫画)アクション」でずっとやってて……。２～３年位前から、なんていうか、まじめにやろうかなと思いましたけどね。

——作品でいうと、どのあたりになるの？

▶最初はやっぱり、昔の『傷だらけの天使』とか、あの辺のヤツが好きなんですね、自分で。
それであと話を作るようになってからマンガもおもしろいなあと思うようになって…それからですね、いっしょうけんめいやろうかなと思いまして。

——出身は？

▶宮城です。石森（章太郎）さんと同じで。

——上京してから、ずっとこの辺に住んでるの？

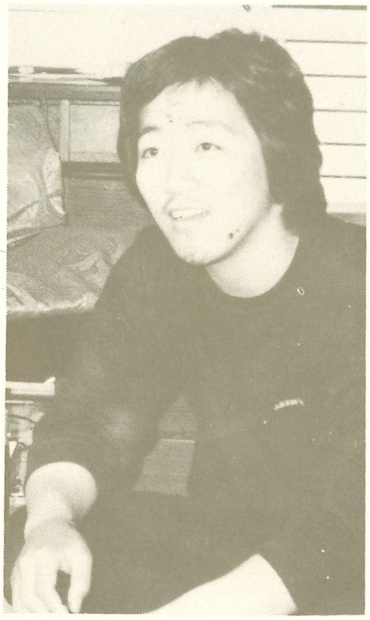
▶いや、一番最初は日暮里に親セキが居たんで、一年ぐらいそこにいました。それから南浦和へ行って、南浦和も親セキがいたんで、あの辺が静かだったんですね。それから日暮里に居るときレコードが聞けなかったんで、あの辺の淋しいところへいったらレコードが聞けるかな、と思っていったんですが、すぐアパートが建っちゃって、聞けなかったんです。
南浦和は、でも、ずいぶん、おもしろかったです。近くにスナックがありましてね、まあ、彼女もそのスナックでバイトしてたんですが。

——奥さんと、知りあった街なの？

▶埼玉県の南浦和あたりのスナックは、地方出身者が多いですね。それで、ヤクザみたいな人がいたり、変態みたいな人がいたり、気ちがいみたいなのもいたり、へんな色気のある奥さんなんかもいたりして、おもしろかったです。
４年間しかいなかったけど、あれはひじょうに勉強になりましたね。

——うん。その話を聞くと、大友さんの作品が思い浮かぶなァ。ずいぶん、よく見ていたんだね。

▶あの辺に新興住宅地があって、ネコの額みたいな土地に２階建ての家たてて、庭なんかできてないんですね、そしてそこにはいった人がどうみてもその平凡なね、サラリーマンなんですよね。日曜ごとにブロック買ってきて、庭をつくったりするんですよね。それはたぶん、『家族』っての描いたけど、あの辺の話です。



——そういう環境の中で、なにをしてたの？

▶よく酒を飲んで、映画を観に行って……

——映画がすごく好きみたいだから、映画の話少し聞かせてくれる？

▶映画はいっぱいあるなあ…何でも観にいったんですよ。最初はやっぱり洗礼受けたっていうのはニュー・シネマです。
『俺たちに明日はない』とか『イージー・ライダー』とか、あと…今観るとあんまりそうでもないけど、『いちご白書』なんていうのとか。あの「サークル・ゲーム」が流れてくるところなんか……。ラストシーン感動しましたね。あとあの辺で見てすごいなァと思ったのは、ペキンパの『わらの犬』。

——ペキンパ、好きそうだね。

▶ペキンパ、好きですね。

——だいたい観てる？

▶全部はどうですかね……。『ジュニア・ボナー』観てないですね。

——機会があったら、観ておいてほしいな。『砂漠の流れ者』は？

▶『砂漠の流れ者』はＴＶでしたけど観ました。あれ良かったですね。女の子が遊んでて歌がはいるところが、とてもよかったんですが。

——〝バタフライ・モーニング〟かな。あそこいいね。なにがいちばん好きなの？

▶ペキンパは、やっぱり『ワイルド・バンチ』ですね。

——その時期に、ニュー・シネマの感覚を身につけちゃったのかな。ほかにはどんなものを？

▶あとは、古い映画をさがしました。
ディヴィヴェとか、フランク・キャプラとか、ベルイマン。それから『アンダルシアの犬』みたいな、ヴィニュエルの黄金時代の、シュールなものとか……。あとは日本映画になっちゃいますね。

——日本映画は、だれが好きなの？

▶日本映画は、もう、今村昌平ですね。

——今度の新作『復讐するは我にあり』は？

▶観ました。しばらく今村昌平とか黒沢明とか、撮ってなかったでしょ。神代辰巳とか深作とかおもしろいけど、今村昌平が出てくるとランクがひとつちがうって気がしますね。今村昌平には執念みたいなもの、あります。……あと、日本映画というと、黒沢明は入るだろうけど、小津安二郎はあんまり観てないですね。

——淡白なのも、好きなの？

▶う〜ん。淡白なの、好きです。あの、あの人が好きですね。一本しかないんですけど。『空、観たか？』って映画あるんです。16㎜で自主製作したのですね。脚本かいたのが、シナリオ・ライターやってて、あと、あのねのねが出た『冒険者たち』の監督をやった人で、その人がやった「空、観たか？」って青春映画……。あれはよかったですね。
１回しかみてないんですね。文芸座でやった自主製作映画の特集やった時に…。あれみてて、いいなァと思って。要するに16ミリで自主製作製作でつくった映画なんで、しんきん感があるってこともあるけど——あゝいうのつくれたらいいなァと思って。

——思い出した。それ、見てるな。

▶近ごろって訳じゃないけど、みつけたっていう監督で、フランスの『リオの男』つくった人……あ、そーそ、フィリップ・ド・ブロカ。あの人が好きですね。
なんか信じられない、メルヘンみたいな、あの映画みてると、スピードがあるんですね。いちいち考えさせないんですよね。ただ、変なのがでてきて、そこからまたにげて、それからまた変なのが出てきて、それだけなんですけど。

——追っかけアクションの名人で。『カトマンズの男』なんかも好きだな。でも、そんなふうだと16ミリぐらい、自分でもつくりたそうだね。

▶８ミリは遊んでるんですけどね。来年できれば、かねがたまって、ひまつくって、16ミリぐらいやってもいいなあって思ってんですけどね。

——希望があるんだけど。映画をつくるのもいいけど、まんがのほうでも、少し長いものにとりかかってほしいんだ。

▶長いっていうと……。

——『Fire-Ball』みたいなヤツ。あれは、なんか、もっとページがほしかったなァ。

▶そうですね、あれは後ろの方が、実はゲリラになってはいり込むあたりからわりあい長いんですけどね。ページがなかったんです。最初もっと長かったんです。
あと、後ろの方の見開きなんか最後のところで一枚、ごまかしみたいにして。

——いずれ単行本に収録するとき、描き足すというニュースも聞いてるので安心してるんだけど。

▶ちょっと、まあ、今年いっぱいぐらいでもう少し手を加えようかと、思ってます。
あれは、やっぱり、その……『幻魔大戦』です。

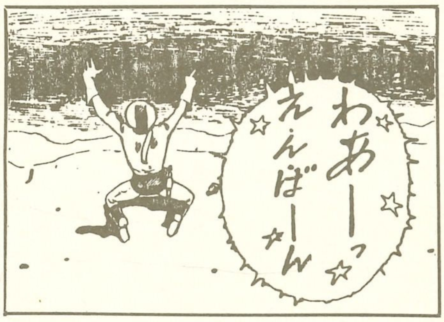
——『幻魔大戦』？

▶まず、ミュータント・サブなんかみてて、なんでこう、さわんないものを動かせるのか。だからそのまんま、あれするんじゃつまんないし、たとえば、ああいうことやりだすと、『幻魔大戦』なんかの、テレパシーできる奴がいて、物うごかすやつがいて、移動するやつがいるっていう、そういうことしちゃうとあの『巨人の星』の巻絵物みたくなっちゃうから、もう、シンプルに、ただ熱くなる、だけという話を。
恐怖っていうものは、シンプルなものの方がこわいんじゃないかって気がするんですよね。多様な恐怖っていうのよりも、ひとつのものがドンドンドンドン大きくなっていくっていう方が、こわいんじゃないかという。

——あのね、お兄さんが解剖されて骨肉バラバラの身体のまま、手術台の上で起き上がるでしょ。あれ、すごくリアルだったね。

▶あれは、ハデなものをやろうって思って。ＳＦかいてるとこで、永井豪さんが、意外とバイオレンスな、すごいあの、片うでおとしながら、ぬーっとあらわれるみたい

㉛ 宇宙パトロール・シグマ



新年会で、アパートの一室に集った不良宇宙人四人組が明かし合う自分たちの正体。最後の一人、茂正クンは、自分がシグマである事を証明すべく円盤基地に向かったが…。

㉜ ROUND ABOUT MIDNIGHT

今日も麻雀、明日も麻雀。今夜も徹マンで夜が明ける…と。マージャンしかやる事がない様な４人組が麻雀に夢中になって夜が明けるという、ただそれだけの話、なのだが…

な。あれよりももっとショッキングなやつを出したかったんです。
だいたい、その…劇画でずっと顔描くのはやったでしょ？　オレは、ハナシをつくっちゃうと大きな見せゴマみたいなのが使えなくなっちゃうので、あれは長いヤツだったから、顔の大きいコマつかおうと思って。

——あなたの中に、わりあい石森（章太郎）さんがいたのかな。

▶石森章太郎と、あとはそのあれですね、園田光慶ですよ。

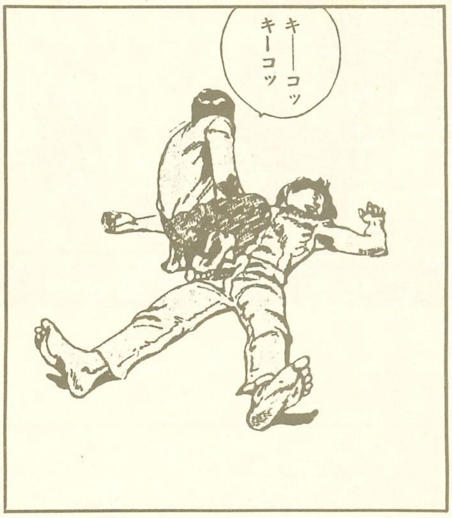
——園田さんの、『アイアン・マッスル』なんて知ってる人なの？

▶そうです。『アイアン・マッスル！』
あれは、貸本屋でみて、びっくりしてすぐゆずってくれってたのんだんだけど、ゆずってくれないんですね。それで、しばらくまっていると売るようになるからっていうのでまってると、友だちに先に買われちゃって。あれはずいぶん大金払って買いましたね。で、東京へ出てくるときにもってきたのは、『アイアン・マッスル』３巻です。『血だまり』と『（殺し屋）ナポレオン』と、『スパイ死すべし』……。あとは『モーゼル96』とか。ここにあるんですけど。（といって、本棚から、ドサッと出してくる）

——突然、園田さんがノリまくったころだな。『アイアン・マッスル』が出て、劇画のスタイルがひとつ完成したようだし、知ってる人は少ないみたいだけど、大きい位置にある作品だと思う。

▶これに出あって、石森章太郎から脱皮したって感じありますよね。
これをみて思ったのはまず、こんなに人間動かす人いたのかなということなんですよね。こんなん、どうやってうごかすの考えるのかなーって思って。
それであと、「少年マガジン」で川崎のぼるの『大魔鯨』とか「少年サンデー」でやったのを見たりして……。

㉝ NOTHING WILL BE AS IT WAS



同テーマを扱った推理小説の名作『２壜の調味剤（ダンセニー作）』、その大友版。一狭いアパートの一室、血溜りに倒れている男と壁にもたれ喘ぐ、もう１人の若い男。血まみれのハンマー。人間関係等、そこに至るまでの説明は一切為されていない。読者は、いきなり犯行直後の殺人現場に放り出され、殺人者がいかにして死体を処理してゆくかを見せつけられる。圧倒的リアリズムに支えられたシック・ジョーク。

——一時期、川崎さんと共同作業してたらしいね。

▶すごく、かっこいいんですよね。

——劇画に定規やコンパスの描線を持ちこんだり。今、単行本の描きおろしで『三国志』をやってるけど、ちょっと見て、『アイアン・マッスル』のことを思い出したりしたんだ。
でも、そうすると、大友さんに少し、アクションものやハード・ボイルドも、やってもらいたいね。

▶ハード・ボイルドやりたいなとは思いますけど、ちょっと…。あんまり読んでないんですよね。

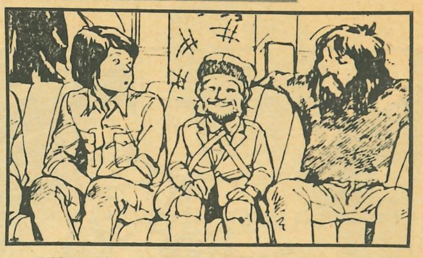
——今持ってる感覚そのままね、もうちょっと『ファイヤー・ボール』みたいなね、動きのあるものにしていってもらえると…。

▶そうですね、ちょっと、近頃のオレの傾向としては、動かしたいなということを思ってますけどね。

——ハードボイルドって、男がいる…ってだけでいいと思うんだ。ペキンパの作品みたいに。

▶ああ、なるほど…
ペキンパはやっぱり、そのノスタルジックなところがひじょうに好きなんですね。まあ、俺が勝手に言ってるんだけど、ジョン・フォードのその…淋しさみたいなのあるでしょ。ああいう伝統的な西部劇のノスタルジックなものを、ひじょーに受けついでると思うんです。

㉞ WHISKY-GO-GO



受験戦争からドロップ・アウトしたコジキ志願の少年と、コジキの先輩二人…ロシャンゼルシにあるという自分の家に帰る事を夢見ているトムじい、自称東大卒の髯男…とのココロアタタマルお話。

㉟ 星霜

往年の女流作家で現在の女子校々長と、その学校の記念館で蔵書の整理に従事する老人。遠い日、若き恋に燃えた二人の老人の、静ひつな哀しい過去の清算。大友克洋のリアルな描写が、現実を超越した老人たちのファンタジーを創り上げている。

――ペキンパは、バラードが好きだっていってるけど、大友さんの世界って、バラードだと思うよ。

――アメリカにしばらく行ってたということはありませんか？『さよなら日本』みてたら、ほんとにみてきたんじゃないかって気がしてくるんですけど。

▶あれは、その辺にある「アメリカ南部」とかね「アメリカ東海岸」とかいう本をみて描いたんです（笑）ニューヨークは行ってみたいですね。

――『ヘンゼルとグレーテル』って、どこからでてきたんですか？

▶これはずいぶん時間がかかりました。
あの――仕事のあいまにかいたんです。どこに発表するとか全然考えてなかったんです。「（漫画）アクション」でね『ヘンゼルとグレーテル』描いたっていっても、でもだれもきいてくれないんですよね。見してもあんまり何ともいわなかったですね。

――あれは、描きためたものなのか。

▶あのころ、アクションかなんかに仕事してて、しめ切りがあったんで描き足りないところがひじょうにあったんですね。はいけいとか手伝ってもらって。あれは全く絵を描くっていう趣味で描いたハナシなんです。だから、ハナシはなんでもよかったんですよね。

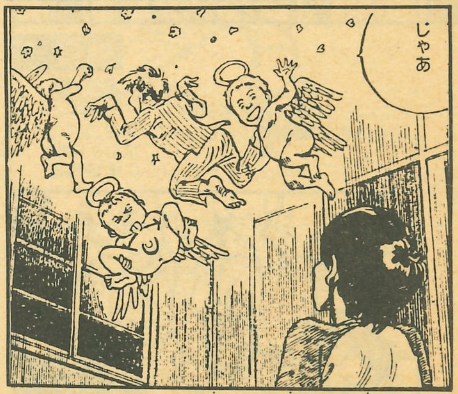
――ふ～ん。

▶できるかぎり、あんまりやったことないものをってことで。まえからこういうの描いてたことだし――ああいうのキライじゃないですよね。メルヘン、というか。もうだからふつうのメルヘンを描けなくなったっていう気がするけど…あれを描いたら。

㊱雀が中

やっと持てたマイホームを自慢したくてしょうがない万年課長さん。一緒に雀卓を囲んだ部下達の笑いもひきつり気味。生意気盛りの娘と睡眠不足の妻がからんで課長さんの家庭は崩壊寸前…!?

㊲天網恢恢疎にして漏らさず



少女まんがに出て来そうな題材を、あくまで彼らしく仕上げ切ったファンタジック（？）・コメディの秀作。――ちょっとした手違いから、三人の天使に天国へと連れ去られかけ、挙句は所かまわず、その天使たちにつきまとわれる男の珍妙なお話。

――なにか、ふしぎな生きものがでてくるでしょ？

▶あれはね。モデルがほんとにあるんです。ブリューゲルなんですけどね。
（――といって立ちあがり、本棚から本をとってきて）
うーんとね、まず一ぴきはこれですね。

――あ～ほんとだ。

▶それとね。あと、ヘルメットかぶったカエルみたいなのがいるでしょ（笑）あれはね、これですね。後ろ姿しかないけど（笑）あとは、鳥みたいなヤツは、無かったんで、自分で描いたんですけど。一番さいしょの鳥がね、この辺の鳥だったんです。背景もね、ずいぶんブリューゲルのもの使わしてもらいました。この辺をね、たてにして、横に長いやつをかいたんです。あと樹の描き方なんてのはブリューゲルの版画をみて、これはもうこのまま使ってます。

――資質からいうと、バクシなんかも好きなんじゃないの。こんどアニメで『指輪物語』つくった人。『フリッツ・ザ・キャット』のアニメなんかも、やってる。

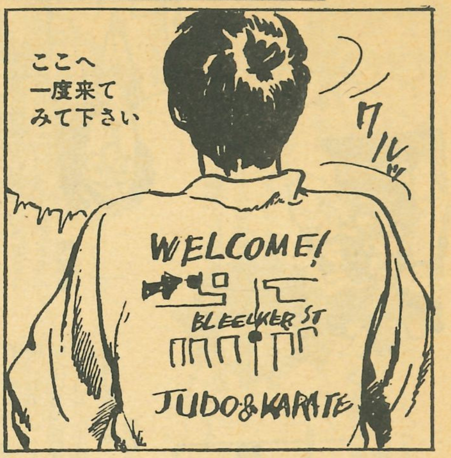
▶ああ、『フリッツ・ザ・キャット』みました。好きです。あの、ウイズ……ウィザード、だか？　アニメがあったでしょ？　一般公開しなかった。
近ごろやっとみたんですけどね、あ、似てるなという感じしたし、自分の好きな線だな、っていうか、フランスのメビウスって人。この人がひじょうに近ごろ好きですね。

――メビウス？

▶この一（といって立ち上がり、本棚から本をとり出してきて）フランスの「ヘビー・メタル」って本に描いてるー。

――あ、この人。

㊳さよならにっぽんⅠ



遠いニューヨークで自力で逞しく生きてゆく日本人たちを描くシリーズ。Ⅰはシリーズを通じての中心人物であるカラテの先生の奮闘記。弟子を募る為に、広告を出したり、路上で模範演技をしたり、やっと現われた弟子入り志願は、元ボクサーの父親をよこして実力をテストする始末。実力はともかく、そのガッツに父親も感心するほどの執念。同じ日本人に日本文化のタタキ売りなどと言われようが、強く生きねばならんのだ、なにしろニューヨークなんだからな、ここは。

▶この人のね、何ていうかな絵をね、レリーフみたいにして描くんですよね。あの、レリーフばっかりみたいな絵なんですよ。

——**この空間のとり方って、あなたの感覚にひじょうに似てるね。（といいながらパラパラとページを繰って）うん、なんじゃこれは。みんななんだか、好きにやってんね。**

▶——そうですね。何か信じられない感じですね。話も何か勝手なハナシで。これが主人公なんですね、この2ヒキが。それで、ここへくると鳥がたおれてでうごいてないんですよね、これを直したら飛んでいくってハナシで、別に、何かね〜〜

——**ハッハッハッハッ!!**

▶う〜〜ん、ひどいハナシですよ。

——**ヨーロッパコミックの伝統だよね、ある種の。**

▶まあ、アメ・コミはブーム、ではあるけど、こういうのみてると、仏のものの方が質は高いなあっていうか。

——**アメ・コミはキャラクターのおもしろさ。ヨーロッパ・コミは、センスのおもしろさって気もする。**

▶こういうのなんかもへんなハナシなんですけどね、飛んでたら、塔の横に女がいて上に番人みたいなのがいるから、そいつをつるさげていって、やっと女のところへいったら、女がこういう顔をしてて（大笑）それでかえってにげちゃうっていう。あの4コマアンガにもならんようなハナシなんですよね（笑）。4コマアンガにもならないんだけど、まあ、ふんいきですごいなあと思うんだけど。

——**あなたのセンスって、ほんとにこれはまんがだなあと思うところがあるんだけど。**

▶うん、劇画に洗礼されたけれど、まあ、どっちかっていうと、まんがの方がおもしろいですね。

——**今度の『聖者が街へやってくる』なんか、ラスト・シーンがすごく軽やかで良かったね。**

▶あれは、ほんとうは描きだめする予定だったんですけどね。

——**追われた？　ひとりでやってるの？**

▶いや、あれは手伝ってもらいました。背景とか…まあ、下描き全部背景まで、鉛筆がはいってて、下描きちゃんとはいってたので、まあ手伝ってもらってもあんまりその、変わった絵にならないってていどに…
あれはだから、その一番最後の終わり方みたいにして、一話ずつ終わりたかったんですけどね。まあ最初から話はあったんですね。構成がなんか、全然一週間に一本描かなきゃいけないんで——

——**あんまり急ぐと、あなたの持ち味がうすれてしまうだろうし。**

▶そうですね。

——**くつろいだペースが好きみたいだし。**

▶意外と人間はだらしないです……。やっぱり、でも絵が好きだから、絵を描くときはまじめでしたね。作品がバシッとしたものでないとイヤで。そういうものってやっぱり自分でいっしょうけんめいやらないとだめだと思うから。

——**週刊誌のペースって、リズムが合う？**

インタビュー　**大友克洋**

●三沢高校、映研副部長。優等生ぶりと、リーダーシップには定評がある。通称ウエルトミニュラー「任侠シネマクラブ」

●大沢晃・ひかる
兄は機動隊員、弟は過激派に属する。兄は若干ノイローゼ気味、弟は血気盛んなラジカリストである。二人は共に超能力者で、死後、巨大な「ファイアーボール」となる。

●織田信長
近未来の日本、首相であった彼は静岡県に城を築き独立を宣言する。自然を愛する温厚な人柄。美濃部元知事に似ているという噂もある。「信長戦記」

●富岡
シティレコードプロデューサー。アメリカ留学の経験あり。「聖者が街にやって来る!!」

●梅崎
今井組若頭と今井金融副社長を兼ねている。その風貌は安部公房または秋竜山を思わせる。「トウキョウチャンポン」

●影の総理
新宿に巣食う乞食集団の指導者。総理らしく「あ〜 う〜」語を話す。対オカマ全面戦争の指揮をとる。「愛の街角2丁目3番地」

●かつ丼
本名、年齢不詳。どもりであり、対人恐怖症である。趣味は降霊術。「かつ丼」

●食堂のチーフコック。メス豚のおカマを掘ったと噂されるが、真偽のほどは確かではない。「WHISKY-GO-GO」に出演。

●田中のおばちゃん
見かけのわりには、小説家志望の乔山くん、八百屋のサブちゃんと気が多い。しかし、当然のことながら成就しない。「GOOD WEATHER」

●久保田のおじいちゃん
「GOOD WEATHER」では久保田模型店の主人として登場。「さよならのおみやげ」「あしたの約束」にも殺人者として出演している。

▶そうですね。だいたい、今のあの週刊誌のペースっていうのは、正解じゃないと僕思うんです。あれはちょっとね。隔週と月刊ぐらいじゃないと。最低でも隔週じゃないと…。

――どの作業に、ウェイトがかかるの？

▶ネームっていうのはオレの場合、下描きと一しょなんですね。下描きが全部できたときにネームも全部できるという……だから、一ばん下描きに時間がかかりますね。80%ぐらい下描きですね。それをやってると、ちょっと量産はキツいです。

――このところ、わりあい気分よく仕事やってるみたいだね。おもしろい？

▶そうですね。次の仕事も早くしたいなあと思うし、まあ、今はおもしろいです。こんど夏ぐらいにまた「アクションデラックス」で、70枚ぐらいのやるんです。こんどはもうちょっとまとめようと思いますけどね。

――レコードは何を聞いてるの？

▶…音楽は前から好きで、ウェザー・リポートとか、クロスオーバーの、マイルス・デイビスの下の方にいるグループとか……。そういうのが好きですね。近頃はちょっとしんどいんで、レゲエを聞いてますけど。
　リズムが好きですけどね。リズム感のあるやつが…。
でも、リズムでもディスコってのはつまんないですね。あ、考えてつくってるなっていうレコードがいいですね。

――奥さんは、どこの出身なの？

▶え!?　わたしは九州で…。

――九州の人と東の人とがバッタリ逢って、どういうところでヴァイブレーションが合うのかしら？

▶あまり……九州だなんてわからなかったし……

――顔型も似てるしね――兄妹ですといわれても、あ、そうですかって感じだね。

▶よく言われるんです。

――よく言われる？　大友さんの作品みてるとコワイ女の人ばっかり出てくるでしょ、きっと「女」に対してものすごい偏見があるんじゃないかって思ってたんだけど奥さんみて安心した。

▶そうですね、意外とひがんでましたけどね。

――そろそろ作品に、いい状態の女も登場させてください。奥さんから見た大友さんてどういう人ですか？

▶だれにでも、やさしいです。きつくなれない。いわれるとハイハイって…。

――奥さんのことを、大友さんはどうみてるの？

▶よく私なんか枝葉が多いっていわれるんです。枝葉ばっかりで本すじがないって。

――ああ、本人はシンプルなんだ。大友さんから見て、奥さんって、どういう感じの人？

▶そうですね、うーん、女の子って感じでいいんじゃないですか。

――おちつける相手？

▶う——ん、そうでもないですけど（笑）おちつけるっていうんじゃないなあ、こんなものじゃないかなーって気がしますけど。

——**すごくやさしい人だね。自分をどういう人だと思いますか？**

▶うーん、やっぱりなんか夢想家みたいな気がしますね。

——**さいきん、何をしてるのが好きなんですか？**

▶うーん、自分がやりたいと思ってることができればいいです。あとは、のみやのカウンターがいいですね。てきとうに人がいないとイヤですね。それでのみやのカウンター。

——**原初の記憶っていうか、子供のころにみた風景で、好きだなというか、心にのこってる風景どんなのか教えてください。**

▶うーん、昔のやっぱり子供のときの風景で、あのころは、田舎ではあったけど、いがいと街なんですね。それで、うらがすぐ田んぼだったんですね、それでね…水がいっぱいあったっていう記憶……。だから、たべるものもそうですね、パンみたいのイヤですね、水っぽくないとイヤですね。砂漠ってのあんまり行きたいと思わないですね。アメリカのね、荒涼たる砂漠かなんかって行きたいと思わない。ヨーロッパの森がいっぱいある風景がいいですね。
やっぱりその、森の風景ってありますね。あの、あのころね………木がいっぱいはえててあんまり、子供のとき家から出なかったんですよね。あっちの方に木がいっぱいあって、ああ、あそこに行きたいなあっていうのがありましたね。近くに田んぼがあって、——よくゆめに見ますけどね。

1979.5.20.

●写真／小川春樹・矢野敬子

大友克洋作品リスト

年	作品名	掲載誌
'73	1 銃声（プロスペル・メリメ作〈マテオ・ファルコネ〉より）㉓	漫画アクション増刊（8月4日号）
	2 親友（エドガー・アラン・ポー作〈ウィリアム・ウィルソン〉より）㉙	漫画アクション増刊（10月6日号）
	3 スマイリーおじさん（マーク・トウェイン作品集より）㉙	漫画アクション増刊（11月3日号）
	4 橋とそして…㉖	週刊漫画アクション（11月29日号）
	5 子供たちは何処へ…㉒	週刊漫画アクション（12月20日号）
'74	6 上海かぜ（山本善治・原作）㉔	漫画アクション増刊（1月26日号）
	7 密漁の夜㉓	週刊漫画アクション（2月28日号）
	8 BOOGIE WOOGIE WALTZ㉓	週刊漫画アクション（4月25日号）
	9 BOOGIE WOOGIE WALTZ㉓	週刊漫画アクション（5月23日号）
	10 ONE DOWN㉓	週刊漫画アクション（7月4日号）
	11 目覚めよと呼ぶ声あり㉒	週刊漫画アクション（8月15日号）
	12 心中——'74 秋——㉓	週刊漫画アクション（10月3日号）
	13 暗夜行路（傷だらけの天使①）㉓	週刊漫画アクション（10月31日号）
	14 バック賞面白くもなかった今日の終りに（傷だらけの天使②）㉓	週刊漫画アクション（12月5日号）
'75	15 短距離走者の連帯（傷だらけの天使③）㉓	週刊漫画アクション（2月6日号）
	16 醜悪の軋み（傷だらけの天使④）㉓	週刊漫画アクション（3月6日号）
	17 チュンバラブギウギ（傷だらけの天使⑤）㉑	週刊漫画アクション（6月5日号）
	18 スカッとスッキリ（傷だらけの天使⑥）㉒	週刊漫画アクション（8月7日号）
	19 辻斬り㉔	漫画アクション増刊（8月23日号）
	20 ROCK（傷だらけの天使⑦）㉒	週刊漫画アクション（11月27日号）
'76	21 鏡⑳	漫画アクション増刊（1月3日号）
	22 アメリンゴ（前篇）⑳	週刊漫画アクション（4月8日号）
	23 アメリンゴ（後篇）㉑	週刊漫画アクション（4月15日号）
	24 鏡地獄（江戸川乱歩作〈鏡地獄〉より）⑳	別冊漫画アクション（3月21日号）
	25 酒井さんちのゆきえちゃん㉔	別冊漫画アクション（7月16日号）
	26 犯す㉕	漫画アクション増刊（8月9日号）
	27 HIGHWAY STAR㉔	漫画アクション増刊（9月1日号）

●ヒロ
花華会に属するチンピラ。「ブギウギワルツ」の主人公。

●ヘンゼルとグレーテル
貧しい家に生まれるが、逞しく生きていく兄妹の姿は感涙もの。「ヘンゼルとグレーテル」

●死人を天国へ連れて行く為に下界に降りて来るが、人違いをしてしまう二級天使。「天網恢恢疎にして漏らさず」

●未来社会のドロップアウト集団ヘアー族の長老と新入りの少年。長老は60年代70年代のハードロックを愛好している。「HAIR」

●加藤刑事
「あしたの約束」に登場。その風貌は故今東光を彷彿とさせる。

年	No.	作品名	掲載誌
	28	CHUCK CHECK CHICKEN ㉙	漫画アクション増刊（11月3日号）
	29	School-boy on good time ㉔	漫画アクション増刊（12月3日号）
'77	30	夢の蒼弓㉒	漫画アクション増刊（1月7日号）
	31	宇宙パトロール・シゲマ㉓	漫画アクション増刊（2月1日号）
	32	'ROUND ABOUT MIDNIGHT㉓	漫画アクション増刊（4月5日号）
	33	NOTHING WILL BE AS IT WAS㉓	漫画アクション増刊（5月13日号）
	34	WHISKY GO-GO㉓	漫画アクション増刊（6月14日号）
	35	星霜⑳	別冊漫画アクション（7月1日号）
	36	雀が中⑯	漫画アクション増刊（7月12日号）
	37	天網恢恢疎にして漏らさず㉓	漫画アクション増刊（7月27日号）
	38	さよならにっぽん Ⅰ㉓	週刊漫画アクション（8月4日号）
	39	MINER SWING㉓	漫画アクション増刊（8月24日号）
	40	さよならにっぽん Ⅱ㉔	週刊漫画アクション（9月8日号）
	41	GOOD WEATHER㉓	漫画アクション増刊（9月21日号）
	42	さよならにっぽん Ⅲ㉔	週刊漫画アクション（10月20日号）
	43	GOOD WEATHER㉔	漫画アクション増刊（11月2日号）
'78	44	さよならにっぽん Ⅳ㉕	週刊漫画アクション（1月5日号）
	45	さよならのおみやげ㉕	漫画アクション増刊（1月10日号）
	46	さよならにっぽん Ⅴ⑳	週刊漫画アクション（2月23日号）
	47	トウキョウチャンポン㉕	漫画アクション増刊（5月13日号）
	48	SO-WHAT㉘	漫画アクション増刊（6月10日号）
	49	つやのあとさき㉓	漫画アクション増刊（7月8日号）
	50	愛の街角2丁目3番地⑯	週刊漫画アクション（7月27日号）
	51	遠い祭り㉗	漫画アクション増刊（8月18日号）
	52	ヘンゼルとグレーテル㉘	増刊ヤングコミック（8月20日号）
	53	大麻境㉔	増刊ヤングコミック（9月20日号）
	54	家族⑳	週刊漫画アクション（9月21日号）
	55	任侠シネマクラブ㉔	ヤングコミック（10月25日号）
	56	あしたの約束	漫画アクション増刊（10月27日号）
	57	カツ丼⑱	週刊漫画アクション（11月16日号）
	58	信長戦記㉔	増刊ヤングコミック（12月20日号）

キャラクター列伝

●JONNY JACKSON、WILLY LANE、RICHARD BROWN ALBERT BROWN
ニューオリンズ在住の往年のジャズバンドのプレイヤーたち。斎藤部長のアメリカ時代に親交があった。最近、ディスコでも演奏している。「**聖者が街にやって来る!!**」

●愛車ファイアーボールを駆って公道賭けレースで荒稼ぎをするおっちゃん、本職は白バイ警官。髭はつけ髭。ヒッチハイカーの娘、実は家出娘。「HIGH WAY STAR」

●トム深大寺
橋の下に住む浮浪者。自称アメリカ帰りで、おかしな日本語を話す。「WHISKY-GO-GO」の主人公。

●斎藤克也
シティレコード制作部長。若い頃はジャズのペットを吹き、アメリカへ渡ったこともある。
「**聖者が街にやって来る!!**」

年	No.	作品名	掲載誌
'79	59	Fire-ball ㊿	アクションデラックス（1月27日号）
			ヤングコミック（2月28日号）
	60	A SPACE GODGZILLA パート1 さらば地球よ ❻ （原案 大森宣彦・石上三登志 構成 大林宣彦）	月刊スターログ日本版（4号）
	61	Hair ㉕	ヤングコミック（2月28日号）
	62	East Of The Sun, West Of The Moon ㉔	週刊漫画アクション（3月8日号）
	63	大友克洋の栄養満点!!① ❷	ロッキング・オン（4月号）
	64	A SPACE GODZILLA パート2 星へ還る ❽ （原案 大林宣彦・石上三登志 構成 大林宣彦）	月刊スターログ日本版（6号）
	65	大友克洋の栄養満点!!② ❷	ロッキング・オン（5月号）
	66	聖者が街にやって来る!!㉖ WHEN THE SAINTS GO MARCHIN'IN	週刊漫画アクション（5月10日号）
	67	聖者が街へやって来た!!（聖者が街にやって来る②）⓬	週刊漫画アクション（5月17日号）
	68	聖者は街にやって来た（聖者が街にやって来る③）⑳	週刊漫画アクション（5月24日号）
	69	聖者が街へやって来る!（聖者が街にやって来る④）⑳	週刊漫画アクション（5月31日号）
	70	大友克洋の栄養満点③ ❷	ロッキング・オン（6月号）
	71	大友克洋の栄養満点④ ❷	ロッキング・オン（7月号）
	72	RUN ㉔	GORO（No13）

●単行本

ショート・ピース

自選作品集①

奇想天外社　480円

●収録作品

宇宙パトロール・シゲマ
'ROUND ABOUT MIDNIGHT
School-boy on good time
任侠シネマクラブ
大麻境
WHISKY-GO-GO
NOTHING WILL BE AS IT WAS
犯す

●木村恭子
ロックバンドザ・セットアップのリードボーカル。ベイ中のため、米兵に春を売ってクスリを手に入れている。「ROCK」

●「**栄養満点**」に登場の狼。
赤頭巾の祖母に食べられて死亡。吃音の気がある。

●拝三拝、団子郎
「CHUCK CHECK CHICKEN」に登場。元香荻藩解釈人であったが、逃げた女房と間男を追って旅に出る。別名、子持ち狼。腕はまったくたたない。

●失業、失恋、金欠の三重苦の若者。爆弾魔志望。足は極端に短い。「チュンパラブキ」
ウキチュンパラブキ

●ようちゃん
海の家でアルバイトをしている。「GOOD WHETHER」

世代意識を共有できる優れた表現者

渋谷陽一

最初に会った時、彼は毛糸の帽子をかぶっていた。最近は暑くなってきたので余りかぶってこないが、どうも大友克洋というと毛糸の帽子というイメージがある。

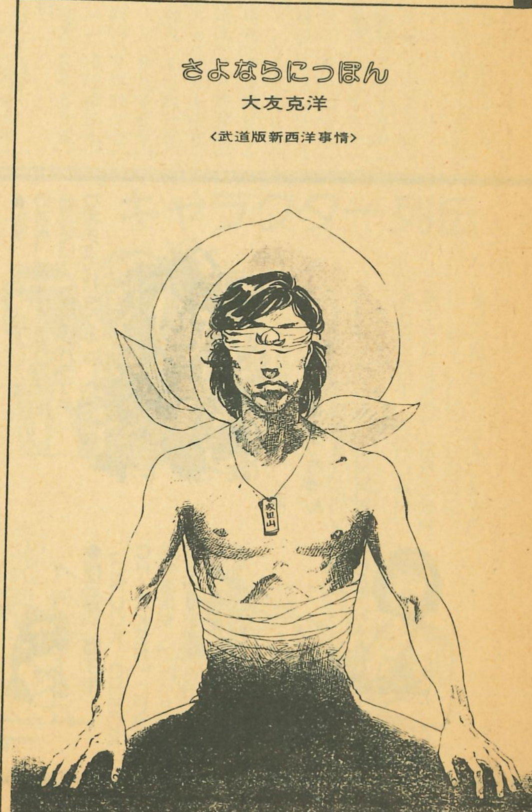
現在、彼はロッキング・オンに連載を持っているので毎日その原稿の受け渡しで会っている。しかし今だに、作品と大友克洋自身のイメージがしっくり来ない。

当人と話していると、毛糸の帽子、カレー・ライス、吉祥寺、映画フリーク、新婚ホヤホヤ、といった感じだが、漫画を読んでいるとそうしたものは余り感じさせない。作品と当人とが全く違うというのではなく、一種ねじれの関係とも言えるズレがあるのだ。

僕は彼と会っているとこのズレをいつも感じ、それが楽しくしかたがない。非常に不思議な感じがするのである。

僕の本職はロック雑誌の編集なのでロック・ミュージシャンに会う機会が多い。ファンからはうらやましがられるが、僕としては余り楽しい事ではない。ほとんどが仕事で会うせいかもしれない。余りミーハー的な気分になれないのだ。写真を見る機会が多いので、会った時の驚きに似た感動がないのである。

しかしこと漫画家に関して僕はミーハーであり、手塚治虫、ちばてつや、山上たつひこそして大友克洋にはどうしても会って話しを聞きたかった。その希望は仕事としてかなえられ、それぞれに興味深い体験を得ることができた。



〈さよならにっぽん〉表紙

作品と当人がほとんど統一されたイメージの中に居たのがちばてつやで、まさに"あしたのジョー"がそこに居るという感じであった。

手塚治虫の場合は当人がいろいろなところに露出しているので、何だかよくわからなかった。

やはり山上たつひこと大友克洋が作品と当人がねじれの関係にある為に、人間に対する興味が増幅され、不思議な生物を目の前にして観察しているような楽しさを味わえた。当人達にしてみれば迷惑な話だろうが、ファンとはそうしたものなのである。

山上たつひこの繊細そうで文学青年風のキャラクター、大友克洋の大陸風でおおらかなキャラクター、これは作品とオーバーラップさせながら味わうと、漫画ファンとしてはたまらない楽しさである。特に大友克洋に対して僕は過剰ともいえる思い入れがあるので、会う度に面白くてしかたがない。しかこんな事を書くと不気味がって会ってくれなくなるかもしれないな。

世代意識を共有できる優れた表現者に出会いたいというのが僕の昔からの夢だった。僕が過去に熱中してきた作家のほとんどは20才以上も年長であったし、現在何人か居る同世代の作家に対しては余り興味が持てない。唯一の存在が大友克洋である。大仰な表現を使えば彼によって僕の年来の夢がようやく実現したといっていい。残念なことに彼は僕より3才ばかり年下で、それは残念というよりは腹立たしいといった感情に近いけれど、この際は目をつぶることにする。

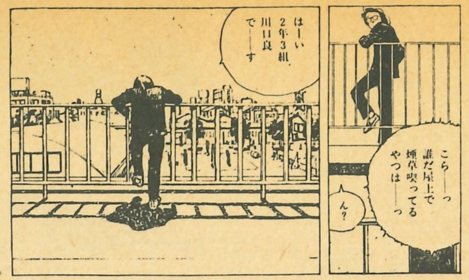
彼の漫画に売出されている時代意識、あるいは世代感覚はまぎれもなく僕達世代のもので、解りすぎる楽しさを味わあせてくれる。こうした読みかたは健康なものとはいえないかもしれない、しかし大友克洋に関しては許されてしまうのだ。何か大友克洋がそこに居るだけでウレシイのである。何んだかラヴ・レタージみて来て気味が悪いな。

大友克洋は天才である。「家族」「ハイウェイ・スター」「ファイヤー・ボール」「犯す」、この4本を読んで、しかも彼が今だに24才であると知ったら、きっと誰もが彼は天才であると認めるだろう。彼も天才らしく余り作品を描かない。しかしこれは読者にとって余りウレシイ事態ではない。しかも恐ろしい事に大友克洋はすでに円熟の境地に達しつつある。いよいよ作品を描かなくなってしまう怖れがある。これは絶対によくない。特に職人的に円熟するのは危険だ。少々ウマ過ぎるのだ。やはり彼はもっと大風呂敷を広げた「ファイヤー・ボール」路線とか、大衆性を強く打ち出した「ハイウェイ・スター」をもっとコマーシャルにした路線を自らに強いなければならない。作品の数をしぼっていくのには反対しないが、もっと自分自身に売れる為の無理を強いなければならない。手塚治虫という漫画史上最大の天才でさえあれだけがんばっているのだから。

ときどき大友克洋の作品を読んでいて、達人の域に達した老大家ものの様な錯覚にとらわれることがある。彼の天才はそうした所へ自分を押しやってしまう力と危険性を持っている。僕はそれだけが心配である。何しろ唯一無二の存在なのだから。

PS

それからロッキング・オンのメ切は必ず守るように、ヨロシク。



〈school boy on good time〉

奇想天外コミックス「ショートピース」より

大友克洋とぼくとどういう関係があるんですか？ いや、まてよ…

大森一樹

断っておくけど、ぼくは人一倍漫画を読んでいるという人ではないので、そんなにたくさんの漫画家の名前を知っているわけではない。けれども、編集部から「大友克洋について何か…」と言われた時には、ああ、あの漫画ですかというぐらいの反応はできたのだ。

とはいうものの—大友克洋の作品リストを見て初めて知ったんだけれど—彼は73年にデビューしているのだから、やっぱりぼくなんかはずうっと後になって彼の名前を知ったことになるんだろうな。それも、彼の漫画を読んで知ったのではなくて、森田芳光の愛すべき8ミリ映画「ライブ・イン茅ヶ崎」のチラシに使われていたカットを見たのが、ぼくが彼の漫画に出会った最初なのである。

見た人もいると思うが、「ライブ・イン茅ヶ崎」という映画は、ぼくのかなりお気に入りの「8ミリ映画」なのだ。のびのび—たんたんといった感じの8ミリならではのカメラワークと気ままにつないだような編集のフィルムに、すっとぼけた力の入らない暁舌なセリフが心地良く乗っかった、実にいい「8ミリ映画」だと思っている。

大友克洋のチラシの漫画は、その映画の雰囲気がうまく表現された気の利いたデザインになっていて、これは相当、森田芳光の8ミリ映画を知っている人だなという印象があった。ところが先日、この映画の宣伝をやっていた磯野君に、よく知っていたのは森田芳光の方だったということを聞かされた。なんでも森田芳光はずっと以前からの大友ファンで、大友克洋に届いたファン・レターの第一号だったそうである。

いささか話が横道に入ってしまったが、ぼくが大友克洋の作品に出会ったのは、それからしばらくして、友人の部屋に積んであった古い雑誌を何気なく広げた時だった。

映画「ライブ・イン茅ヶ崎」 チラシ

「宇宙パトロール・シゲマ」を読みながら、ぼくはバカ笑いするでもなく、苦笑するでもなく、含み笑いをするでもなく、大げさに言えば今までちょっと経験したことのないような不思議な笑いに何度か遭遇した。例えば、「火星人わぁお！ゴーッ（火を吹く音）」「バカ！アパートを焼く気かおまえ」だとか、茂正が宇宙パトロールの衣裳を押し入れから出して身につけていくまでの一コマ一コマだとか、宇宙パトロールの本部に向うまでの道や駅や電車での会話—「見ろい下のヤツなんかまだ見てるぞ」「くそみっともない」等々。

いや、やっぱり「今までに経験したことがない」とは言い過ぎだ。「今まで漫画を読んでいて経験したことがない」と言う方が正確だろう。村上知彦調に言えば、ぼくらは何度もそういった笑いを共有してきたのである。しかしそれは決して、漫画を一人で読んでいる時ではなく、それこそこの物語の舞台となっている茂正のアパートのような友人の下宿で、何人か集まって夜中からワイワイやって、空が白みはじめる頃の会話の中に、あるいは、飲み屋で何時間もねばってバカ笑いがいやという程続いた後の会話の中に、ヒヨッとあったような気がする。

〈宇宙パトロール・シゲマ〉

奇想天外コミックス「ショート・ピース」より

自選による作品集「ショート・ピース」の中でもやっぱり一番おもしろかったのは、この「シゲマ」で、他の作品はもう一つ及ばないような気がした。けれども、やはりこの不思議な笑いの秘密のようなものは、どの作品からも感じられた。とりわけ、友達を殺した上に食ってしまう「　　」という作品には、そのおかしさの原点がストレートな型であるんやないかという気がした。

それは、小さい頃ちょっと殴った友達が、あんまり大声で泣くので、泣き声を聞いてそいつの親が出てくるんじゃないかと、急に心配になって、さんざん「お前が悪いんだぞ、お前が」「こんなことをするからやぞ」などと、自分の正当性を主張するのに必死になった、幼い日の思い出が、実に異常でグロテスクなこの話を、実に愛すべき話にしてしまったようだ。そんなところが、ブラック・ユーモアなどというありきたりな言い方を越えた大友ユーモアを型づくっているんではないかと……。

ムツムツ、これ以上の分析は「まんが評論家」村上知彦の作業として残しておいてやろう。ぼくなどの読みかじりが、ゴチャゴチャ書き連ねると、熱狂的大友ファンの耳ざわりになるだけかも知れない。

なんて、逃げてしまうのは、なにも村上知彦を尊敬しているからではない。（当り前だ！）要するに、大友克洋の漫画の不思議なおかしさについて、実のところ自分がよくわからないでいるからにちがいない…ン!?いや、よくわからないというのでもなさそうだ。例えば、はじめに書いたぼくのお気に入りの「ライブ・イン茅ヶ崎」という8ミリ映画にあったのと同質の気分のようなものが、ぼくにとっては魅力なのだろうとはわかっているのだから。

編集部から電話で原稿を頼まれた時、「なんで、ぼくが書くんですか？大友克洋とぼくとどういう関係があるんですか？」と質問。向こう答えていわく「あのおー、大友さんの漫画にある軽さと、大森さんの映画の軽さとが、どこか共通しているところがあるんじゃないかと…ムニャムニャ」——。

へぇーそうですか!?いやまてよ、ほんまにそうかいな？

おそろしく現実に近いと感じさせる虚構

鏡　明

「ヘンゼルとグレーテル」という童話は、まず、誰でも知っている。筈。

森の中に捨てられたヘンゼルとグレーテルという兄妹が、道に迷った末、魔女のお菓子の家にたどりつく。二人は、魔女に捕まり、食べられてしまいそうになる。妹の機転で、逆に魔女を殺し、二人は家に逃げ帰る。

まあ、こんな話です。陰惨な現実と、楽天的なファンタスィの部分が、際立って存在している。おとぎ話というやつは、だいたいにおいて陰惨な雰囲気を持っているものだけれども、「ヘンゼルとグレーテル」というお話は、中でも、嫌な感じを与えるものの部類に属する。

この程度のことは、これまた、誰でも知っている筈のことです。そこで、大友克洋が、この「ヘンゼルとグレーテル」を取り上げたとしても、それほど意外ではない。大友克洋の作品には、いつも、おとぎ話のような暗さが含まれている。突然、思い当って、嫌になるなあという不気味さが潜んでいる。たぶん、「ヘンゼルとグレーテル」をそのまま、なぞっても、十分に大友克洋的でありうるだろうと思うわけですね。

去年のまだまだあつくて、いやだなあ、と思う頃に、大友克洋の「ヘンゼルとグレーテル」を読んだ。骨格は、オリジナルと変りはしない。ただ、おとぎ話を、同時代に聴かされているという感じがする。つまり、ファンタスィの部分が切り落とされている。とまあこういう感じです。楽天的な部分は、彼の絵そのものが、代弁している。なるほど、なるほど大友克洋だなあ、と、こう納得してしまうのですね。ところが、突如として、その納得が、すっとんでしまうカットがあらわれた。魔女に捕まって、檻に閉じ込められた兄さんの足を、魔女が切ってしまうのです。チョッキン！と。

こ、これはすごい。あせるわけですね。この足を切ってしまった瞬間から、大友克洋は、自分の「ヘンゼルとグレーテル」を描きはじめる。おとぎ話が、大友克洋的である以上に、この物語は、大友克洋そのものになっていくわけ。

大友克洋の作品には、いつも、論理がある。この人は、明らかに知的な作家です。それは、映画や写真でしか知らぬニューヨークを、いか

〈ヘンゼルとグレーテル〉
増刊ヤングコミック8月20日号

にもありそうに描きうるほどに、頭の中で見てしまうことからも、わかる。肉体や経験を越えてしまう。情報を、頭の中で、見事に処理してのけるのです。どこに行かなくとも、何も体験せずとも、虚構から、虚構を造りうることができる。しかも、おそろしく現実に近いと感じさせる虚構を、大友克洋は、造ることができるのを示している。

「ヘンゼルとグレーテル」の足切りのカットに、こだわるのは、それがそのまま、そうした大友克洋の世界の構造であると思えるからです。

突拍子もないように思えるにもかかわらず、これは、実に論理的な行為でさえある。捕われた者の足を切ってしまうというのは、相手の逃亡の手段を、根源から断つという意味で、絶対的な解決法であるにちがいない。トイレの臭いは、もとから断たなきゃ、駄目、なのです。しかも、太らせてから食うという魔女の目的にも、かなっている。

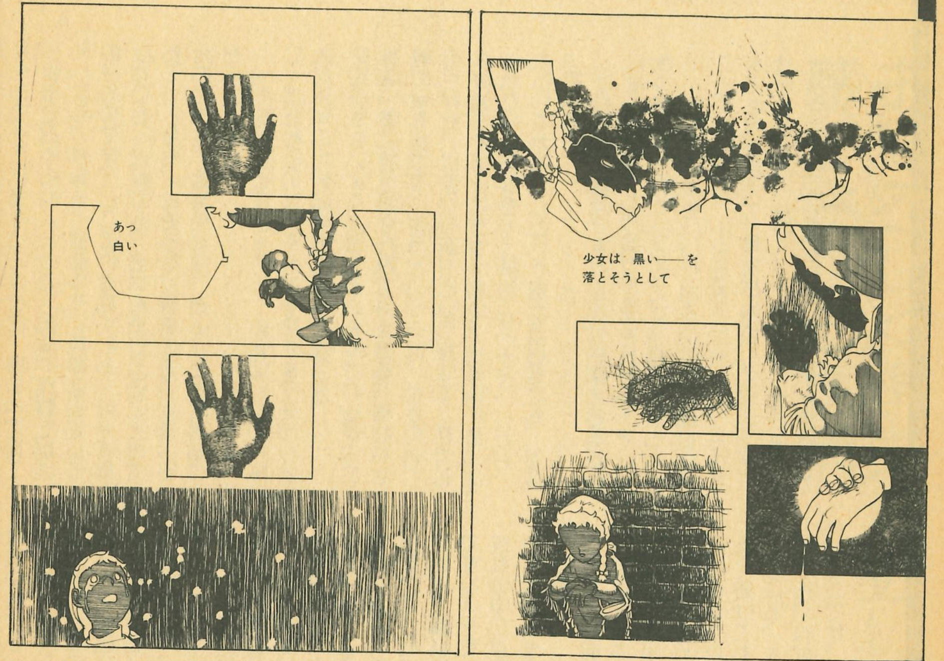
けれども、実は、それと同じ結果を得るためには、他に幾つも方法がある。それがここでは、まったく省かれているのです。縄でしばるもいい、鎖でつなぐもいい、あるいは檻に閉じ込めておくだけでも、十分な筈。けれども、そのすべてを飛び越えて、最も根元的であり、同時に、極端なところへ結びついてしまう、実にそれが大友克洋の作品そのものではないかと思うのです。

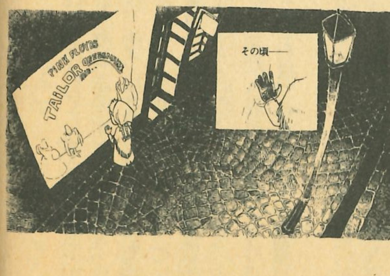
檻の外にはみ出してしまった足と同じように、常識の檻から、一歩、踏み出してしまう。そこで、チョッキンと、切られてしまうのではないか、という不安が大友克洋の作品にはある。大友克洋の作品には、そうした瞬間が、いつも用意されている。しかも、さあ、驚かすぞ、という形ではなく、至極、当然と思える論理の延長上に、それが待ち受けている。ふっと、アラバールやイヨネスコといった人たちを連想したりするのですがね、ま、これはこちらの勝手な連想。下品ですな。

けれども、たぶん、そうした連想をしたくなるようなところが、大友克洋にはある。大友克洋が、現在、やけに、評論家やマニアにうけているのは、彼について何か言いたくなる、あるいは何か言い易いというところがあるからなのですね。それは悪いことではない。すでに他の作家の中に存在し、すでに言われてしまったことではないものが、大友克洋にはあるということだから。

ただ、評論家好みとか、マニア好みという感じが強くなってしまうと、これは妙にいじましくなる。作品そのものではなく、状況が、そう感じさせてしまう。それは大友克洋の問題ではないのだけれども、そうした状態になるのだけは、避けてもらいたい。こう思うのです。そのためにも、大友克洋の作品は、多くの人に読んでもらわねばならないのだし、それが重要なことなのです。この優れた作家を、マニアだけのものにしとく手はない。

雪降る聖夜、外国のとある街。黒人の少女はマッチを売って歩いている。貧しさゆえ、靴もはかずに裸足のままで…。家では空腹の弟たちが待っているから、マッチを売るまで帰れない。暖かい部屋の中での、晩餐を窓からのぞき見る少女。一人、教会で神様に祈る。





処女作

ダイジェスト版

マッチ売りの少女

大友克洋

1971.12.30制作

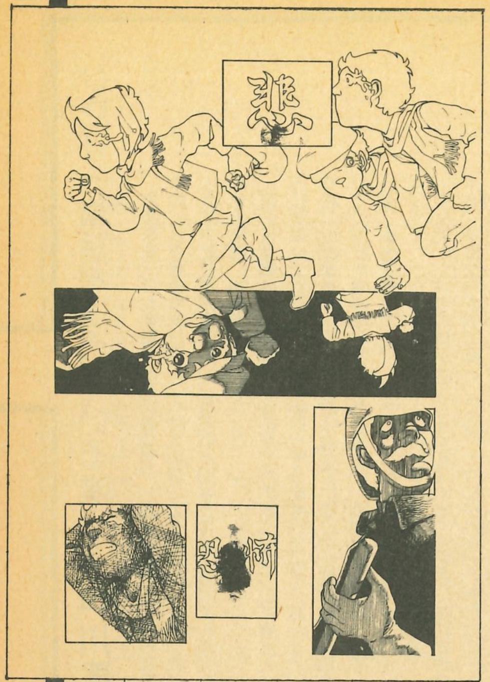
このニグロめ ただじゃおかないぞ だから黒は好かんのだ── 心の中までまっくろ

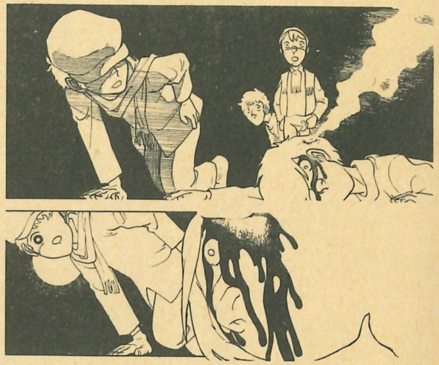
黒人ゆえ、誤解され追われた少女は、一人の不良少年に助けられる。貧苦の中でも逞しく生きる少年。

「なんだお前 ハダシじゃないか きたねえけどこれ、はいて見りゃああったけえさ」

少年は少女に自分のはいていた靴下を渡す。無言の少女。

少年は仲間とニワトリを盗みに出かける。しかし、仲間の一人は野犬と間違がわれ、撃ち殺される。残りの仲間も警官に捕り、少年一人が逃げのびる。

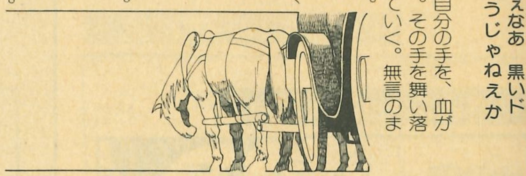




「ちっきたねえなあ 黒いドロがついちまうじゃねえか」

傷心の少女は自分の手を、血が出るまでこする。その手を舞い落ちる雪が白くしていく。無言のまま涙を流す少女。

酔っぱらいにからまれ、雪の上に倒れた少女は、ふと、道端に捨てられた人形に気づく。手足がもげ、汚れた人形…。人形をおうと、道を渡ろうとする少女。疾走してくる馬車。飛び散るマッチ……。その時、少女の見たものは……。



白い大きな家 大きくてうまそうなケーキ 七面鳥 明るい光 あったかいペチカ きれいな服。その時、少女の見たものは……。切られたあやつりの糸、解放された自由な気分。そこに、少年が通りかかる。少年の脳裡を撃たれた仲間、捕った仲間、倒れた少女が駆けめぐる。涙のない悲しみ。少年は大声で叫けびながら走る。少女は死んだ。あやつりの糸が切れ、幸せに死んだ。

ひたすら電話を待っている僕

戸川匡

大友克洋のことを書くことになった。一応、引き受けてはみたものの、いざ書こうとして、これは大変なことを承知してしまったことを知った。何も書けない。すでに〆切はとっくに過ぎていて、言訳も出来ない、後悔も遅い。

第一、今僕は（私事でいかんのだが）大友克洋について書くどころじゃないのである。彼女にふられそうになっていて、なんとかして思いとどまらせようとやっきになっているこの大切な時に、心乱れて、大友克洋論なんてとてもじゃない。此頃の女の子はおそろしいよ。本当にそう思う。

だいたい、大友克洋に出てくる女の子たちからして、あのあざやかさ。彼女たちを見てると、こういう女の子たちが、今の女の子たちなんだな、きっと、と思ったりする。

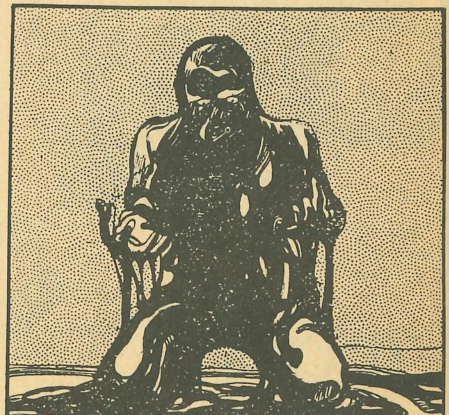
ずっと昔、僕に小指一本立てて見せ、「コレはいるか？」と聞く男がいた。つまり彼女はいるか？ということなんだが、この男の表現にはもう少し他の意味がくっついていて、結局もう女とSEXはしたのか？ということらしいのだ。よくあるポーズで、そうやってよく聞かれるものだ。簡単。小指一本で、恋人とSEXをいっしょくたに表現してしまう。SEXさえしちまえば恋人だとか「オレの女」だとか言ってるようなもので（つまり「オンナナンテヤッチマエバ、コッチノモノダ」というやつだ。）本当はなかなかそんな簡単なものじゃないやね。

大友克洋の作品に「犯す」っていうのがある。この話、ある若い男が女子高校生を部屋に連れ込んで犯そうとするけど、うまくいかないで、逆に女の子にバカにされるというもの。実はこの女の子、とっくの昔に処女でも何でもなかった。ところが男の方は、処女だと見込んでいた訳で、それならば恥ずかしがって警察にも届けないだろうと踏んでいたのだ。しかし、その企てもむなしく、刑務所でマスでもかいてろという強烈な女の子の罵声。思わずカッとなって思わず女の子を絞め殺そうとするが、男に人殺しなんてできやしない。てめーなんかに人が殺せるもんかと、再び女の子にバカにされつつこの話は終ってしまう。これを読んだら僕なんて男の方に同情しちゃうよね。結局、この男は女の子の服をやぶいただけで何もしないで終っちまったのだし、このあと、刑務所行となったに違いない。だけど、たとえ男が、この女の子を犯したとしても、女の子は「犯され」はしなかっただろうと思う。この女の子の場合はね。犯す、犯されるという悪と聖の図式がこういうふうにくずれ、何も「犯す」ことはできないんだろうと思う。犯そうとしても犯せない男と犯されても犯せない女。

大友克洋の作品に出てくる、たいしてとりえらしいとりえのない、それに恐しくツキのない僕みたいな男ドモと較べ、女の子のなんてイキイキとした、あざやかなことよ。一歩すすんでいるという感じです。「SO－WHAT」の女の子の、涙を浮べて頑張ってる顔を見ると、男の子は手がだせないだろう。男の子が好きでSEXをする女の子。女の子が好きでSEXをする男の子。あなたのわたし、わたしのあなたとは言いやしない。そういう幻想を離れて、いやがうえにも、ひとりであることを知る他ないんだろうと思う。むろん、小指一本で男の所有物にされるなんてスゴイことはすでにありそうもない。そんな女の子たちを描いていく大友克洋という人がいて、よかったと思ったよ。女の子をこういうふうに描くというのは、考えてみれば、今までにだってそんなに多かった訳じゃない。今、こういう女の子たちがいっぱいいて、女の子はおそろしくなったんだと、そう思えて仕方ない。

さて、一方ふられそうになった僕は、彼女の電話を待っている。小指一本で所有権を主張した訳ではむろんないよ。それなのに「ぱふ」から原稿催促の電話だ。えーい、いまいましい。

㊴ MINER SWING

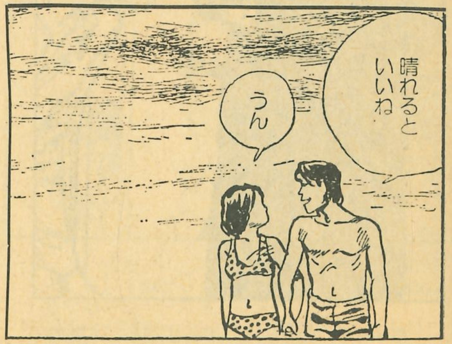


夜釣りに出て転覆し、コールタール状に黒く淀んだ海に一人漂う主人公。陸地に向って泳ぎ始めた彼を待っていたのは皮肉な、そして残酷な結末。現実を丸ごと飲み込んで、さらに幻想味をも加味したブラックユーモアの逸品。

㊵ さよならにっぽん Ⅱ

ランニング中の先生と弟子は、黒人４人組に襲われている白人娘を救う。それ以来女に狂い始めた先生は売春宿へ行くが、そこで彼女と出会う。互いに相手の現実を知り失望する２人。しかし、黒人達に仕返しをされた先生が見つけた物は、彼女に貸した道着―そしてそれには日の丸が縫い付けられていた。

㊶ GOOD WEATHER



夏も終りに近づいて、海水浴場にも人影はほとんど無い。台風の影響で天気も最悪。海の家でバイトするよっちゃんはお客を呼び込もうと必死の思い。雇い主の不良息子や新婚旅行の若いカップルの登場につれて、やがて台風はそれて、陽の光が海辺を照らすのだった。

㊷ さよならにっぽん Ⅲ

英語がまったくできない日本人旅行者。迷い子にはなるし、麻薬捜査官をチンピラと間違えてカメラやバックを置いて来てしまうし、あげくの果てにカラテの先生に麻薬捜査の邪魔をさせてしまう話。

大友克洋の仕事

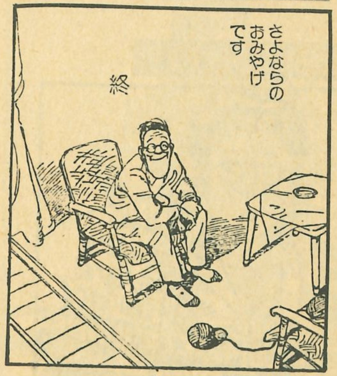
43 GOOD WEATHER

模型店で、貸本店も営む久保田のおじちゃんと、そこの常連である、小学生の姉弟、作家志望の芥山さん、京塚昌子みたいな田中のおばちゃん。この５人が織りなす極めて日常的な、ほのぼのとした世界。各人各様の想いを乗せて、おじちゃんが飛ばした模型飛行機は風に乗って舞い上がる。高く、高く……

44 さよならにっぽん Ⅳ

先生のゲタが飛んでいったのが、元グループサウンズのミュージシャン。彼はニューヨークまでオーディションを受けに来たのだ。当然ながらオーディションに合格せず、ニューヨークを後にし、何処かへと旅立つ。そして先生はマリファナと酒でバイトに行きそこねてしまった。

45 さよならのおみやげ

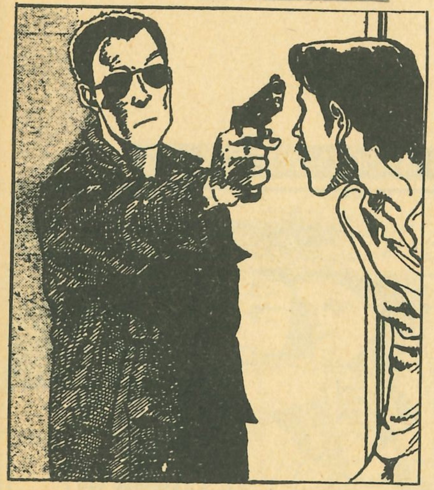


人員整理で退職させられた課長さんが企てた計画殺人は、彼に辛くあたった人々を巻き込んでまんまと成功する。人柄も良く、妻想いの彼が、計画を実行に移した動機はいったい何だったのだろう…？それは、自分が早く死んでしまった後に残された妻への〝さよならのおみやげ〟やさしさを主体にしたサスペンス・ロマン。

46 さよならにっぽん Ⅴ

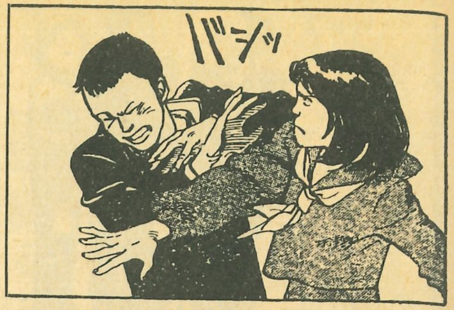
タイ焼き屋とブリッツェル屋の凄まじいタダ食い戦争。互いに30個食べればタダになるという宣伝文句、いかにして食うか、食われずに済ませるかという話。タイヤキ30個に挑戦する先生に対し、ブリッツェルに挑むのがハーバード出の大男。何故彼がまともに就職しないのかと言うと、実は彼はホモだったのだ。

47 トウキョウ　チャンポン



首領を殺った！　そこから生ずる二大勢力の抗争を隠れミノに、組の金を奪ってドロンする…とたくらんだのが主人公のマットーの政こと松堂。チンピラヤクザの安と組んで一世一代の大仕事に賭ける松堂。圧巻は、クライマックスの狂気をはらんだ殺戮シーン。映画『タクシー・ドライバー』を思わせる。

48 SOWHAT



ロック演奏に夢中になる、地方高校生４人組の行動をスケッチ風に活写した作品。飲み会シーンや、ラスト、主人公の家出のシーン等リアルで、さわやかだ。

49 つやのあとさき

師匠に「おめェの女ァ艶がなくていけねェよ」と言われて、艶修行を始めた若い噺家だったが、今時なまじ女よりオカマの方が艶っぽい。オカマ二人に弟子入りした彼が苦労の末得た物は、ただの切れ痔だけ。噺家言葉も粋な、ペーソス溢れる作品。

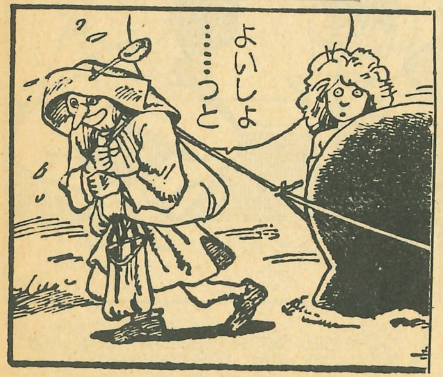
50 愛の街角２丁目３番地

…というタイトルとは無関係に繰り展げられる、コジキ集団ＶＳオカマ連合の抗争が展開されるドタバタコメディー。
「あ〰〰つう〰〰つ」しか話せないコジキが登場するかと思えば「影の総理」なるコジキの親分がいたりして、飛びかうパロディが楽しい。以下、コジキ達の会話引用…「菊千代がやられたぞ」「あっ勝四郎だ」　名作『七人の侍』のパロディまで飛び出すモノ凄さ。敵対する２組が現代社会のアウト・サイダー達なのが興味深い。

51 遠い祭り

艦砲射撃を浴びて燃える、夜の海岸線。そして、夜空に拡がる沢山の花火。若き日、初めての戦闘の夜に見た光景と、幼い頃の祭りの想い出は、微妙に交錯し老人の心の襞の奥深くに鮮烈な、ある意味では特殊な想いとなって焼きついていた。南の無人島に、旧日本軍の戦車や砲台の残骸や、野ざらしの遺骨を見つけた時、その想いは現実世界を覆い尽した。同伴した、いたって平凡な若者たちは、錆びついた、ヘルメットと銃剣で武装した老人に襲撃される。遠い日の夢に憑かれた老人は、何も知らない若者を相手に、たった一人の戦争を始めたのだ…。

52 ヘンゼルとグレーテル



釜に突き落とした、オズの魔法使いの案山子風魔女までムサボリ喰っちまう空恐しい欠食兄妹が、お馴染みの名作童話をベースに展開するブラック・メルヘンの世界。

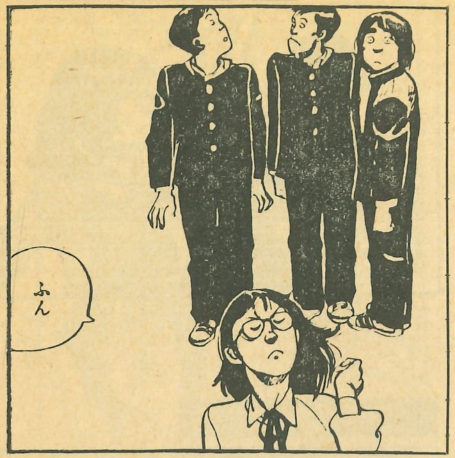
53 大麻境

西陽が、めいっぱい射し込む安アパートで、大学生活最後の夏休みを過ごしていた情な〜い三人組の元へ、これ又かなりイイカゲンな先輩が持ち込んだウマイ話とは!? たった1枚の大麻の葉っぱに踊らされ、大麻境を探すためにアパートの畳を質に入れて旅に出る三人組。彼らのそれぞれの狙いは…大麻→カネ、大麻→トルコ、大麻→駅前の上天丼!! さて彼らの行手に待つ物は、カネか、トルコか天丼か…!?

54 家族

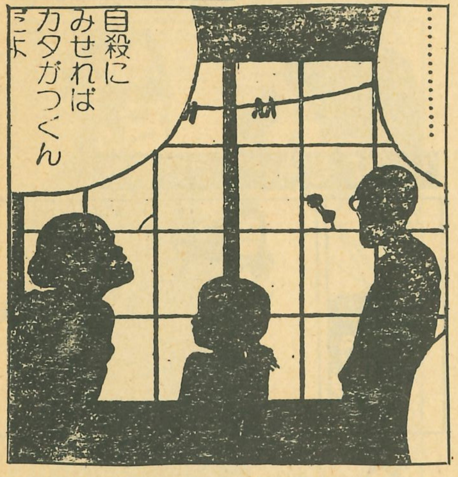
サラ金地獄に追われて一家心中を決意した家族の心中行。結局、宿屋で決行寸前に母親が産気づいて、心中は未遂に終わるのだが、産婦人科のイスに座った父と、その横で飲み下しかけた睡眠薬をゲエゲエ吐いている幼い長女の所に、産声が聞こえてくるラストは救い難い。

55 任侠シネマクラブ



映画研究部の活動では飽きたらず、自分たちでブルー・フィルムを制作しようと企んだ高校生三人組。脇を固めるのは、同じ映研の和製ウェルトミュラー女史や、当年とって45才本番の相手役ささえちゃん等々。にっかつ映画『高校エロトピア・赤い制服（何ちゅータイトルじゃ）』の原作…ウッ!

56 あしたの約束



非人間的な父親を、同じアパートの老夫婦2組の力を借りて殺害した幼い姉弟。そして、不可解な殺人事件を追う2人の刑事。この作品に於いても殺意の裏側にあるのは、老人たちのやさしさであり、姉弟の笑顔である。そして、その老人たちのやさしさは、やがて第二の殺人事件へと発展してゆく。

57 カツ丼

何とも得体の知れない奇妙な物語。主人公根本が住んでいるアパートで、住人の田中正雄が自殺するが、その動機は一向に分からない。その原因と、同じくアパートの住人だが、食堂で「カツ丼…」と注文する以外誰とも口をきかない極端にシャイな男との関わり合いは……? "カツ丼" が田中正雄の霊魂を口寄せで呼び出すシーンは傑作。

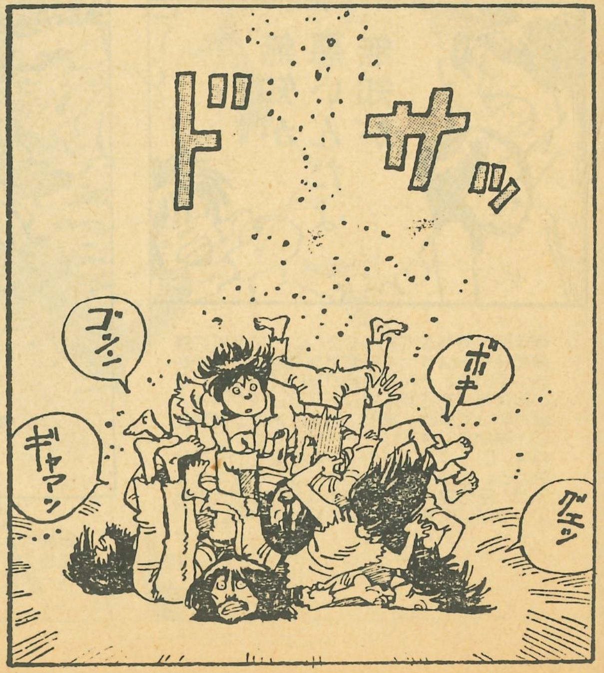
58 信長戦記

「静岡県を明け渡し独立国として治外法権を認めよ」強制執行の対象となっている城の主から文書が政府に届く。その城主の名は何と織田信長! 騎馬武者によって編成された信長軍は静岡県を征圧。はたして、信長とは天才か狂人か、そしてその正体は?

60 64 SPACE GODZILLA

九十九里浜にうち上げられたゴジラ。人間はゴジラとその幼児をゴジラ星に送り返す。ゴジラ星はスネソア人によって征服されていた。ゴジラ族とスネソア人との死闘、そしてゴジラ星の解放…。原案大林宣彦、石上三登志。大友克洋はカラーイラストのみ担当。

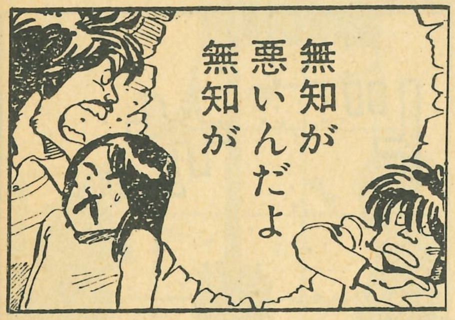
61 HAIR



戦争も病気もなく一年中理想的気候の未来都市に、1970年代のロックゼネレーションを真似た長髪のヘアーと呼ばれる集団がいた。「太古の息吹き」を呼ぼうとする長老の下に彼らと、彼らを掃除しようとする警察との闘争が、警察課長の家出息子を中心にコミカル に展開される。Fire-Ball と好対照の、とっても軽るーいSF。

大友克洋の仕事

66 67 68 69 聖者が町にやって来る!!



青年時代情熱家で知られたレコード会社の斎藤部長も今はすっかり覇気をなくした生活を送っている。そんな時彼が昔レコーディングの約束をした往年の名ジャズプレーヤー４人組がやって来た。彼らの日本における珍騒動に、親父のコネでレコードを出す女ノコ、うれないロックバンドのドジな行動をからませながら、とっくに過去の人になったはずの４人が、自分達の方向を変えながらも現代をせいいっぱい生きているのを描いている。

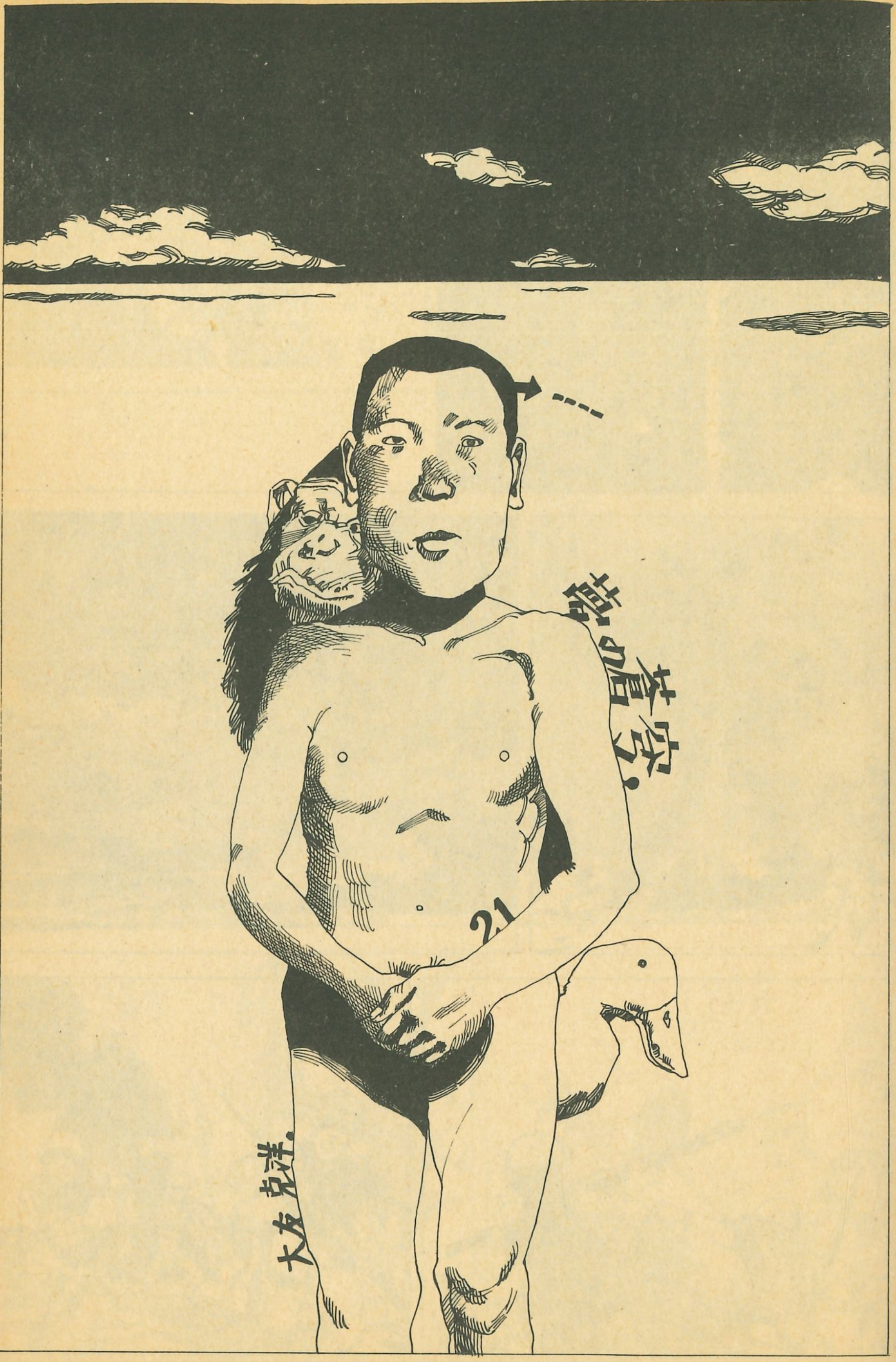
62 Eest Of The Sun, West Of The Moon.

売れないロックバンドの３人は、ツケの代償に飲み屋のおばちゃんの唄のバックを務める事になる。実は、おばちゃんはかつての花形歌手であり、コンサートは昔馴じみの同窓会だった。大友克洋独特の、思い出を持った老人達を描いた作品。

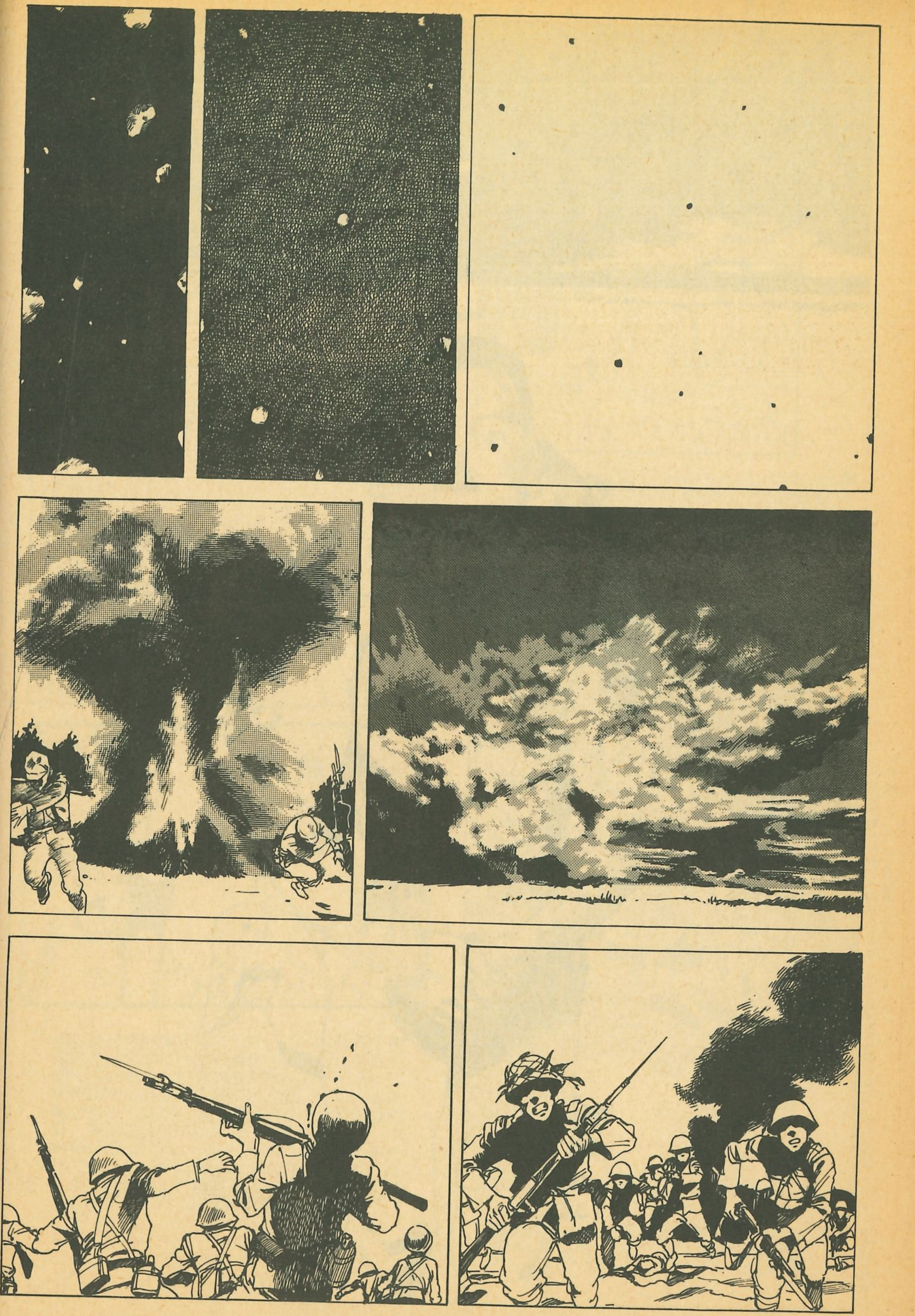
63 65 70 71 大友克洋の栄養満点

見開き２ページの空間で演じられる大友克洋独特のホントニオモシロい不思議なお話。スペースは小さいけれどカロリーは最高級！

■夢に見た蒼い空 そこはいまではなかった……■



この作品は増刊漫画アクション'77年1月7日号に掲載されたもので漫画アクション編集部（双葉社）の好意によってここに再録させてもらいました。



突撃!
それーっ
行けーっ
わーっ
やーっ
ふう
冗談じゃ
ねーや弾よけも
ねー所なんか進
めるかよ

貴様らーっ
何をしてるーっ
戦闘中だぞ
軍法会議
もの……
わあっ
フッ
大丈夫でありますか
中尉殿
大丈夫だ
そんな事より
早く
行け
あの
衛生兵を……
いらん！！
突撃しろっ

そりゃあ
はっ
終ったのかな……
わっ
？
？

ふう
びっくり
した
きさまらー
敵前逃亡だぞ
分かってるんだろーな
そんな
狙い撃ちですよ
出たら
一発だ
きつさつまあ
命令はな
突撃だぞ
それを…
はいっ
すみませんで
ありました
山野二等兵
突撃
するで
あります
ようし
死んで来い
ドンドッドンドッ

シーーン
突撃命令
から五分も
経っとらんぞ
味方ばどうした
くそっ
敵も見えんが
生きてる味方
も見えないな
バァッ
ドンドッドンドンドッ
あそこに
味方が一人

全滅だ
…五分で
馬鹿者！
まだ我々が
いるっ！
我々って
……あの
三人ですよ
この高地は
どーしても
死守せねば
ならんのだ
無理
です
中尉殿
うるさい
出来ン事は
無い！
後続部隊も
ああ
後続部隊が
来るんですか
ホッ
……
うーん
多分
た・ぶ・ん

必ず
来るだろう
後続部隊が
着く迄は
此処を
死守する
いいな
は・いっ
はい
何だその態度は
山野お前は
敵を見張ってろ
まったく
貴様等は
なっとらん
帰ったら
軍法会議だ
自分は
敵を見張る
であります
あの
中尉殿……
……
何だ
あっ
いい天気
何だと
糞を
たれたいーっ

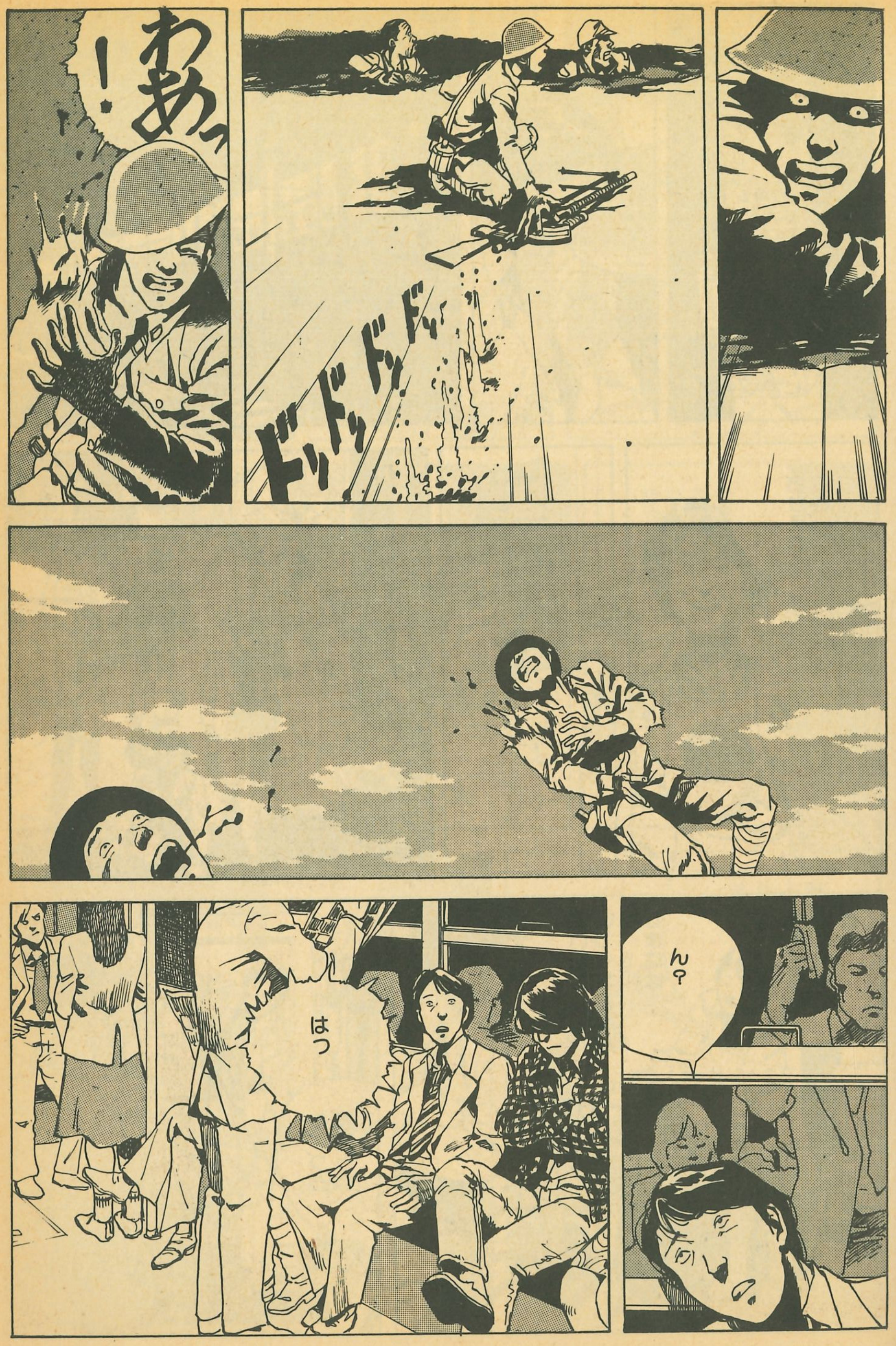
ふざけるな！
戦闘中だぞ
戦友が死んでいると言うのに
でっでも…
我慢せえ我慢を
ブッ
?
ブリッ
ブリッ
ブリッ
静かにやらんか
静かに
ビビッ
ぶりぶりっ
ブッ
ドバッ
すっすみません……

ドドッドドッ
うわーっ
バカ
見ろ
機関銃でも撃ったと思ったんでしょうか
はっはまったく
敵にもそそっかしいのがいますね
戦闘中に糞をするヤツなんぞ
敵もいないわっ
攻めて来る様子は見えません
とにかく我々が敵を食い止めているという事はいえる

こらっ ちゃんと 見張っと らんか
敵も小休止 じゃないですか
うむ
次は攻めて 来るぞ 準備しとけ
中尉殿 自分は あまり 弾を持って おりません
自分も であります

もう使わん ヤツらから もらえ
すまんな 仇は必ず ……
中尉殿 こいつらも あまり 持って いません
うむ
中尉殿
小銃が あります
何っ 小銃
欲しいな
遠いですよ 出たら一発だ
山野 行け

おい
山野
ん
ああ
分かってる
大丈夫
さ…多分
頼む
ぞ
よしっ
早く来い
！
ビシッ


ドッドッドッドッ
わあっ
！
ん?
はっ

ふっ
ズー…ッ
おかえり なさい
遅かったわね どーしたの
ちょっと 課長とね
遅い時は いつも課長さん ね
たまには 社長さんと でも飲ん だら

でも 変な夢ね 戦争なんて
うん 妙にリアルって 言うか真に迫る って 言うか ……
あなた のお父さん は戦争に 行ったの
でも 外地には 行かなかった らしいよ
あーん いやらしい
青空がね… とっても印象的 なんだよ うん
青空？
うん すごく青くて すごく高いん だ

そう言えば空が青いなんて事すっかり忘れてたわね
今日ね高沢さんからね……あなた
寝たの……
はっ
うっ
!!
山野気がついたか
此処は何処だ

どうだ戦えそうか
無理ですよ中尉殿かなり傷が深いようです
ああ……そうだったな
うっ
山野これを取れ
弾は三発! 二発は敵を殺す為
残りの一発はわかるな
生きて俘虜の恥しめを受ける様な事はするなよ

山野
待ってるぞ
おーいっ
おっ…ごほっ
?
おっおい

はっ
肺の中に
ちっ血が
入った
ぐっ!!
ごほっ
ゲボッ
ゴボッ
カチッ
カチッ
ゴホッ
ゲホッ
ゲホッ
…だっ
だれ…か
ゴホッ

ラブ・スケッチ　大友家の白い空間と時間

ペルシャとシャムの混血だけど、全体にブルーグレイの影がかかったかのような白ネコで、眼はブルー、生後2ヶ月ときたらこれはまさに「綿の国星」のチビ猫でしょ!?　そういうネコが大友克洋さんのお部屋に居るのです。

ふしぎにおちついたネコで、ちょっとからかったくらいでは容易に誘いにのって来ないのです。しばらくじっとながめていて、そろりと手を出してくるようすがなんともおっとりした貴婦人のようで、魅力的なネコです。つめもたてないし、しゃにむにつっかかってくるようすもない。かといってアホなわけでもない。育ちがよいのでしょう。ひとしきり私の相手をしてくれたのち、大友さんの仕事机のいすの下へ行って、そのネコは毛のかたまりと化して眠りこけるのでした。

奥さんの洋子さんとお話してみると、そのネコのおっとりしたふんいきがどこから来るものであるのかが即わかるような気がしました。洋子さんが笑うと、あたりを払うようなさわやかさがあります。インタビューは真崎さんにおまかせして、「綿の国星2」のコミックスを読んでいる洋子さんの顔をしばらくはうっとりとながめておりました。

大友克洋さんの作品には、おどろおどろしさのないかわいた恐ろしさがあるように思っていたので、インタビューするのが少しこわかったのだけれど、真崎さんがとてもすんなりと話を進めてくれるし、何よりも映画やマンガの話になると身をのりだして楽しそうに大友さんが話してくれるのでとても安心できました。

大友さんに聞いてみたかったのはただひとつ。原初の記憶、子供の頃にみた好きな風景は何だったのだろうということ。ちゃんとわかりきった上でのハードな世界の表現、という気がしてたから、もしかしたら樹々やせせらぎのことを話してくれるかもしれないという予感があったのだけれど、実際に大友さんの言葉に込められた内的風景の豊かさは想像以上のものでした。「森があって、樹がいっぱいあって、あそこへ行きたいなと思ってた。」と語るときの夢みるようにやわらかい表情はときたま出会うその人そのものの本質を一瞬漂わせるときのそれだ、と素直に納得でき、とても静かに感動してゆっくりと大きくひとつためいきをつきました。

そのやわらかさがストレートに作品にあらわれるようになるのかどうかは、大友さんの心のままに。どちらにしても私たちは幸福な読者であることに変わりはありません。

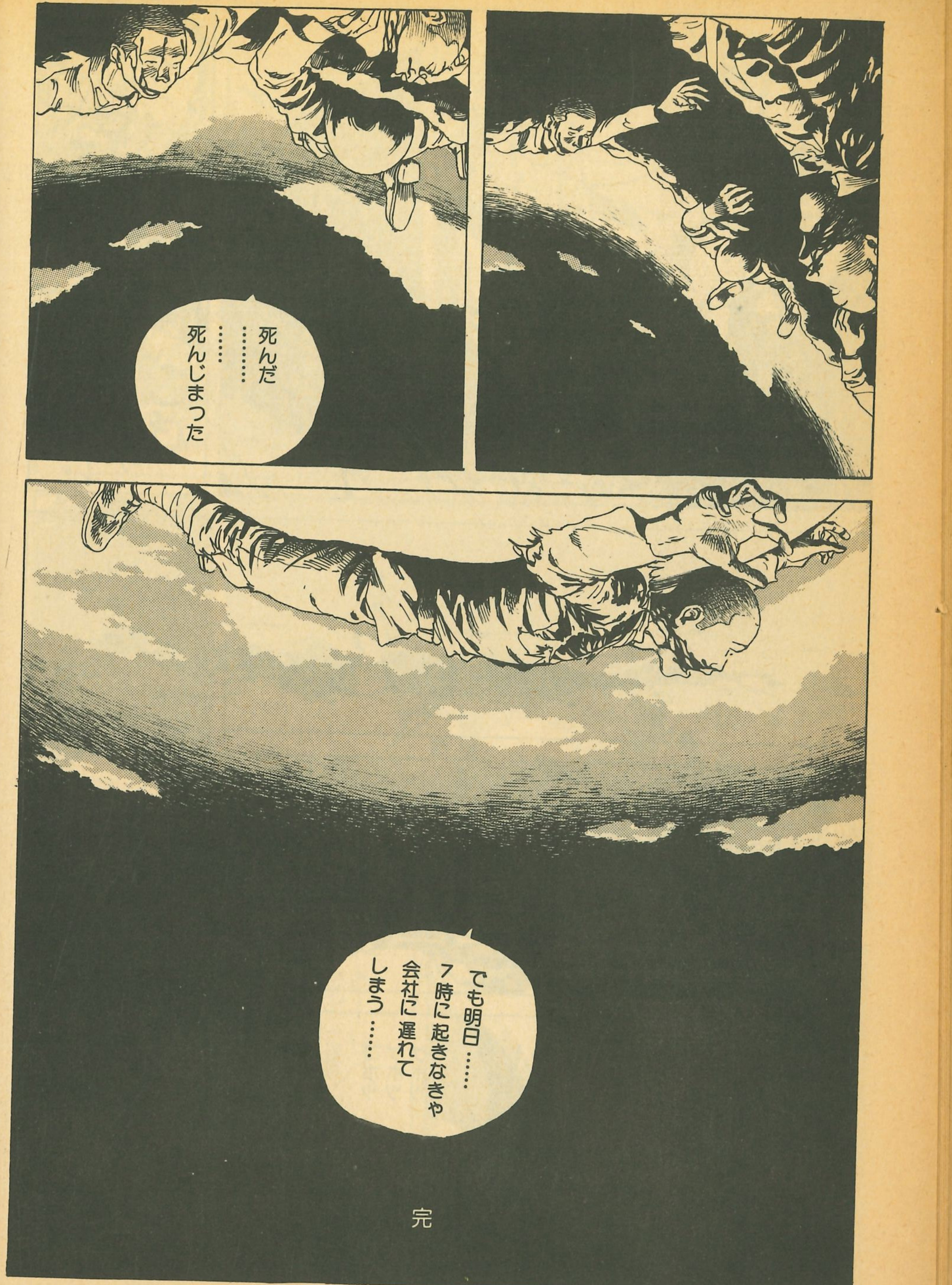
すてきな表情に出会えば、しあわせな気分になって、ヒラヒラふわふわしながら、さようなら。

矢野敬子

協力

真崎　守／蔵前仁一
久保田　滋／小川春樹
漫画アクション編集部
ロッキングオン編集部
月刊コミック・アゲイン
月刊スターログ
奇想天外社

どーもありがとう。



●梶井　純著
現代漫画の発掘
―マンガ状況の頽廃を衝くと同時に、マンガのおもしろさ・豊かさを力説した時評を中心に、戦後劇画史論、作家論（手塚・水木・つげ・かわぐち）を収めた第一級のマンガ研究書。
▽定価一三〇〇円・好評発売中！

●つげ義春・つげ忠男・他
夜行（やこう）第八巻
―つげ義春がはじめて試みるカラー作品「外のふくらみ」（18頁）、つげ忠男久々の力作（28頁）に、いしいひさいち、古川益三、鈴木翁二、さらに俊英・湊谷夢吉、菅野修、期待の大型新人・伊藤重夫を加えた豪華メンバー。長篇評論＝上野昂志・山根貞男・権藤晋。
▽定価一三〇〇円・好評発売中

限定版
つげ義春選集
第一巻＝「忍者絶命」「殺し屋」他　品切
第二巻＝「戦雲のかなたに」「賭け」　品切
第三巻＝「恐怖の灯台」「老人の背中」品切
第四巻＝「白面夜叉」「親分」他　品切
第五巻＝「暁の銃声」「戦国悲話」　品切
第六巻＝「愛の調べ」「地獄への招待」他　一七〇〇円
第七巻＝「幕末風雲伝」「非情」他　一七〇〇円
第八巻＝「剣心一路」「お化け煙突」「古本と少女」（予定）五月上旬刊。　一九〇〇円
▽限定一〇〇〇部（直接当書房にお申込みの方に限り著者署名本を頒布）。　一七〇〇円

●つげ義春新作集
夢の散歩
「夢の散歩」「義男の青春」「リアリズムの宿」「枯野の宿」等、島尾敏雄、鈴木志郎康氏ら推賞の〈夢〉の作品集!!
▽B5判箱入・定価二四〇〇円

●林静一劇画作品集Ⅰ
花の詩
「大道芸人」「花の詩」「黄金花粉」等、初期作品を収めた衝撃的作品集。
▽B5判箱入・定価一八〇〇円

●林静一劇画作品集Ⅱ
酔蝶花
「酔蝶花」「桃園トルコ」「鱗粉」等、新しい表現に挑んだ意欲的作品集。
▽B5判箱入・定価一八〇〇円

●つげ忠男名作選集
雨季
「屑の市」「雨季」「遠い夏の風景」他、戦後思想の到達点を開示した劇画の傑作。
▽A5判箱入・限定一〇〇〇部・二〇〇〇円

●かわぐちかいじ
風狂えれじい
「直次郎哀歌」「リルの面影」他四篇。
▽A5上製・定価七五〇円

●かわぐちかいじ
死風街
「流氓の街」「惰眠の街」「死風街」他三篇。
▽A5上製・定価六五〇円
※直接お申し込みの際は送料一〇〇円追加して下さい。

〒153東京都目黒区大橋一の四の一〇
振替・東京5―120453　TEL（461）6288
北冬（ほくとう）書房

手塚治虫作品集
6 ガムガムパンチ
10年以上前、小学1年生等に連載
されたあの懐しいガムガムパンチが
かえってきた

A５判上製箱入／予価6000円
６月末発売予定

発行　文民社
〒160　東京都新宿区高田馬場４－４－10
振替　東京７－７８４５９

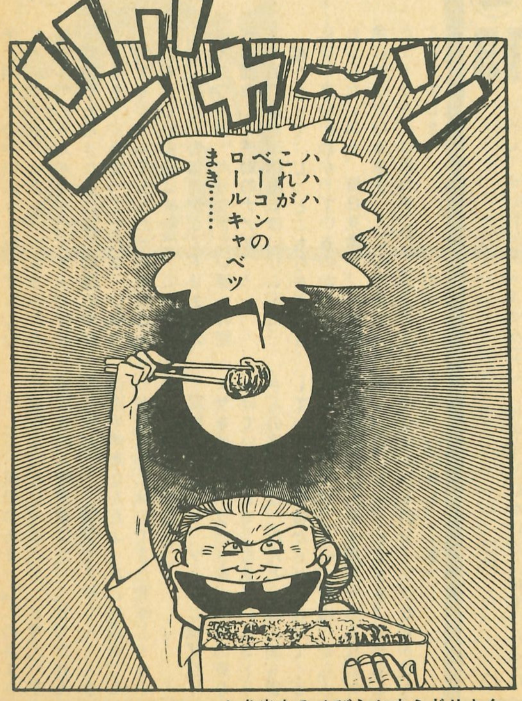
TOPIC MONTHLY

今月の話題作

ほんとうに人間を愛している人

途中下車（「垣根の魔女」第20話）
村野守美
ビッグ・コミック・オリジナル6月5日号

ミドリばあさんは今までの人生で、いくつの生と死にであってきたことだろう。人の力ではどうにもならない、ほんとに腹立たしいまでに悲しい出来事もくぐりぬけてきたはずだ。だからミドリさんは、あっけらかんとした笑顔で強引なまでに、



お弁当をみせびらかすミドリさん

今月の本欄執筆者（五十音順）
浅倉宏一　岩瀬桂子（桂）　志村葉子（葉）
鈴木香代子

母を見舞う息子の姿に思わず……

その明るさの中に人々をひきずりこむことができる。オテンバでちょっとイジワルでしたたかなオバーサンだけど、人間のひたむきな姿には、無限のやさしさをもって見守ってくれる。いや、一方でイジワルでしたたかだからこそ、そのやさしい部分は純粋で、いやみなどないのだ。表情豊かなミドリさんの、「イジワル顔」からやさしい顔への変化も面白くて感動的ナノダ。

今回、彼女は病院にはいりこんだ。寝たきりで、じっとこちらを見る目には、自分がわかっているのかどうかわからない母を、毎日見舞い、一生懸命に呼びかける息子。うしろで見ていたミドリさんは思わず「わかってるよ」と答えてしまう。

そして、退屈のあまり「このままもう治らないんじゃないか」と考えだす歯医者の入院患者には、「甘ったれんなこりゃ……／病気で入院なんて人生の途中停車なんだよ。ひと休みさ。しっかり真剣に休んでまた発車じゃないか。」と、さとすのだ。

扉絵で、ツィッ、ツィッと飛び回りエサを巣に運ぶツバメを、病室の窓をあけていとおしそうに見ているミドリさんの姿からは、ほんとうに人間を愛しているひとの暖かさが伝わってくる。ツバメといえば、ものいわぬ母からふと目をそらした息子が見つめる窓の外を、一羽、ツィッとよぎるコマがある。このサイレントのシーンがなぜか切なくて、心に残る。（葉）

今月の鉄兵⑥

今月は、「今月」というよりも、16歳の女子高校生から観た鉄兵くん像のお話しであります。鉄兵くんは野性児であり、自由ホンポウであります。そして勝つために努力をしています。努力、ここです。鉄兵くんのすばらしさは…‼ 彼は努力しても、星飛雄馬ちっくではありません。努力が実って勝利を得ても、惜しくも敗れてしまっても、飛雄馬のようにゾーキンを絞ったごとくの涙なぞ決して流さないのです。「〇〇〇‼」と友人の名をわめいてひし！と抱きあうこともしません。健康的かつサワヤカ‼なのです。ちょっと話がワープしますが、近頃少年漫画の少女漫画化が言われております。（ここで元に戻る）鉄兵くんには少女漫画っぽさなぞキラとも無い。そして、それ由に鉄兵くんは鉄兵くんらしいんだ‼ 先月で「鉄兵くんをきちんと見ついてくれる女の子がいるんだきっと。」というのが載っておりましたが、鉄兵くんにG・Fなんて図はゾッとしませんねェ。もし出来るとしたら、おチャラさんですか？ そうすると「いらかの波」の渡くんと茜ちゃんになっちまう！ あ…話が段々四方に散ってゆく…。まったく、こんなワープしっ放しの文章、誰も読まないでェッ‼ 恥！恥！（…ここで冷静さをとり戻し）つまり、私は鉄兵くんにG・Fが出来ないで欲しいのっ‼ もしできるならアタシをしてェッ‼（あぁ、結局・薬局の郵便局で支離滅劣になってしまった＊）（こーいうものを私に書かせた〇△さんが悪い！）（読者様、ごめんねー‼）鉄兵くん愛してる‼

戸田 忍（16歳のおとめ）
〒174 東京都板橋区蓮根3—15—1の763

㊟えーと、今月は編集室にちょく、ちょくと遊びにくる元新聞部の「鬼編集長」こと戸田さんに書いてもらいました。「今月の鉄兵」村上知彦さんにつづくゲストのふたり目であります。鉄兵くん、本誌の方の活躍は、関東選手権大会、個人戦、ついに鉄兵くん準決勝でおおきな辻堂くんとの対決。菊地くん攻略のためにあみだしたぐるぐる戦法をしかけました。（マガジン27号）さあ、どうなるか？また菊地くんの反応は？

④ 今月のゴルゴ13

えーとっ、先月はトートツにお休みして申し訳けありませんでした。ただでさえ人気のないこのコーナーなのに、穴をあけてしまうなんて、本当、反省してます。

といいたいところだけど、原稿は書いたんですよ。それなのに校了寸前の編集部、渡したはずの原稿が紛失してしまっていたというのが、ことの真相です。別に悪評のために、自主的に休載したわけではないですから、ワーストにいつも挙げて下さる読者の皆さまには、さぞや不快なことでしょうが、もう少し書いちゃうもんね。

さてさて、前回、モンゴルはウランバートルに出現したゴルゴ13、世界を股にかける活躍で、今回はウルグアイに出没とはあいなりました。モンゴルでは、人民軍の長老を暗殺して、今回、南米では左翼の女性党主のボディ・ガードと、さすが超一流の狙撃者だけあって、イデオロギーなどには左右されぬクールなところが、現代的な設定なのでしょうが題材もアクチュアルなのに、もう一つ迫ってくるものがなくて、いつも弱ってしまう。

平均点ばかりというのも、面白くないっていい切ってしまうなんて、ぜいたくかな？

幸せに向ってふんばれ

クモ男フンばる！
柴門ふみ
少年マガジン6/20スペシャル増刊

クモ男、原田クン

いけない。私はすぐ気付いたもんだから（そうよ私は偉いのよ）、ギャグとしてシラケを口にされるたび、傷ついた気持ちになる。

さて文化祭で校舎の間にクモの巣をはる原田クングループの三男一女。原田クンが生身の体でロープのクモの巣をはるアイディアは、たとえ彼が下痢しちゃって失敗に終わっても、全校生徒の喝采に値するなと思った。ところが連中は、「ジュリーなみの器量と衣装がそろってれば♡ね　目立ってても許せるけど」である。なんと冷たい奴らだ。と私はフンガイし同情する。

ところがこの四人は「わたしたちだけで受賞式やりましょ！」となり『ささやかな極楽を見つけたり！』となる。全くしょげない。幸せだからだ。ハッピーエンドだ。大出世、大成功のあとの何となく虚しい気持ち、あれに比べれば。自分たちの幸せを、ちゃんと自分でふんばって切り開いているのだ。だから知足安分とも違う。

「原田クン」は柴門さんのお気に入りらしい。また会う日まで原田クン幸せでいて下さい。シラケなんていう「ただの言葉」に負けずに。（葉）

シラケというのは70年代の流行語で一番嫌いなものの一つだ。若者はシラケ世代と自称してるのではなく自称してることにされていることに気付いてなくちゃ

広がっちまった！

あんたとあたい　カマ道一直線前編
しらいしあい
ギャルズライフ7月号

戦争中、「デカイ」（どこがって、そう、そこです）相手とやったので「広がっちまった」（どこがって、あのねえからかわないでよ）どうしの男と女が出会い、結ばれる。女の方は米兵に犯されて広がったんだよ。これでもコメディだよ。堅い絵なのが強味なのかなあ。

我が身を嘆く釜三さん

まんが乱読 たちよみ寸評

モダンラヴァーズ　奥平良之　ガロ6月号幾何学模様とび散る画面は面白いけど、かんじんの「モダンラブ」があまりモダンでないみたい。／**伸助君のあるばいと　明石明**　ガロ6月号　全身の皮をむいた男なんて設定でおどかしといて笑わせる。役者ですなあ。／**がんばれ元気　小山ゆう**　少年サンデー26号'60年代末のアクションドラマみたいな女の子が出て来た。でも活発でホットで魅力的。／**まんが道　藤子不二雄**　少年キング27号　純情な満賀くんがかわいいので、結末はわかってる成功譚なのに、がんばってと応援したくなる。／**GO★シュート　みやたけし**　少年ジャンプ26号かわいい女の子に、ボールだのスクリューだのぶつけまくる。異色作だなあ。／**おしゃぶり右門捕物控　五月けんじ**　少年ジャンプ26号　一つ一つのギャグがおかしくて、人物がおかしくて、全体のストーリーもおかしい。ぜいたくなうれしい読み物だ。／**陽一さんのもしもし編集室　小松容子**　ロッキング・オン7月号　編集部内輪の話って最近多いけどやっぱおもしろい。ボーナスなんていいなあ。／**ちいさな春のささやき　たかや・なぎさ**　デラックスマーガレット7月号　まだ作者は中三なのに、こんなに人を楽しませる力を持ってる。どんな努力をしているのだろう。／**南風の中で　市川ジュン**　デラックスマーガレット7月号もう少し絵に立体感がほしいなあ。作者がはりきってる感じはビンビン伝わってくる。／**悪魔の花嫁　あしべゆうほ　原作・池田悦子**　プリンセス6月号　いつもながら、見事なドンデン返しの面白さ。／**イブの息子たち　青池保子**　プリンセス

そして女は子供を産むが、一緒にお釜、ビールびん、なべぶた、バセツ、雑布、たわし、電球（割れて大手術って例があるのに――うう、何のことだ？）、バナナ（！）二本が出て来た。あんまりでかいんで、いつのまにか入ってたんだって。うう。男をおちょくってるうちは安心して楽しめた。女の作者が、女までおちょくっていいのか。堅い絵だからいいのだ。人妻だからいいのだ。版元は主婦の友社だ。（コレは匿名原稿にする！私のイメージがこわれる）

運命の手をふりきって

ワイルド7（セブン）

望月三起也＆カエルぷろ

少年キング27号（29号まで連載）

今回、「運命」ということばがキーワードになっている。秘熊一味に追われる飛葉たちが、不敵な笑顔でかわした会話の中でオヤブンは、「運命は我々に永久の命を与えてんのさ」と言った。しかしオヤブンはその永久の命を放棄する。

一同は登山電車で脱出しようとするが、誰かが残って動かさなくてはならない。オヤブンは折しも飛んできた銃弾に倒れるふりをして、胸を撃たれた、もう長いことないからと言ってひとり残る。

両国「運命は（残る者を）オヤブンと決めてしまったが」

飛葉「運命じゃねえ!!／オヤブンはてめえで決めたんだ」

運命のせいでないと認めてしまうのはとても苦しいことのはずだ。そしてワイルド7の戦いも死も、運命の手をふりきるところから始まっていたのではないだろうか。

あと二週で完結する「ワイルド7」（本誌が出る頃にはもう終わっている）、次々に仲間が死んでいくのでやりきれない気持ちもあるが、自分の生と死にたちむかう男たちの姿は、目に焼きつけておきたい。（葉）

脱出を企る飛葉たち

6月号　さあ戦車が出て来た。役者はそろったぞ。／**ぼくの心はハレーション**　**西尚美**　少女フレンド12号　面白くなった。目が優しくなった。／**これからの人生**　**ケン吉**　JUNE6月号　またヘルムート・ベルガー様をコケにしたのね！／**パパって呼ばせて**　**岡元あつこ**　プチコミック7月号　どシリアスな話をなんともすっとぼけて書いている。不思議な面白さだ。

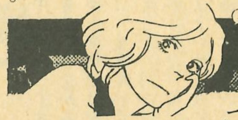
恋はくいしんぼう　くれやまさちこ

花とゆめ

この作品は、今までの乙女ちっくまんがと著しく違った観点で書かれています。それはなぜかと言えば、この主人公が太った女の子だということです。今までの作品の中にも太った女の子が幸せになる話はありました。でも、その子たちはことごとく脇役だったのです。また、ブスな女の子が主人公の話もありました。でもその子たちはことごとく、スタイルだけはよかったのです。スタイルが悪い場合はみな、やせすぎを気にしているのよね。（その上、ブスという設定でも、たいていかわいい顔に書かれているのです）それはなぜでしょう？　それはやっぱり、絵で太った人間を書くと、どうしても醜悪な漫画になってしまうからでしょう。乙女ちっくマンガの中で、醜悪なコマが入ることは、絶対に禁物なのです。ところが、この作者はその壁に、かん然と立ち向かっているのです。特に美容体操のシーンなどでは、主人公は〃ももんがあ〃〃ふんがちっち〃などとかけ声をかけつつ、自分の醜さをさらけ出しているのです。そして、苦労の末、やせて美しく変身した主人公が、結局はまた元の太った姿に戻ることにするというのですから、なんというたくましさでしょう！　そして、このような筋にもかかわらず主人公が異常にハンサムな青年と結ばれて終わるという型どおりの乙女ちっくまんがとして、堂々と終わらせているところに、この作品と作者の偉大さがあると思いませんか？　最後に、この作品がたったの8ページしかないということをつけ加えて。

（浅倉宏一）

早稲田おしめちっくクラブ会員



読者に返事する文珠

カサカサ日溜町の奇妙な安心感

宇宙をつくるオトコ

倉多江美

マンガ少年6月号①　7月号②

実は、私も「エスの解放」という倉多江美の前作品には、うーと頭をカカエコンデしまった口なんだけど、今回少々安心したんだ。（といったって、「エスの解放」の流れはけっして途絶えたわけじゃないんだけどね。）つまり、倉多江美の主人公達にド・シリアスな眼差されたり、背景にクネクネ苦悩曲線が出現しちゃったりするとどうしていいかわかんなくなってしまうんだ。やっぱし「ン!?」とか「ふっ★」「はっ!!」てな乾いた音やあの崩れた顔が欲しいわけで……。むろん彼女の内部ではその両方がうまくバランスがとれているんだろうけど。まあ、どうも自分が水浸しでなんにでも感動しすぎっちゃったりとか、妙にずぶずぶの優しさなんてものに足とられたりしてると、うん、うらやましいんだよね。スワッチと綱渡りしてるようにみえる人が。せめてあなたくらいはそうやっててほしいてのは私の我儘かなぁなぞと思ったりして。

ところでこの作品、二回じゃなにもいえないけど、線は増々簡略化、絵がカサコソとインクの水分が足りんのかしらと思うほど。しかし日溜町で展開されるこの物語、宇宙つくるオトコ日和、ブスのカネコ（いいんだよねこの子。）空の卵を生むニワトリ、オオカバ（オオカミとカバの間の子）うれしくなるんだ。それに主人公の文珠って男の子、読者の視線に向って「ン★」て返事するんだよ。そんなわけで肩の力を抜くってことと、個人のミクロコスモスの形成とは全く別のことだと思うんだ。別にいわなくってもいいことだけどさ。（桂）

歴史ロマンの喜び

海のオーロラ　第二部

里中満智子

週刊少女フレンド13号（連載中）

「海のオーロラ」は、前世の記憶を持つ男レイと女ルツが、時を経て空間を越えて愛しあう話である。第二部でレイが流れついたのはどうやら古代の日本らしい。すでに文字を持つ大陸から来たレイが、「字」を書いてみせ、それが何なのかを島国日本のルツが感じとっていくくだりは、わくわくさせられた。歴史を知るよろこびって、こういう想像がうまれるところにあるのだ。

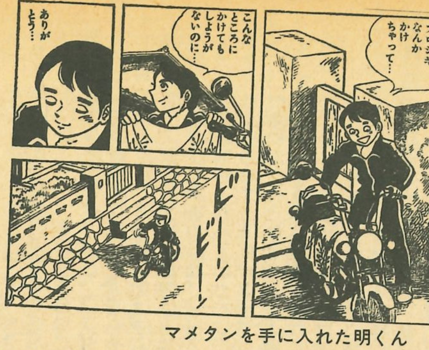
それから、レイを慕う二人の娘ルツとモエの、愛についてのディスカッションがある。このディスカッションは里中作品の魅力なんばけど、古代日本に自由恋愛がでてくるのはちょっと戸惑ってしまう。

人間の愛憎の普遍性を見つめている部分が、歴史の、その時代その土地ゆえのロマンをじゃましている感じでもあるので、気になるのだけど。（葉）

レイに字を習うルツ

素直さと多感さが新鮮だった

萌え出ずる……
（第四回小学館新人コミック大賞 少年まんが部門入選）
倉田よしみ
少年サンデー26号



マメタンを手に入れた明くん

――豆辞典買ったって？――バイクのマメタンだよ！欲しかった物をやっと買えた嬉しさ。高校生にしては少し幼い主人公の、素直な喜びと憧れ。このへんの、何と気負いのない語り口。そして少年はあこがれの750をみかけて追いかける。転倒したあげくガス欠になった彼を助けてくれた750ライダーは、アヤという娘だった。少年は彼女に淡い慕情を抱く。しかし彼女は暴力をふるった男に怒りをぶつけて事故にあい、担架で運ばれていってしまう。「感情がそのままでるなんてマシンに乗る資格がないわね（中略）マシンは動く物じゃなくて、動かす物なのよ」と言い残して。

夕焼けの中に立ちつくす少年は、娘のことばのきびしさをかみしめていたのだろう。夢と憧れだけがつまっていた少年の心に、生きていく上での辛さが、影をおとした。白っぽさが痛々しいラスト・ページで、彼は、マメタン貸してくれよという友人に、豆辞典ならここにあるよと言う。このラストの一ページはとても功いていて、バイクをやめてしまった少年の、多感な、淋しい心を物語ってくる。でも多感すぎて心配だ。なるべく早く立ち直ってもう一度、生きる辛さに立ちむかってほしい。（葉）

劇画河下流周辺

怒りの五月はもうすぐ終る。

ここン所に来て、どうも下流周辺は変に落ちついてしまったような気がしてならない。やっとの思いのこの時期に！ーである。結局作品のレベルの問題と言うより、意識のレベルの低さに苛立ってしまうのだと思うのだが、それでは何のためのハングリーかと問いつめたくもなるワケで、そう思いませんか？ ボクは気分が悪いです。

――なんて、ここで書くのは場違いだったりするのかも知れないが、まぁ今ん所何書いても場違いのような気もするので、いいやこのまま進めだ。

と言うのも、今月は**大島弓子**の「**四月怪談**」に甚く感動してしまい、更には久々の**一の関圭**の新作「**陽炎街**」にお目にかかれて、クソクソッと喚き散らしていたせいもあるわけで、オマエサンそりゃあ、とおっしゃるかも知れないが…しかしねえ…。

そういや、先月号で紹介されていた**さべあのま**に加えて**高野文子**はホントに良いです。ウマいし、なにより感性がスバラシイ。それから**柴門ふみ**ーこの人はきっとどんどんウマくなる。まったくもって期待の女性陣ではありますが、ええ三流劇画とは何の関係もありません…。

滅入る状況ならまだあるな。例えば別冊宝島の『**まんが論争**』ーボクは期待しておったのですが、何を今更と言う五年も遅れた内容の本で、しかも間違いだらけ、ガッカリしたのですが、売れてるそうですネ。

それから『**アゲイン**』ーたのむからアレやめようホラ――漫画人のまんが人によるマンガ人のための…と言うヤツ。何故、COMへ回帰しようとするのか？ 誰も今COMなんぞ欲しいとは思ってはいませんよォ。せっかく、さべあさんや坂口さんのマンガの読める唯一の雑誌だというのに、残念です。

どうしても話が飛んでしまうな。ええ、三流劇画は…と言えば、先々月の**かるめら姫**のマンガ、あれにボクは三日笑い転げてしまった。あの人はしかしどーゆう人なんだろうか!?

イカン、なんとか話を戻さなくては、ええ、『**GORO**』であります。12号ーこの号に**はしもとてつじ**の『**あした吹く風**』と言う作品が載っておりまして、ボクはこの人三流劇画の作家だと思っていたら、こんな所でこんなセンスの良い作品を描いているなんて知らなかったのでビックリしてしまった。（『漫画ハンター』でやってるのとは全然違う！）でも結局この人は、別に三流劇画の、と話を進めなくってもいいワケで、と言うことは最後まで今回は――おお、悲劇じゃ！

ボクは滅入ってはいるが、決してメゲはしない――そう心に言い聞かせつつ――

六月はニコニコの月でありたい！

飯田耕一郎

漫画時評

小川春樹

今回で、この「漫画時評」を終わらせたいと思う。主として、低調な少年誌よ、頑張ってほしいと言い続けてきたわけだが、僕自身が、あまりノレなくなってしまっている現状では、時評としての意味もないし、タイトルを偽っていくのは申し訳けないということで、ひとまず筆を置くことにしたい。

最近は、自分の好きな作家の作品を、単行本で読むという習性になりつつあるので、特に、時評という意味あいからは、遠く離れてしまうので、いた仕方ないような気がする。

さて、最終回の今回は、どんな漫画に、めぐり逢えただろうか。

「ヤングジャンプ」が創刊された。なんとおそるべきことには、初日だけで、あっという間に売り切れてしまったという事実。地元の本屋、さらには、新宿の本屋でも、姿を消していて、僕は、パチンコをやってその景品で、やっと手に取ることができたという馬鹿馬鹿しい騒ぎではあったが、それほどまでにして、読んだ創刊号だが、少少しんどい出来でありました。

本宮ひろ志の「俺の空、刑事編」のむなしさには、閉口してしまう。権力を手中にしている者だけが、こわいものなしで、世の中を渡っていけるとは、いささかひどい発想ではないだろうか。このような簡単な作業で、社会が変革できるのならば世話はない。少なくとも、漫画に馬鹿にされるような人間にはなりたくないと思う。

他の執筆陣も、主にジャンプ系の作家で固められていて、新鮮味はあまりないのだが、小池一夫を原作とする永井豪の新作「花平バズーカ」が、面白くなりそうな予感がする。「スペオペ宙学」の不振を、一気に挽回してくれると嬉しい限りだが。

他に、今月楽しかったのは、新田たつおの「怪人アッカーマン」が単行本化されたこと。この優秀なSFパロディ・ギャグには、正直舌を巻いてしまう。大人向きの内容だから「ばふ」の読者には向かないのかも知れないが、一頃の山上たつひこや、どおくまんの強烈な印象を、更に上まった迫力には、素直に頭が下がります。かつて、少年マガジンでの助清くんというキャラクターにも、あきれましたが、積極的なパロディの精神には、諸手を挙げて、賛同したいと思う。

ということで、僕の漫画月評はこれにておしまい。色々、面白い作品など、御教授下さった、読者の方々、本当にどうも有難う。

次号からは、映画の欄を充実させてみたいという編集長の要望で、僕の仲間たちと組んで、映画について考えていきたいと思っている。僕がくり返し、主張してきた、漫画をかくれみのにして、他の分野には、目をつむってしまって良いのだろうかということを、もう少し発展させてゆきたい。

なにせ、五月号の裏表紙の「桃尻娘」の広告に、抗議が殺到するようでは、まだまだだめだなあと、少々怒りすら感じてしまうのである。エキセントリックに、他人の言動について、すぐに反応を示すというのも、若きゆえの特権かも知れないが、仮にも、手紙を出して、抗議をするというのならば言いっぱなしで、それで良いということはないはずなのだ。価値感なんて、多様なものなのだから、自分が正義なのだ、漫画を愛しているのだから、何をいっても、許されるのだというような短絡した思考を、を、少しでも是正していくことができたらなという思いがしきりとしているのである。

他人に自分の思いを伝えようとするならばそれはそれで、大変な作業であるのだという認識を、まず持ってもらわなければ、お話しにはならないのだ。顕著な例を引くなら、本誌に投稿されてくる漫画評のかなりのものが自己を解きはなたずに、後向きの感じで書かれているのが、ほとんどという状態に、僕はためいきをつかさるを得ないのである。

聞くところによると、本誌では、漫画評論も大々的に募集するとのことであるから、これからは、変わった新しい芽のようなものがでてくるのではないかという、かすかな期待もあるのです。

ともかく、僕は映画という分野においても読者の皆なと、真摯な態度で接してゆきたいと思っているので、積極的な意見を聞かせて下さい。漫画雑誌に、映画の記事は不要であるというような、一方的な物いいは、くれぐれもなさらぬよう、自分の中で、じっくりと煮つめた上での、意見と対峙したいものだなという気持ちで今、一杯です。

それでは、とりあえずこのコーナーでは、さようなら。又、お会いしましょう。

まんが専門店
高岡書店

わし高岡の社長ですねん。
ちいさい店やけど
まんがはぎょーさん
そろえとりまっせ！
場所は本の神保町ですねん。
国鉄お茶の水駅で
おりて駿河台下まで
おりていって神保町の
交差点のところやで。

東京に住んどって
わしんとこの店知らんもんは
モグリでっせ。
ま、一度
店をのぞいておくれや。

GYAのまんが月評④

五月病

村上知彦

カット　高宮成河（チャンネルゼロ工房）

ようやく気づいた。女の子というのは、男の子には決して理解できないのだ。「綿の国星」の番外編、大島弓子の「ミルクパン・ミルククラウン」（LaLa6月号）を読んで、しばらくほけーっとしていた。チビ猫はいい。いつものパターンで、相変わらず好奇心にみなぎっていて、元気いっぱいだ。わからないのは不妊ネコである。チビ猫にまとわりつかれて、うるさがりながらも相手してしまう。それはいい。彼女は何かを思いだそうと考えごとをしていて、どうしてもとっかかりがつかめず落ちつかない。それもいい。「寒い雨の日子猫をつつもうとしているあたしのケープ」これがわからない。ただの「ケープ」は「あ近い…」で、「すそびくケープ」が「うん、すごくちかい」で、そのケープは「子猫を雨から守ってやろうとしている」ものでなければならぬ、そこのところの違いが、まったくピンとこない。つまりはこのネコが、何をそんなに考え込んでいるのか、ぼくにはさっぱりわからないというわけだ。不妊手術を施されたことと、何か関りがあるのだろうか。

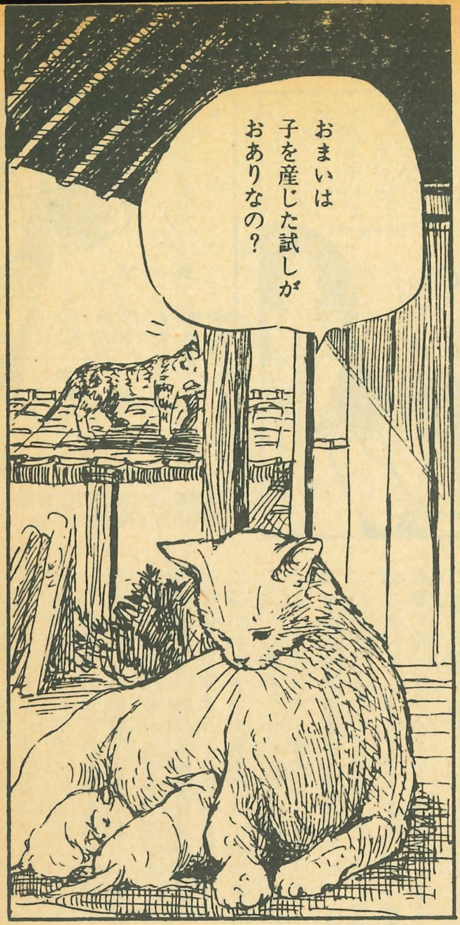
いや、そうではない。そういうことではない。この美人ネコが、子供を産むとか産まないとか、産んだことがあるとかないとか、そういうことではないような気がする。

彼女の思考を追いかけてみよう。さいしょの手がかりは「力」あたまに「力」のつく言葉を順に並べてみて「ひとつの名詞なんかではないもっとちがうもの、もっと安心できそうでできないもの」だと結論する。こうも言った。「「帰れそうで帰れない場所、夜空のようで夜空じゃない」「昼の空のようでもあるし」ケープだから「力」に近いというのはいいんだよね。ただのケープじゃなくて「寒い雨の日子猫をつつもうとしているあたしの」ケープだから「ひとつの名詞なんかではない」というのもいいんだ。だが「安心できそうでできない」この感じは残念ながらぼくにはわからない。なにが不安なんだろう。寒い雨の日、だからか。子猫がびしょぬれでふるえているからか。ケープのぬくもりに自信がないのか。あとはもうお手あげである。

「場所」がどこを指すのか。どこが「夜空」のようでもあり、また「昼の空」のようでもあるのか。さっぱり不可解なまま次へ。

「やーい、猫のヘアボール」あ、これはわかりそうな気がする。ふわふわしてるけどおそろしい。小さいけれどばかにできない。

そして、残像でできるウォータークラウンを



青林堂　ガロ6月号　やまだ紫「性悪猫」

かむるとなるとケープが必要…ということで彼女の思考は完結するわけだけど、彼女が何故それをいっしょうけんめいに思い出そうとしていたのか、何故それを忘れていたのかは、やっぱりわからないままだ。

たとえば気分を変えて、**やまだ紫「性悪猫」**（ガロ6月号）を読んでみる。母猫が「わたしはね、子を産むとき『母親のわたし』も一緒に産んだよ」といい「子を育てつ『母親のわたし』も育てるよ」といい「うまれたてのわたしらの見るものは、あれも　これも、驚きで　やがて愛しい」とすらいうとき、屋根のうえの猫の「考えるもんではねのでしょう?感ずるもんですか」というわけ知り顔の問いかけが、なんといやしくみえることか。

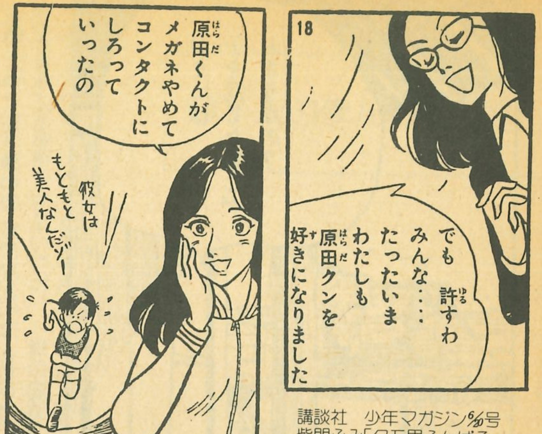
「母親」であるやまだ紫と、「母親」でない大島弓子の、言おうとしていることにたぶん差異はない。「母親」であることによって語られた方が、ぼくには一見わかりやすく見える、というだけのことだ。そしてそれはおそらく、大いなるかんちがいなのである。わからないままでよいのだと思う。わかったふりをするのは、やめようと思う。そして、こんなわけのわからんことばかりほざいている女どもを、男の子はもっとばかにしてやるべきなのだ。それが女の子に対する、最も親切なつきあい方なのだと、ようやく思い始めるようになった。

たとえば「綿の国星」のチビ猫を幽霊におきかえると**「四月怪談」**（ギャズライフ6月号）になる。幽界から岩井弦之丞を連れてよみがえり、何をみても新鮮に感じ、コップが割れても「われたわー、われてしまったわー」とにたこらしている国下初子は、冷静にみれば宇宙人のようなものである。たとえ夏山登をもってしても、決して理解できるしろものではない。「ま、いいや」といいつつ、「国下さんは国下さんだろ」と言ってやるのが夏山登のやさしさではあるのだが、決して納得しなくても同じようなものだろう。

さて、ラストの木の上の女の子は誰だろうと思っていたら、テレポートして柴門ふみ**「苗木を越えて」**（ぱふ5月号）に登場した。幼年時代、スーパーマンのように空を飛ぼうと考えた太田薫は、毎日苗木を飛びこえて、ゆくゆくは大きな大木に成長したそれを飛びこえ、空を飛べるようになろうと試みる。（白土三平の読みすぎですな）だが挫折して、普通の女の子に成長した彼女は、恋をして「空を飛んでいる感じ」を味わい、スーパーマンでなくても空を飛べるのだと気づく。その恋も、うまく実を結ばず、また飛びそこなってしまった彼女は、大木となってしまった苗木のように、彼の前に立ちはだかるその男原田くんを、転校する前の日に本当の気持ちを告げることで、よじのぼり、枝にすがり、葉をひっかきながらも乗り越えたと思う。

「スーパーマンにはなれなかったけど、ファラ・フォーセット・メジャーズくらいにはなれるかな」いえいえ太田薫さん、あなたは充分ワンダーウーマンです。

あるいは**「クモ男フンばる!」**（少年マガジン・スペシャル増刊6月20日号）でも、最も劇



講談社　少年マガジン6/30号
紫門ふみ「クモ男ふんばる」

的にドラマを駆けぬけたのは、ぼく、原田クン（なぜか「苗木を越えて」と同じ名前）ではなく、紅一点、江波女史だった。校舎と校舎の間にクモの巣をはるというアホな文化祭企画に熱中する男どもに興味を持った時から、からかわれていると知って涙を流す時、直情型の原田クンの「たったいま好きになったんだ」と強引な告白に「たったいまわたしも原田クンを好きになりました」と宣言した時、そしてメガネをコンタクトにかえ、文化祭の準備に没頭し、国立大学に軽く合格して浪人した原田クンの家庭教師をつとめるに至るまで、大いなる変貌をとげながら、彼女はこの物語を自らのドラマとして生きている。男たちにとって、退屈しのぎの「おもしろいこと」にすぎないゲームを、人生の一大転機のように生きてしまう。

「苗木を越えて」は決して少女まんがとして描かれているわけではないし、「クモ男フンばる！」は明らかに「少年マガジン」の読者を対象に描かれたものだ。にもかかわらず、これらはやはり少女まんがなのだと思う。少女を対象に描かれたという意味でも、少女を主人公にしたという意味でもない、少女まんががここにあるように思える。それは、表面上のストーリーはいかに少年まんがを装っていても、決して男には理解できないであろう何かを、底深くしのばせている、そしてそれがたぶん、作品創造の動機になっているという意味で、少女まんがなのだ。

面白い作品がある。マンガ少年新人賞佳作入選作品、**石坂啓「とろりんなんぼく」**（マンガ少年6月号）だ。わあ、映画ファンの話だ。しかしなんで「さらば愛しき女よ」「狼たちの午後」「タクシードライバー」の三本立のバックにえんえん「サークルゲーム」が流れるんだろ。などと考えながら読んでるうちに、おや、と思った。チビでブスで、勉強もスポーツもとりえがなくて、映画を観ることだけが楽しみという主人公の少年が、学年アイドルNo.1の女の子に声をかけられ、サンドイッチ作ってきたの：と手渡される。だが実は、カッコいいバスケット部のいとこに、渡してほしいと言おうとしたのを、彼が早合点したのだった。自分が映画の傍役でしかなかったことを自覚した少年は、でも傍役のままではいたくないと、おずおずと文化祭のクラス参加に映画会を提案するが、みんなに白い眼でみられたとき意外な協力者が現れる。メガネでソバカスの、そのクラスでも目立たない女の子は、じつは映画館でいつも彼の後ろでポプコーンをポリコリかじり、「るせーな」と思っていた相手だったのだ。という具合で、オトメチック・アイビーまんがのパターンをそっくりそのまま、主人公を少年に置きかえただけ、といった感じなのだ。作者の石坂啓という人は、たぶん男性なのだろうが、主人公と傍役の男たちは少年まんが風、美貌のいとこと少女たちは少女まんが風にうまく描きわけている。そして全体としては「少年まんが」として仕上げているわけだが、この少女まんががそのものとでもいうべきストーリーが、少年が主人公になってみれば、少年まんがとしてみても、全く違和感がないのに驚いた。大メロドラマ「翔んだカップル」の登場などで、近ごろとみに言われるよう

朝日ソノラマ　マンガ少年6月号　石坂啓「とろりんなんぼく」

になった少年まんがの少女まんが化の、これはきわみともいえる作品だろう。そして思うのは、従来の少年まんが、少女まんがの分類基準は決定的にあいまい、かついいかげんであったのだなあ、ということだ。イジケ少女同様、イジケ少年たちのなかにも、カッコいいヒーローに憧れるだけでなく、日常的なささやかな幸せ、ハッピーな気分を求めている者たちも、けっこういるはずなのだ。それを夢がないだの、覇気がないだの、男らしくないの言ってみてもはじまらない。とりあえずそれは、男らしさ女らしさとは関係なく、この時代そのものが持っている、あるいは求めている気分であると考えた方がよいのではないだろうか。少年まんがが少女まんが化しているのではなく、時代そのものが中性化しているのだ。「とろりんなんぼく」の描く世界のような部分で、男女の性差を認めることが困難になっている。それは「ぴあ」や「ポパイ」といった、性別を全く持たない中性雑誌のヒットにもいえるだろうし、SFやポルノに女の子が群がるといったこととも関連するのかもしれない。ともかく時代は確実に、男の子がその存在の独自性を主張するのが困難であるような方向へと向かっている。

石森章太郎「幻魔大戦・神話前夜の章」（リュウ創刊号）はまだプロローグなので、あまりいいたくないが、あの名作「幻魔大戦」の名に恥じぬ傑作にしてもらいたいと、祈るような気持ちで読んだことだけは言っておきたい。39ページ～43ページに信じられぬようなページの入れ違いがある。本当なら39 42 40 41 43と続くべきところだ。40 41ページは見開きなので、38ページと39ページのあいだの1ページを編集部がおっことしたのでなければ（ページ数はちょうど100ページちゃんとある）石森章太郎の描きまちがいとしか思えない。単なるページの入れ違いでなく、読者としては消え失せたページがあるのかどうか、思い悩むので気をつけていただきたい。

相変わらず宮西計三がよい。「ぼくのお尻にきみの勇気」（大快楽6月号）は、先程のべたような意味で、近ごろまれにみる真の男の子まんがである。開巻2ページ見開きの快感は、マンディアルグやバタイユの、ふらんすエロ文学を思わせるできばえで、二ヵ所のスミぬりさえなければ、額に入れて寝室に飾りたいくらいだ。

平口広美「朝日のようにさわやかに」（大快楽6月号）は笑った。「実録阿部定」も「赫い髪の女」もメじゃない。会社へも行かずやりまくる姿はカンドー的だ。

別冊漫画大快楽6月増刊号「う～む、大快楽」はオールスターキャストでお買い得。何とのしられようと、やっぱり「ガロ」に載せたい、いつきたかし、平口広美、徳永武史の三人が光っている。

倉田江美「宇宙を作るオトコ」（マンガ少年6月号）が始まった。ますます手ヌキの絵になってゆくが（大島弓子は手ヌキを感じさせないところがスゴイが倉多江美は手ヌキを感じさせてしまうところがスゴイ）面白いんだからいいじゃないか。

萩尾望都「恐るべき子供たち」（月刊セブンティーン6月号）は、テンポが出てきた。アガートの登場で、ぐっと引きしまった。セリフのかたさがとれれば言うことなし。

さいごに森川久美の「宵ひ闇つづれ」（ララ6月号）歌舞伎はまったく知らないが、舞台の迫力と複雑な人間関係が手にとるようにわかる。この話を40ページにまとめあげた構成力と表現力に感服。「シメール」はやや尻すぼみの感が残っただけに、うれしい作品だった。この調子で突っ走ってもらいたい。

個人的には今月は「五月病」で滅入っていた。うさばらしの対象にされた作家のみなさんにごめんなさい。読者のかたは、それを考慮したうえで、この文をよみ直して下さい。

檸檬社　大快楽6月号
宮西計三「ぼくのお尻にきみの勇気」

（1975. 5 . 27）

B級劇画講座

企画に新鮮な息吹き
山松ゆうきちの『自炊男爵瓢々記』

西脇英夫

この欄では、できるかぎりこれまであまり書かれることの少なかった新人や、最近、特に目立って活躍している人たちをとりあげることにしている。だから、当然とりあげられるべき上村一夫、バロン吉本、政岡としや、長谷川法世、かわぐちかいじ、神田たけ志といった一応の評価の定まった中堅作家たちについては今さら特に書かないことにした。

彼らに関しては、これまでいろいろなところでとりあげられ、ことさら私がウンヌンしたところであまり意味がないと思うからだ。（もっとも『パフ』の読者のほとんどは少女マンガ、少年劇画のファンで、青年劇画誌の中堅作家といっても耳新しいことだろうが）

ただ、今回そうした中堅作家の中で山松ゆうきちが面白い仕事をしているので、特に紹介することにする。作品は『別冊漫画アクション』の『自炊男爵瓢々記』である。

これは〝奇人〟〝不遇のナニワブシ語り〟といわれた関西の浪曲師〝広沢瓢右衛門〟の一代記を劇画化したもので特に原作もなく、現存し、今でも現役で活躍している瓢右衛門に直接会い、その浪曲を聞き、取材したという劇画では珍しい作品である。

その世界ではかなりの風流人として通っている人らしいが、とにかく売れない浪曲師（最近はいろいろと評判になっているようだが）、それも現役の人物を題材にするというところがいかにも山松ゆうきちらしい。ただし、もしかしたら親友の趣味人、高信太郎あたりがヒントの出所ではないかと推察するが（間違っていたらごめんなさい）。

時代は大正だろうか。大阪の下町、貧乏人の子沢山の中の一人として生まれた主人公が、幼くして床屋に奉公に出され、題名どおり瓢々と生きながらも、浪曲に興味をもち、次第に傾倒していく姿が独得の山松タッチで語られていく。

画の質感といい、山松流おとぼけネームといい、いかにもこの素材にピッタリという感じがする。そのままテレビドラマにしても通りそうな作品であり、また、小説にしても面白いだろう。

今、劇画界は企画という点で混迷期に入っているようだ。いずれを見ても似たような作品が似たようなタッチで描かれ、劇画独得の人生観や信条が大声でドナられ、強い者だけが正しいといったオーバーアクトの人間が暴れ回るという現状である。

しかし、劇画の素材はそれだけだろうか。セットもロケ費もスターの出演ギャラも特殊効果費もいらない劇画にとって、不可能ということは文字通りない。『ジョーズ』でも『タワーリング・インフェルノ』でも『スターウォーズ』でも『ディア・ハンター』でも、やりたいと思えばなんでもできるのだが、なぜか劇画の間口はまだまだ狭いようである。

一つの理由は、伝統的な性格なのか、他のクリエーターたちとややことなり、劇画作家はことさら自己の世界にこだわりすぎているのではないかという点である。作家的資質は十分にあるのだが、ジャーナリスティックな視点に欠けるというきらいがある。

風俗には敏感でも、それをドラマにしていく過程ですべて自分の方へ引きつけてしまうのでいつも似たような作品しか生まれない。これをつき離し、分析し、新しい発見として作品化する目がまだ明確に生まれていないようだ。題材に窮する前に、あらゆる素材や興味がすべて劇画になりドラマになると考えていけば、もっと劇画の間口は広くなると思うのだが、どうだろうか。

いずれにしろ、そうした意味でも山松ゆうきちの『自炊男爵瓢々記』は捨てがたい企画である。こうした変った作品がどんどん劇画として発表されるようになれば、青年劇画誌の世界ももっと面白くなっていくだろう。『岸辺のアルバム』や『復讐するは我にあり』といったドラマが劇画として登場しないものだろうか。もちろんオリジナルとしてだが。

ここらで、劇画チックな素材、劇画的ドラマといった言い方はそろそろ返上したいものだ。多分に〝劇画的〟という言い方には軽蔑があった。何かショッキングな事件が起きれば、劇画を見たことのない人でもこういう言い方をしてきた。しかし、もう劇画的などという特別なものはなく、すべてが劇画的とみるところから劇画の新しい世界が生まれてくると考えたほうが今日的であろう。事実は劇画よりも劇画チックであるとみなければ、ますます劇画は現実から遠く離れ、ゲームと遊びの世界へとじこめられてしまう危険性がある。今、劇画をより現実的なものとするために、あらゆる物を劇画で塗りこめてしまおうと、そんな気がするのだ。

それから、例えば山松さん、『小説現代』7月号で大西信行が、三遊亭円朝を題材に『怪談塩原多助後日談』という短編を書いているのですが、こうした作品を劇画にしてもおもしろいのではないでしょうか。

CULTURE POINT

はばり【刃針・鈹鍼】①[illegible]小さい刃物。ひらたい諸刃(もろは)の先の[illegible]がついている[illegible]。ランセット。②中国の鍼(はり)の[illegible]種。諸刃で先端が尖った鍼。切開・瀉血(しゃけつ)に用い[illegible]。稜針。ひらばり。

ババリア【Bavaria】⇒バイエルン

はば・る【幅る】〔自[illegible]〕[illegible]幅をとる。

ハバロフスク【Kh[illegible]】[illegible]連、シベリア東部の中心都市。アムール[illegible]川の合流点に位し、シベリア鉄道に[illegible]。人口[illegible](一九六八)。

ばはん【八幡】①[illegible]によれば、倭寇(わこう)がその船に立てた旗[illegible]号をしるしたのを、明人がバハ[illegible]と呼んだから[illegible]いう)倭寇。②外国の商品または[illegible]人を掠奪すること。(戦国時代の語)③国禁をおかして外国に渡って密貿易を行うこと。④八幡船(ばはんせん)の略。――じん【八幡人】倭寇[illegible]。――せん【八幡船】室町末期から安土桃山時代にかけて、中国・朝鮮の沿岸を侵略した日本の海賊船を明人などが称した語。江戸時代には密貿易船の称。はちまんぶね。→倭寇。――ぶね【八幡船】[illegible]に同じ。〈日葡〉

ばばん【婆】「ばば[illegible]〈日葡〉

は・び【端日】はし[illegible]の日。はんの日。

は・び【[illegible]鼻】①器[illegible]つまみ。とって。②おこり。[illegible]〈日葡〉

ば・び【馬尾】①馬[illegible]の尾。②[illegible]うまのす。

パピーニ【Giovanni Papini】[illegible]カトリック[illegible]の文学者。未来派運動に参加、[illegible]。著「哲学者の黄昏」「キリスト[illegible]」など。(一八八一―一九五六)

は・びき【刃引】①[illegible]で刃のように作り、刃をひきつぶしたもの。②[illegible]剣。

は・び・く【刃引く】[illegible]刃引をする。

はびこ・る【蔓延る】[illegible]りしげる。②[illegible]ひろがる。ひろがる。[illegible]るほどの法文ぢ[illegible]」、宗論「日本に[illegible]勢がさかんにな[illegible]る。増長する。③[illegible]幅を利か[illegible]び傾いて武家又―るべき瑞相[illegible]

ばび・そ【鼻疽】[illegible]馬[illegible]原体[illegible]に馬及び驢馬の[illegible]結膜に結節性潰瘍[illegible]に流行する伝染[illegible]。家畜業者・馬丁なども感染[illegible]。鼻疽。

ば・ひつ【馬匹】馬のこと。

バビット【Irving Babbitt】アメリカの文明批評家。ルソー流の自然主義・ロマン主義を排して、古典的ヒューマニズムを説く。著「新ラオコーン」など。(一八六五―一九三三)

バビット・メタル【babbitt-metal】バビット(一七九九―一八六二)の発明した減摩合金の一種。錫を主成分とし、アンチモン・銅・鉛などを含む白色の軸受合金で、内燃機関の軸受や、圧延機などの一部に用いる。

ばひ・ふう【馬脾風】ジフテリアの漢方名。

ばび・ほう【馬尾蜂】⇒うまのおばち

は・びょう【破廟】荒廃した廟。狂、雀「さて向うに―が見えまするが、あれはどなたの御旧跡で御座りまするぞ」

バビルサ【babirussa マレー】(豚鹿の意)偶蹄目の獣。肩高六〇センチメートルほどで、イノシシに似て体毛少なく、全体暗灰色。牡は下顎犬歯が牙となり、上顎犬歯が顔の皮膚を貫き外方に出て後方にそり返っている。セレベス島などの林の中にすむ。鹿猪。

パピルス【papyrus】古代エジプトで、パピルス(カミガヤツリ)という草の茎から製した一種の紙。前三〇世紀頃から使用され、西紀後七～八世紀製紙法の発達するまでヨーロッパでも用いた。パピルス文書とは、主としてこの紙に書かれたギリシア語・ラテン語の文書。→紙莎草(かみがやつり)・羊皮紙

は・びろ【刃広】刃物の刃の広いこと。また、その刃物。

は・びろ【葉広】①葉のひろがっていること。また、その草木。記下「生ひだてる―斎(ゆ)つ真椿」②(女房詞)「ちしゃ」の異称。

バビロニア【Babylonia】西アジアのチグリス・ユーフラテス川の下流地方。また、その地方に起った古代帝国。紀元前三〇〇〇年頃、世界最古の文化の発祥地で、極盛期はウル第一王朝・バビロン第一王朝。その楔形(せっけい)文字・宗教・文学・芸術などは世界文化史上最も古い。

バビロン【Babylon】バビロニアの首都。アッカド・ウル・バビロニア・アッシリアなど諸王朝の首府で、当時世界文化の中心であったが、後代荒廃した。

は・ふ【羽布】軽飛行機の翼・胴体などに張る布。亜麻製が普通。

は・ふ【破風・搏風】日本建築で、屋根の切妻(きりづま)についている合掌形の装飾板。また、その破風のついているところ。唐(から)破風・千鳥(ちどり)破風など[illegible]る。

は[illegible]ふ【覇府】①覇者が政務を処理する役所。②征夷大将軍の政府。幕府。

はぶ 青色を帯びた黒い雲母(うんも)。

はぶ【波布・飯匙倩】蛇の一種。体長二メートルに達し、頭[illegible]ほ[illegible]飯を盛る匙(さじ)のように似るが、頭部背面に[illegible]板状鱗がない。背面は淡褐色。沖縄・奄美(あまみ)大島に分布し、樹上または草陰にひそみ人畜を咬(か)む。猛毒をもつ。

〔は　ぶ〕

[illegible]おしろいたたき。パッ[illegible]

[illegible]ニューギニア島の[illegible]あるオーストラリア領地[illegible]種。[illegible]あるパプア族は、縮毛[illegible]中心都市はポート・モレスビー。

[illegible]François Emile Babeuf】フランス革命時代の革命家。総裁政府転覆の陰謀を企て一七九六年に逮捕、翌年処刑。私有財産制を否定、暴力革命により一種の共産主義的な独裁政権の樹立を企図。(一七六〇―一七九七)

パフェ【parfait フランス】アイスクリームに種々の果物やチョコレートなどを添えたもの。「バナナ―」

は・ぶき【羽振】はぶくこと。はばたき。はたたき。曾丹集「をし鳥の―やたゆき」

は・ぶき【羽鞴】ふいごう。ふきがわ。神代紀上「真名鹿(まなか)の皮を全剝(うつはぎ)ぎて天の―に作る」

はぶ・く【省く】〔他四〕①除いてへらす。源若菜下「今は只亡きにおぼし許してことびとのいひおとしめむをだに―・き隠し給へ」②簡略にする。節約する。源少女「こちたき程にはあらず、世の誇りもやと―・き給へれば、何事もおどろおどろしういかめしき事はなし」③係累が少ないようにする。源椎本「世の中に心をとどめじと―・き侍る身にて」④分配する。平家七「かの庄園を没取(いっしゅ)して、みだりがはしく子孫に―・く」。日葡「ザイヲハブク」

は・ぶ・く【羽振く】〔自四〕鳥が翼を振る。はたたく。はうつ。万一九「さ夜ふけて―・き鳴く鴫」

は・ぶくら【羽ぶくら】矢につけた羽。矢ばね。太平記一五「眉間のただ中を徹りて喉の下まで―せめてぞ立ちたりける」

はぶ・げんせき【土生玄碩】江戸末期の蘭医。安芸吉田の人。幕府の侍医。眼科を得意とした。シーボルトに眼病治療法を学ぶ代償として将軍所賜の紋服を贈って禁錮された。著「銀海療法題言」など。(一七六八―一八五四)

は・ぶさ【羽房】矢に矧(は)いだ羽。はぶくら。矢ばね。

は・ぶさ【羽総・羽房】鳥のつばさ。

は・ぶし【羽節】羽の茎。はぐき。――ざけ【羽節酒】雉(きじ)の羽節の肉と塩とをまぜて造った酒。

は・ぶし【歯節】歯のつけ根。歯[illegible]。――へ出す 口に出していう。浄[illegible]性爺後日「重ねて歯節へも出さば命が無いぞ」

はふ・づくり【破風造】切妻(きりづま)造に同じ。

ハプスブルク・け【―家】(Habsburger ドイツ)オーストリアに君臨した王統。ヨーロッパで最も由緒ある家柄の一。しばし[illegible]国王に選ばれ、一四三八～一[illegible]年神聖ローマ皇帝。一九一八年までオーストリア・ハン[illegible]リー皇[illegible]た。一五一六～一七〇〇年イスパニア王。

はぶ・そう【波布草】マメ科の多年草。中国南部原産で、薬用に栽培。高さ一メートル余。葉は羽状複葉、夏秋に深黄色の五弁花(蝶形花ではない)を開き、莢は黄褐色。種子は緑褐色で緩下剤・強壮剤・黄色染料とし、また炒(い)ってはぶ茶をつくる。漢名、決明子。

は・ぶたえ【羽二重】生織物として練った純白の肌触りのよい絹布。羽織地または礼服地用。桐生、後に福井・石川・富山などが主産地。――カナキン【羽二重金巾】経(たて)糸が密で、羽二重のような地合をしたカナキン。裏地用。――じま【羽二重縞】ガス糸に絹糸をまぜて織った絹綿交織の縞織物。――はだ【羽二重肌】肌理(きめ)がこまかく色の白い滑らかな肌。――もち【羽二重餅】①羽二重のように滑らかに搗いた餅。②求肥(ぎゅうひ)菓子の一種。

は・ふたつ【葉二】(赤葉・青葉各一つあるのでいう)雅楽の笛の名器。別名、鬼丸。

はぶ・ちゃ【波布茶】波布草の種子を炒って茶の代用とするもの。健胃薬となり、解毒の効があるという。

バプティズム【baptism】⇒バプテスマ

バプテスト【Baptist】①洗礼を授ける人。②浸礼教会の信徒。――きょうかい【―教会】浸礼教会。

バプテスマ【baptisma ギリシア】キリスト教会への入信の儀式。全身を水中に浸し(特に浸礼とも訳す)また水を頭にそそぐ。洗礼。――の・ヨハネ(John the Baptist)イエスの先駆者。神の国の近きを予言し、ヨルダン川でイエスをはじめ多くの人に洗礼を施した。ヘロデ＝アンチパス王の命で斬首された。エッセネ派に属したともいわれる。洗礼者ヨハネ。

は・ふに【白粉】(ハクフンの転)米で製した白い粉。顔の装いに用いた。おしろい。栄華御裳着「―といふもの塗りつけて」

ハフニウム【hafnium】ジルコニウムに類似する金属元素。元素記号 Hf 原子番号七二。[illegible]子量一七八・四九。

はふらか・す【放らかす】〔[illegible]四〕はふるようにする。すてやる。落窪二「常に着せ奉れど、―・し給ふにや」

は・ブラシ【歯刷子】歯を磨くに用いる小さなブラシ。歯磨楊枝。

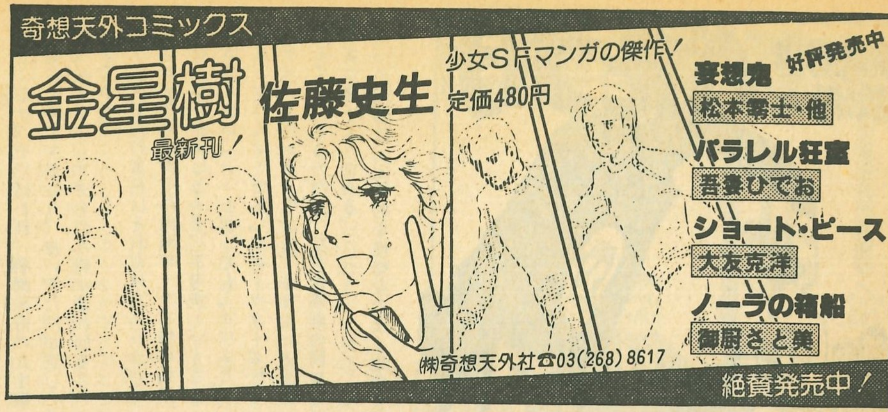
はふ[illegible]す【放らす】〔他四〕「はふらかす」に同じ。古今雑体「身は捨てつ心をだにも―・さじ」

はふり【祝】神に仕えるのを職とする者。普通には禰宜(ねぎ)の次位で祭祀などに従った人。はふりこ。はふりと。神代紀上「熱田の―が掌りまつる神」――こ【祝子】「はふり」に同じ。拾遺雑「―が祝ふ社の紅葉ばも」――と【祝人】(「はふりびと」の意)「はふり」に同じ。[illegible]巫女(みこ)にもいう。――べ【祝部】①「はふり」に同じ。[illegible]皇大神宮及び豊受大神宮の職員の一。神宮の摂社・末社・所[illegible]置かれ、神社の守衛、御匙・鑰(かぎ)の保[illegible]除[illegible]監督をつかさどる。大正二年設置。――め【祝女】かんなぎ。みこ。

は・ぶり【羽触】羽がさわること。万一九「ほととぎす鳴く―にも散りにけり盛り過ぐらし藤波の花」

はぶり【葬】ほうむること。埋め祭ること。ほうむり。葬送。万二「神―はぶりいまして」――かたびら【葬帷子】葬送の時、棺を蔽うかたびら。――もの【葬物】葬送に必要な品物。葬具。持統紀「幷せて賻物(はぶりもの)賜ふ」

は・ぶり【羽振】①鳥が羽を振ること。②羽の様子。羽の形。③世間における地位・勢力・人望。「―がよい」



毎月25日頃発売・680円

月刊絵本

絵本世代におくる研究情報誌

手づくりの雑誌として皆さまの支持をいただきはや6年目をむかえようとしています。バックナンバーも全国の書店に並ぶようになりました。ぱふの読者諸兄も一度手にとってごらん下さい。

すばる書房　東京都文京区水道1－5－24　電話（815）2386　振替東京9－46874

マイジャー・コミックの時代を予知する。

COMIC AGAIN（コミック アゲイン）7月号

毎月7日発売　汗と涙の350円

村野守美―マニアル・ファンタジー
坂口　尚―シリーズ『午后の風』
さべあのま　吾妻ひでお　御厨さと美　石原はるひこ
ゲスト―岡田史子　カイム

〒113 みのり書房　文京区湯島1-10-4朝日ビル2F　TEL(03)815-5823

COMICS

●今月の目玉は向後氏の作品集ですの

電気ブランと雷門と

浅草を舞台にくり広げられる向後つぐおの作品集・壱

浅草三文オペラ
向後つぐお

而立書房　二〇〇〇円

　向後つぐおの初めての作品集である。アトランダムに選ばれた作品の数々が、とても懐しい感がある。

　巻頭に収録されている作品の「埃」は、確か、雑誌COMの、附録である、ぐらこんに収められていた作品で、向後つぐおの処女作である。当時、彼は、永島慎二のアシスタントだったわけで、その生態は、永島慎二の作品の中にも出てくるはずである。

　その他には、主に、下町浅草かいわいを舞台とした作品が掲載されている。なかでも、作者自身のターニング・ポイントとなったであろう「真知子」シリーズの、一篇が、巻末に収められているのも極めて納得できることである。

　ともすれば、目先を変えた作品に、チャレンジしてみたくなるのが、作者にとっての欲というものであろうが、ひとつ所に、じっくりと腰を落ち着けて、対象をしっかりとみつめて、確実な筆致で、描写してゆくという方法も、決して悪いものではないはずだ。

　そして、向後つぐお自身は、そのことを、地道に、着実に、成し遂げつつあるのではないだろうかという思いがしきりである。

　その意味でも、この初の作品集は、色んな人たちの目に止まってよい作品集であろう。作者自身の手からなる、あとがきも興味深いものがある。

　映画では、とらえられなくなってしまっている、底辺の人たちに対する無限のいつくしみの目を感じるのは、果たして、わたしだけであろうか。

　漫画では、まだそのようなことが、可能であるという事実が、心地良いといっておこう。

魔術師
西岸良平

双葉社　四八〇円

《新生活読本》と銘打たれた作品群とSF短篇とで編まれた作品集。ビッグ・コミックオリジナルの「三丁目の夕日」シリーズとは一味違った味わいの作品ではあるがやはりどの作品も、西岸良平独特の懐しさで色どられている。ともすれば、日常で忘れがちなやさしさ、懐しさ、ほのぼのとしたタッチなど、心の中に、すっと入りこんできて、ほっと一息つくことができるのである

怪人アッカーマン
新田たつお

双葉社　四八〇円

　ついに、山上たつひこを追いこす存在出現!!かって少年マガジンで、助清くんなる怪童を見事に描写して、読者の感涙を呼んだ新田たつお大先生の大人向けギャグ漫画であります。

　アッカーマンというからには、SFでして、古今東西のパロディが満載されておるのだョ。ウルトラ・ファミリーファンも必見。新田たつお頑張れ！そして、山上さん、大人ものも書いて下さい。

綿の国星2
大島弓子

白泉社　三四〇円

　大島弓子の「綿の国星パート2」が出た。「ミルクパン・ミルククラウン」がララに掲載されてから一ケ月で、コミックスとなってしまった。すごいなあという感じ。

　ここに収められている四つの作品は各々に個性をもち、どれ一つとっても読みごたえがある。しかし、ここで三つの綿の国星シリーズを並べて読んでいくと、チビ猫が日常の中でどんなに成長していくかが手にとるようにわかる。「鳥は鳥に、人は人に……」ということを知り、女というものを知る……

　これらの作品群については多くの人々が語っているので、特になにかを言うこともないだろう、只、大島弓子のすばらしさ、やさしさを裏打ちする現実の重さ、苦さを心の片方において、「大島弓子っていいよねっ。」っていって欲しいと思うだけである。

夜行8
つげ義春　つげ忠男他
漫画主義〈14号〉含

　この本で、久々につげ忠男の作品を読み、又しばらく御無沙汰していたつげ義春の世界にもふれ、巻末に収められている「漫画主義」14号にかかれた山根貞男・上野昂志・権藤普三人の評論を読み、ふーとため息をついた。

　この本に収められている作品群には、裸電球の妙になつかしげな暗さがあって、場末の酒場で演歌を聞いている心地がしてきて、なんとも耐えられない気持ちがしてくることがある。それが彼ら世界であるのだが……

　そして、三つの評論—確かにかつて、劇画が時代とコネクトしてた時代があったかもしれない。しかし、今はたして、劇画から政治へと延長線がひけるのだろうか。もちろん、表現としての漫画論も必要だし、マンガ・劇画の状況におけるダイナミズム論というのも同時に必要なのだが。

北冬書房　一三〇〇円

リリーのブルース
永嶋慎二

青林堂　二〇〇〇円

　永島慎二さんが雑誌『リリカ』に九ヶ月間連載した「リリイのブルース」(シリーズ青いカモメS-DE⑤)がようやく本になった。版元は『ガロ』の青林堂。連載当時の雰囲気をそのまま伝えるために変型サイズ、箱入り、オールカラー、72ページ。値段は2千円とちょっと高いけど、この本なら一生つきあっていけるなという本だから、そう思うとLP一枚2千5百円の時代だからそんなに高くはないと思ってしまう。

　物語は「みなしごで孤児院に育ち、顔も知らないどうながおじさんにひきとられ、都心のマンションに一人で住んで月に一度どうながおじさんに、手紙を書くだけで、十分な生活費を送ってもらい、恋人をさがすためにだけ生きていればいい、ちょっといじわるな女の子」リリイが捨て猫のクロベエと巻き起す恋の話とでいったらいいだろうか。一話完結方式で九つのエピソードが載っている。

　リリイは、ちょっと太めで、足が短かめで、おーはばにおっちょこちょいで、そーいう自分にだいぶアイソがつきてしまうところもあるんだが「君のその一ばんだめな部分にほれたんだ」と夢の中でハンサムな青年に結婚を申し込まれて、考え込んでしまう。もう一度、彼に合おうとはりきって寝入ってみるが彼はあらわれない。頭にきて、猫のクロベエをけっとばしてしまった。

月蝕歌劇団
高取　英

　何とも言い難い本である。"詩集"と言っておこうか。この中に『少女マンガへの挑戦』というミニタイトルの項がある。矢代まさこを初めとして数人の少女漫画家を取りあげている。一読、いかがかな。

日夜都市社　一二〇〇円

永遠なる瞳の群れ
ますむらひろし

朝日ソノラマ　三五〇円

　'73年、少年ジャンプの手塚賞準入選の「霧にむせぶ夜」から、'78年「永遠なる瞳の群」までの計11編が収められている。ほとんどが昨年出た作品集「アタゴオルは猫の森」(朝日ソノラマ刊)以前の作品である。ヒデヨシをはじめネコたちが活躍するものも楽しく読める。が、標題作などの人間と自然、つまり宇宙とのかかわりを描いた幻想的、不気味な作品に人間のおごりを感じて興味深い。ところで猫のこわさはあの瞳の中にあるのでは。

天使のはらわた
石井　隆

少年画報社　四八〇円

　ついに完結した石井隆の長篇である。文字通り昨年の劇画シーンを席巻した話題作で、主人公の哲郎と名美をめぐる青春群像は、やはり一つの秀れた青春像であると思う。ラストの二頁にわたって描かれている名美の顔のアップが、しばらく頭にこびりついて離れなくて困っている。メロドラマの典型のようなこの作品、評価したい

与太ごろ
永松　潔

四八〇円

　原作は、本誌読者の皆様には、衆知の、東史郎こと、西脇英夫で

永松潔が作画を担当している。永松潔は、つい先頃まで、ヤング・コミックに連載していた落語家たちの奇妙な生態を、しっかりと描写していて、印象に残っている作家だが、この「与太ごろ」でも、チンピラたちの哀しくも馬鹿げた日常を、静かなタッチで、描いてくれている。

輝ける海
村野守美

日本文芸社　四九〇円

続々と単行本化されている村野守美の短篇集。表題となった「輝ける海」は、「オサムとタエ」を思い起させる好短篇である。日々の生活の忙しさにかまけて、忘れがちになっている人のやさしさという、極めて描きにくいサムシングなものを、いとも素直に見せてくれるところが、村野守美の身上なのだろう。

風のムサシ
村野守美

日本文芸社　四九〇円

これも村野守美の短篇集である。時代物の「風のムサシ」、野球物に題材を取る「ヒーロー」、自然に対する思いの「トキ」、エトセトラ、エトセトラ。村野守美独自の世界が、この本では展開されていて、読み手のボクたちを、しばし、別の世界で遊ばせてくれるのである。

おれは鉄兵
ちばてつや

秋田書店　三五〇円

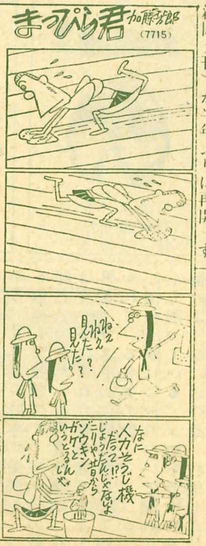
いよいよ白熱化してきた鉄兵クンと、菊地との戦い。久しぶりに鉄兵クンの親父さんも登場してきて、楽しさは保証つき。好調、ちばてつやの、ロング・ラン!

六助くん
板井れんたろう

赤旗日曜版に連載中の「六助くん」。単行本になっての再登場。板井さんファンにはうれしい一冊になりそうだ。

翠楊社　五〇〇円

加藤芳郎さん「まっぴらくん」再開おめでとう
（毎日新聞の夕刊に連載中）



病気のため休載中だった加藤芳郎さんの「まっぴらくん」（毎日新聞夕刊）が半年ぶりに再開。すっとんきょうな笑いの芳郎タッチ。また一日の楽しみがひとつふえた。

鉄人鉄人早くゆけ

復刻版
鉄人28号①〜④
横山光輝

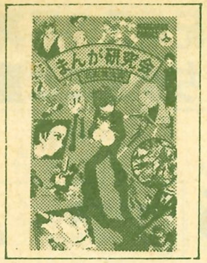
大都社　八二〇円

鉄腕アトムと共に、ロボット漫画の最高峰として、今も心に残る横山光輝のハード・カヴァーの復刻本である。いわずもがなのことであるがアトムがロボットでありながら人間との確執に悩むのに対して鉄人28号は、正太郎の持つ操縦器が、悪人の手に渡ってしまうとたちまち、敵、味方が逆転するというところが、リアルであったのだ。すっきりとした線が心地良い。

About
COMICS
●アバウトコミックスってなあんだ

石森さんのたのしい研究会への入会は

まんが研究会
石森章太郎



小学館　三四〇円

手塚さんの書いた『マンガの描き方』。あれは随分良い本であったし、マンガファンに好評だったそうである。しかしマンガの描き方を書いた本で忘れないのは、なんといっても石森章太郎先生の『マンガ家入門』。これはもうかなり昔の本なのですが、当時のマンガ少年少女に対し想像を絶する影響力をもった本でした。これがキッカケでマンガ家をめざした人だっている。その石森さんが、今度は御自身の過去をふり返りながら、同人誌活動についての話もまじえながら、一冊のまんが入門書を書いたのです。題して『まんが研究会』。ステキなタイトルじゃないですか。いま、まんがに燃えてる人は是非一度手にとってみよう。

SFファンタジア

学研　九八〇円

「風刺編」に続いて、SFファンタジアの「マンガ編」が出た。SFマンガを様々な角度から取り上げた、満腹感のある一冊だ。最後に載っている、″日本SF漫画年表″は、SFファンにとって貴重なものとなるだろう。

宇宙海賊 キャプテンハーロック PART III

秋田書店　七八〇円

TVアニメ「キャプテン・ハーロック」の総集編写真集。全編カラーの、楽しい一冊となっている。

別冊宝島 マンガ論争

JICC出版局　八六〇円

とにかく、やっぱり、たかが、勝手に、夢中で、もっとマンガなのだ!「まんが論争」は、″もっとマンガ″にどれだけ迫り得たか。論者はあなた、からですよ。

エロ劇画が本屋でピカピカになった日
――『三流エロ劇画』がついに文庫になってしまった

また、こんなコーナーをひきうけてしまった。このままでは、イメージが定着してしまい、まついなつきとエロトピアを囲む会ならまだいいけれど、劇画アリスを抱きしめる会まついなつきと微笑をベロでなぶる会ができた日にゃ、どうすればいいんだ。飯田コロコロさんの足にまとわりついて、くんくんく〜ん、誰にでも、元気にあいそをふりまく子。

ま、圧巻なのよね、本屋のマンガ単行本コーナーにひときわピカピカ、エロの山。こんなの目前にして、どうすりゃいいの?**中島史雄**、**清水おさむ**などは、文庫サイズになってますますコンパクト、海に山に陸に河にダムに林に湖に夏のお伴をいたします。開いて三分、打ち止めよ。けいせい出版から¥280。

保存版エロのはしり石井隆先生は日本文芸社から『天使のはらわた』完結編(¥480)。同社は、土屋慎吾『ラブ、フィバー』(¥490)も、出ておった。後、本屋に並んでたのは、羽中ルイの少女シリーズ、少女の聖書、少女の季節、少女の神話、各¥400ね。そいでもって、ダーティ松本だっ!エロスの狂宴、狂った微惑人形、裂かれた花嫁、各¥450。両方ワールドコミックス。あたしが本屋で見たのはこれだけど、まだまだ出て来そうよ、旗立てて本屋の店先行進するのね、どこまでも、♪ぼくたちピカピカ一年生〜〜〜。ここまでは、あっという間ね、早漏ぎみよ、まだがんばるの?根性ね、表紙の色インクもあざやかに、陽なたボッコの最中です。(な)

けいせい出版　二八〇円
久保書店　四八〇円

BOOKS

●紀信氏の写真集 持ち歩きには重い

ファラダが吠える時 大田区が犬田区にかわる

犬狼都市

唐十郎

北宋社 二二〇〇円

唐十郎の新作書き下しで、六月までテン下で上演されていた。

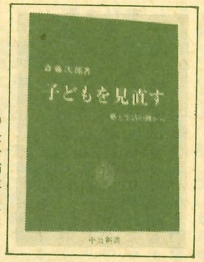
この作品に登場するファラダという犬は、渋澤龍彦の作品から飛び出したもので、物言ふ犬として「唐版犬狼都市」において一つの追い求められる影となる。

永遠の追いかけっこは続く。昔の唐の作品において、追いかけられるものは、だーと広い満州の荒野に笑っていた。ラスト、テントの幕があげられ、役者達が去っていくとき、観客は東京＝満州の風景の中につむじ風が吹くのを感じた。

この作品の先導者、物言ふ犬が探すものは、東京という現場のアンダーグラウンドに人身御供にされた飼い主である。我々がその物言ふ犬を認識したときに、大田区は犬田区となる。東京が満州にかわるのでなく大田区の地面が、パカッと割れて唐のロマンのパラレルワールドがとぐろを巻く。足元に気をつけなくてはならない。状況劇場が状況の浮漂状態の中で行き場（荒野）を失った時、地下から突き上げるという方法論をとることも可能だから。

子供を見直す

斉藤次郎

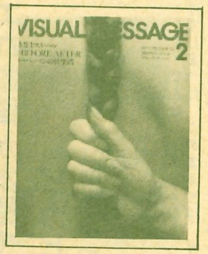


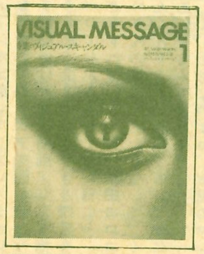
中央公論社 三八〇円

「ジロさんの漫画月評」でおなじみだった、斉藤次郎さんの新書である。サブタイトルが—塾と生活の側から—である。斉藤さんが塾を始めて丸四年がたつという。エリート養成塾でない、勉強のわからない子に〝わかる〟という感動を与え与えられるという作業を続けてきた結果、四年という時間が流れていたのであろう。初めはただお金がいる、という理由からだった。しかし、誰とでも真剣につき合おうとすると、それだけの理由では、自然にはみ出てくるものがある。それは、子供の〝わかった！〟という呼びだったり、子供とのワイワイした会話が、きっかけになる。

斉藤さんはこの本を奥さんとの共著だと言う。二人で体験した時間の大切さを知らされる言葉だ。

VISSUAL MASSAGE 1•2





ごま書房 一六〇〇円

少し古い話だけど、ごま書房から「ビジュアル・メッセージ」（季刊¥1600）という本が出た。イラストの本としては、「アイデア」等のごく専門家向の本はあったんだけど、気軽に楽しむということでは、この本がいいみたい。毎号テーマを組んで集めた当代一流のイラスレーターたちの絵がふんだんにはいっていて、この値段は高くないだろう。表紙からして相当目立つ。1号目が「目」2号が「乳房」。本屋たんで探すのもそんなにむずかしくないね。きっと。

激写 135人の女ともだち

篠山紀信

小学館 二八〇〇円

ポスターが駅に張られてから、ずっと見たいと思っていたこの写真集。やっと手に入れたのは、増刷本だった。本屋の人が、またたく間に売り切れた、と話してくれた。そんなに評判の写真集の中に一体、どんな女たちがつまっているのか、はやる心を静めつつページをめくれば……ああ、山口百恵の世界となる。篠山記信は語っている。彼女程、写真の中で自分の世界を表現する人はいない。ずっと撮っていきたい——水沢アキが現われた子供っぽいような、色っぽいような不思議な顔をする。原田美枝子が、泥くさく、傷つき易く、たくましく、悲しい彼女を演出している。女優ばかりではない。普通の女の子達が篠山紀信のカメラの向う側でベールを剝いでいく。普通の女の子がこんなに素直に裸でいられる、それはとても美しい事なんだ。篠山紀信のスゴサが、心から納得できてしまう写真集だ。

なんとなんとなんと

情報誌がこんなにふ、ふえている

ええ、ぴあなんぞの成功に目をつけたのかどうかは、知らないけれど、新形式の情報誌が、続々と刊行されています。

どんな種類の情報誌かというのは、写真を見て頂くとして、ずいぶん面白い現象だなと、本屋さんで、じかにその雑誌を手にしていると、そう思ってしまうのです。

あんまり、本自体としてのテーマというものが、明確ではなくてただ、情報そのものだけが、先行して、知らされるという形式にはとても現代的なものを感じるのであります。

すなわち、アメリカっぽいレイアウトだけで、強引に読ませてしまったり、あたかも、そこへ行けば、何かがあるような錯覚を起させるような特集というものは、世の中の全ての事柄が、パッケージされて、それしかないと決めつけられているような気にもなるのです。なんと、生き難い世であるか。

わが愛と性の履歴書

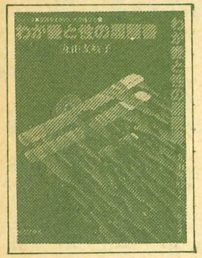
丸山友岐子

この「わが愛と性の履歴書」が出版されてから、丸山さんは、TVや雑誌の取材に追われて、かなりの忙しさだと聞いた。女が性について語る時だけ、どうしてこう大きく波紋が広がるのだろう。

この本の中に書かれているのは三十何年生きてきた、一人の女の人の素直な自分にすぎない。何人もの男との性の偏歴を語るために書かれたわけではないのだ。自分が自分として生きること、女が名前を持った女として生きることの面倒くささ、だがそれ以上の自由を求める自分でいたいという思いが痛切に伝わってくるのである。

——自由に生きる、ということのなかには、寝たくない男とは寝ない、ということも含まれる（中略）わたしがいま、両手にいっぱい抱え持っているのは、その自由だけかもしれない。（中略）ただ一つ確かなことは、それがどんなに重くても、決してそれを放擲することにはならないだろうということだけである。——

この言葉の重みを素直に受け入れられる男達の多いことを、私は強く望まずにはいられない。TVも雑誌も男社会の中で構築されてきた。その人達が興味本位以上に自分への言葉として受けとめることがこの本への一番の賛辞になるのだと思う。



社会評論社 一〇〇〇円

○いんふぉめいしょん おめでとう御三方

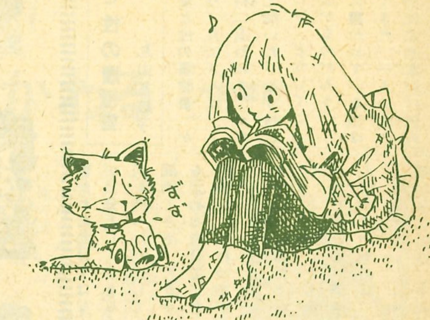
横山隆一さん「文春漫画賞」受賞 大島弓子さん柳沢きみおさん「第三回講談社漫画賞」本当によかったですね。

〈過去〉
でもなく、
〈未来〉
でもなく、
なぜ、
〈いま〉五木寛之なのか？
それは、
「鳩のいない村」から、
「戒厳令の夜」までの、
五木寛之の透明なニヒリズムが、
〈いま〉こそ、
きわだっているからである。
〈いま、五木寛之。〉
明日では遅すぎる……。

面白半分7月臨時増刊号
「いま，五木寛之。」
5月30日発売予定
予価880円

(株)面白半分
〒167
東京都杉並区荻窪4－26－10
☎03(393)0921・(392)0710
振替＝東京4-16168

COMICS
●新刊リスト



秋田書店

レーベル	書名	著者	価格	発売日
	ドカベン㊳	水島 新司	三二〇	6/8
	エコエコアザラク⑱	古賀 新一	三五〇	〃
	オリンポスのポロン②(完)	吾妻ひでお	三五〇	〃
	ゆうひが丘の総理大臣⑩	望月あきら	三五〇	〃
少年チャンピオンコミックス	千代の介が来た!!②	政岡としや	三五〇	〃
少年チャンピオンコミックス	東京レスキュー②	筒井 昌章	三五〇	〃
少年チャンピオンコミックス	レース鳩0777⑤	飯森 広一	三五〇	〃
少年チャンピオンコミックス	750ライダー⑰	石井いさみ	三五〇	6/25
少年チャンピオンコミックス	ロン先生の虫眼鏡⑥	加藤 唯史	三五〇	〃
少年チャンピオンコミックス	エコエコアザラク⑲(完)	古賀 新一	三五〇	〃
少年チャンピオンコミックス	月とスッポン⑨	柳沢きみお	三五〇	〃
プリンセスコミックス	サキ館にてSOS!!	泉 左京	三五〇	〃
ひとみコミックス	透明ジャム人間	しらいしあい	三五〇	〃

朝日ソノラマ

レーベル	書名	著者	価格	発売日
サンコミックス	おそ松くん自選傑作集③	赤塚不二夫	三五〇	6/上
サンコミックス	おそ松くん自選傑作集④	赤塚不二夫	三五〇	6/中
サンコミックス	マシン・ママ	山上たつひこ	三五〇	6/下

学研

レーベル	書名	著者	価格	発売日
グローバル・コミックス	三国史①嵐を呼ぶ狼たち	園田 光慶	四九〇	6/26
グローバル・コミックス	水滸伝①天翔(あまか)ける一08星	真崎 守	四九〇	〃
グローバル・コミックス	史記①暗殺者(テロリスト)は壮烈に死ぬ〈刺客列伝〉	久松 文雄	四九〇	〃
グローバル・コミックス	巌窟王①引きさかれた愛の鎖	ケン 月影	四九〇	〃
グローバル・コミックス	三銃士①ダルタニヤン花の都(パリ)へ	南波 健二	四九〇	〃

講談社

レーベル	書名	著者	価格	発売日
なかよしKC	小夜子より…星便り	高橋 千鶴	三五〇	6/5
なかよしKC	ジョリー&マリー恋の方程式	曾禰まさこ	三五〇	〃
別冊フレンドKC	アフタヌーンティーたいむ	神奈 幸子	三五〇	6/15
別冊フレンドKC	恋のクロスオーバー大混戦	伊丹 理央	三五〇	〃
フレンドKC	海のオーロラ⑤	里中満智子	三五〇	〃
フレンドKC	巴里よマロニエゆれても	板本こうこ	三五〇	〃
フレンドKC	コロナころころラブドライブ恋運転	横田 幸子	三五〇	〃
mimiKC	アボサンのふるさとメルヘン	阿保 美代	三五〇	〃
ヤングデラックスKC	華麗なるモノトーン	神奈 幸子	三八〇	6/20
月刊マガジンKC	熱球讃歌④(完)	梶原・貝塚	三五〇	6/25
月刊マガジンKC 柳沢きみお青春シリーズ	ウェルカム	柳沢きみお	三五〇	〃
マガジンKC	四角いジャングル⑦	梶原・中城	三五〇	〃
マガジンKC	永井豪ギャグ傑作集②	永井 豪	三五〇	〃
マガジンKC	翔んだカップル⑥	柳沢きみお	三五〇	〃
マガジンKC	うわさの天海⑦	とりい かずよし	三五〇	〃
マガジンKC	少年時代③	藤子不二雄	三五〇	6/25
マガジンKC	ハスラーザキッド⑤(完)	小笠原・黒咲	三五〇	〃
マガジンKC	黒の獅士④(完)	永井 豪	三五〇	〃
手塚治虫全集	バンパイヤ③	手塚 治虫	未定	〃
手塚治虫全集	三ツ目がとおる⑥	手塚 治虫	未定	〃
手塚治虫全集	ぼくの孫悟空④	手塚 治虫	未定	〃
手塚治虫全集	化石島	手塚 治虫	未定	〃

集英社

レーベル	書名	著者	価格	発売日
セブンティーンコミックス	サラダっ娘⑤	西谷 祥子	三四〇	6/5
セブンティーンコミックス	喝采が聞こえる	粕谷 紀子	三四〇	〃
ジャンプコミックス	サーキットの狼	池沢さとし	三四〇	6/9
ジャンプコミックス	こちら葛飾区亀有公園前派出所	山止たつひこ	三四〇	〃
ジャンプコミックス	朝太郎伝⑤	中島 徳博	三四〇	〃
ジャンプコミックス	実録シリーズ③	島田 賢司	三四〇	〃
ジャンプコミックス	超マン③	永井 豪	三四〇	〃
ジャンプコミックス	救世主(メシヤ)ラッキョウ	小林よしのり	三四〇	〃
ジャンプスーパーコミックス	ピンボケ写太②	ビッグ 錠	三四〇	〃
りぼんマスコットコミックス	砂の城	一条ゆかり	三四〇	6/15
りぼんマスコットコミックス	まとはずれLove	麻久里しず	三四〇	〃

レーベル	書名	著者	価格	発売日
花とゆめコミックス	ルーとソロモン①	三原 順	三四〇	6/20
花とゆめコミックス	日本列島一万年	美内すずえ	三四〇	〃
花とゆめコミックス	パンと懐剣⑥	神坂 智子	三四〇	〃
花とゆめコミックス	通り過ぎた季節	酒井 美羽	三四〇	〃
マーガレットコミックス	手紙をください①	西谷 祥子	三四〇	6/25
マーガレットコミックス	あおぞら同盟⑤	柴田あや子	三四〇	〃
マーガレットコミックス	りんご日記⑤	川崎 苑子	三四〇	〃
マーガレットコミックス	翔んでるルーキー!①	湯沢 直子	三四〇	〃
マーガレットコミックス	愛のアランフェス①	槇村さとる	三四〇	〃
マーガレットコミックス	木曜日はひとり	沖倉利津子	三四〇	〃
マーガレットレインボーコミックス	恋人たちの船	横山 文代	三四〇	〃

小学館

レーベル	書名	著者	価格	発売日
マンガくんコミックス	球道くん⑩	水島 新司	三二〇	6/5
マンガくんコミックス	まんが研究会	石森章太郎	三四〇	〃
少年サンデーコミックス	がんばれ元気⑬	小山 ゆう	三二〇	6/20
	ヒットエンドラン③	あや 秀夫	三二〇	〃
	男組㉒	池上 遼一・雁屋 哲	三二〇	〃
	サバイバル⑪	さいとう・たかを	三二〇	〃
フラワーコミックス	先生にしつもん	もとやま 礼子	三二〇	6/25
フラワーコミックス	ファンションファデ②	名香 智子	三二〇	〃
プチコミックス 竹宮恵子作品集	ファラオの墓②	竹宮 恵子	四五〇	6/25
てんとう虫コミックス	ドラえもん⑰	藤子不二雄	三二〇	6/28
てんとう虫コミックス	うわさの姫子⑪	藤原 栄子	三二〇	〃
セブンコミックス	あくたれエッセイ②	重富 [illegible]子	四八〇	6/30
ビッグコミックス	さんだらぼっち⑧	石森章太郎	四五〇	〃
ビッグコミックス	浮浪雲⑫	ジョージ秋山	四五〇	〃
ビッグコミックス	土佐の一本釣り⑤	青柳 裕介	四五〇	〃

少年画報社

レーベル	書名	著者	価格	発売日
ヒットコミックス	5五の龍④	つのだじろう	三五〇	6/中
ヒットコミックス	サイクル野郎㉝	荘司としお	三五〇	〃
ヒットコミックス	ビッグパンチャー③	松田 一輝	三五〇	6/末
ヒットコミックス	ビー玉社長②	柳沢きみお	三五〇	〃

大都社

レーベル	書名	著者	価格	発売日
コミックライブラリー	鉄人28号⑤	横山 光輝	八五〇	6/25
コミックライブラリー	レインボー戦隊	スタジオゼロ	八二〇	〃

双葉社

レーベル	書名	著者	価格	発売日
	ゴッド・アーム②	梶原 一騎・桑田 次郎	三五〇	6/5
	嗚呼!!花の応援団⑮	どおくまん	四八〇	6/9
	日本柔侠伝②	バロン吉元	四八〇	〃
	新ルパン三世⑪	モンキー・パンチ	三五〇	6/11
	博多っ子純情⑪	長谷川法世	四八〇	6/15
	岡っ引ひぐらし	ジョージ秋山	四八〇	〃

RECORDS

●松本零士氏のアニメはどんな音で始まるかしら

8月公開アニメ〝銀河鉄道999〟 エメラルダスII テーマソングが出ましたよ

エメラルダスII
CQ-7021
コロンビアレコード
2,300円

毎週水曜日に〝青春大通り〟の中で放送されているラジオアニメ「エメラルダスII」のレコード盤。主題歌を唄うほは、町田義人です。エメラルダスを演じる田島令子は、暗い影を持つを、冷たくやさしく演じている。

銀河鉄道999
CK-537
コロンビアレコード
600円

いま売れに売れているゴダイゴが、主題歌を唄っているのです。この「銀河鉄道999」は八月四日より東映系で全国ロードショウ公開。それに先がけて主題歌の発売。サウンドトラックは九月頃になるそうだ。一体どんなになるのかな。

人気アニメのレコードがたくさんたくさん出てきてる

科学忍者隊 ドラマ編
ガッチャマンII
CS-7117 1,800円
コロンビアレコード

今放映中のTVアニメ、「科学忍者隊ガッチャマンII」のドラマをレコード化した一盤。ジャケットでもわかるように、IIではジョーの話が中心となっている。ニヒルに見えるジョーのファンに、いかがかな。

ドラマ編
勇者ライディーン
CS-7114 1,800円
コロンビアレコード

神谷明が演じた、『ひびき洸で人気の高かった、「勇者ライディーン」のドラマがレコードになって発売された。歌っているのは勿論、子門真人。主題曲、「勇者ライディーン」他、三曲入っている。神谷明ファンにはうれしい一盤だ。

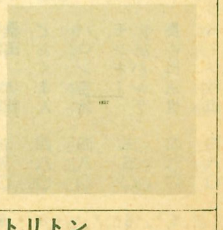
タイムボカン
シリーズ大百科
VBX-217～8 3,000円
ビクターレコード

タツノコギャグアニメーションの傑作、「タイムボカンシリーズ」三作に使われた曲の総集編。〝それいけガイコッツ〟とか〝ドクロベエさまに捧げる歌〟なんかもあって楽しくなってしまうぞよ。ハイライト場面集も入ってます。

〝トリトン〟ミツケタ BGMに乗ってきた

右のジャケット写真を見て、何も写ってないと思った人もいるだろうなあ。これは、蛙プロダクションという、いつもはCMなどを手掛けている所が、トリトンのファンクラブの人と共に制作した、「海のトリトン」のBCMレコードです。ジャケット中央に〝トリトン〟と点字が浮き出ているのだ。〝トリトン〟を好きだった人にはやはり、BGMは懐しく思えると思う。このレコードは初版の数枚が限られているので、聞きたい事は、蛙プロまで問い合せを。

蛙プロダクションへの問い合せは、（441―3797）までどうぞ。



トリトン
蛙プロダクション
2,500円

声優さん全員集合

VOICEVOICEVOICE
CS-7112～3
コロンビアレコード
3,600円

今やアニメの声優さんの人気たるや、日劇をいっぱいにしてしまう程の力を持っているのだ。その証明のようなレコードがこれ。ハーロックの井上真樹夫、プリンスハイネルの市川治、小柳乃梨子、神谷明、富山敬、まだまだ登場です。

〝北極のムーシカ ミーシカ〟歌が出ました 夏休み公開

虫プロの再起第一作アニメーション、「北極のムーシカミーシカ」の主題歌が発売された。映画公開は、夏休みになるそうだか唄っているのはチェリッシュの二人。この作品は全ロードショウ館にかかるわけではないので、見たい人は気をつけていてね。

北極のムーシカ ミーシカ
KV-2014
ビクターレコード 600円

•企画・制作 虫プロダクション
•日活児童映画部（KK）
•監修・手塚治虫

大島弓子 ますむらひろし レコード制作進行中

大島弓子さんの世界をレコード化しようとビクターレコードが制作にとりかかっているが、なにしろ一枚の白い紙の上に夢をつむぎ出しい大島さんの世界の音楽化でずいぶん難行しているようだ。題は『夜想曲』（仮題）。

同時に2・3月号で特集を組んだますむらひろしさんのレコードもキングレコードで進行中。こちらは、ますむらさん、作詩作曲、歌の独演盤。6月の末にレコーディングの予定。夏の終りには発売になるだろう。

野球狂の詩
北の狼南の虎
CS-7115～6 1,800円
コロンビアレコード

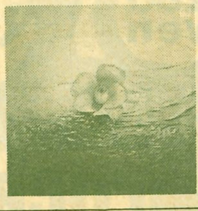
単発アニメーションである、〝野球狂の詩〟の中から「北の狼南の虎」がレコードになった。火浦と王島という双子の兄弟の、マウンドでの戦いのドラマが、レコードの中でどうくり広げられるのだろう。男の闘志は兄弟を超えて行く

赤毛のアン
うたとおはなし
CS-7119
コロンビアレコード

モンゴメリーの原作の「赤毛のアン」がTVアニメになって、それがレコードになったのよ。ここには、うたとおはなしがつまっているの。主題曲は、岸田衿子さんが作詞して、三善晃代が作曲しています。〝アン〟てとてもステキなのよね。

一枚のれこおど

山崎ハコの歌い方は、細い体がボロボロと崩れきるまで歌わなければ気がすまない、という感じがする。このLPより前に出た「流れ酔い唄」などは、目覚めの良い朝に聞くと、いっぺんにきょう一日は、楽しい事をしてはいけないのではないか、と思えてくる。山崎ハコに悪いような気がするのだ。ただ、自分が、うっすらと哀しい時など、どこか開き直った、それでもそうなりきれずに、こぶしを握って歌っているようなハコの声に、共感してしまう。「人間まがい」は、ジャケットも今までの、彼女を撮ったものと違い、椿一輪水の上、といったイメージの変化がある、内容も、映画「地獄」のテーマ曲である〝心だけ愛して〟や〝兄弟心中〟といった曲が耳に残る。それは今までと違い、カワイタ感じのハコを思わせるのだ。



人間まがい
C25A0028
キャニオンレコード 2,500円

SUPER HEAD MAGAZINE
ZOO No. 22
INTERVIEW 300YEN
MAGAZINE THE RAMONES
ADAM + THE ANTS SNAKFINGER TALKING HEADS.
6月25日発売!! 隔月刊
日本で唯一の NEW WAVE MAGAZINE
ZOO編集室 TEL. 03(312)6708
〒166 東京都杉並区高円寺南2－51－4 レジデンス・アシムラ404

魂を起こす旅★喜納昌吉 沖縄!取材
「自分のなかにある根を握れ。それが80年代に生き残るただひとつの道だ」
喜納昌吉は生き方を通して新しい"力の哲学"をつかみとった。
対談
小宮山量平V.S川本三郎
エンタティメント世代って、なんだ.?

7月10日発売! ⑧
宝島
発行：JICC(ジック)出版局

発行所 ロッキング・オン編集室 〒106 東京都港区六本木6 2 7第三サンビル401号 TELEPHONE (03)479 2631

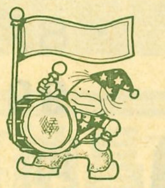
★考えれば考えるほど類似誌が分らなくなってくる偉大な雑誌★
月刊 OUT
380円
8月号の巻頭特集は銀河鉄道999。声優インタビューは富山 敬さん。ヤマトもゴジラもウルトラマンも載るよ。勿論サイレン戦記もOUT政府官報も快調！6月27日発売。

みのり書房 ☎03(815)5825 〒113
©OUT政府 東京都文京区湯島1—10—4 朝日ビル

人はこれをスキャンダル雑誌という ★毎月10日全国発売！
月刊 噂の真相 ★定価 340円
既成の雑誌に飽きたらなかった読者に必ずや面白いと言わせることをテーマに創刊された、雑誌界初の本格派スキャンダル・マガジン。いま、主要ミニコミ誌のトップを行く燃える月刊誌として話題集中！お近くの書店で一度、お手に取ってご覧下さい。
《スタッフ一同》
株式会社 噂の真相 東京都新宿区新宿5－11－18－20C
〒160 ☎(03) 341－7578(代)

Information

●名古屋作画グループ マンガ・イラスト展
●レイ・ハリーハウゼンのアニメーション特集
●棋図かずお＆うめぐみコンサート



展覧会

●**怪奇スリラーマンガ特選展**
日時／7月4日(火)～8月2日(金)
☆水木しげる・棋図かずおetc.貸本時代からのもの百二十点を展示。
場所／現代マンガ図書館
　早稲田鶴巻町
　都バス鶴巻町バス停前
料金／大人200・子供100
問い合せ／☎203・6523

●**作画グループ名古屋展**
日時／7月31日(火)～8月6日(月)
場所／中日ビル5Fロビー
　名古屋市中区栄広小路、
　バスターミナル前
料金／無料
☆作画グループ名古屋地区の人々によるまんが・イラスト展。プロ・アマ多数の原画が展示されます。
問い合せ／名古屋市天白区御前場町103～2 諫山美根子まで。

●**大島弓子の世界展**
日時／7月21日(土)～29日(日)
場所／駸々堂阪急ファイブ店（大阪市北区角田町5－5阪急ファイブ5階）
料金／無料
☆原画（60～70枚）展・既刊作品コーナー設置・即売。
問い合せ／☎06・312・3321

●**永島慎二の世界展**
日時／8月4日(土)～12日(日)
　☆サイン会
　8月5日(日)2時～5時
場所／駸進堂阪急ファイブ店

アニメ上映会

●**奇想天外アニメ・フェスティバル**
日時／7月25日(水)
　「ガリバーの3つの世界」
　7月26日(木)
　「猿人ジョー・ヤング」
　開場6時30分・開演7時
場所／中野文化センター
料金／未定
☆レイ・ハリーハウゼン特集です。今回は、人形アニメーションの未公開作品を上映することになりました。
問い合せ／アニドウ（〒167杉並区荻窪5の11の5鈴屋ビル503並木方 ☎393・0344）

漫画家コーナー

●**棋図かずお・マッチョメフィーバー**

日時／6月30日(土)
　開場6時・開演6時30分
場所／日本教育会館
料金／1700円
☆楳図かずお氏と彼の仲間梅組の面々がコンサートでフィーバーします。ゲストにはイルカ＆アン・ルイスとてもにぎやかです。
問い合せ／ユイ音楽工房☎407・6911

シネ・さえら

●**シネコミ造りの喜びと苦しみ**
日時／6月29日(金)6時～8時
場所／神田アクセス（神田西口）
料金／600円
☆第二十一回タウン誌を読む会。映画村の人々も加わっており、橋本治さんがスターのイラストを書いていた「映画雑徒」も十号で終刊をむかえました。その編集人野原藍さんが、田村紀雄さんを相手にシネコミ作りを語ってくれます。
問い合せ／アクセス☎252・5456

●**「さよなら17歳」上映会**
○上映会＋三田誠広講演
日時／7月6日(金) 6時～
場所／安田生命ホール
料金／当日千円 前売800円
○連続上映会（6時～）
16～20日「さよなら17歳」＋1
16日「戻れない河」 竹島監督
17日「運命の響宴」 森監督
18日「喜談南海変化玉」 長嶺監督
19日「午後2時からのサヨナラ」 井上監督
20日「死村告別」 長内監督
21日＋α（イベント企画中）
場所／恵比寿シネプラザ50
　山手線恵比寿駅西、三菱銀行隣、見須ビル3F
料金／16～20日 800円
　21日 600円
☆屋上企画制作、田代裕監督、自主制作16ミリ「さよなら17歳」が完成、自主ロードショーをはじめました。
問い合せ／屋上企画舎（〒170豊島区池袋本町4～5～29石川荘マイティハウス内☎986・3354）

●**〈女ならやってみな〉上映会**
日時／8月3日(金)4日(土)
場／新宿文化センター
　8月4日夜のみ前売千百円
料金／前売千円 当日千二百円
☆昨年上映されて大好評。「女達による女達のための映画」今年は全国あちこち上映会。
問い合せ／東京☎03－370－0007 仙台☎0222－96－0697（相倉）静岡☎0542－45－2364（魔女館）名古屋☎052－763－3571（ウーマンズハウス）奈良☎0742－71－2608（山崎）京都☎075－821－357（シャンバラ）大阪☎06－392－7768（飛女）神戸☎078－881－5745（奥原）広島☎0822－94－1764（工藤）

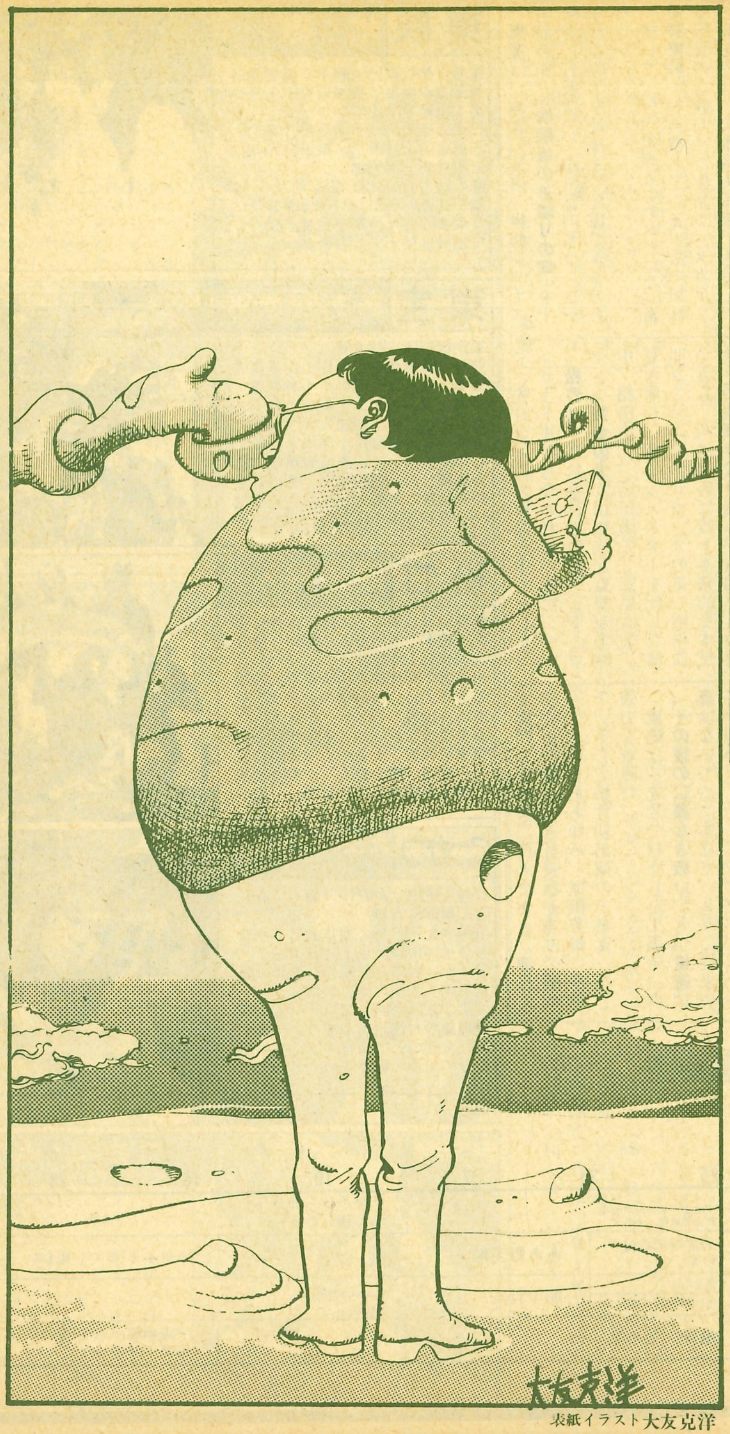
●**渡辺宙明の宇宙**
日時／8月26日(日)開場12時30分
場所／大阪千里ラックスオーディトリアム
料金／前売800円当日千円
☆TVアニメ・変身物などのBGMの作曲者渡辺氏の世界（定員二百人）
問い合せ／ドリームエッセンス（〒531－大阪市大淀区大淀南一の6の4の川 ドリームエッセンス）

情報募集

●まんがに関する情報（展覧会・コミケットなど）を送って下さい。このコーナーで掲載します。尚、〆切は毎月25日です。

 シネ・さえらのさえらとはフランス語（Ça et là）であれこれという意味です。

MOTION PICTURE

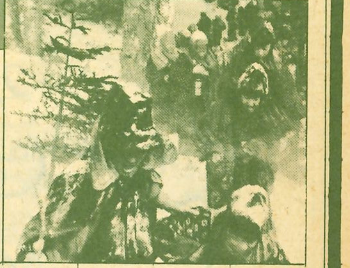


表紙イラスト大友克洋

東映　地獄

監督：神代辰巳／脚本：田中陽造
撮影：赤塚滋／特撮監督：矢島信男／主題歌：山崎ハコ
出演：原田美枝子／岸田今日子／石橋蓮司／林隆三／栗田ひろみ／田中邦衛／浜村純
◉〝堕ちる前に見ておけ〟── 近親相姦というかたちの愛を背景にうずまく人々の業と妄執。果たして地獄は見えてくるのか。

東宝　ああ野麦峠



製作総指揮：持丸寛二
監督：山本薩夫／原作：山本茂実
脚本：服部佳／撮影：小林節雄
出演：大竹しのぶ／原田美枝子／友里千賀子／三国連太郎
◉昭和43年に原作が発表されてから10年、ついに山本監督が映画化を実現した。明治後期、冬の野麦峠を背景に糸紡ぎ工女たちのけなげな青春群像を描く。

松竹　闇の狩人

監督：五社英雄／原作：池波正太郎／脚本：北沢直人／撮影：酒井忠／音楽：佐藤勝
出演者：仲代達矢／千葉真一／原田芳雄／いしだあゆみ／岸恵子／室田日出男
◉金権政治がはびこる徳川10代将軍家治の世、大名のお家騒動に殺しの集団〝闇の狩人〟が動き出す〝時代劇暗黒街〟の世界。

にっかつ　天使のはらわた

監督：田中登／原作・脚本：石井隆／撮影：森勝
出演：鹿沼えり／地井武男／水島美奈子／山口美也子／青山恭子
◉「赤い教室」に続く石井隆の人気劇画「天使のはらわた」シリーズ第3弾。今回、ヒロイン名美は週刊誌の女性記者となり、強姦された女性のその後をルポ、次第に自分の記事の世界へのめりこむ…。

東宝は、本家・金田一耕助シリーズの最終作、**「病院坂の首縊りの家」**を上映中、石坂浩二、市川崑の名コンビが独自の美学を最後まで発揮できるであろうか。

続いて、幻の企画といわれていた**「ああ野麦峠」**が待機している。故内田吐夢監督の念願だった作品で、メガホンを取るのは、山本薩夫監督。大竹しのぶ、原田美枝子、友里千賀子ら、若手演技派女優陣を揃えての大作である。音楽は、最近、大作づいている佐藤勝で、先日は、この作品を中心としたコンサートまで行なわれている。

松竹は、西村寿行原作のハード・ロマン**「黄金の犬」**山根成之監督が上映中、鶴田浩二、島田陽子、菅原文太、夏木勲ら、オール・スターを配した徳間コミュニケーションズの第一回作品である。角川書店に続く本格的な本屋サンの映画界殴り込みが成功するか興味深い。六月下旬からは、池波正太郎原作の**「闇の狩人」**のライン・アップ。昨年、大作として公開された**「雲霧仁左衛門」**路線の二作めである。演出も前作と同様に、五社英雄が当り、仲代達矢、いしだあゆみ、原田芳雄、岸恵子、そして松竹初出演の千葉真一など強力な布陣だ。

東映は、先号で紹介した工藤栄一の**「その後の仁義なき戦い」**と**「俺達に墓はない」**の二本立て、久々に従来の東映調のライン・アップだが、いかがなりますか。

六月三十日からは、ロード・ショーを終えた、神代辰巳監督の**「地獄」**の一般封切である。近頃、大活躍の原田美枝子を主演に、異色のキャスティングで迫る地獄絵図が、現代に適応できるだろうか。特撮は「宇宙からのメッセージ」で、大いに気を吐いた矢島信男が担当しているのも話題である。

にっかつは、人気物の原悦子の三本立てを消化して、七月上旬からは、田中登監督が、あの石井隆原作による**「天使のはらわた・名美」**を、水原ゆう紀主演で撮影中だ。

ちょっと変わったところでは、**東映シネマサーキット**という新しい番線が誕生して、ある山本晋也演出の**「下落合焼とりムービー」**が、第一弾として封切られる。タモリ、所ジョージ、柄本明ら、異色タレントの出演。乞ご期待といったところかな。

洋画の方は、初夏にかけて例年の如く、大攻勢が始まりそうな気配。何といっても、話題の中心は**「スーパーマン」**（'79米／ワーナーブラザーズ）である、コミックの永遠のヒーローを、巨費を投じて念入りに仕上げたのは、「オーメン」のリチャード・ドナー。俳優陣も豪華ですゾ。

同じくSF大作がもう一本、「エイリアン」がそれで、宇宙空間で遭遇した恐怖の出来事が、サスペンス・タッチで描かれている。スタッフ、キャストともに、地味ではあるが本格SFの味わいがありそう。

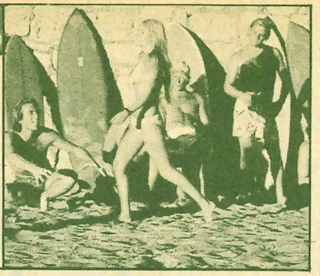
ロバート・ショーの遺作となった**「アバランチ・エクスプレス」**も公開中だ。奇しくも監督のマーク・ロブソンにとっても、遺作になったこの作品、撮り残しの部分は、脚本を担当したエイブラハム・ポワンスキーが、引き続いて受け持ったとのこと。リー・マービン、マクシミリアン・シェルなど、渋味の加わったキャスティングで興味深い。

他には、春休みに空前の大ヒットとなった**「Mr・BOO!」**（'78香港／東宝東和）の第二弾、インベーダー作戦も公開中、香港のホイ三兄弟の珍妙な活躍が今回も楽しめそう。

スケジュール表

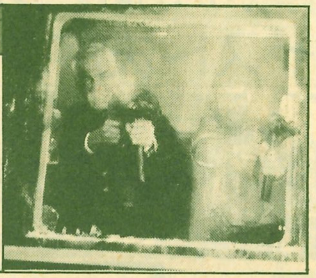
	6/25 ～ 30	30 ～ 7/5 ～ 10 ～ 15	15 ～ 20 ～ 25	料金
にっかつ系	レイプショット・百恵の唇／団地妻・狙われた寝室／異常性欲犯・まわす	7日より　天使のはらわた／白く濡れた夏	21日より　団鬼六・縄と鞭／潮吹き尼／セミ・ドキュメント・主婦売春	一般 1200円　学生 1100円
東宝系	病院坂の首縊りの家	30日より　ああ野麦峠	14日より　ホワイト・ラブ／他1本	一般 1300円　学生 1100円
松竹系	黄金の犬／闇の狩人（ロードショー）	30日より　闇の狩人		一般 1300円　大学 1200円　高校 1100円
東映系	地獄／冬の華		14日より　宇宙戦艦ヤマト・II／海のトリトン	一般 1300円　学生 1100円

カリフォルニア・ドリーミング（'79米、富士映画）



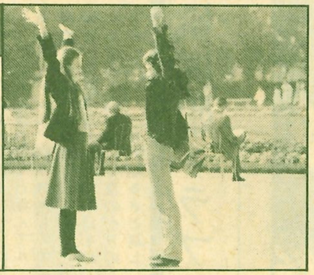
監督：ジョン・ハンコック／脚本：ネッド・ウィン
出演：グリニス・オコーナー／デニス・クリストファー／サイモア・カッセル
◉今や若者文化はここから始まるといっても過言ではないカリフォルニア。サーフィン、ビーチ・バレー等、流行の先端を行くカリフォルニアのライフ・スタイルを網羅したフィルム。

アバランチ・エクスプレス（'79米、ヘラルド）



監督：故マーク・ロブスン／撮影：ジャック・カーディフ／特殊効果：ジョン・ダイクストラ
出演：故ロバート・ショウ／リー・マービン／M・シェル
◉アバランチ・エクスプレス── 雪崩特急。スイスアルプスの難所で巨大な雪崩に襲われたその列車の中では、追う者と追われる者とがいりみだれる……。

リトル・ロマンス（'79米東宝東和）



監督：ジョージ・ロイ・ヒル／脚色：アラン：バーンズ
出演：ダイアン・レイン／テロニアス・ベルナール／R・オリビエ
◉ローレンとダニエル── 13齢の恋人たちがパリからベニスへとランナウェイ！「明日に向かって撃て」「スティング」のヒル監督が初めてヨーロッパで手がけたラブ・ストーリィ。

大列車強盗（'78英、ユナイト）

監督・脚本・原作：マイケル・クライトン／製作：J・フォアマン／撮影：ジョフリー・アンスワース
出演：ショーン・コネリー／ドナルド・サザーランド
◉ロンドン暗黒街稀代の悪漢エドワード・ピアスとその一味が、ビクトリア朝大英帝国を背景に織りなす史上初の強盗作戦。狙うはクリミア戦争軍費の莫大な金塊。

アンクル・ジョー（'78米、ユナイト）

監督：ジョゼフ・ハンライト／撮影：ビル・バトラー／脚本：バート・ヤング／音楽：ビル・コンティ
出演：バート・ヤング／ダグ・マッキーン／マッジ・シンクレア
◉突然の火災で妻子を失ったかっての人気トランペッターと、母に捨てられた足を病む6才の少年の魂の触れ合いを、トランペット・ソロをB・G・Mに描く……。

黒沢明「影武者」製作追いかけ情報 その2
キャスト決定!!

1月22日以来、かってない規模で出演者の一般公募をおこなっていた「影武者」（黒澤明監督）のオーデション結果が、去る4月28日、砧の東宝撮影所にて発表された。

申し込み受付以来、全国から1万5千通を越える応募があり、第5次に渡る面接テストを終えてステージに並んだ70名の武者たちの、緊張ぶりは大変なもの。

武田勝頼に決定した萩原健一の、「今の心境は言葉ではとても言いあらわせない」という ひと言が印象的だ。家康、信長役をはじめとしてアマチュアの採用が目立ち、日本で初めてといわれる大がかりなオーディションの効果は上々。黒澤監督から出演を依頼されたキャスティングは大滝秀治ただひとり、という ほどである。「プロ・アマを問わず自然に動けてしゃべれる人をポイントに選んだ」とは監督の言。

「影武者」は6月下旬から撮影にはいり、公開の予定は'80年4月とのことである。現在、監督自身によるコンテが進行中。

主な出演者は次のとおり。
武田信廉＝山崎　努
武田勝頼＝萩原健一
「火」の隊の大将山県昌景＝大滝秀治／「風」の隊の大将馬場信春＝室田日出男／「林」の隊の大将内藤昌豊＝志甫隆之（建築家）
上杉謙信＝清水利比古（映画、演劇には無関係）

OLD

巴里祭

監督・脚本：ルネ・クレール／撮影：ジョルジュ・ペリナール／音楽：モーリス・ジョーベール
出演：ジョルジュ・リゴー／アナベラ／レーモン・コルディ

エキプ・ド・シネマの新企画、〝第2回世界名作シリーズ、特別上映会、作家研究――ルネ・クレール篇〟の第1弾である。

「巴里の屋根の下」と並んでルネ・クレールの、パリ情緒ものの傑作。全篇にあふれるパリの下町情緒、7月14日の革命記念日をめぐる市内の飾りつけや夏のパリのにわか雨が、パリの明るさと哀しさを誘う。モーリス・ジョーベール作曲の流れるような、夢見るような主題歌にのって、花売娘のアンナとタクシー運転手ジャンの恋が描かれていく……。

「巴里祭」は7月7日（土）より岩波ホールにて公開。ルネ・クレール篇は続いて、第2弾「自由を我等に」（8月4日より）、第3弾「巴里の屋根の下」（9月1日より）がひかえている。「自由を我等に」は、クレール自らが製作・シナリオ・監督を兼ねたセミミュージカル形式の作品。純粋な映画的発想もとづいて資本主義社会における人間の自由の問題を戯画化している。

「巴里の屋根の下」はルネ・クレールのトーキー第1作であると共に、フランスのトーキー映画出発点における代表作である。トーキー美学の最初の独創的な試みと全篇に流れる甘美な主題曲が鮮やかな印象を誘う。この機会に、ぜひクレール映画に触れてみたいものである。

（東宝東和提供、東和プロモーション配給、フランス映画）

すてきな原作つき日活映画２本

桃尻娘・ラブアタック――橋本治

桃尻娘・ラブアタック／監督：小原宏裕／出演：竹田かほり／亜湖／原悦子／

高校エロトピア・赤い制服――大友克洋

高校エロトピア・赤い制服／監督：白鳥信一／出演：原悦子／日夏たより／飛鳥裕子

カツキチくんの試写室通い⑩

いつか花になるために――10年間は修羅の時代

のっけから試写でない、封切も終わってしまった映画で恐縮なのだけれど、評判の**「もっとしなやかに・もっとしたたかに」**（藤田敏八監督、'79にっかつ）を封切で見た。いい、いい、と見た人ごとに言われて期待して行ったのに、結果としてなんとなく肩すかしをくった気分。肩すかしの原因はいろいろあるのだけれど、ひと言でいえば〝そこに描かれた世界が魅力的でなかった〟ということなのだ。

描かれている〝とき〟は今のわたしと同じくらい、いわゆる〝青春時代〟。別居中の奥さんと若い女のコと、ふたりの女性のあいだでさまよう主人公の男の子のダメさかげんは、確かに青春時代のそれかもしれない。それは、回顧する場合はある種の苦みを伴った甘さになるのだろう。でも、今日ただ現在同じ地点にいるわたしにとっては、最後に女のコを追いかけようとして車にひかれてあっけなく死んでしまうしかないような、そんなどうしようもなさを映画のなかにまで見るのはつらいのですよ。

なにも、ダメさかげんがしんどいというのではない。それが、いつか楽になるためのしんどさ、ある種の熱っぽい思いいれをこめた苦みならば、同時進行形で、わたしはスクリーンの中にもうひとりのわたしを見つけてしまうことができる。たとえば「さらば映画の友よ――インディアンサマー――」（原田真人監督、'79ヘラルド）のように。

原田真人は29才。川谷拓三は37才。映画の年代は'68年から'69年にかけてで、原田真人自身を思わせる主人公の少年シューマは19才の浪人生。同じ19才のわたしには、当然のことながら10年間の隔たりを経てなお共感できる部分とわからない部分とがある。「ブルーライト・ヨコハマ」とか「グッドナイト・ベイビー」とか、流れるB・G・Mにしても、東大闘争とか3億円事件とか、背景になるニュースにしても、すべて懐しくはあっても青春という響きとは重ならない。わたしとシューマとが重なる部分はただひとつ、最も根本的に〝現在〟――19才の現在のしんどさなのだ。

さらば映画の友よ――インディアンサマー

自分のやりたいことが具体的にもうひとつ、つかめない。大学生活がモラトリアム期間だなんて、考えてみれば贅沢な話ね。ただ確かなのは、今実際に学びたいこととみっつ――ものを見きわめることと、何かを言いきることと、本当に人を好きになること――を教えてくれるのは大学の授業ではないのだ、ということ。そういうしんどさをかかえて、でも現在しんどいのはね、いつか楽な気持ちで生きていくための踏み台なのだ。自分が30才になった時に――と考える。30才になった時、アメリカ資本を出させて自分の好きな映画を撮っている原田真人のような、そんな風な軽やかさを持てたらいいなと思う。

原田真人に限らない。女性でも、わたしのまわりにはすてきな歳上の女性がなぜだかたくさんいる。しんどさをとびこえたような彼女たちを見ていてつきあがってくるのは、〝あんな風になりたいな〟という想い。でも、本当はそうではないのよね、真崎さん。〝すべての〈よーになりたい〉想いは、自己培養することによっては、はじめて〈よしにならなくてもいー〉ことへとくぐりぬける窓をあけはなしていく。〟（ぱふ5月号より）という真崎さんの言葉、痛いほどにわかるのだけどしみいるほどに自分のものにはまだできないのだ。世の中は本当はしんどくないんだよ、ちょっと視点をひっくり返せば楽になれるんだよって、教えてくれるひとはたくさんいるのだけれど、それでも現在はしんどいのよね、シューマ。

だからやっぱり、10年間は修羅の時代。いつか花になるために、10年間は修羅の時代。わたしの場合、それは高校を出た18才の時から始まって、自分の今のことや自分のこれからのことや、家のことや人を好きになることや、難しいことはいくらでもあるのよね、シューマ。だから現在はがんばろう。10年間をがんばろう。

そうだ、最後にひと言。川谷拓三扮する映画狂のダンさん、37才のあなたはこの映画の中で一番輝いていたわよ。

香月千成子

映画評のページ

〈ぼくらの時代〉の〈ぼくらの映画〉

伊藤聡

ぼくは、映画館の暗闇の中で、映画を通して、ものを考えることも好きな人間である。日常生活の中の数限りない〈事実〉の集積もさることながら、スクリーンに映し出されるたったひとつの〈真実〉の方に、どちらかと言えばコダワリを感じてゆきたい。今号からこのコーナーで映画について書いてゆくことになったのだけれど、このコダワリはなくしたくないと想っているので、ヨロシク。

ただし、あの役者の生年月日や私生活がどうでこうでとか、十年も前の映画の何処が良かったの悪かったのとかいった会話はしたくない。そんな饒舌は映画館のロビーか喫茶店ででもやればいいのダ。第一そこからは何も生まれはしないだろう。ぼくがこれから問題にしてゆきたいのは、現在ただ今の映画であり、あるいはこれからの映画についてだけである。

タイトルを〝〈ぼくらの時代〉の〈ぼくらの映画〉〟としたのもそこをキッチリとおさえておきたいからだ。〈〉付きでなんだかメンドクサイけれど、〝ぼくらの時代〟とか〝ぼくらの映画〟と今ストレートに言い切ってしまうことには、いささかの抵抗感がある。先月号で松下則之氏も書いているが、〈ぼくら〉と呼ぶ前に先ず無数の〈ぼく〉が出現すべきであり、それがものの順序だと想うからである。ただ、ひとつだけぼくなりの仮説を提出しておくならば、〈ぼくらの世代〉は〈ぼくらの世代〉と呼ぶ以外に呼びようがないのではあるまいか。焼跡闇市も安保も共通の大きな旗印と呼べるものを何ひとつとして〈ぼくら〉は持っていない。逆に言えば、皆が手前勝手な小さな旗印を持って振っている。そんな〈ぼくらの世代〉を〈ぼくらの世代〉と呼ぶ以外に本当に呼びようがないとするならば、それは気弱でもなんでもない、結構素晴らしいことなのダ。

前説が長くなってしまった。さて、今回のテーマ（?）は〝映画評論とは何か〟である。と言っても、映画評論の評論をやるわけでも、映画評論の書き方を論じるわけでもない。実のところ、これは編集部からの要請であって、九月号から始める「読者の映画評」(仮称）欄のために、その呼び水的な文章を書いてくれというわけなのダ。実際問題として呼び水になるかどうかわからないのだけれども、ぼくは自分の体験に則して語るほかはない。

かつて「キネマ旬報」という面白い映画雑誌があった。いや、今でも「キネマ旬報」という名前の映画雑誌はある。ぼくはここ二年半ほど読んでいないので、今の「キネ旬」を読んでいる人にきくと、かってほど面白くない、いや、はっきり言ってひどくツマラナイそうである。ここで言うかってと今とを明瞭に分かつ一点は、世に言う〈キネマ旬報事件〉という名の編集長解任に伴う一連の事件であるが、これについて語るのは本題ではない。

とにかく、かつて「キネマ旬報」という面白い映画雑誌があった。ぼくはその熱心な読者のひとりだった。当時の「キネ旬」が何故面白かったかと言えば、要するに読者ひとりひとりの本音が誌面に反映している文字通り〝ぼくらの雑誌〟だったからである。特に「読者の映画評」欄が面白く、ぼくも何度か投稿を試みたのだが、妙に大人ぶったり、映画評論家気取りでおもねった評はことごとく没にされ、逆に、まるで自問自答するような、右往左往しながらもなんとかぼくなりの評価を下せた評が活字化された。その結果から、なるほど映画評論とは自分自身の感性に忠実に自分の言葉と方法で書くことが大切なのだな、と理解した。これが当時の「キネ旬」とその編集長であった白井佳夫氏から身をもって学んだ大きなことのひとつであり、ぼくが映画評論について言えることと言えばたかがこれだけのことである。

なんだ、そんな当り前で簡単なことかと言われればその通りだし、それで呼び水になるのかと言われたら面目ないが、そう想ったら原稿用紙に自分なりに書いてみればいい。八百字前後のスペースに自分の感性を盛りこみ、かつ、他人が読んで手応えのあるものにする作業は結構難しい。でも、それを乗り越えてチャレンジして欲しい。何はともあれ、それが先ず第一歩なのだから。

そして、その作業の果てに、〈ぼくの映画〉〈君の映画〉が見えてきた時、はじめて〈〉抜きの〝ぼくらの時代のぼくらの映画〟がはっきりと見えてくるはずだ。そんな映画をぼくは今無性に観たい！

読者の映画評募集

まんがの批評と同様に、読者の方の映画評も募集します。「まんがの本で映画評……？」と思われる方もいるかもしれませんが、映画を単なる実写と考えずに、MOTION PICTURE——動く画、とみてほしいのです。従ってこの映画評では、邦画・洋画の旧作・近作、アニメーション等、MOTION PICTUREに関するものを広く募集していきたいと思います。生きているフィルムを、あなたもあなたなりに追いかけてみませんか？

応募の要領は従来の〝読者のまんが評〟と同じにします。すなわち、短評は 200字詰原稿用紙４枚で。短評ではどうしても言いたいことが言えないという方は、200字詰原稿用紙16枚基本に長篇論文に挑戦してみてください。原稿は必ず原稿用紙(400字詰でもけっこうです）に書き、ぱふ編集部〝読者の映画評〟宛に送ってください。力作を期待しています。

今月の話題作

さらば映画の友よ

——インディアン・サマー

まず、映画が始った。

この映画にはのれると思った。映画の中冒頭映画館の場面である。「肉弾」のタイトルがUPになる。ああ、ここにあの時代、「肉弾」をみて感動したもうひとりの男がいたんだと思うと、それだけでこの映画に、のれると思ってしまったのだ。

原田真人の第一回監督作「さらば映画の友よ」の試写を皇居前の第一生命ホールでみた。この第一生命のビルは敗戦後、米軍が占領下の日本統治のためのGHQ本部のあったところである。

原田真人は浪人したのち日本の大学へはいかず米ロサンゼルスに定住し、映画の記事などをキネ旬等に寄稿し、一部の読者の支持を得ていた。二十九歳の原田真人は、当然の如く戦争は知らない、米の残していった「民主主義」の中で育ちH・ホークスのファンになり当然の帰結として米へ渡り、その、これまでのアメリカ感覚の横溢した生活の「結果」を、マッカーサーの君臨した元GHQ本部で発表した。

これが偶然か、あるいは計算したことか僕は知らないが、これだけでひとつの時代の終りと始りを僕は感じてしまった。終りと書いたのはこの映画全体にみなぎるひとつの国家概念の喪失感であり、始まりと書いたのはそれを乗り越えての新しい世代の躍動感のせいである。新しい世代というのは正確ではない。換言するならば、ようやく僕らと同じ世代の若い連中が自分の言葉でものを語り始めたということなのだ。世代というものを年齢に限れば、今までそれは映画に於も同世代の連中の活躍をみなかったわけではない。

けれど僕には、この原田真人のこの作品がホントにしっくりときたかというのをここでは本筋にしたくないので軽く受け流すと、まず第一に彼が「肉弾」に感動したひとりであること、H・ホークスのファンであること、そして映画が好きであること。この作品に則して言えば、かつて日本映画ではみることのなかった西洋感覚のカッテングの妙。絵としての日本の風景の画面への定着。そして人間をみる眼のあたたかさ。

残念ながら僕のまわりでは、老若男女とりまぜて、この映画をほめているひとにはめぐりあったことがない。活字媒体の批評もこの作品に関してはべタげなしである。

確かに脚本にも無理があるだろし、人間のつっこみが浅いと言われればそのとうりであるかもしれない。しかし映画が——動く画であるとすれば、これ程、絵づくりをキチンとした作品がここしばらくあっただろうか。絵づくりをきちんとするということは人をキチンとみることである。僕が学生の頃、ヌーベルヴァーグ全盛の頃で黒沢明や岡本喜八のファンなどと言えば袋叩きにされかねない情況があった。同じあやまちを繰り返えすことのなきようにとの忠告などする気はないが、ともあれ、この作品は僕の今年のベストワンである。

可部達郎

白井佳夫の議論のページ

ビアンコ・エ・ネーロ 白と黒 PART 7

なぜ自分自身の眼で物を見ないで、一般論に逃げるのですか？

「毎回、ビアンコ・エ・ネーロ、おもしろく読んでいます。正直いって、白井さんに送ってくる反論の手紙は、本当に二〇才すぎの人の書いた文章ですか？ 一〇代のボクですら、びっくりしてしまう（とはいえ、ボクも一〇代のどん詰りですけど）。

一〇代そこそこの少女が『絶対にヤマトはいいのよ。誰が何てったってエエ、ソウヨ。白井の野郎にワカッテたまるもんですか、イーッだ！』というのは、幾分想像できますよ。けど、いやしくも象牙の城にかよっている者が『いい、悪いっていうのは、都合のいい、悪いに他ならない』とか、『映画館は、精神的な疲れをいやす場所でならなくてはならないはずだ』とか、平気のヘイザで言えるものだ。読んでる方が恥かしくなってしまう。

自分にとって『良い』のはなぜか、という事を考えてみよう。それがなぜ、他人にとって『悪い』のかを聞いてみよう、という姿勢がないのではないか。

斎藤信行氏に書いておきます。映画館は、ボク自身の眼をキタエる所です。ボクの眼が画面に映し出される光の粒子を、自分にとって何であるのかをとらえる事ができるか、という事で、この物が自分にとって精神に作用するのはなぜか、を考える事です。

映画監督という表現者は、映画という表現手段で、何かを伝えているのです。その何かを、眼でとらえる事ができるかどうかです。一度表現されたものは、もう受け手がどう料理してもいいのです。だから一つの表現されたものに、一〇人の料理人がいたって、かまわないのです。一〇人の料理人に一〇通りの料理の仕方があるのですから。ここに議論が生れます。」（京都市左京区黒谷町一・小林方・南山知裕・19才）

まことに正論です。こういう認識基盤の上に立たないと、いくらこの「ビアンコ・エ・ネーロ」のページで、私ばかりが力んでみても、議論そのものが、まったく成り立たず、感情論のぶつけあいになってしまいます。47才の私は、私なりの「ヤマト」についての具体的な分析をやって、そこから出てきた論理を書いているつもりです。それは「自分はこう思うのだけれど、あれに熱狂したあなたは、どう思っているのですか？」と、その、あなたなりの論理化を、聞いてみたいと思うからです。

世代が違い、考えが違う人間が、一つのことに対する「良い」「悪い」が違うのは、いわば当り前のこと。その違う同士が、それぞれの考えを、抽象論でなく、具体論としてぶつけ合いたいから、「ヤマト」を例にとって、ものをいっているつもりなのです。

「貴方のあからさまな挑発文を読んで、かなりの憤りと苛立ちを感じたので、少し書くことにする。僕は貴方のいわんとしていることに、毎日の学校生活、その他の同世代の日常の中で痛切に感じていることであるから、反論しようというつもりはない。

貴方の議論のページでひっかかったのは、『中年男……ね……』という最低の、ブベツともいえる台詞である。このひとことが、すべてを象徴しているから特に指摘したわけだが、とにかく完全に読者の程度をきめつけ、初めから自分、または自分たち中年の世代と『お若いかたがた』を格付けし、しかもそこからは、例の『俺達の若いころは……』調の棚上げ思想が、ぷんぷんしてくるのだ。

『ヤマト』やその他の事に関する若人の総白痴化、集団埋没化、個性統一化、流行同調化などは、なにも今にはじまったことではないし、若者に限ったことではないと思うのだ。日本の古代から国民性とかたずけられてきた奇妙な性が表面化したにすぎない、と僕はいいたいのである。」（東京都町田市大蔵町三〇八五の八・たにかわじゅん・18才・高等部生）

なるほど、面白い論理です。自分は「ヤマト」に熱狂するような、総白痴化連中ではないし、そういうことを憂えている一人なのだけれども、あなたのものの言いかたが気にくわんのだ——というわけですか。そして、自分をのぞく多数の人間が、集団埋没化してしまっているのは、日本の古代からの国民性によるものなんだから、しょうがないのだ——というわけ？

要するに、そんな風に総てをパターン化された一般論におきかえてしまって、自分はそんな世を内心憂えている人間なのだ、というエクスキューズで、逃げてしまって、具体論はやらずにすませておこう、というわけですか。そして「アンタのその、言い方がイヤなんだよ」という感情論で、自分のムシャクシャを一時晴らそう、というわけですな。

なるほど、いくら議論をしかけても、受けて立つ投書があんまりこないので、読者諸君を「カッ」とさせて、筆をとってもらうべく、多少の挑発をやったぞとは、認めましょう。しかし、それは「お若いかたがたよ、なぜ自己を論理化して、この欄にぶっつけてこないのですか？ もっと怒って、自分の言葉と論理による自己主張をやってごらんよ！」ということの、挑発です。

「中年がどうだ」とか「若者がどうだ」とか

いう、実りなき一般論、「没個性は日本人の古来の性向」などという常識以前のパターン一般論を、今さらこの貴重なページ（私はかなりの時間と、諸君の投書を読む労力をさいて、この欄をやっているのですゾ）でやる気は、ありません。一般抽象論は、論理のお遊びになりやすく、論のための論を、相手に浴びせかけるのみの、コンニャク問答になってしまいやすい。

そうじゃなくて、「ヤマト」について、「スター・ウォーズ」について、「ディア・ハンター」について、すこぶる具体的に、お互いの思いを、自分なりの言葉、自分なりの分析で論理化して、ぶつけあってみたい。そうすると、お互い一人で考えていたのでは出てこなかった何かが、そのぶつかりあいを刺激として、思いもよらぬ形で、出てきたりもするかもしれない。そしたら、お互いにとって得になることではないか、というわけなのです。

「ヤマトがファシズム志向だって？　当たり前じゃねえか。反動映画会社は、反動映画しか作らねえよ。反動映画会社の反動作品についての反動的な評論を、反動出版社の反動雑誌に書いている、反動的な映画評論家が、進歩的なポーズをとるなよ。

あんたがロードショー誌で90点つけた『ディア・ハンター』ってえのは、なんだい。あれこそベトナム戦争の仕掛人であるアメリカの独占資本が泣いて喜ぶ、大反動作品（商品）じゃねえか。エーッ。どうしてあれが近来の秀作なんだよ。

このへんがいいかげんだから『などということを、鬼の首でもとったように、そうそういいたてるつもりはあまりない』ということになるんじゃないの。」（ヒロヒト・21才・鶴見の消印のあるハガキ）

この位のチャレンジが、本名の投稿で堂々と出てくるようだと、このページもぐんと面白くなるのですが。自分が仮面をかぶって、誰とも知れない立場に身を隠し、威勢をつけないと、こんなこともいえないのですね？　孤独なうっ屈した、カクレンボの坊や君。でも、いいたいことは、よくわかる。なるほど。

「ディア・ハンター」の、ロシアン・ルーレット左拳銃賭博の出てくるあたりが中心の、あの映画のベトナム人観、というより、ひいては東洋人観というのは、いかにもハリウッド映画人が作ったらしい、古い古いエキゾティシズムによる、かなり馬鹿々々しい作り事のイメージだ、と私も思う。そのことについては「週刊朝日」に連載している「白井佳夫のキネマ週報」にも書きました。

ロードショー誌の、数十字の短評などで、あまり人の考えなどというものの全体を、類推などしてくださるな。そして、あの東洋人観というものが、アメリカ人たちの、さらにいえば西洋人たちの東洋人たちに対する偏見につながっている、という考え方は、私もまったく、正しいと思う。

が、だからといって、映画「ディア・ハンター」が、論ずべくもない反動的駄作だなどとは私は思わないのです。むしろ、アメリカ人のベトナム観というのは、なるほどこんなものであったのか、というふうに、現代のアメリカ人たちの偽らざる心情の反映をそこに見て、ゾッとするリアリティを感じた、といった方が正しい。

そのこと自体のリアリティが、あえて私に、あの映画を「秀作」と呼ばせてもいるのです。

「あんな反動映画は日本で上映しちゃいかん」というのは、日本共産党流のピューリタニズムの論理だ（事実、日本映画復興会議というところは、そういう運動をやりました）。映画「ディア・ハンター」は、そういうあたりをちゃんと読みとって、それに立脚したアメリカ論を書ける位の手ごたえを持った映画だ、と私は思うのです。そんな考え方に反論があるのだったら、ヒロヒト君、今度はちゃんと本名を名のって投書してくれたまえ。もっと具体的な自分自身の「ディア・ハンター」分析を、ちゃんと書いてね。

自分にとって不快なものを、全部「反動」の一語でくくってしまって、ダメだ、見ちゃいかん、では、それこそファシズムではありませんか？　何も、一〇〇パーセント感謝感激した映画ばかりが、自分にとって価値ある映画なのでは、ないのだと思うのです。「カッ」となって

怒り狂うような映画こそが、それを批判し、論ずることで、自分の思考を前進させてくれる「秀作」なのかもしれないのです。「反動だ！」などという、頭の古いコミュニストがいうような、教条的一般論になど逃げこんでくださるな。

「あんたは『自己を論理化することを、なぜそんなに恐れるの？』なんていってるけれどネ、俺は十分に恐いことだと思うよ。いわゆる知的文化人って呼ばれる人は、キリスト教か、マルキシズムの信奉者が多い。なぜか――そうすることで、西洋人的に自我統一を図っているというワケじゃないのかネ。そして西洋人ズラして、日本の精神状況を批判するんだ。

ずるいネ――少なくとも、そういった立場での批判は、経験則的に物事の相対性、価値の多様性を感じてしまっている俺達には、何の示唆も与えはしない。俺は自分が自我分裂しているのを知っているし、日本人のほとんどは自我分裂をおこしているよ――西洋的、個人主義的、合理的なものと、日本的、情緒的なものとのかねあいでサ。

だから、そこから目をおおい、耳をふさぎたいんだと思うよ――それを、あんた達評論家は『目を覚ませ！　耳をかっぽじれ！』ってやるんだよ。それはそれで結構な事だけど、俺は、ではあんたって日本人はどうやって、いかなるアイデンティティを、自己の内に確立したのかってことを知りたいんだよ。

自我分裂を起している自分を見つめ、論理化する仕事は、地獄みたいな事だとは、思いはしないのかい!?　俺は評論家は『では、どうしたらいいのか』ってことに対し、それなりの解答を出すべきだと思うんだ。俺は、本当に知りたいんだよ――既成の権威に頼らずにアイデンティティを確立した日本人がいるのかどうか――いるとしたら、どういやってだかサ……！」（北海道・鏑木淳・21才・学生）

とても、面白い意見だ、と思う。だがね、そんな風に、他人が構築完成させたアイデンティティを、一つの完成した論理として教えてもらって、それで自己のアイデンティティを確立し、それから、それに即して何かを考え、自己の思考を展開させていってみたい、なんて考え方は、それこそ、ずるいネ。

そんなにすっぽりと、自分自身は手を汚さず、何もかも完全に示唆してもらい、教えてもらおうという考え方は、これまたファシズムに通じやすい、ドレイの思想じゃないのかしら、と私には思えてならないのです。

自我分裂を起している自分を、自分自身で見つめ、自分なりに自己の論理化を模索する、という具体的な自分自身の作業を放棄して、万人が、ヒットラーの叫ぶ第三帝国の理想を信じ、唱和してしまったところから、ナチス・ドイツの悲劇は、はじまったのではなかっただろうか。

私が尊敬する、もう死んでしまった、詩人であり小説家であり映画監督でもあった、ピエル・パオロ・パゾリーニというイタリア人は、カトリシズムの徒として出発し、そしてコミュニストとなり、やがてそのどちらの教条主義からも離反し、双方の陣営から異端視された人物だった。

彼にとっては、カトリシズムも、マルキシズムも、教義ではなかった。自分自身を見詰め、人間について、社会について、考えるための手がかり、道具であったわけです。そして、自己の模索を、具体的に詩を書き、小説を書き、映画を作ることで、彼は「地獄のような苦しみをもって」やったのです。

「テオレマ」とか「豚小屋」とか「王女メディア」とか「デカメロン」とかいう映画は、だから私を感動させた。彼の作品に具体的にふれることで、私の内部に、新しいものを見る眼が触発された、のです。

アイデンティティ確立のための、万能薬的一般論などというものは、ないのです。むしろ「それを求めるための具体的な戦いの持続」が、即ち「私自身のアイデンティティ」を形成している、という気が私はするのですけれどもね。

ANIMATION

●今回は本格的製作にはいった火の鳥を取上げてみた

惚れちゃならない他人(あいつ)のキャラを—10

小田克也 カットも筆者

■アニメショーはゴーカケンラン

最近では、シーズンを狙り、あまり気の進まぬままって商魂逞ましく、ガキ相野次馬根性で出かけて行って(ばかりでない)に、アた。アニメの展示会やらショーが、地方都市にまで波及する御時世である。

去る五月のG・W中に、高島屋デパートで開催の〝アニメの広場〟もその類で、こちとらまでお座敷がかかった。

催し物のコーナーには、例のごとくポスターやスチール、絵コンテ、セルやらが、まるで玩具売場みたいにゴーカケンランと並び、その一角に、にわか造りの小さな舞台らしきものがあって、日替り番組が掲げられてある。ぬいぐるみショー、歌有名漫画家先生のサイン会、そしてアニメ教室、etc……と。

その中の一つで、われわれにわかセンセイの出番が〝アニメ教室〟というワケである。

ペインターの女のこがアシスタントとしてついて、日に2回の出演。もう一人のにわかセンセイと一日交代に2日出るので、合計4回というわけ。

もう一人のセンセイは、サイボーグ009なんかの作画監督もやっているK君。

さすがは現役の売れッ子アニメーターだけあって、デパートのにわか教室でも、もう大変なモテモテぶり。

司会の美しいおネエさんが、マイク片手にセンセイを紹介すれば、ラフなスタイルのK君さっそうと登場。

〝ハーイ、みなさんこんにちワー、○○デース！〟なあんちゃって。

なんか、ピンポンパンのステージにでも現われるみたいな気軽さでなきゃ、やっぱしカツコウがつかないんだなァ、と、妙なところで感心する。

中、高生とおぼしき娘ッ子(アニメ・ファンというのは、どうも子供っぽく見えるネ)らに取囲まれて、次々に差し出されて山のように抱えた色紙に、得意のキャラ絵とサイン名を、K君はいかにも馴れた手つきで、てきぱきとさばくのである。

すっかりスター的な貫録と、スマートなふるまいぶりに、ヘエーなるほどネエと、ぼくは又また感心するばかりであった。

現役アニメーターの強味というか、その差は、すでにアニメーターとして〝過去の人〟の方であるぼくとは、まさにダンチなのだ。

更に、それは出演日のローテションにも歴然と表われる。

同じG・W中でも、K君は日曜、祭日が割り当てられ、ぼくの方は、その間の継ぎ目であるウィーク・デーを受持つわけ。

おまけに、ぼくの講座の合間に前後して、いまやアニメのアイドル歌手として、これまたモテモテの堀江美都子ショーが入るのだから、どうしてもワリをくう。

超満員の人垣の間から、キンキラ衣装にUFOスタイルで唄う堀江美都子チャンの、おいしそうな丸出しの太モモを眺めていながら、出番待ちのぼくは、のこのこデパートなんかに、これといったビジョンももたずに出てきたことを後悔した。

■アニメファンはおそろしい

そんなイジけた気分を決定的にしたのは、講義の途中で、高校生らしいのから質問がとんできた時である。

〝小田さんは、いまアニメを描いていないようですが、どうしてですか？〟

一瞬、返答に窮した。いや、正直なところ大いにとまどったと言った方がいいのかも。

それに応答できる、理由づけの言葉が見つからないのである。

〝そうだなァ、今のアニメについて行けなくなったというか、ヤル気をなくしたんだなァ、自分の限界も悟ったし……〟とか、何とかもっともらしく弁解するのは、いかにも安易すぎるし、どうも自分を偽っているようでもあり、そんなゴマ化し加減の後味がよろしくない。

人は、何かから手をひく時、どんなに友人や肉親といえども、言葉として内なる心情を表面に明かしたくないもの、ってある筈である。

質疑応答の際に、〝ハーモニー方式と、その効果について〟というような、かなりマニヤ的なのが多く、自分は単なるミーハーではないのだゾといった発言がみえみえで、答えるのにシラケてくる。

テクニックへの関心も結構だけど、もっとアニメならではの、面白さを追求する声が出てきてもよさそう

今、手塚さんとアニメは……

「話の特集」7月号を本屋で見かけて驚いた。手塚治虫が表紙になっているのだ。アレ？手塚さんこんなところでどうしたの？——とパラパラと手に取ってみてまた驚いた。なんと、本文の巻頭で11ページにわたる大長文〝ワッ！いったいなんだどうした〟——と今度は本腰いれて初めのページから目を通してみた。

タイトルは〝瀕死のアニメーション〟。サブタイトルとして〝アニメは、異常発達した肥満児みたいに、醜く、病んでいる。〟とある。『指輪物語』の話から始まって虫プロのこと、アニメファンのこと、今のアニメブームのこと——アニメに関する問題点をひと通りさらいながら、その底に流れているのは手塚さんのしんどさだ。

「アニメは熱気だ」と手塚さんは前に言ったことがある。ライフワーク「火の鳥」のアニメ化は、手塚さんの夢のひとつであったと思う。その夢に取りくんでいる今、こういう文章を書かねばならないしんどさを抱えて、それでも手塚治虫はアニメ「火の鳥」を創りあげるだろう。一ファンとして、今は「がんばってください」としか言えないのです。

製作発表会もすんで、いよいよ本格的な製作を開始した長編アニメ

昭和29年に『漫画少年』で連載を開始して以来実に25年間、掲載誌を移りながらも描きつがれてきた作者のライフ・ワークである。

去る3月9日に東京会館で製作発表会が開かれ、手塚氏自身の手でキャラクターの紹介等がおこなわれた。今回のアニメは原作の単なる焼き直しでなく、第一部〝黎明篇〟から現在連載中の〝乱世篇〟に至る立体的構成の中で、それらのエピソードと全く対等に独立した物語だ。火の鳥自身についてもこれまでの女性的なイメージとは違って、男性的な荒々しい怪物的なキャラクターになっている。

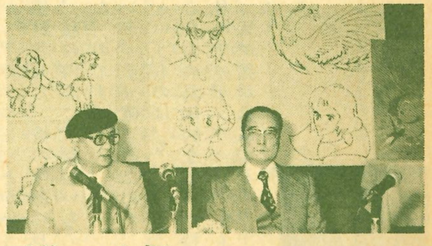
公開は来春の予定ということだが、とにかく手塚さんの心のゆくままにがんばってもらいたい。

東宝・手塚プロ提携作品

火の鳥 2772 愛のコスモゾーン

手塚治虫が自らの手で、「火の鳥」のアニメ化に本格的にとりくみ始め、今アニメ界の注目を集めている。「火の鳥」については今さら説明するまでもなかろうが、

アニメ「火の鳥」のキャラクターたち



原作・監督・脚本・総指揮／手塚治虫

製作／市川喜一・明田川進

(注)ハーモニーとは、背景の上に描線セルを重ねて、劇画タッチの効果を狙ったもの。

なのに、と思いつゝ、2回目からは、お遊び時間に徹することにした。
ギャグの動きに、どれだけの発想と表現力をもっているか、課題を出してその場で描かせたら、大学・高校生よりも、小学生あたりになかなかいいセンスをもっているのが何人かいた。
情報知識に囲まれて育っただけに、この手の分野に新らしい可能性が出てきそうな期待感をちょっぴり得たのが、まあ救いであった。

■技術に惚れてもキャラに惚れるな

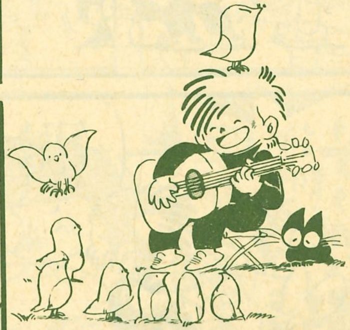
アニメーターとして、プロへの道を生きようとするならば、誰しも一流を目指したいという願望がある。
二流くらいなら、努力次第では何とかなるだろうが、一流になるにはもって生まれた天才的な才能に恵まれているかどうかにかかってくる。
しかし、アニメーターには人それぞれ自分の世界があり、テリトリィがある。一流といえどもすべてに万能であるわけではない。
メカは得意だが、動物は苦手であったり、男はうまいが女は駄目とか、リアルなものよりギャグっぽいのが向いていたりとかだ。
元虫プロに居たK・Tさんは、鳥を描かせたら誰にも負けないという自信をもっており、事実誰からもその実績を認められるだけの才能をもっている。
あるいは、波の細密な描写なら、キャリア15年以上の東映動画のアニメーター達に安心してまかせられるという風に。それぞれのテリトリィで一流を自負するところがプロのプロたる境地であろう。
しかし、不運なことに、今のテレビ・アニメ時代に鳥や波のアニメートがいかに名人芸であろうとも、一般の視聴者には、スターとしての脚光を浴びないのである。
動物が得意であった元アニメーターのM君は、日本における動物アニメの不毛ぶりを嘆く。
我が国では、ピンク・パンサーもウッド・ペッカーも、生まれることは果して可能だろうか――。
いまのアニメーター志向者には、キャラクターに惚れてくる手合が結構少なくない。
アニメーターは、他者のキャラクターに惚れてはならないのだ。
他人のキャラには反発しながら、それでもちゃんとその通り描き上げるのがプロである。
すぐキャラに惚れてメロメロになるアニメ・バカというか、アニメ・ファン上りのアニメーターから、なかなか一流の技術者が育たないのも、その辺りに原因がないといえない。
技術には惚れても、キャラクターに惚れるな。アニメーターを志す輩は、心得ておいた方がよい。

ロットスコーピングという技法を知ってますか?
――指輪物語より

〝ロットスコーピング〟という新しい技法が話題となっている。この夏に公開される長編アニメ「指輪物語」で使われている手法である。
簡単に説明すると、セル画を描くのに、まず実際に人物が演じたのをフィルムに撮る。次にフィルムのコマのひとつひとつを、人物の輪較をなぞっていくかたちで画にしていく。そうやって線描きされたものにさらに一枚一枚着色していってセル画をつくるのだ。
この方法でいくと当然手間がかかる代わりに、人物の動きがよりリアルにより実写に近づく。ディズニーがフルアニメをつくる際、実際の人物の動きを撮って参考にしたというのはよく知られているが、「指輪物語」ではそれを下敷にセル画を描いているのだ。試写を見たかぎり普通のアニメと全く違うその動きは新鮮な驚きを与えてくれた。一方では「あれはアニメではない」という批判もあるようだが、新しい手法の加わったアニメが今後どのようなかたちで新しい段階へ発展していくのか、たのしみなところである。

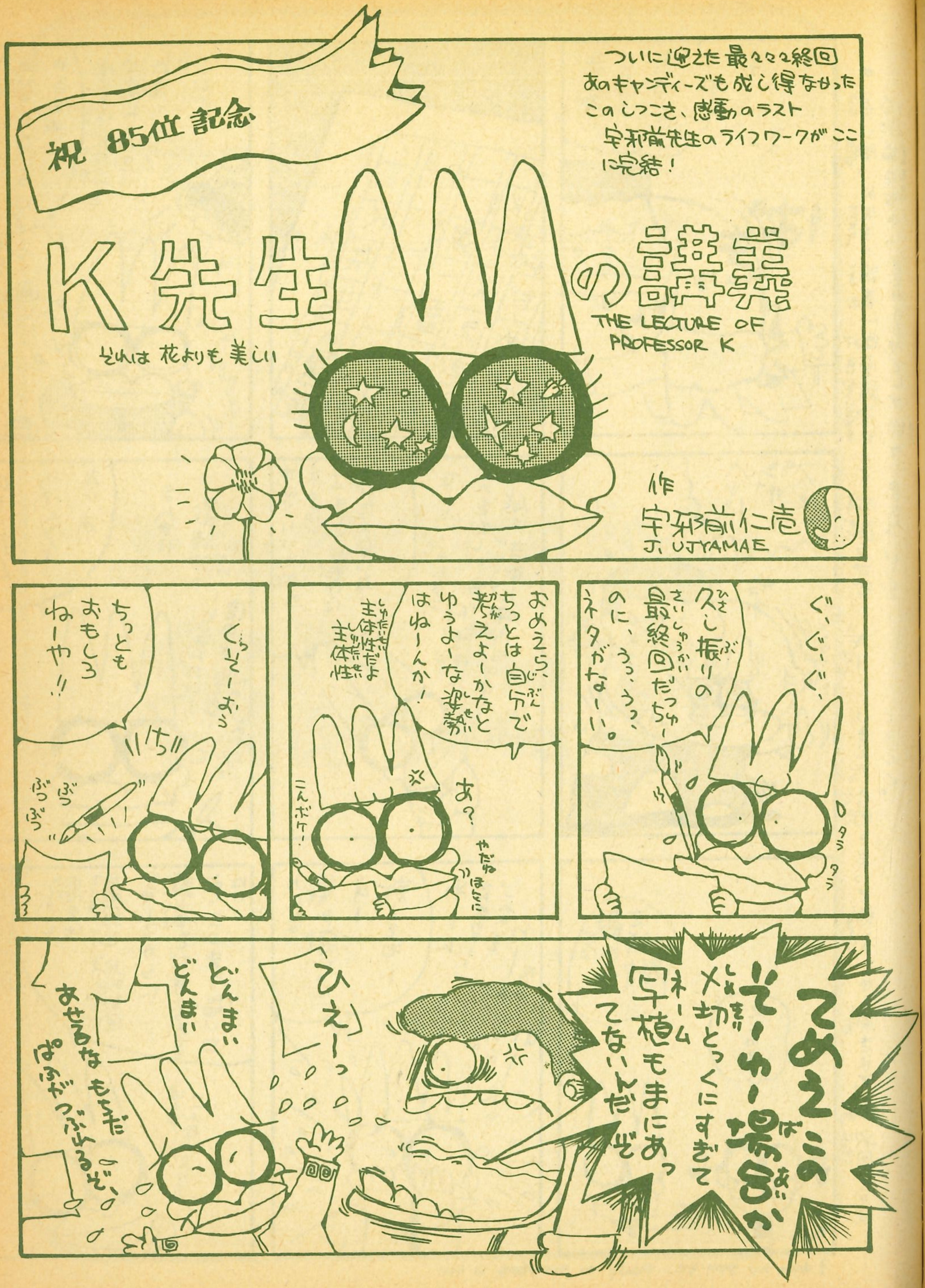
ロットスコーピング作成写真／
左端から順番に、実写からセル画がつくられていくところ。

資料提供　東映　東宝　松竹　にっかつ　富士映画　ユナイト　ヘラルド　メジャー・エンタープライズ



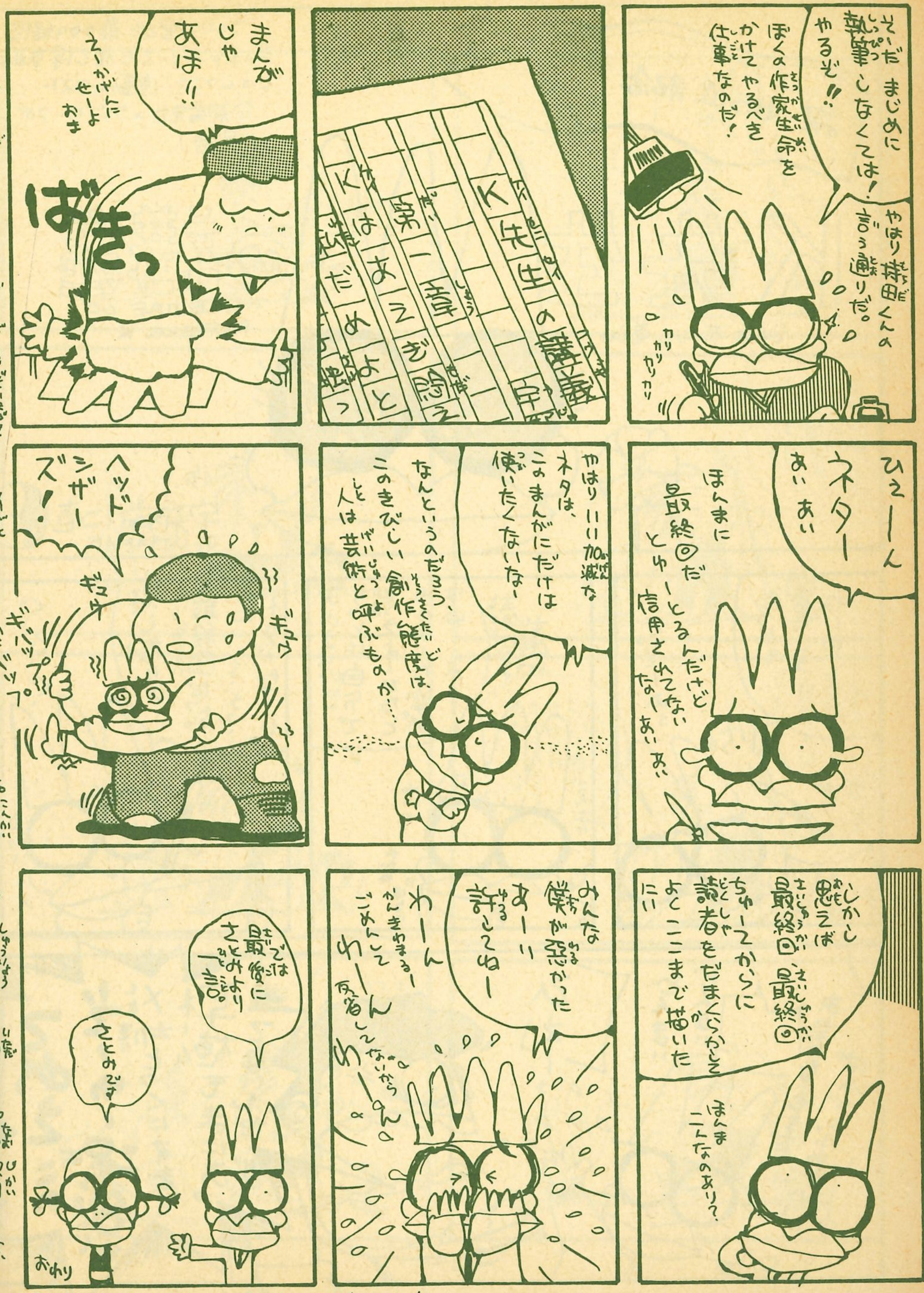
才谷遼

毎年、夏がくると早く冬がくればいいなァと思い 寒い冬になると早くあったかい春がこないかと願う……
しかしそれにしても暑いなァ……
それでねえごんくん君に頼みがあるんだけど
ねえお願いだよ頼むからさ
なぜこんな嫌な役目だけオイラのところへまわってくるんだ……
ありがとうおかげですこし涼しくなったよ
ぱたぱた
RYO.



祝 85位記念
ついに迎えた最々々終回 あのキャンディーズも成し得なかった このしつこさ、感動のラスト 宇邪前先生のライフワークがここに完結！
K先生の講義
THE LECTURE OF PROFESSOR K
それは花よりも美しい
作 宇邪前仁壱 J. UJYAMAE
ぐ、ぐ、ぐ、
久し振りの最終回だっちゅーのに、うっ、うっ、ネタがなーい。
おめえら、ちっとは自分で考えよーかなとゆうよーな姿勢はねーんか！
主体性だよ主体性
あ？
こんボケ！
ちっともおもしろねーや！！
くっそーおう
ぶつぶつ
てめえこの ぞーやー場合か 〆切とっくにすぎて写植もまにあってないんだぞ
ひえーっ
どんまいどんまい
あせるな もちをだ ぱふがつぶれるぞ、

● 長い間「K先生の講義」御愛読頂きまして有難うございました。今回をもって終了させて頂きます。尚次回からは、宇邪前先生の「さとみのすべて」が始まりません。どうぞよろしく。



I don't say good-bye, thanks to everybody to her.

特集
読者がえらぶ キャラクターベスト100

まんがのなかの 名優たち

いま、何故キャラクターなのか

昨年は、まんが界にとって激動の年であった。そして今年前半も、村上知彦、橋本治両氏のまんが評論集が刊行されるなど、話題に事欠かない。

こういった状況の中から、まんがはどのような道をたどっていくのだろうか?

この問いに答えるには、まず今のまんがが何故これほどまでに支持を受けているのか、その魅力がどこにあるのか、ということを探らなければならない。

たしかに、奇抜なアイデアや起伏に富んだストーリーは読む人々を引きつけるだろうが、その作品世界を生かすのは絵であり、個性的なキャラクターなのである。魅力あるキャラクターなしでは、生きた作品は生まれない。

逆にいえば、真に魅力のあるキャラクターは決して忘れ去られることがない、といえる。現に、今話題をさらっている超大作映画「スーパーマン」にしても、何十年も前、二人の少年によって造りだされたコミックのキャラクターなのである。それが今もなお、アメリカの、否、世界中の人々の憧れとして存在しているという事実こそ、スーパーマンというキャラクターの与えた影響の大きさの証明となるだろう。

まんがにおけるキャラクターとは、それほど重要なのである。

小説ならば、その登場人物たちはコトバで表現され、そのイメージは読者によってつくられる。その点、まんがは全てを絵で表現してしまうから、創造されたキャラクターは絶対である。つまり、如何にして読者が感情移入できるようなキャラクターを造り出すか、が作者の使命となるのである。

作者は、映画に例えれば、監督であり、キャラクターたちは俳優である。彼らの一挙手一投足を観客＝読者は見守り、感動するのだ。

俳優として一個の自我を確立したキャラクターは、その個性を維持しつつ作品の中で演技をすることが可能になる。手塚治虫の多くのキャラクター、木原敏江のフィリップ、数えあげればきりがないが、どんなまんが家もそれぞれお気に入りのキャラクターを持っているのである。

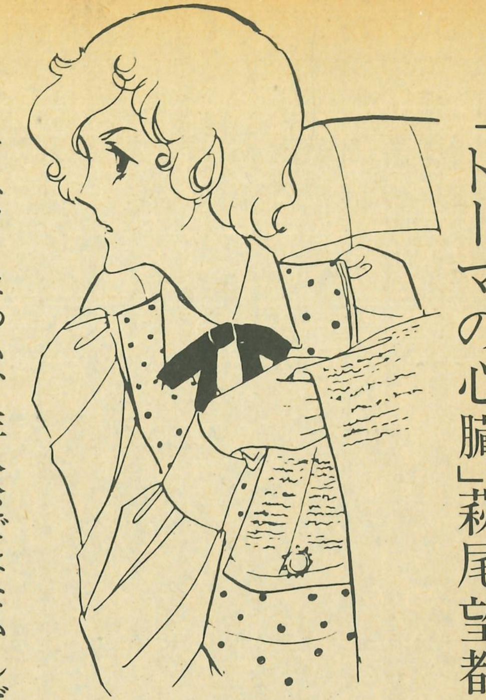
つまり、キャラクターはまんが家の顔なのだ。まんが家を語る時、そのキャラクターを抜きにしては考えられない。

それならば、まんが世界の名優たちも、アカデミー賞（オスカー）を受ける資格が十分にあるのではないだろうか。そして、いま、どんなキャラクターたちが最も愛されているのだろうか?

という訳で、今回はキャラクター人気投票の大特集を組んだ。三ヶ月にわたって読者からよせられた、四千枚をこえるハガキのアンケート集計により、キャラクターのベスト100を選び、その人気の分析の試みとして、ベスト3については、男女比、年齢比をだしてみた。

さいごに、編集部に来て、強制的に集計を手伝わされた多くの読者のみなさん、本当にありがとう。

第1位 オスカー・ライザー 1539点
「トーマの心臓」萩尾望都



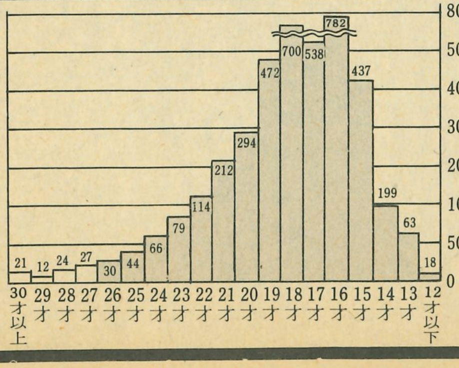
「トーマの心臓」週刊少女コミック　小学館

オスカーはつい、主人公ではないんだってことを忘れてしまうほど夢中になってしまった人物です。話の進行役のような形で登場しているけど、望都氏が主人公同様、大切に描きあげたってことが、こっちにまで伝わってくるほどステキで印象深い人物です。

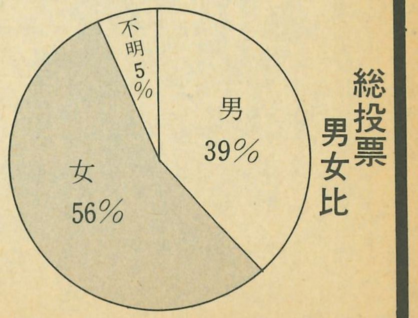
（森千里枝　18才　自由業）

この際白状すると、オスカー・ライザーは私の初恋の少年なのだ。彼は今でも私のなかで15才のまま、タバコをくわえている。「ぼくはたぶんほかの子より、すこしばっかり年とってんのさ。でもちゃんとまともだぜ」（1巻P143）「好きな子見つけるのさ。女の子でも親父でも。心をうちあけられる相手っての」（同P159）「たいしたことは知らない、ぼくもね、なにもじっさい見たわけでもない……」（3巻P51）等々、とにかくオスカー、大好きだよ！作品中、彼の顔アップが少ないって事も、またよいのです。（小平市小川西町2261—118　木本恵子　17才　都立小平高等学校）

もうとにかくオスカーは好きなのですよ！以前は私もかなりのミーハーで、いちいち熱をあげてましたケド、去年あたりからマニア志向というう感じでわりとさめてきたんですよね。でもやっぱりオスカーはステキです！「トーマ…」の中で、なくてはならない存在であり、大きな愛の持ち主でもあり、とにかく限りない魅力にあふれています♡あのクールさがたまらない！　2位3位は私の場合つけたしみたいなもんで、誰にしようか悩んだのですよ。んー、この程度にスキなキャラクターはたくさんいるんです。何といってもオスカーが最高。（横浜市戸塚区中田町1689—4　高橋さゆり　20才　会社員）



年齢比



総投票男女比

「花嫁をひろった男」
週刊少女コミック
春の増刊
小学館

プロフィール

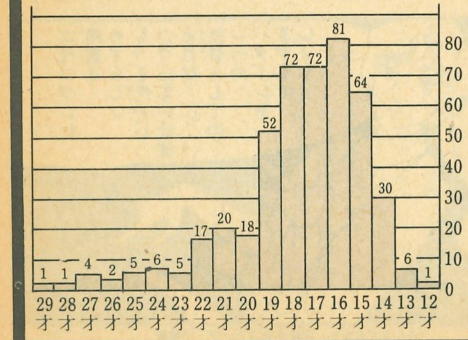
「花嫁をひろった男」で主人公として登場したオスカー、「11月のギムナジウム」では名脇役としてそのキャラクターを印象づける。「みんなでお茶を」では助手Aとして軽く顔見せ。「トーマの心臓」で舞台はシュロッターベッツ高等中学。グスターフ・ライザーとヘレーネの子。一年おくれの入学で一つ年上の彼はユーリを愛し、エーリクを愛し、校長を愛す。すべて知りながら心に秘め見守る彼は、女顔のシガレットの似合う少年。

「11月のギムナジウム」
別冊少女コミック　小学館

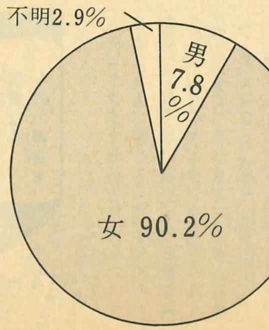
「トーマの心臓」の3巻P78に、「君が泣くこたない」と言って、バラの茎をにぎりしめるシーンがある。トゲがあっていたかろうに、それでもにぎりしめている。眼を上げると、オスカーは横顔をみせて、静かに立っている。泣きたいだろうに、オスカーはたまらなく静かだ。バラのトゲをにぎりしめる、その両手に、悲しみの大きさが見える。それが彼なのだ。たまらなく素直でありたいのに、優しさゆえに素直になれない。それがわかっているから、彼は「僕は待っていた。それだけ」というセリフしか言えないのだ。ただ、「それだけ」としか言えないだけのものの中に、彼はどれくらいの愛をそそいでいたのか……言えないのである。そこにオスカーの持つ、淋しさ、哀しさがある。優しさがある。（宮崎市大島町山田ヶ窪1944—3　夢想星人）

何とこの人気!!やはり私の審美眼は正しかった!!彼はあのスリムなボディにもーさまの洗練されたセンスとナイーヴなやさしさと鋭い感性と…おまけに少年期特有のエロティシズムをただよわせて、ヘルムート・バーガーのようにデカダンちっくに、ポール・ニューマンのように男っぽく――。今日もたばこを一服やっているのでしょう。（アンテ・ローエ・ジュニア）

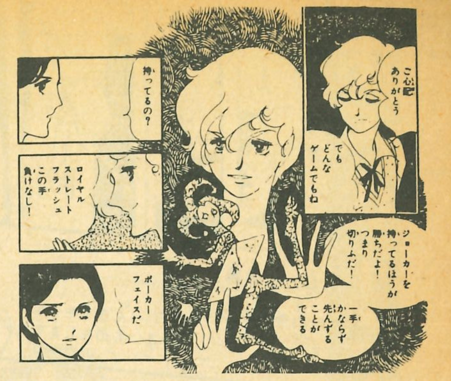
オスカーはもう私の核を占めているキャラクターさんです。つい最近まで報われない人物だと思っていたけど、今は得なキャラだと思ってる。だってサ、あなた！オスカーの出てくるだけで、セリフなんぞなくともなんとカッコよく見えることか。彼がいるだけで、その場のふんいきのなんと変わることでしょう……。（長野県上高井郡小布施町上区966　横田恵子　16才　学生）



年齢比



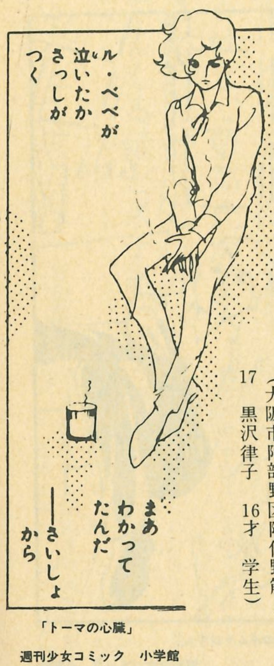
オスカー男女比



萩尾望都の書くところのまんがの世界において、主役のキャラクターたちからオスカーほどおそれられている人はいないのではないだろうか?「トーマの心臓」の中でオスカーはけっして主役ではなかったのですよ。(そりゃ「トーマの心臓」は主役のはっきりしない作品でしたけど……私はユーリだと思うんですけど、あなたは?)それなのに、人気では、いや演技でも完全に主役たちを食っちゃってます。そういう点では「スター・ウォーズ」のハリソン・フォードみたいだなあ。なんておもってニヤニヤしたのは私だけかなあ?私は決してオスカーを主役に、なんて思いません。(「花嫁をひろった男」では主役でしたが)かえって脇役というか準主役ぐらいが好きだなあ。そして、脇役としてのオスカーでは「トーマの心臓」以前では「みんなでお茶を」の中でちらりとでてきた時が最高によかった……うん。(越谷市蒲生旭町5—20 田塚敬子 18才 学生)

あの大人びて、しかも自分が少年であることを彼はよく知っているんですよね。モト様のマンガの登場人物は、みんな自分があるんですョネ。ただのわき役なんかじゃないから、設定のおもしろさなんかがひきたってくるんじゃないかな。(鹿児島市西伊敷5丁目19—8 土持めぐみ 20才 学生)

キャラクターのベスト3、ほんとは全部オスカーにしたいくらいです。〝大人っぽい目をして、大人っぽい口をきいて…〟でも、たばこの煙のむこうにいるのはナイーブな15歳の少年です。クールに見えてホット。



「トーマの心臓」
週刊少女コミック　小学館

自分の思い、苦しみ、悲しみ、悩みと自分ひとりで戦っているところが(たとえばエーリクと違って)たくましくて、いじらしくて、セクシーです(これは、オスカーがややタレ目であるせいもあるかもしれぬ)。私は、オスカーが、くずれた煉瓦壁をとびこえて、草の中でねっころがってたばこ吸うところがとても好きです(わっ)。西ドイツなんて行ったこともないけど、なんだか本当にオスカーみたいな、少年と大人の間でさまよってる男の子がいるような気さえします。否、実際たくさんいるみたいです。私たちのまわりにも。くどいようだけど、オスカーは私の永遠の理想の男性像です♡♡(杉並区宮前3—12—8 やまきたさちこ 18才 東京女子大学の見込み)

オスカーを好きになってからは、西ドイツを好きになり、萩尾望都狂いにも熱が入ってきた。おまけに4月からはドイツ語会話も習うつもり。これ、やっぱりミーハーかしらー?(大阪市阿部野区阿倍野筋2—4—17 黒沢律子 16才 学生)

「みんなでお茶を」別冊少女コミック　小学館

キャラクターの魅力は何といってもオスカー、何しろ「花嫁をひろった男」で初登場以来、主役の座を降りて「11月のギムナジウム」「みんなでお茶を」とバイプレーヤーに徹し、あまつさえ「みんなで……」では作者に「今回はわき役なんだカッコつけるな」とののしられつつ「トーマの心臓」でついに主役を食ってしまい脇役の意地を見せた。(広島市千田町二丁目 加賀不二雄 19才 学生)

オスカーにキスを

合田一志

『トーマの心臓』は少年たちの苦悩と成長の物語である。もう少ししぼって言うならば、エーリク・フリューリンクとユリスモール・バイハンとオスカー・ライザー、この三人の苦悩と成長の物語である。さらに主人公は誰かと問われれば、一応エーリクと答えたいけれども、三人三様の苦しみと目覚めを描いたこの作品に、主人公は誰か?などという論議はあまり用がないという気もする。ともかくここではオスカー・ライザーについて語らねばならない。

オスカー・ライザーがシュロッターベッツの高等部一年の中で、最もおとなびた少年であることは誰もが認めるところだろうが、それは彼が他の生徒たちよりひとつ年上であるということと、彼が旅行などして年齢以上にマセた少年であったということにすぎない。彼の漂わせているあの雰囲気——まわりのヒヨッコどもより文字通り頭ひとつ抜きんでた態度——は、おそらく彼が人より少しばかり多めの体験をする中で、自然と自分のものにしてしまったポーズなのだろう。宙を見つめて煙草を吸うしぐさ。機転の効いた俊敏な行動。ものおじしない沈着な発言。それらは確かに魅力的な個性ではあるが、全て人間オスカーの表層部分を占めているに過ぎないものだという気がする。そうした表立ってあらわれるものこそが、現実に女の子の胸をときめかせているということは、当の男であるぼくの重々承知しているところであるし、作者萩尾望都氏の思い入れが十分に感じられる〝絵〟そのものに単純に表出されている彼の魅力は無視できないものであるということもわかる。ただオスカーのカッコ良さにしびれるのはぼくの役目ではないし、やはり女性読者に任せた方が良かろうと思うのだ。ぼくにはもっと知りたいものがある。脇役と呼ぶには似つかわしくないほど悲哀のうずまいているであろう彼の心の中である。

どんな風な生き方が卑怯かといって、高みの見物ほどいやらしいものはない。自分の手を汚さずにいる人間、自分のからだや自分の心が決して傷つけられることのないであろう位置にどっかり腰をおろして、そこからものを見て思うさまのことを語る人間ほど無責任で卑劣なものはない。

日々、成長し続けるということは、つまりきのうまでの自分を脱ぎ捨て続けることなのだろう。そして脱ぎ捨てるごとに確実な痛みを肌に覚え、心に成長の跡を焼きつけること。

〝痛み〟を知ること、自分の身を挺して何かを得ることで、自分の中の弱さに自分自身で決着をつけてきた人間は、同じ弱さに苦しむ人に手を差し伸べることが出来るだろう。少なくとも目をそむけずにいることは出来る。もし手を差し伸べることが出来たなら、そこには彼の過ぎ去った時間の重みが記されているのを見ることが出来るだろう。彼はもう一度、共に同じ痛みを味わおうとさえするかもしれない。観念論ではなく体験談を語ることの出来る人間…。

もしオスカーがクールにカッコ良くかまえただけの脇役なら、ぼくは彼について語る気になどならない。ぼくが彼を好きなのは、超然と、冷静にかまえた態度の裏で、その実みじめなほどに、ユーリが苦しんだ時にはユーリと共に、エーリクが苦しんだ時にはエーリクと共に、もう一度自分自身の弱さに埋没して涙しているからなのだ。

ぼくは
待っていた
それだけ

この言葉には、ユーリがひとり相撲をとって、あっちによろめきこっちにつまづきしていた長い時間と同じ時間を、ただユーリの全人格を信じ愛して、ただじっと痛みに耐えていた彼自身の愛の重みが感じられる。

見せかけだけのやさしさの横行する時代にあって、オスカー・ライザーの持つ包みこむような或いはじっと背後から視線ひとつで支え続けるようなやさしさは、ホンモノのひとつであろうと思う。

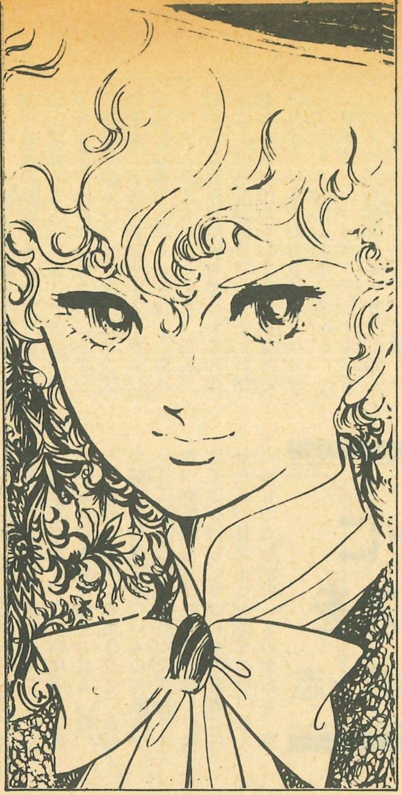
男のやさしさとは強さの裏返しにほかならない。強くない男が本当に人に対してやさしくなれるはずはないし、軟弱な男が売り物にする安易でひとりよがりなやさしいそぶりは、与えられた相手をスポイルするばかりである。父母を失い、実の父である校長への思慕を寡黙な態度であため続け、羽根とともに、愛を信ずる心までもぎとられたユーリに対して、悪くすると永遠に気付いてもらえないかもしれない恐れさえある思いやりの視線を送り続けていたオスカー。それだけの荷物を少年の小さな心にしょいこんで、なおかつエーリクやユーリのとまどいに快く助けの手を差し伸べようとしたオスカー。

彼に親愛の情を示して心からのキスを——。

第2位 エドガー・ポーツネル 1267点

「ポーの一族」萩尾望都

メリーベルも消え、アランも消えてしまいましたが、彼だけには死んでほしくない。つよく、たくましく永遠に生きていってほしい。マンガの中だけの想像上の人物にすぎないでしょうが、私は本気でそう願ってしまいます。そんなキャラクターです。エドガーは。（山元元二郎　30才　無職）


「ポーの一族」別冊少女コミック　小学館

ああ！エドガーを語るということは千億の星とばらを語ることより美しく難しいのです。でも語らずにはいられない！エドガーのあの目をみて！感情を表わさず何事にも冷ややかな彼の青い青い目、ほんのひととき、悲しみをあらわすことがあるのです。彼は私が接したキャラクターの中で最も美しく清麗で神秘で……ああ！これ以上の言葉がない！やっぱりエドガーをコトバで表わそうとしたのが無理だった。でもこれほど悲しいキャラクターがあったでしょうか。

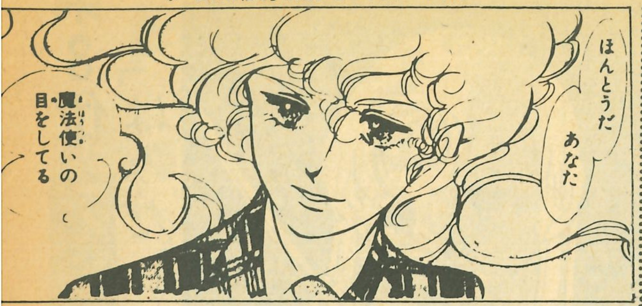
エドガー・ポーツネルは、月とばらの神がつくった永遠の幻です。（東京都墨田区墨田5—28—6　石谷泰子　13才　中学生）

私の好みといたしましては「キザな人」がよいのであります。石川五右衛門などにいたりますと、キザすぎてときどき苦笑してしまうのですが、ともかくキザに人生を送れる人はすばらしい！本当にキザなのは、マンガや小説にこそ作者の愛情とあこがれをこめて非常に魅力的に描かれますが、現実にはなかなかおりませぬ。現実にいるキザな野郎は鼻もちならない人が多くて、キザをよそおっても全くさまになってない人もいるのです。エドガーはもう言うことありません。キザとかそうでないとか、そんなことは抜きにして、理屈抜きに好きなのです。小学校五年生以来の7年間思い続けているのです。（仙台市千代町ハイツ菅野575　飯坂あおい　18才　無職）

エドガー！エドガー！なんたってエドガー!!あの神秘感ただよう青い瞳。異次元へいざなう不敵な笑顔。幻想の中にうつし出される細いシルエット。……彼こそ、少女マンガ界唯一無二貴重なるキャラクターです!!（愛知県一宮市萩原町朝宮715—1　扇久美子　18才）

「ランプトンは語る」
別冊少女コミック　小学館

「ホームズの帽子」別冊少女コミック　小学館



プロフィール

18世紀イギリスにメリーウェザーとエヴァンス伯の間に生まれる。妹メリーベルと共にポーの村に捨てられ、老ハンナに育てられ、14才の時大老ポーの血を受け永遠の少年エドガーとなる。メリーベルと共にしばし幸福に暮すがやがてメリーベルを失う。アランを伴いヨーロッパをさまよいながら、多くの人の記憶に残りながら生き続ける。アランを失ったとき、エドガーは時を止めた。

エドガーに一票を投じたわけは、「小鳥の巣」の中で失態を演じたアランに一激、さらに三ぱつの平手打ちをくわせた所にほれてだ。意志の疎通には言葉を幾万語のべるより、動作一つで十分たりることがある。エドガーの平手の中には、「アランをこんなにも愛している」とか、「やりたいほうだいやらせても最終決定権は自分のものだ」とかがはいっている。それも平手をくわせても、アランの心は自分からはなれることはない、と計算してだからなおさら憎いのだ。（横浜市神奈川区神大寺425の5　松本馨　19才）

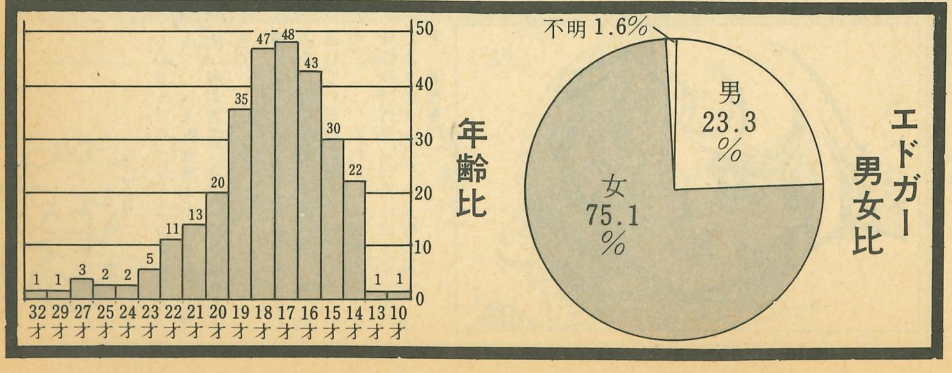
エドガーは、私が小六の時に、ものすごい恋慕したのです。でも、今考えれば、あれは親のいない気ままな生活、吸血鬼の神秘性、そういうものへの、あこがれだったのですね。でも、やはり今でもあのエドガーの悲しい目には、切なくなるほどあこがれてしまいます。（福岡市中央区大手門一丁目9—707　森摩利　19才　中学生）

エドガーは私のピーターパンみたいなもの。ピーターパンが何年もあとで再びむかえにきた時の、大人になってしまったウェンディの悲しみが、エドガーを知ってからとてもよくわかるようになった。多分どこかでエドに会っても、今の私は顔をおおって「何故もっと早くきてくれなかったの、私はもう大人になってしまった。もう一緒に行けないわ」というしかないだろうな。（岡山市築港緑町一丁目10—25　長谷部祐子　19才　学生）

あれからエドガーはどうなったのでしょう。一九七六年のあの日から。エドガーが"現在"に追いついた時、時の輪は閉じ、彼は消えてしまった。あれから3年、再び時の輪が開き始め、私はまた、エドガーを求め始めている。エディスは、キリアンはどうなったのだろうか、そしてオービン卿は生きているのか？

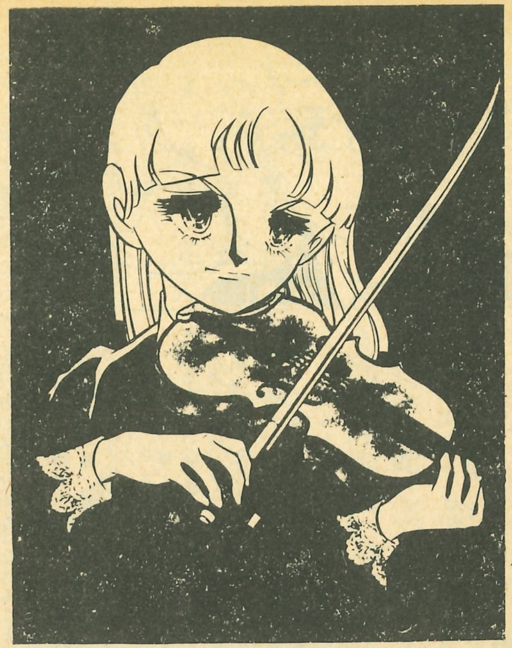
そうして、私は今日も帽子をとり、街に出る。エドガーと出会う日を待ちながら。（福岡市西区堤団地5の802　I・セイ）

「ピカデリー7時」別冊少女コミック　小学館



第3位 アンジー 595点

「はみだしっ子」三原順



「はみだしっ子」花とゆめ　白泉社

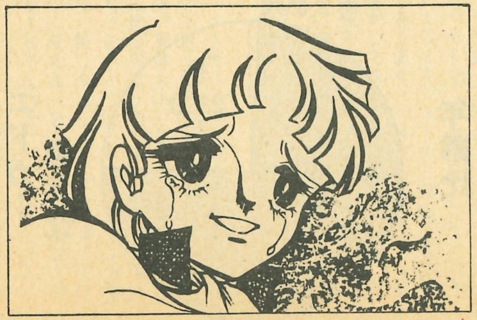
アンジー君は、私の言いたいこと、やりたいことやってくれるから大好き。やさしくて、泣きむしで、わがままでモロに弱い人間、こうゆう人もいいものなのです。

（名古屋市千種区猪高町猪子石八前四　竹尾祥江　13才　中学生）

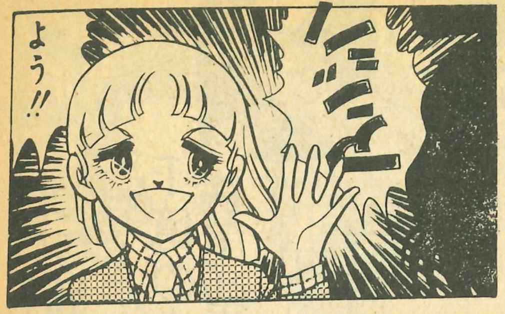
●考えてみるとけっこう長いのだ。わたしがアンジーくんに恋をして早3年と4ヶ月。けっこうアキやすい私がこんなにも長い間しかもずうっとNo.1で愛した男性アンジー君の、あの麗しい容姿もさることながらあの性格、あの口ぶり、そしてあの優しさ。も何もいえぬ。（宮城県　アトラくん　16才　高校生）

●「はみだしっ子」のアンジーは嫌いだってゆう人をよく見かけますけど……アンジーは自分自身意識して周囲の人に冷血漢と言われる事をやってしまうのです。自分が良い事をしたと自覚しないで周りの人にも決して気付かせない。その気付かせまいとする行動が誤解を招いてしまうのです……わかっているのは……グレアムとほんの一部の人だけ……でもいつかはアンチアンジーファンはなくなると想うのですけど……。（〒240　横浜市保土ヶ谷区川島町974　松原麗子　16才）

●はみだしっ子は4人とも好きで迷ったのだ—最初はグレアムに投票しようかと思ったけど「もうなにも……」のアンジーがすごくヨクて、印象にのこってたのでアンジーに……あの長い髪、三角おめめ、母上ゆずりのまゆのつりあがりかた、ただそこにいるというだけでひしひしと存在感を感じてしまう人なのだ。残念ながら(!?)グレアムにはこれが欠けるのよー。やっぱりアンジーだァ。ん。（大阪府堺市中百舌鳥町6丁873　木本智美　16才　府立場東高2年）



●アンジーは、私よりはるか年下であるにもかかわらず酒、タバコに熟達しているのがたまらなくくやしいので……、それでいて母性ホンノーをシゲキするようなとこがあって、たまりませんわ。（佐野淳子　18才　保育専門）

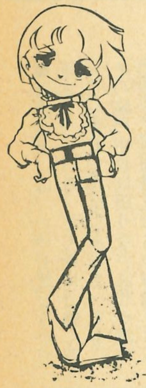


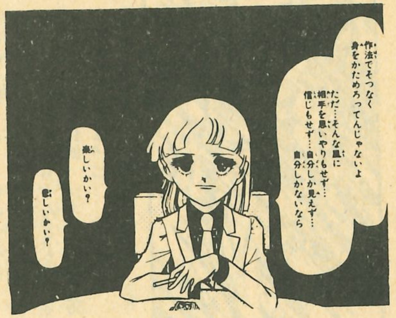
プロフィール

リフェール・ステア。女優イブ・ホーンのラブ・チャイルド。アンジーはアンジュ（天使）、サーニンに出会い、グレアムにマックスに出会い心を開いていった。はみだしっ子の中で一番おしゃれな男？見栄っぱりで皮肉屋でいばり屋で、でも思いやり深くとってもはにかみ屋。サーニンやマックスには兄さん風ふかし、グレアムとは対等につきあい、フー姉様をこよなく愛しているんです。

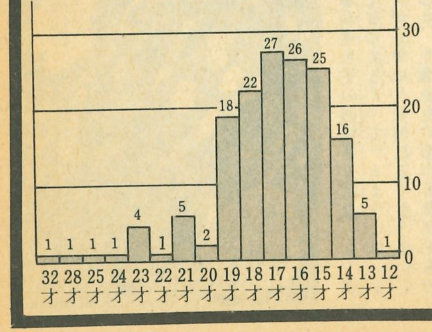
●人間っていろいろ苦労したり、まいったりしたら、それもずっと若い時にそんな目に会ったりしたら、つい屈折したりするわけよね、アンジーってのはつまり、その屈折のしかたが憎いわけよ。妙にヤサシクてさ。ひたすら、斜にかまえフンとしてるわりには、実はあの子は浪花節のところがあるんだな。ただ、彼の場合、そうやって、見事に突っぱり続けて、うれしいような、おせっかいにも「肩の力抜きなよ。」と一言いいたいような……。（京都市左京区吉田本町一—三　岩本紘子　22才　学生）

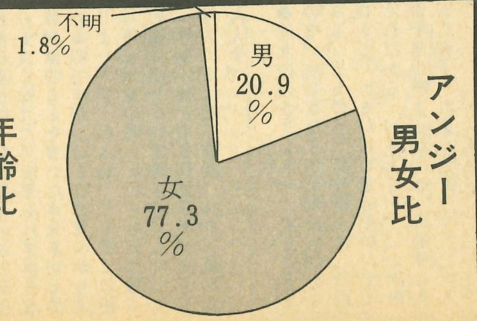
●はみだしっ子シリーズについて。これをよんだのは去年の11月ごろに花とゆめの別冊(?)で特集されていたのを読んだのがはじめて。しかしそれからすぐに本屋にすっとんで6冊そろえてしまったのです。あれはおもしろい。なんといっても内容がとってもひろい。心理学というか、哲学というか、そんなものがある。たとえば、「山の上にふく風は」で、だれかが一生懸命やっているそのうしろ姿がピエロに見えるとか。自分をコントロールしようとして、それに気をとられて逆にコントロールできなくなるとか。とにかくえらくむずかしい。花とゆめにファンクラブがあるそうだがそのへんわかってるのかね。（もしわかってたら、ごめんなさい）





●どちらかといえば、グレアムの方がいいという気もする。だけどアンジーが好きです。なぜなら、強さと弱さ、繊細さと大胆さを兼ね備えているから。その容姿に惚れてる部分というのもかなりあるけど。とにかく、アンジーは何をしても決まってる。ちょっと夜の感じ、暗い感じもあったけど、最近では明るい草原、花畑なんかを洒、煙草いっさいなしで駆けてくようなのも似合う。どんどん幸せになってほしい。子どもの笑顔をとりもどせたら最高だろうな。（川崎市高津区子母口803　鈴木葉子　18才　学生）



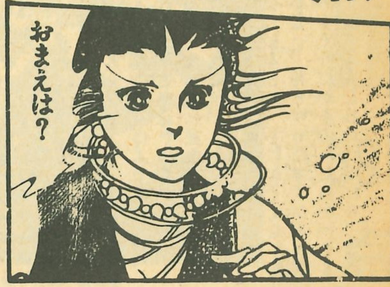


第4位 阿修羅王 567点
「百億の昼と千億の夜」萩尾望都 光瀬龍

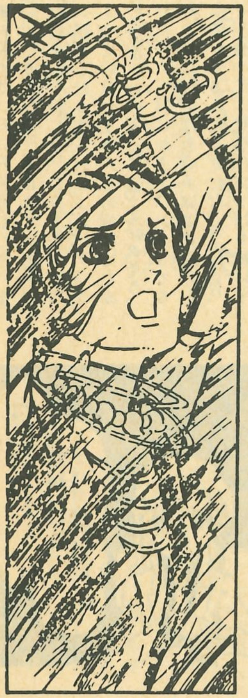
「百億の昼と千億の夜」少年チャンピオン　秋田書店

プロフィール

どこから来たのか、どこへ行くのかわからないが、百億と千億の日々を戦い続ける少年とも少女ともつかない阿修羅王。すばらしい肉体と精神を持っていながら、実体を果たして持つのか。また新たなる百億と千億の日々が。阿修羅王の問いは、『わたしの戦いはいつ終わるのだ……？』



●阿修羅王には、いつも悲しみがつきまとっている。どんなに力強く闘っていても、自信にみちていても、その瞳の中には限りない哀愁が漂っている。阿修羅王のもつ力強さにも勿論、引き付けられるが、それにもましてあの悲しさに胸をつかれるのだ。きつくつりあがった眉、かたく結ばれた唇、いつも何かに耐えているような表情が素晴らしい。（東京都世田谷区松原二丁目18―73　鈴木勝久　21才　学生）



●阿修羅王は私たちの理想なのです。不敗の敵を決して負けぬ敵を相手に向かう阿修羅王こそが、美しいのです。時こそが彼女の敵なのかもしれません。無益と知っても戦う阿修羅王……

「無には無の死には死の意味があるかもしれないから」阿修羅王！（埼玉県越谷市平方340―1　加藤美由紀　12才）

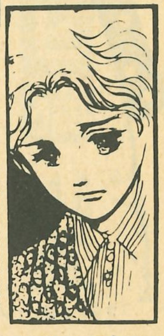
●阿修羅王については、萩尾さんの力量を充分に見せてくれているキャラクターなので、掲げざるを得ない。光瀬龍の原作からは伝わってこない〝やさしさ〟というものを、完璧なままでにあらわしているのですねえ。独得の台詞まわしもいい。あぁーっ、もう理性を失いそうだ～っ。（なかがのけんかみみのちぐんとよのまちゐし2455　山岸良朗　16才　吉田校高〈なんだこれは！〉）

●萩尾先生の阿修羅王は少し女っぽくなってしまっているように思いますが、やはり表情はとてもうまいと思う。光瀬先生の原作と萩尾先生の漫画を読んで、阿修羅王のことをもっと良く知りたいと思い、ずっと仏教神話のことを書いた本をさがしているのですが、いまだに見つからずじまいです。私は戦っても勝てぬ絶対者に永遠の戦いをいどむ阿修羅王の姿に限りない愛着を感じるのです。（〒653　神戸市長田区雲雀が丘3丁目3―2　紀　香澄　20才　関西学院大学）

●彼女のいさぎよさや、すくいようのない哀しさなど、帝釈天とのからみも、ええのう。阿修羅王は、理由抜きで、いるだけで意味を持ってる。それだから、ベストワン。（吹田市千里山東2―26―29　松栄ヴィラ谷　育子　21才　学生）

第5位 ユリスモール・バイハン 525点
「トーマの心臓」萩尾望都

「トーマの心臓」週刊少女コミック　小学館



プロフィール

シュロッターベッツ高等中学の高等科一年、委員長でありヨハネ館の監督生でもある。自分は神を裏切り天使の羽をなくしてしまったと悩み、やがてエーリク、オスカー、そしてトーマの愛で、神の本当の愛を知っていく。そして彼はボンの神学校に行く、神父になるために。

●誰が何と言おうと、ユーリが一番です。あの自分でも訳のわからなかった高校時代に出会い大ショックを受けた人物なのですから。あの頃まさしく自己否定を繰り返していた自分自身を、第三者の立場から目の前にさらけ出してくれたのですから。それにあの横顔にみられる、石膏の様なラインが好きです。（静岡県掛川市伊達方1322　藤本まゆみ　21才　会社員）

●1位はトーマの心臓のユーリ、オスカーも好きだけどユーリの方が心にしみとおってきてわすれられないので、とっても考えさせられ何度も何度も読んだわ……。（〒187　東京都小平市上水南町539　大薮朋枝　17才　高校生）

●ユーリというキャラクターの複雑さは萩尾作品の中でも稀であろう。「11月のギムナジム」では、トーマ、エーリク、オスカーとそれぞれ原型となる人物が登場しているが、他の少年達がその延長線上にあるのに比べユーリだけは、原型のフリーデル委員長のイメージとは大きくかけ離れた陰のあるキャラクターとなっている。「ギムナジウム」がエーリクの視点で描かれているのに対して、「トーマ」は、エーリク、トーマの二人の視点に変わっている。つまり、エーリク（＝トーマ＝天使）対ユーリ（堕天使）という図式が成り立つ。

などとコウルサイ事どーでもいいのだ。ただ私は、ユーリの気高い美しさ（精神的な）がたまらないのだ。（埼玉県美原市　登記和美　19才　会社員）

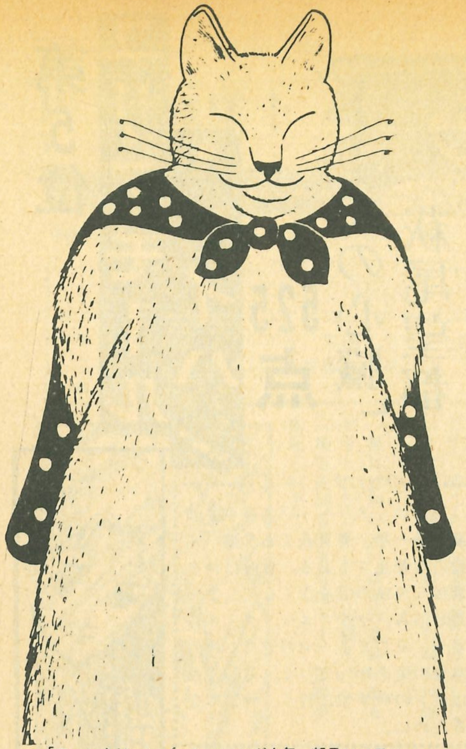
●萩尾作品にしばしば出てくる黒髪の少年が好きです（「11人いる！」のタダ）。たいがい、相手役は金髪（？）の正義漢で、2人のからみがよいのです。（〒431―11　静岡県浜松市伊左地町2091―7　深井一弘　18才　浜松北高校）

第6位 ヒデヨシ

「ファンタジーゾーン」ますむらひろし

522点

●このせちがらい現代を生きぬくには、あのヒデヨシのふてぶてしさと、食欲と、目だちたがりの根性が必要なのです!!……きっとね。(国立市西2—3—9 関科子方 伊藤せつ 20才 東京女子体育大学)


「ファンタジー・ゾーン」マンガ少年 朝日ソノラマ

……プロフィール……

アタゴオルの住人、ヒデヨシはタヌキではなく猫だそうで(ウサギの耳なんかの時もありましたが)よくテンプラくんと歩いております。好物はスダコと酒とか、ひどく食い意地のはっているそうな。ぐうたらなくせに食物のためなら何でもこわいものなしときた。好奇心のかたまりで、おっそろしくずうずうしい猫なんですよ。

●ヒデヨシの性格、メンタリティ。これは、他に類を見ないものです。それだけでも、驚くばかり。(神戸市東灘区田中町1—8—3 大富荘 高木義隆 学生)

●ヒデヨシって、ふてぶてしい猫だと思うんだけど憎めないんよね。そして、なんとなく好きになってしまって……。(福岡市南区南大橋1ノ1 〒815 白川今日子 17才 筑紫女学園高校)

●イエィ、ヒデヨシが一位だぞう。あの根性、あの食い気、あのバイタリティ、ほんとうにほれぼれしてしまう。現代のヒーローは彼以外に考えられない。スダコが好きなんてどんな味覚なんだろうって思うこともあるのだ、ほんとうは。私そんなにスダコ好きでないから。そんなにおいしいんだろうか。あ、ひとつ気がついた、彼の体があんなに変身したり、やわらかかったりするのは酢のせいなのだ。ところで猫正宗ってそんなにおいしいのかな。(クイシンボウ)

第7位 須和野チビ猫

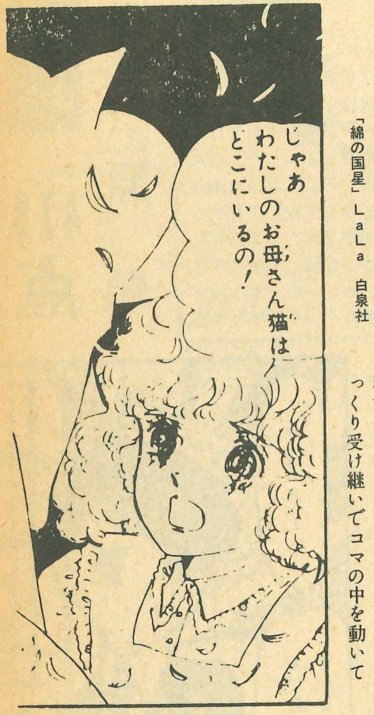
「綿の国星」大島弓子

516点

「綿の国星」LaLa 白泉社

……プロフィール……

雨の日軒下に捨てられた子猫、須和野時夫に拾われ、須和野チビ猫となる。人間になるのだと信じていた。が、猫は猫に。チビ猫の第一の恋人は時夫、第二がラフィエル、第三は時夫のお母さん、時夫のお父さん、ヨーデル猫にひっつめみつあみです。鈴木ブチ猫君は四番目の恋人です。



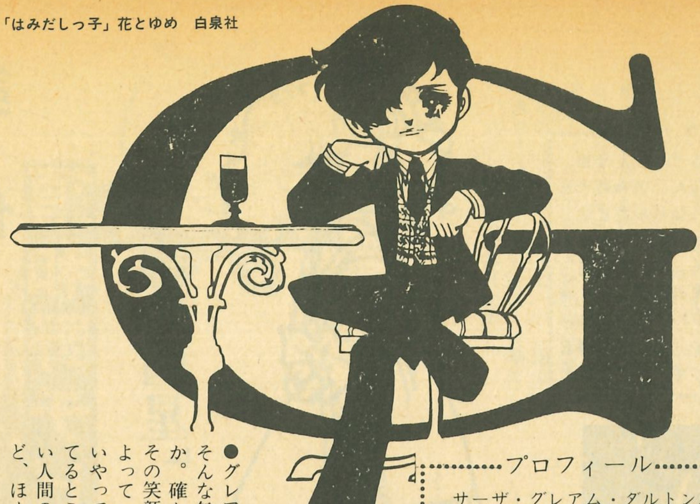
●「ミルク・ムーン プチ・ロード」の中でチビ猫が、ブチ猫くんに寄り添って眠るシーンの「猫の心音は人間の倍も速く云々……」のあたり、もう哀しいというか、すばらしいというか、本当、絶句!(江東区東砂7—3—2 佐々木要子 25才 会社員)

●チビネコ……私はネコや犬が好きで、特にかわいらしい小ネコや小犬を見ると抱きしめてほほずりしてやわらかい毛に顔を埋めたくなってしまうのです。綿の国星の、人間の形をしたこのチビネコに対しても同じ衝動をおぼえたのです!(〒555 大阪市西淀川区歌島三丁目8—1—301 吹訳雅子 14才 中学生)

●須和野チビ猫の"のび"が気になるところです。猫でありながら、人間の子供心をそっくり受け継いでコマの中を動いているチビ猫には、ひどく感激するものが大ありです!! 是非、のびてほしいキャラクターです。(青森県青森市松森佃178—35 奈良佳子 17才 明ノ星高等学校)

●真綿の国ってどんなだろう。私も行ってみたいと思う。チビ猫ってきっとかわいいんだろうな。チビ猫は子どもなのに、とってもおとなびて見えることがある。なぜだかわかんないけど、じゃない。彼女は真理を見つけたんを見ているんでしょう。線になる目をもつ猫には世界はどんなにうつるのか。猫ってとても不思議だからどんなことをチビ猫がしても変じゃないんですよね。きっとただの小さな女の子だとしたら、シットしてしまうかもしれない。猫ののびする姿って好きです。(匿名希望)

「はみだしっ子」花とゆめ　白泉社



第8位　グレアム　478点

「はみだしっ子」　三原　順

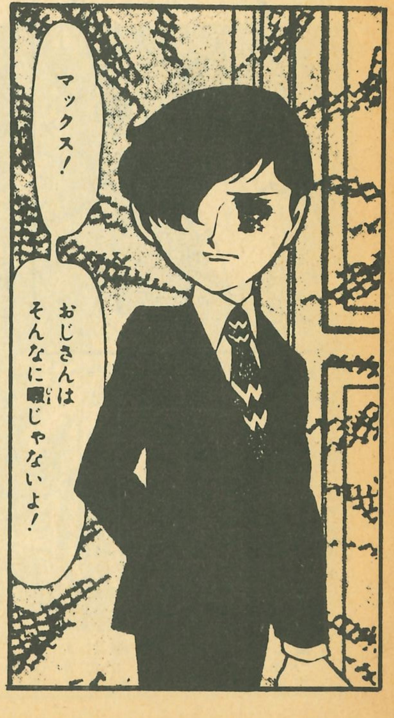
……プロフィール……

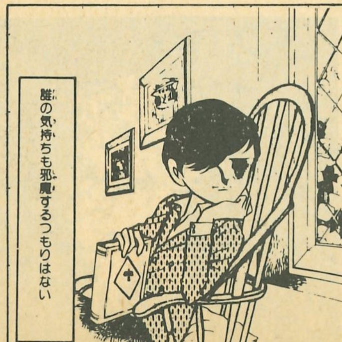
サーザ・グレアム・ダルトン。グレアムの父はピアニスト、きびしいピアノのレッスンばかりだった人。そしてやさしかったおばちゃま。家を出たグレアムははみだしっ子3人と旅をする。グレアムはおとなびたまなざしで3人を見守る。時には心を閉じてひとり悲しみをかみしめている。とにかくはみだしっ子のリーダー格です。

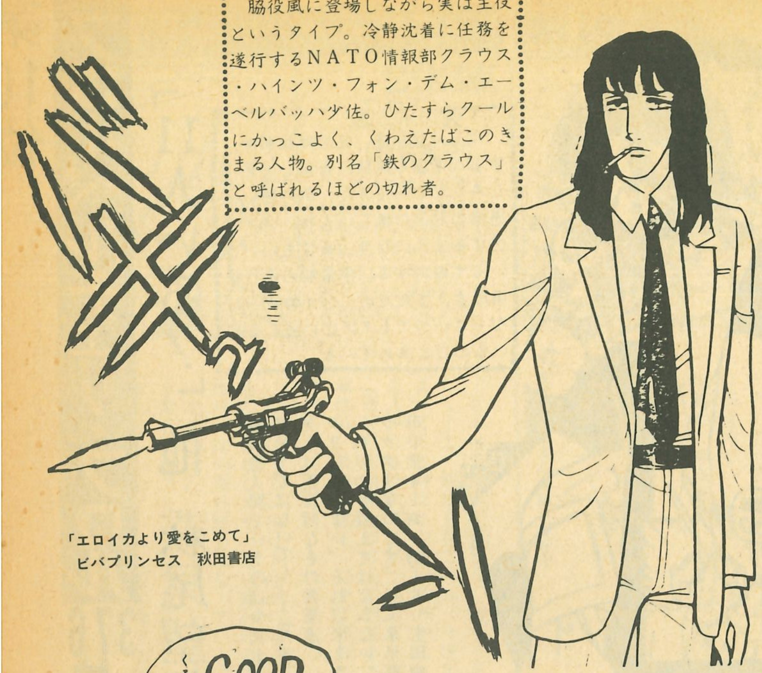
●グレアムの顔っていつも影がある。そんな気がするのは私だけでしょうか。確かに笑顔の時もある。でも、その笑顔にもどこかさびしさがただよっている。いつも仲間の三人を思いやっている彼にはどこか無理をしてるところがある。彼はとっても強い人間のようにふるまってはいるけど、ほんとは、さみしがりなあまえっ子なのではないのかと思ってしまう。そんな彼が好きなのは、グレアムはグレアムだから。んっ、わかんなくなってきたかしら、とにかく好きなのです。彼はもっともっと幸せになるべきです。（世田谷区三宿1―29―5　川原井方　鈴木香代子　21才）

●グレアムのタバコをすっている姿が好き！　グレアムペンギンもかわいいし、本当はアンジーやサーニン、マックスもいれたかったけど3人だけしか選べないので、グレアムにきめました。（福島県いわき市常磐湯本町下浅貝90　渡辺理恵　17才　高3）

●グレアム君、大人と平然とわたりあったりし、厳密で理路整然としたしゃべり方をするけど、純真で素直だ。また、誠実で思いやりがあり、もの静かでおちついた雰囲気が、かっこよく素敵。また、グレアムペンギンもかわいい♡（神奈川県厚木市寿町3―5―13　富永涼子　14才　某市立中学校）







「エロイカより愛をこめて」
ビバプリンセス　秋田書店

第9位　エーベルバッハ　477点

「エロイカより愛をこめて」　青池保子

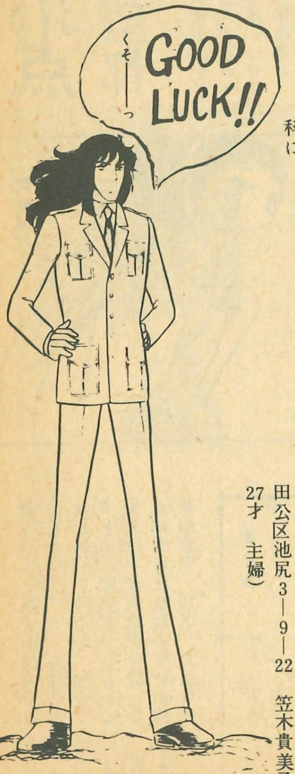
……プロフィール……

脇役風に登場しながら実は主役というタイプ。冷静沈着に任務を遂行するNATO情報部クラウス・ハインツ・フォン・デム・エーベルバッハ少佐。ひたすらクールにかっこよく、くわえたばこのきまる人物。別名「鉄のクラウス」と呼ばれるほどの切れ者。

●あのなんともいえぬセリフ回しがいーのです。特にPART 5はサイコー！　あの「サド目」に私はイチコロでまいったのでス♡（〒021　岩手県一関市宮下町9の5　渡辺美保　17才　高校生）

●オスカーほどタバコの似合う人間はいないとおっしゃる宮崎克恵さん、エーベルバッハ少佐を見て下さい！　私、オスカーも好きよ。でも、やはりタバコが似合うのは20才以上の男の中の男、青池氏描くところのキャラクター達です！　特に少佐、ニコチン中毒になるのではとファンをハラハラさせるほど、タバコをはなさぬお方。また、それが似合っていてニクイのよねー。絶対タバコは20才以上（法律的にもね）（広島県呉市天応町618―2　三村尚子　23才　無職）

●まじめムードのキャラクターは多数せりあってて面倒ゆえ、ギャグ専科に。

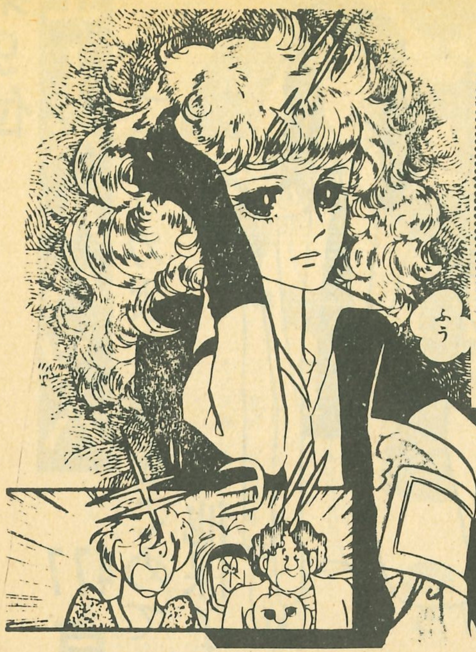


①について、美形でつよくてSaddist、ヒステリックで冷感症で無礼で横柄で仕事の鬼、ガリガリのミリタリストでありながら、さいごに「うふっ♡ごくろーさん！」といってあげたくなるようなCharacterがほかに、いますか……。しかし軍人さんが出てくると、作者の〝Sodomの市〟もいよいよ佳境ですなぁ……（三鷹市大沢I・C・U　第4女子寮　山内亜子　21才　ICU）

●エーベルバッハ少佐は今青池保子が一番ノッて書いてる人って感じで実にいい。少女マンガ中でピストルを持たせて一番絵になる人。（世田公区池尻3―9―22　笠木貴美子　27才　主婦）

第10位 フロルベルチェリ・フロル 376点

「11人いる!」他 萩尾望都



「11人いる!」別冊少女コミック　小学館

…… プロフィール ……
ヴェネ星出身、完全雌雄同体。宇宙大学国の試験に合格して男になろうとやってきた。気の強い、感情の起伏の激しい人物。タダと恋するようになり、女でもいいといって婚約する。宇宙船の飛行技術はまだまだだが、パイロットになっていつでもタダといっしょにいるのだと決めている。

●両性人間というのは少女まんがで初めてではないでしょーか。美しい外見とは正反対なその言葉遣いにビックリしてしまい、それ以来まさに、〝私の心を捉えてはなさない〟キャラクターなのです。（東京都清瀬市中里4―1296、219―6　生田由利子

●フロルはといえばあの「はねかえり」のところがとてもかわいくてステキでした。僕は男に生まれてよかったと思っているけど、近頃の世の中には「男に生まれればよかった。」「女に生まれればよかった。」などと思っている方々も多いので、地球人もフロルみたいな両性体だったらもう少し世の中がうまくゆくかもしれませんね。（〒201　東京都狛江市西野川2―31―1　長谷川源太佐衛門義経　21才　東京都立大学阿呆学部御世辞学科）

●フロル…さすがはモトさん、魅力的なキャラクターを描くな。フロルはかわいいのだが、彼女(?)にはタダという婚約者がいるからな、俺も未来は宇宙大学を受験しようかな。（埼玉県比企郡小川町大塚90―6　蓑輪忠明　19才　大浪人）

第11位 花岡数子 311点

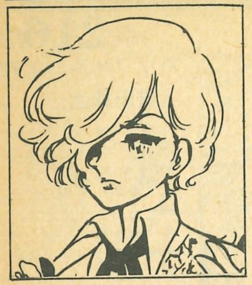
花岡ちゃんの夏休み他（清原なつの）

オカッパ頭でメガネの女の子。知性を愛する本好きな花岡ちゃんは、いつしか、ハゲ頭で天才で童話作家で大学の先輩の蓑島さんに恋をするのです。

「早春物語」りぼん掲載　集英社

個人的な趣味だが、ぼくは個性的な女性にあこがれる。いかにも〝女おんな〟という雰囲気をもった女性はすかん。おとめちっくロマンでありながらその種のヒロインらしからぬ美ボウと性格をもった個性的なキャラクターである花岡ちゃんは、実に現実的でいいのだ。（佐野市久保町216　中島康雄　20才　明治学院大学）

第12位 ジルベール・コクトー 293点



風と木の詩（竹宮恵子）

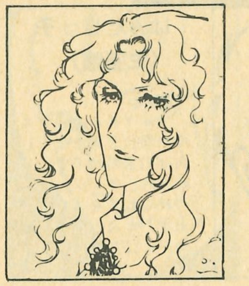
コクトー家の長男として生まれ、叔父オーギュスト・ボウに育てられる。ラコンブラード学院に入学、やがてセルジュと出会う。美の化身のような少年。

「風と木の詩」週刊少女コミック掲載　小学館

ジルベールは、美しく、清く?正しく?て、性格も私ごのみ。今度生まれてくる時は、ジルベールのような人間に生まれてくるつもり……。（京都府相楽郡木津町大字相楽小字城西55　長谷川素子　15才　高校1年）

なんたってジルベールがいい。普通のマンガじゃぜったい嫌われる性格が、彼の場合魅力になっている。不思議な子だ……。愚かでも白痴でも栄養失調でも（注・悪友の評）いいジルかわいい。（三重県桑名市堤原9　西村智子　16才　高校生）

第13位 フィリップ 265点



アンジェリク他（木原敏江）

16面相フィリップと呼ばれるほど木原作品の多くに登場。冷たい美しさをもつが内面は子どものような純心さをもつ。アンジェリクでは主人公のいとこ。

「アンジェリク」プリンセス掲載　秋田書店

「アンジェルのフィリップは怖いくらい綺麗ですね。フィリップが出ると画面が変り、ストーリーなんぞもうどうでもよくなってしまいます。昔の華やかなプレーボーイも素敵だったけど、最近のフィリップはとぎすまされた氷の刃の上をわたっているようで痛々しい。（唐津市東唐津2丁目　高木美喜子　24才　会社員）

第14位 矢吹丈 239点

あしたのジョー（ちばてつや・原作高森朝雄）

天涯孤独のみなし児で、丹下段平によってボクシングを知り、少年院で宿命のライバル力石徹と出会う。力石の死後も、カーロス、金、ハリマオらを倒し、王者ホセ・メンドーサに挑戦、真白な灰になるまで燃え尽きる。

「あしたのジョー」週刊少年マガジン掲載　講談社

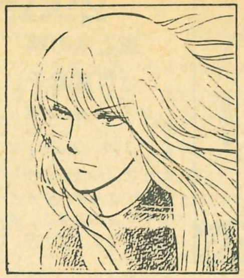
矢吹丈　一言でいえばカッコイイ、これしかない。二言ぐらいでいえば、ハングリーでしかもカッコよくて、自分の世界を持っている。これが俺の生き方だ、これが俺の信念だ、そういう何かを持っている。とても男っぽい男なのだ。ジョーのあの表情、あの目…。燃えてる姿にはあこがれてしまう。

あしたのジョーはあしたのジョーであしたのジョーでしかない。（千葉県市原市米原1177　鳥海裕芳　18才　浪人）

第15位 ヒース・スワンソン 216点

カリフォルニア物語

（吉田秋生）



カリフォルニアからニューヨークへ流れてきた青年。幼い頃、黒人青年に走ることを教えられ、今も走る。長い髪が風になびく時何処をみつめているのか。

このごろ男の子達はみんなカルフォルニア狂い、サーフィンにスケボーにRAの太陽。「ポパイ」なんて雑誌はもう、完全にアメリカ熱病。ところで、ちょっとシニカルでそのくせヤンキーそのものっていう感じのこのヒースという男の子、チョイ見にはRAぽくても、本質的にはどうもちがうよね。アメリカっていう腐りかけつつもエネルギーのある所に憧れてる外国人っぽいよね。でなきゃあんなに黙って過去のしっぽをくっつけて歩いてないよ。でもその妙に暖いクールさに惚れたんだけどさ。（東京都練馬区三原台1—27—17 サリンジャーの好きな主（20才 学生）

「カリフォルニア物語」別冊少女コミック掲載　小学館

第16位 ティリアン・パーシモン 207点

エル・アルコン—鷹

（青池保子）

豊かな黒い髪、鷹のような目、ロープの強さとしなやかさを持つ身体。イギリス海軍の権力を利用するのもスペインに寝返るのも、すべて自分の夢と野望のためだ。

ティリアン・パーシモンには、さすがの私も夢中にさせられたのです。久しぶりに骨のある人間に出会ったという感じで……。チェーザレ・ボルジアを下敷にしたような、悪の美学を何のためらいもなく、ただ己れのためだけに実践してゆくあの姿。どこにでもいるキャラクターでは絶対にない！ キラ・クイーンよりも線が太くてたくましいんだよね。悪がいつも正義にはまけてゆくあの単純さ……悪があまりに簡単な存在であって、正義の味方ほど自分に信念がなくて生きているようなお話しはもういやなのです。（〒194東京都町田市成瀬3577—178 21才 大学4年 坪井美津子）

「エル・アルコン—鷹」別冊セブンティーン掲載　集英社

第17位 ブラック・ジャック 206点

ブラック・ジャック

（手塚治虫）

本名、間黒男。大金を払わないと、手術しないため、無免許医となっているが、そのメスさばきは世界一。顔のキズあとと黒マントがトレードマーク。ピノコという有能な助手兼恋人（？）がいる。

ブラック・ジャックこそ、手塚漫画の集大成といえる、最も魅力あるキャラクターです。一見、冷淡にみえるあの態度の奥底には、限りない優しさが秘められており、いつも最後には全力を尽くして患者の命を救うのです。このような医者の姿こそ手塚氏の求める理想像なのでしょう。

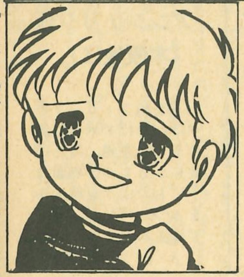
地球を救う、とか、銀河系を守るとかいった派手なキャラクターの蔓延する中で、一つの生命の灯を守り続けるブラック・ジャックは、最高のキャラクターなのです。（広島市上大須賀町13—6 青木行久 18歳 学生）

「ブラック・ジャック」週刊少年チャンピオン掲載　秋田書店

第18位 サーニン 203点

はみだしっ子

（三原順）



マイケル・トーマス 母が死に言葉をなくしおばの家の地下室に入れられ、アンジーにみつけられてそこを逃げ出す。４人の中で１番のがんばり屋。

はみだしっ子の4人の中でサーニンが一番好き。サーニンの笑顔、すべての悲しみをひとり背負ってにこっと笑う彼をじっと見つめていたい。初めてサーニンを見た時、なんて意地の悪い子だろうって思ったけど、彼の笑顔ですべてわかった。てれてたんだ。アンジーほどかっこよくないし、マックスほどかわいくはない。けれど、いつでも一所懸命なんです。サーニンはとても動物好き、というより、生きもの、自然、地球上すべてのものを愛しているんじゃないかな。はみだしっ子は4人でひとつだけど、サーニンはその中でいちばんいきいきと走りまわれるんだよね。（浜松市初生町691の2 鈴木えり子 18歳 学生）

「はみだしっ子」花とゆめ掲載　白泉社

第19位 ハーロック 184点

宇宙海賊キャプテン・ハーロック他

（松本零士）

西暦2977年、安楽な生活に溺れる人々から離れ宇宙戦艦アルカディア号で宇宙に乗りだしたハーロックは、女王ラフレシア率いるマゾーンと出会う。地球を侵略から守るハーロックの長い闘いが始まった……。

これぞ21世紀感覚にあふれているものなのである。それにしてもハーロックとエメラルダスはいつ結ばれるのであろうか（北海道小樽市長崎2丁目22—2 沢口晶優 18才 北海学園大学一年）

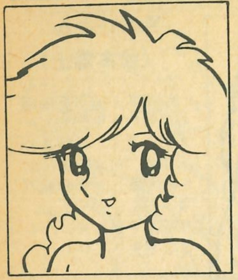
「ガンフロンティア」のスケベなハーロックが一番好きです。「岩もこっちもでっぱりがつっぱっていて〜」は名セリフ！「宇宙海賊…」はいうことなし。「エメラルダス」のハーロックは、トリさんのモモをカプッとくわえた、あの表情がたまらんのです。（岩手県二戸市福岡字杉中14—4 金子季代 19才 大学生）

「宇宙海賊キャプテン・ハーロック」週刊プレイコミック掲載　秋田書店

第20位 阿素湖素子 179点

やけくそ天使

（吾妻ひでお）



年齢不詳（若いらしい）。職業—看護婦、教師、歌手その他いろいろ。結婚—三重婚—回（その後どうなったんだろ？）。思考の原点—オマ○コ。家族—進也というかわいい弟が一人（狙われている）。

今一番重要なマンガ家の一人といえる吾妻ひでおの、最も特徴的なキャラクター阿素湖がベスト1なのだ！ 実際、こんなヒロイン!?他にいませんよ〜〜。阿素湖を見ていると、一般の少年マンガ、青年マンガのとりすましたヒロイン愚劣さが見えすぎるほど見えてくるのです。（山形市東原町1丁目5—40 高橋亨 20才 山大工学部）

「やけくそ天使」週刊プレイコミック掲載　秋田書店

第21位 バージル・ワード 170点

イブの息子たち

（青池保子）

詩人、男色家。その眼の魅力は、動物園のゴリラもおとすほどだ。でも彼が本当にほれるのは黒髪の男、クールな男、そしてタフなヒースと可愛いいジャスティンだ。

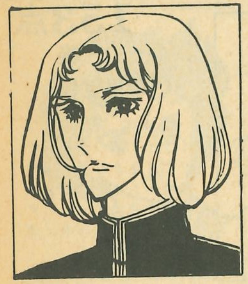
この自堕落な時代に多くの男達は安逸のうちに人生を消耗する。打ち捨てた男の矜持と尊厳をかえりみようともせずに。しかしここにひとりの男がいる。彼の名はバージル・ワード。明晰な逆説と皮肉で己を核とした意識の城をきずき、その眼は人間の真実を射る。ある時は金色をまぶした七色の甲冑に身を固め、またある時は全くの裸身で美の臥所に横たれる変化の妖しい男…。白刃を抱く彼の前に世界は瓦解する——。（我孫子市青山台2—24—1 原田桂子 学生）

「イブの息子たち」プリンセス掲載　秋田書店

第22位 鷹塔摩利 169点

ヴェッテンベルク・バンカランゲン

（木原敏江）



鷹塔思音とドイツ女性マレーネのひとり息子。持堂院高校の生徒成積優秀眉目秀麗。幼なじみの印南新吾を心密かに愛している。先輩夢殿からも求愛されている。

ベスト1に書いた〝鷹塔摩利〟君なんか、〝理想の美少年〟そのものではありませんか!!〝理想の美少年〟の要素を何ひとつ持たない私にとって、にくらしくてにくらしくて仕方のない彼だけど、にくらしいからこそ、大好きで大好きで仕方のない〝まり〟君なのです。故に新吾がうらやましいよ〜お。あんなにまり君に愛されて…。（奈良県橿原市葛本町95 島本秀子 19才 OL）

「ヴェッテンベルク・バンカランゲン」

第23位 大山昇太 160点

男おいどん

（松本零士）

松本零士の四畳半物の代表的キャラクター九州出身で、夜間高校を休学、何回女性にふられても、非常食糧のネコさん、トリさん、サルマタケと共にたくましく生きていく。

「男おいどん」週刊少年マガジン掲載　講談社

松本零士が書くキャラクターの、ホームラン王はやっぱり大山昇太に代表されるおいどんたちなのだ。他人にバカにされながら、ズブトク生きるあのしたたかさ。彼らは現在においても漫画界における全くの異端児、ドはずれもんとして存在する。やっぱりすごいの一言。キャプテンハーロックもぶっとぶ。（あ、こんなこと書いたら殺されっかな？）（熊本県下益城郡松橋町両仲間308—3　坂本徹也　17才　済々？）

第23位 エーリク・フリューリンク 160点

トーマの心臓

（萩尾望都）

シュロッターベッツ高等中学高等科一年に転入。死んだトーマとそっくりでまわりを驚かせる。はじめはユーリを嫌っていたが、母親の死をきっかけに、次第に心が傾いていく。

「トーマの心臓」週刊少女コミック掲載　小学館

〃泣いたり笑ったりおこったり彼の感情はすなおでぜいたくだなんのてらいもない……まるでなにも知らない小さな子どものように——〃

ユーリがエーリクに感じたこと、それがそのまま、私にも伝わってくる。何と感情の豊かな人間だろう。気が短くて、人一倍傷つきやすいエーリク。「11人いる！」のフロルにも似た人間的な魅力がある。しかしエーリクは、〃幼さ〃を残している。まさに赤ん坊のような無邪気さ、私は、いつも彼を包んであげたいという気持ちになってしまう。（徳島県麻植郡鴨島町知恵島456　片岡通子　20歳　学生）

第25位 アラン・トワイライト 153点

ポーの一族

（萩尾望都）

16世紀、資産家トワイライト家の一人息子として生まれる。14歳の時エドガーに出会い行動を共にする。エディスを助け火の中に消えてしまくう。

「ポーの一族」別冊少女コミック掲載　小学館

一週間のアランの無邪気さといったら！　見て下さい。ねまきのまま階段のてすりをすべりおりる時の、なんともいえないかわいらしい顔！　アランがいるから対照的なエドガーがひきたつのですよ。（東京都西多摩郡羽村町羽2647　水野玲子　17才　高校3年）

ポーの一族でエドガーより子供っぽくて好きです。子供の持つ利己主義をそのまま持っている感じでしょう。涙を流す男の子は良いのです。素直で…、ラ——!!（千葉県松戸市小金原7—10—23　吉田由記子　17才　浦和明の星女子高校）

第25位 島村ジョー 153点

サイボーグ009

（石森章太郎）

日本人の母親と外国人の父親との間に生まれ、孤児院で育つ。成長して不良になり、久里浜少年鑑別所へ送られ、脱走したところを黒い幽霊団につかまりサイボーグに改造される。主な能力は加速装置、髪の色は栗色。

「サイボーグ009」週刊少年キング、マンガ少年他掲載

島村ジョーの大きな魅力の一つに、加速装置がある。加速スイッチをカチ、カチ、と入れて加速して行くときの緊張感。バックは流れ、マフラーは大きくたなびく。ジャンプ、ジャンプ、反転、逆立つ髪、いやが上でも高まる興奮、もっと速く、もっと高く。そして彼は止まり、静寂が訪れる。僕は〃ふっ〃とため息をつき、009の魅力に酔うのです。（東京都渋谷区幡ヶ谷2—38—1—214　藤井治）

第25位 ホルバート・メチェック 153点

変奏曲

（竹宮恵子）

若き毒舌評論家。ひたすら美を追求する博学の人。若き天才音楽家ウォルフの友人であり、ヴァイオリニストエドナンを見い出した人物。椿荘の住人。

「変奏曲」週刊少女コミック他掲載　朝日ソノラマ

ボブは、二部の魅力もさることながら、ソノラマ版〃変奏曲〃のラスト3Pが…とても。彼の心は一生一人なのですねえ——。（東京都板橋区若木　石井由美子　19才　学生）

なんといっても1位は彼ですよ。男は顔じゃないのです。男は男色家。いやいや、男は知性です。ボブはまさしくWalking dictionary　豊かな人間性。ひかる知性、ウ〜たまりませんワン。（西宮市宮西町8—8　Nina Noguchi　19才）

第28位 メリーベル・ポーツネル 152点

ポーの一族

（萩尾望都）

エドガーの妹。恋人ユーシスを失い、エドガーについていく。銀色の髪のかよわき、永遠の少女。銀の弾にうたれて消える。

「ポーの一族」別冊少女コミック掲載　小学館

メリーベルは、ボクの初恋の人なのです。あの可愛らしさ！彼女は永遠に少女の清らかさを持ちつづけることのできるキャラクターだったのに、消えてしまった。だから憎い、たまらなく憎い。あのクリフォードめ！殺してやる!!（あ、もうエドガーが殺してしまったんだっけ）（京都府京都市左京区下鴨膳部103　末田俊仁　17歳　学生）

第29位 ソルジャー 147点

地球へ…

（竹宮恵子）

ミュウの長。ミュウたちの悲願は、人類に認められ、地球へ帰ることである。そのために戦い続けるが虚弱体質のため寿命が尽き、後継者ジョミーに後をたくす。

「地球へ…」マンガ少年掲載　朝日ソノラマ

「地球へ…」を、特に第一部を読んで誰もが思うことは、極めて図式的なストーリー展開ではなかろうか。優秀な頭脳を持つ竹宮恵子は、どんでん返しとか、その他小説などに多用されるテクニックを用いず、常に自分の言いたい、核の部分だけをビシッ、ビシッっと提出していく。「風と木の詩」は、人間同志の、おたがいへの「接近」の物語であり、2人の主人公達の勇気には感心させられてしまうけれど、直截に言い切る部分だけ、ソルジャーが好きだ。（〒157世田谷区成城1—31—12　柳沢健）

第30位 タダトス・レーン 135点

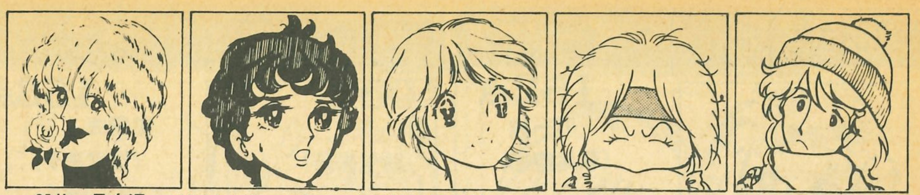
11人いる！他

（萩尾望都）

テラ系シベリース出身。幼時に父母を失い長老に育てられる。宇宙大学受験でフロルたちに出会い、11人目に間違われるが無事合格パイロット・コースを専攻、超能力をもつ。

「11人いる！」別冊少女コミック掲載　小学館

私は「11人いる！」を最もすばらしいSFまんがだと思っているし、この超能力をもった〃タダ〃（パイロットという名にふさわしい知的な）このキャラクターは、私の中に住みついております。今では、勝手に私の中を動きまわるみたいです。（東京都清瀬市中里4—1296・219—6　生田由利子　15才　高校生）



31位　蓑島サン
早春物語他
（清原なつの）

31位　とらじゃ
黒のもんもん組
（猫十字社）

33位　田島望
つらいぜ！ボクちゃん
（高橋亮子）

34位セルジュ・バトゥール
風と木の詩
（竹宮恵子）

35位　日向温
いちご物語
（大島弓子）

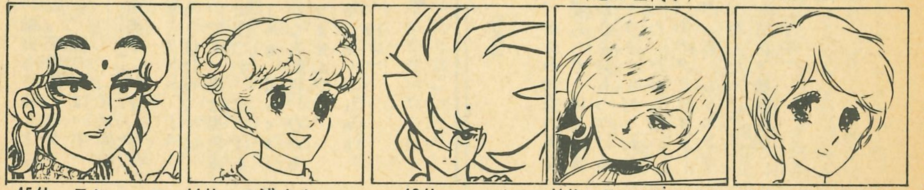
36位　レッド・星
スター・レッド
（萩尾望都）

37位　オスカル
ベルサイユのばら
（池田理代子）

38位　ヒース・イアソン
イブの息子たち
（青池保子）

39位　ニジンスキー
イブの息子たち
（青池保子）

40位　不動明
デビルマン
（永井豪）



41位　武田世津子
セッチ・シリーズ
（沖倉利津子）

41位エドアルド・ソリティ
変奏曲
（竹宮恵子）

43位　ロック
超人ロック
（聖悠紀）

44位　三浦衣良
バナナブレッドのプディング
（大島弓子）

45位　ラシャーヌ
ラシャーヌ・シリーズ
（魔夜峰央）

●とらじゃ
絶品のふとんつきの姿が、かわいかったからです。
（葛飾区堀切1ノ12ノ14　武田正人　20才　必殺つとめ人）

●田島望
田島望……俺が少女マンガにのめりこんだ原因。彼女の、笑顔そして泣顔。いいなァ。女の子が産まれたら、望と名づけて男の子のように育てよう！
（埼玉県比企郡小川町大塚90〜6　蓑輪忠明　19才　大浪人）

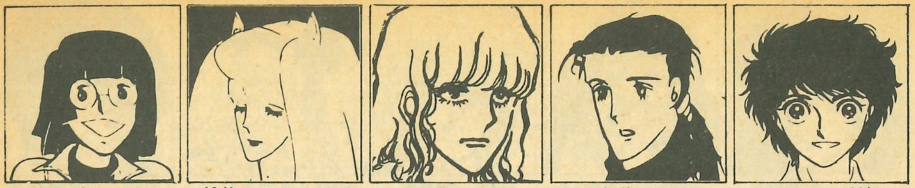
●日向温
キャラクターベスト100だけど、ベスト10入りして「チビ猫」はいいとして、「日向温」の48位はどうした事だ。たまにマンガで見かけるカラテが強いだけの粗暴人間などよりまるかに男らしいのに。女性票がどっと来て、ベスト10まちがいなしと思ったんだがな。
（川崎市高津区下作延417　西山博明　22才　月給ドロボー）

●オスカル・フランソワ・ド・ギャルジェ
あまりにも月並かもしれませんが、（もはやかなり時代が移っているかもしれないけれど）オスカルさんが1位です。なんといっても「ベルサイユのばら」はおもしろかった。宝塚でも、映画でも、黒い騎士はほとんど問題にされていないが、彼が出てくるあたりから、急速におもしろくなった。これに伴って登場するのが、アランこの人も漫画（原作）以外でも実に認められていないが、あの男らしさ、強引さ、理代子さんが何とかアランを主人公にした外伝を描いてくれないものかと思っているのですが……。
（横浜市戸塚区小菅ヶ谷町　安岡千絵里　22才　無職）

●ニジンスキー
ニジンスキーお兄さま、素敵よ。ヒースに新しい衣裳を見てもらうそれだけのために、あんまり物語の本筋とはカンケーないのに、ミジンコスキーになって、地中王国まで行っちゃうんだもの。ハタのメイワクもかえり見ず、「永遠のバレリーノ」で通しちゃうんだもの。ぼく、「イブの息子たち」読むたびに思うのよね、ぼくもお兄さまのように自由に生きたいって。オレ、アホかな。
（静岡県熱海市東海岸町3の25　27才　家業手伝い）

●森ちゃん
「菜の花畑」シリーズの四人の中で誰が一番いいかという質問に「ネコちゃん」と言った石川氏に対抗して「森ちゃん」に一票を投じました。
（千葉県市原市 KoT i "JOJO" Kawaguchi　24才　会社員）

蓑島さん　りぼん　集英社　とらじゃ　ララ　白泉社　田島望　週刊少女コミック　小学館　セルジュ・バトゥール　週刊少女コミック　小学館　日向温　週刊少女コミック　小学館　レッド星　週刊少女コミック　小学館　オスカル　週刊マーガレット　集英社　ヒース・イアソン　プリンセス　秋田書店　ニジンスキー　プリンセス　秋田書店　不動明　週刊少年マガジン　講談社　武田世津子　別冊マーガレット　集英社　エドアルド・ソリティ　週刊少女コミック　小学館　ロック　作画グループ　三浦衣良　月刊セブンティーン　集英社　ラシャーヌ　花とゆめ　白泉社



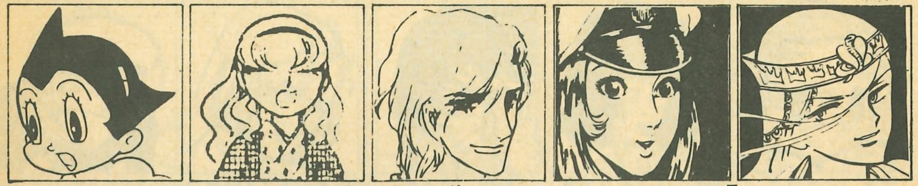
46位　小林渡
いらかの波
（河あきら）

47位　御茶屋峠
バナナブレッドのプディング
（大島弓子）

47位　間柴一興
おしゃべり階段
（くらもちふさこ）

49位　ラフィエル
綿の国星
（大島弓子）

50位　森ちゃん
菜の花畑シリーズ
（樹村みのり）



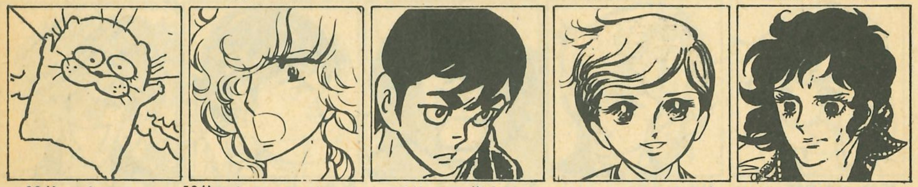
51位　スネフェル
ファラオの墓
（竹宮恵子）

51位　ノーラ・スコラ
ノーラの箱船他
（御厨さと美）

51位ユーリ・ミロノフ
アラベスク
（山岸凉子）

54位　砂姫明日香
明日香シリーズ
（和田慎二）

54位　アトム
鉄腕アトム
（手塚治虫）



56位　岡ひろみ
エースをねらえ！
（山本鈴美香）

57位ウォルフガング・リヒター
変奏曲（竹宮恵子）

58位　飛葉大陸
ワイルド7
（望月三起也）

58位ルシフィン・ドゥ・サゼ
みき＆ユーティ
（成田美名子）

60位　オヨヨ
しあわせさん
（市川みさこ）

●ユーリ・ミロノフ
だんぜんベスト1は、ユーリ・ミロノフよ！私、この人の生き方好きだナー。ノンナとかたときもはれずにいながら、ひたすら時をまちつづけるなんて、並の男にゃできませんよ。あの愛し方、生き方、もう愛しちゃう！山崎はきっと天才よ！
（広島市皆実町6—16—6　橋本睦子　14才　学生）

●砂姫明日香
明日香は変身した時の色っぽさもいいが、普通の時のかわいらしさ、どじなところも非常によい。
（和歌山県那賀桃山町神田195—2　田中俊朗　18才　大学生）

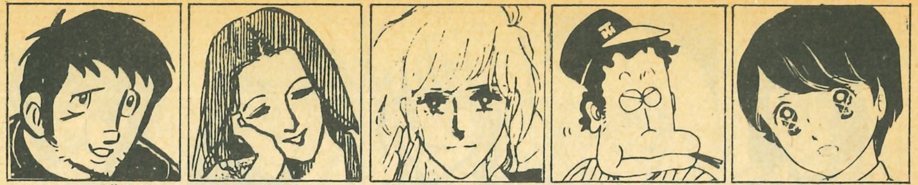
●アトム
私が幼稚園の時、光文社からカッパ・コミックスとして創刊された「鉄腕アトム」は、私の人格形成に於てかなりの影響を及ぼしているようです。
（愛知県刈谷市東境町児山168　菱田方　黒田昌志　21才　学生）

●ルシフィン・ドゥ・サゼ
ルシフィンってすごくいいと思いませんか？すごくテレ屋でやさしくて、ちょっぴりドジで……こういう人、好みなのです。もちろんユーティも大好きだけど、彼はみきをかわいがりすぎます。ルシィだって、みきに負けないくらいユーティのこと理解してあげてるのに。
（愛知県蒲郡市港町10—13　鈴木順視　17才　学生）

●柚木亜砂子
7位の亜砂子さん、もう最高なんだなー。弱い女とも言えず、かといって、強い女ともいえぬ。ただ、1人の女としての悩みをもちながら、友情と恋愛につきあうところ……何か不自然なところがない。不思議だ。全くなんというキャラクターなのだろう。名前もいい。どうして亜砂子という漢字をつけたのだろう。高橋亮子先生、天才じゃ。友君が、うらやましぇ〜なあ。
（川崎市高津区下作延789　荒川悦子郎　20才　学生）

●ハインリヒ（004）
009は、先へ先へと読みたくなるおもしろさだった。男はニヒルに、また背にカゲを……ていうところで機械（兵器）だらけの004。
（東京都東大和市湖畔2—1044—61　斉藤理一　18才　学生）

小林渡　別冊マーガレット　集英社　御茶屋峠　月刊セブンティーン　集英社　間柴一興　別冊マーガレット　集英社　ラフィエル　ララ　白泉社　森ちゃん　別冊少女コミック　小学館　スネフェル　週刊少女コミック　小学館　ノーラ・スコラ　ビッグコミック・オリジナル　ユーリ・ミロノフ　花とゆめ　白泉社　砂姫明日香　別冊マーガレット　集英社　アトム　サン・コミックス　朝日ソノラマ　岡ひろみ　週刊マーガレット　集英社　ウォルフ　週刊少女コミック　小学館　飛葉大陸　少年キング　少年画報社　ルシフィン　ララ　白泉社　オヨヨ　週刊少女コミック　小学館



60位 柚木亜砂子 坂道のぼれ！ （高橋亮子）
62位 タブチくん くるくるぱぁティー （いしいひさいち）
63位 島津亮 いらかの波 （河あきら）
63位 花子さん 春宵曲 （森川久美）
65位 景浦安武 あぶさん （水島新司）

66位 アルベルト・ハインリヒ サイボーグ009 （石森章太郎）
66位 オーギュスト・ボウ 風と木の詩 （竹宮恵子）
66位 カムイ カムイ伝 （白土三平）
66位 ジェイムズ君 エロイカより愛をこめて （青池保子）
66位 マックス はみだしっ子 （三原順）

71位 オーガスティン 海にいるのは… （大島弓子）
71位 ケン・アカバ 赤いペガサス （村上もとか）
71位 もっちゃん もっちゃんコミック （小森ネコ）
74位 キリアン・ブルンスウィッグ ポーの一族（萩尾望都）
75位 美波唯 エリート狂走曲 （弓月光）

●オーギュスト・ボウ
オーギュストは、頭ばかり良くなって、精神的には成長ゼロで、彼が幼いころの異常な生活を強いられた事を考えると、とてもかわいそうに思えるのです。でも同情だけじゃなく、彼のあゆ意味での素直さに惚れたのですよ。（東京都東村山市青葉町4—2—1 堤明子 15才 学生）

●ジェイムズ君
ジェイムズ君は、私も好きだけど、妹がものすごく好きなのです。なにせ彼のモデルのJ・P氏の大ファンだし、あの性格もよいとか、顔もかわいいし……（群馬県渋川市半田1768の24 高橋弥栄子 17才 県立渋川女子高校）

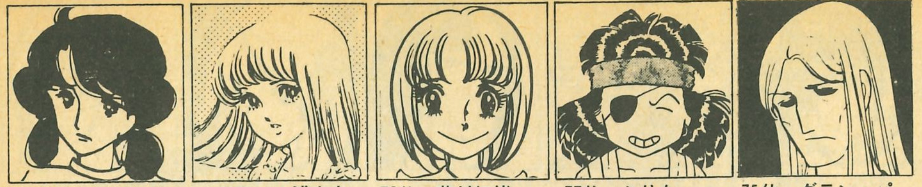
●ケン・アカバ
バンザイ、ついにペペとユキがくっついた。キャンディかわいそー、「どうってことはない、オマエがいなくても、もとにもどるだけのことだ。」とつぶやくケン。とてもセクシー。（長野市中御所237国鉄アパート343 斉藤弘美 27才 ムショク）

●キリアン・ブルンスウッグ
う〜ん、キリアンをBEST1に選んだのは、彼が、私にとって一番共感の持てる性格であるからでしょうか？（「小鳥の巣」も、ポー・シリーズの中で最も気に入っているし）私が、キリアンを思い浮べると、同時に他の漫画のキャラも連想されて、自分自身では、彼らをも含んでしまっている感じです——なぜか、ユリスモール・バイハン、オスカー・ライザー、エドガー、グレアム、アンジー、ウォルフ…etc、が……（〒367埼玉県本庄市末広町2256 山岸寿美江 19才 女子聖学院短期大学）

●グラン・パ
グラン・パは顔がわるい？のにもかかわらず、ひどく心に残っていて思い出すたびに心がキュンとしめつけられはす。彼、世の中のやりきれなさ、不合理さを知っている。それでいて、あんなにあたたかい……ほんとにいい人ですよ。（千葉県君津市福岡303—25 山西尚子 17才）

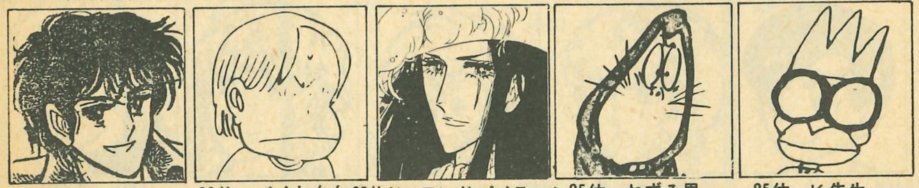
●花村紅緒
なぜ、①②位と花村紅緒を選んだかと、それは紅緒の生き方に感動したからです。理想論だと言われよーが、私は女の立場？として彼女の生き方にすばらしいなあ〜と感じたのです。彼女こそが女の中の女!!とんでる女というような感じを受けるのです。まだ読んでない人に！あれは絶対よんだ方がいいゾョ。（強制はしないのだが〜!!）

柚木亜砂子 週刊少女コミック 小学館 タブチくん 漫画アクション 双葉社 島津亮 別冊マーガレット 集英社 花子さん ララ 白泉社 景浦安武 ビッグコミック・オリジナル 小学館 アルベルト・ハインリヒ サンデーコミックス 秋田書店 オーギュスト・ボウ 週刊少女コミック 小学館 カムイ 小学館文庫 ジェイムズ君プリンセス 秋田書店 マックス 花とゆめ 白泉社 オーガスティン 別冊少女コミック 小学館 ケン・アカバ 週刊少年サンデー 小学館 キリアン・ブルンスウィッグ 別冊少女コミック 小学館 美波唯 週刊マーガレット 集英社



75位 グラン・パ アメリカン・パイ （萩尾望都）
77位 かりた 黒のもんもん組 （猫十字社）
78位 花村紅緒 はいからさんが通る （大和和紀）
78位 人浦春奈 ぼくの初体験 （弓月光）
80位 有間皇子 飛鳥昔語り （清原なつの）

81位 ロレンツォ・デ・クレメンテ 7つの黄金郷 （山本鈴美香）
82位 上杉鉄兵 おれは鉄兵 （ちばてつや）
82位 キース・アニアン 地球へ… （竹宮恵子）
84位 カントク 1・2のアッホ!!他 （コンタロウ）
85位 飛鳥了 デビルマン （永井豪）



85位 K先生 K先生の講義 （蔵前仁一）
85位 ねずみ男 ゲゲゲの鬼太郎 （水木しげる）
85位 ジョフレ・ド・ベイラック アンジェリク （木原敏江）
89位 バイトくん バイトくん他 （しいひさいち）
89位 海棠林三郎 かぎりなくアホに近い男 （亜月裕）

（茨城県稲敷郡阿見町青宿803 長南弘美 15才 学生）

●ロレンツオ
この人も何だか途中で死にかけたが、この話、どうもこの人の死で、終りそうな気がしてならない。何であれ、自分の美学に応じて生きるなんて、生きられるなんて、素晴しい事ではありませんか！（京都市右京区花園伊町19 山崎知也 16才 学生）

●飛鳥了
練馬の寺田よし子さん、あなた飛鳥了を1位にあげましたね。何をかくそう、このぼくも1位に了さんをあげたのです。もちろん彼を1位にするのはぼくくらいだろうと思ってましたけど、しかしなんと！ぼくの他にも彼を指名している人がいる！これを見たときはカンゲキしましたよ〜〜〜。とーぜんこのハガキにも彼を1位にします。現時点ではBEST110にも入ってないけれど顔がのるくらいまで上昇せんかしら。（三重県久居市西鷹跡町520—3 佐藤純 18才 学生）

●K先生
K先生の講義ね最終回だけはとってもよかったよ、ほんとに。K先生の講義ね、最終回だけは何回やってもいいよ、ほんとに。K先生の講義ね、カラー28Pでやってもいいよ、ほんとに。（ほっかいどう釧路市松浦町5の12 中村雅彦 17才 くしろ江南高校）

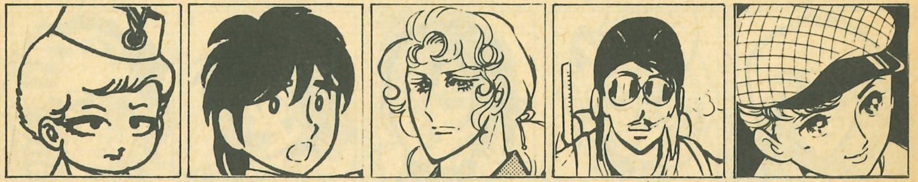
●ねずみ男
ベスト部門第1位はなんといってもあの「ねずみ男」「ねずみ男」しかありません。彼ほど強烈なドロくさい個性をもったキャラがいるでしょうか……。あのハイセンスなマント、石野真子もまっさおなあのマエバベスト1はやはりねずみ男です。（渋谷区笹塚1—60—3 小暮信行 19才 学生）

●ジョフレ・ド・ベイラック
う……何故、ジョフレが62位なのに、フィリップは16位なのだ。ジョフレの方がずっと知性美にあふれているのに、フィリップなんて白痴美ではないか、JUNEで、ジョフレを世紀末的美形ベスト10で上位進出がはたせなかったから今度こそと思っていたのに。どうぞ皆様、もっとジョフレのすばらしさを認識して下さいませ。（静岡県東鷹匠町4—5 小川涼子 19才 看護学校）

グラン・パ プリンセス 秋田書店 かりた ララ 白泉社 花村紅緒 週刊少女フレンド 講談社 人浦春奈 週刊マーガレット 集英社 有間皇子 りぼん 集英社 ロレンツオ・デ・クレメンテ 週刊マーガレット 集英社 上杉鉄兵 週刊少年マガジン 講談社 キース・アニアン マンガ少年 朝日ソノラマ カントク 週刊少年ジャンプ 集英社 飛鳥了 週刊少年マガジン 講談社 ねずみ男 KCコミックス 講談社 ジョフレ・ド・ベイラック プリンセス 秋田書店 バイトくん プレイガイド・ジャーナル社 海棠林三郎 別冊マーガレット 集英社

ジョジョ　別冊少女コミック　小学館　ジュール・ド・フェリイ　週刊少女コミック　小学館　宗方仁　週刊マーガレット　集英社　リュシエンヌ・クレー　プリンセス　秋田書店　火浦健　KCコミックス　講談社　タグ・パリジャン　週刊少女コミック　小学館
ひざかた歳三　週刊少年チャンピオン　秋田書店　土方歳三　週刊マーガレット　集英社　富士一平　週刊少年ジャンプ　集英社　パタリロ　ララ　白泉社　麻宮サキ　花とゆめ　白泉社　イノヴ・ルチアーノ　別冊マーガレット　集英社　パスカル・ビケ
週刊少女コミック　小学館　エルグ　週刊少女コミック　小学館　ロック・ホーム　手塚治虫全集　講談社

91位　ジョジョ　ジョジョの詩（倉多江美）
91位ジュール・ド・フェリイ　風と木の詩（竹宮恵子）
91位　宗方仁　エースをねらえ！（山本鈴美香）
91位リュシエンヌ・クレー　アメリカン・パイ（萩尾望都）
95位　火浦健　野球狂の詩（水島新司）



95位タグ・パリジャン　空がすき！（竹宮恵子）
95位　ひざかた歳三　マカロニほうれん荘（鴨川つばめ）
98位　土方歳三　天まであがれ！（木原敏江）
98位　富士一平　すすめ！パイレーツ（江口寿史）
100位　パタリロ　美少年殺し（魔夜峰央）

101位　麻宮サキ　スケバン刑事（和田慎二）
101位イーヴ・ルチアーノ　カリフォルニア物語（吉田秋生）
101位　パスカル・ビケ　風と木の詩（竹宮恵子）
104位　エルグ　スター・レッド（萩尾望都）
104位　ロック・ホーム　バンパイヤ他（手塚治虫）

●**宗方仁**
宗方仁にはともかく感動した。死んでいった多くのメインキャラクターで、この人程感動的な死をむかえた人をぼくは他に知らない。今、最も心に残っているキャラは彼である。（京都市右京区花園伊町19　山崎知也　16才　学生）

●**火浦健**
「野球狂の詩」では、いちばん好きなキャラクターです。火浦健って、向かって右から見ると右目がかくれていて、左からかいてあるのでは、左目がかくれている。
ということは、顔を半分にしたところへ、髪の毛がぺしゃんこの状態でたれているのだろうか？（「ドカベン」の不知火、「巨人の星」花形もこれと同じだけど）（岡山市福浜西町5—27　藤井政志　20才　サービス業）

●**パタリロ**
わーっ、何んでみんなあのっパタリロを入れないの〜？パタリロこそ最高のキャラクターよっ！
「花とゆめ」9号のP.184の最下段のパタリロの顔を見てみろっ！立ち読みする度に笑いを押さえられず、本屋で隣の人に気味悪がられた事がある。（八尾市山城町5—7—3千日荘15号　松岡美知枝　20才　学生）

●**イーヴ・ルチアーノ**
イーヴはかわいいんだずぉぉ……あの純粋さがたまらんのだ♡ヒースもすてきだけど、ヒースの冷たい心をさえも溶かしてしまったイーヴに敬服！なのです。（福岡県北九州市小倉北区井堀4丁目4—20　木下淑子　18才）

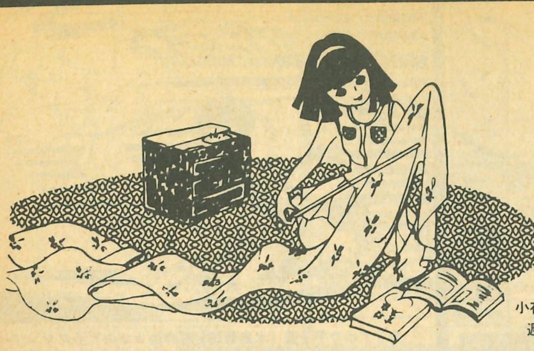
●**パスカル**
とにかく、彼には頭が下がる。なーんて物・人をあらゆる目で見考えるんだろーなと、結構ボサッとしてるけど、重要な存在だし、時々ふっとやさしさに満ち足り、キラッと輝いたり、とにかく不思議な気持ちになる魅力的なキャラクターだと思う。（埼玉県入間市下藤沢151、14—74　小林マナミ　15才　学生）

●**ロック・ホーム**
ロックは「ウォビット」以外に出てくる時も私を引きつけます。それはきっと半悪人的で悪人になりきれず、孤独な事が多いせいだと思います。
悪人になれないなら善人になれるかと言うと、それもできない。そのまったく逆もあるのです。（小枚市みどり台135　都築敬子　18才　大学1年）

はみだしキャラクター

ポイントは高くないけれど、どうしても忘れてもらっては困る、そういう読者の声が感じられるキャラクターを集めてみました。

尾崎小夜

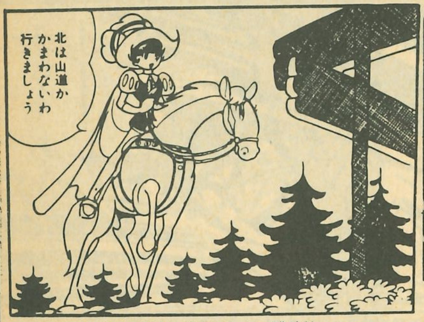


小夜の縫うゆかた（萩尾望都）
週刊少女コミック夏の増刊

●萩尾望都の作品の中では、「小夜の縫うゆかた」が一番好きだ。ポーの一族を読むとなぜか心がイライラするし、トーマは肩がこってしかたない。その点、小夜の縫うゆかたをよむと心がなごみほっとする。
何年か先、僕が結婚し、女の子が生まれたら、小夜という名をつけようかと、思いその旨を友人に話したらばかにしたような目をされた。それからしばし考えてその計画は中止した。「小夜」という名には、なぜかしら悲壮な感が満ちているらしいのだ。（千葉県市川市大和田3—14—5　川名毅彦　22才　無職）

サファイヤ

●運動オンチの私が、「男装してさっそーと馬に乗り、ちゃんばらをする」という、すばらしい運動神経にあこがれてしまった。サファイヤは実に印象深い人物。作品自体も夢があって今だに好き。（同じ男装でもオスカルより印象深い。）サファイヤ、万才！（杉並区善福寺1—2—9　福島荘　渡辺ひとみ　22才　東京女子大学）



リボンの騎士　（手塚治虫）講談社

あさぎ色の伝説（和田慎二）
LaLa掲載

沖田総司

私にはキャラクターを3人なんて絶対に選びきれないのです。だから悩んだあげくに、同一人物を全部にあてはめてみました。でもドジ様の**総司**君とヒゲクマさんの**総司**さまとでは、キャラクターという面で考えると別だもの…。別にみなもと太郎さんの**総司**ちゃんが嫌だというわけではないのですが、全部に同じ名前を入れたかったのです。（京都府宇治市宇治乙方6　阪田洋子　18才　学生）

恋よ剣（弓月光）りぼん

天まであがれ！（木原敏江）マーガレット

ブッシュ先生

オスカーもいいし、ユーリもいいし、エーリクもいいけど、これは他の人にまかせるとして私は絶対**ブッシュ先生**に入れたいのです。エーリクにいじめられて、まっ赤になるブッシュ先生。ホントにかわいいんだもの。最初はイヤミな先生姿で登場した彼だけど、エーリクに「たまに静かすぎるとキモチ悪い」って言ったり、ボロボロ車でのエーリクとの会話なんかで彼の優しい人柄や、豊かな人生経験などが忍ばれると思いません。（岐阜県岐阜市下鵜飼1696―5　鷲見百合子　18才　学生）

男どアホウ甲子園（水島新司・原作佐々木守）少年サンデー

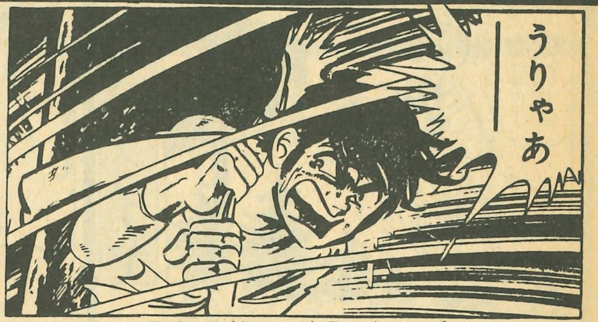
藤村甲子園

姓は、**藤村**、名は、**甲子園**。かれ程の男はいない。彼こそ、スーパーヒーローである。まさに不滅の剛球投手なのである。彼は、直球一本で投げぬいたのである。どんな時にも。その記録は以下。公式戦　28試合に登板、そのうち25試合完投　回数304⅔回（18回まで延長が3回、45回まで延長が1回）　自責点　36点　奪三振　135個→一試合平均18・5個ですぞ。※ただし、これは、場面としてかかれている65⅔回でうばった数。防御率　1.07　完全試合5回、ノーヒットノーラン3回（仙台市長町5―5―20　妖美暴世　24才公務員）

トーマの心臓（萩尾望都）週刊少女コミック

山崎銀次郎

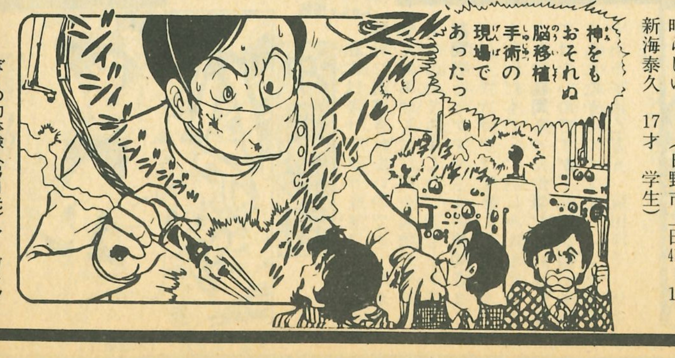
「硬派銀次郎」を読んだときのすがすがしさといったらなかった。**銀次郎**の魅力は、男としてひいてはならない敵に敢然と立ち向い、正義感に燃えて悪をたたきつぶすというタフな面もそうだが、むしろ親兄弟をなくし、中学生の身でありながら、一人で一片の暗さもなく、常に前向きの姿勢をくずさない。それでいてふだんはなんのへんてつもない中学生としてすごしている中に、あふれ出るやさしさだと思う。（富山市大町一区西部243　平野正之　20才　大学生）



硬派銀次郎（本宮ひろ志）月刊少年ジャンプ

人浦狂児

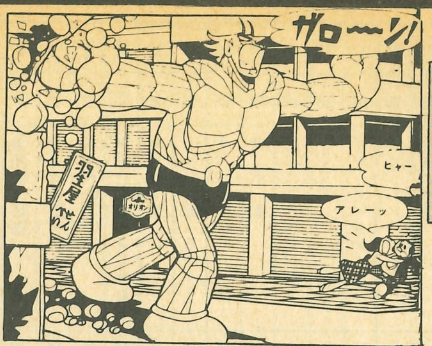
「ぼくの初体験」は弓月光の傑作です。そして**人浦狂児**は弓月光の最大のキャラクターです。歴史上の有名人物の顔を自分のキャラクター群の中にとり入れるズーズーしさが素晴らしい。（日野市上田415―10　新海泰久　17才　学生）



ぼくの初体験（弓月光）マーガレット

ガロン

誰れが何んと云っても**ガロン**が最高。あの目付き**「ピック」**がいないとまるでダメ、アトムとの対決はアニメでは2回あったけど、漫画の方は一回しかなかったっけ…。現在、某出版社より発行されているガロンは、全体の半分もないはず。後半のストーリーが好きなんですが、インディアン問題等で出版は無理の様だ。しかし、マグマとの対決はスゴカッタの一言につきる。最近鉄人28号の復刻本が出たが、このガロンは出ないのだろうか？　カムバック　ガロ〜〜〜ン　ビルの街に　ガロ〜〜〜ン（じゃあなかったっけ!?）（宇治市小倉町山際4の25　芝下義影　29才　調理師）



魔神ガロン（手塚治虫）秋田書店

奥羽浅忽

「7月7日に」を読んで理由なく涙がジワ〜〜とたまってしまった。**あさぎお母さん**が理由など無いが好きなのである。大島弓子嬢一連の作品の登場人物にはすべて、似たような気持ちを持つ。あさぎお母さんと**死神さん**は特別ヨイのである。リアリティーを帯びている2人が、大好きである。私だけそう思っているのかもしれない。（神奈川県平塚市四之宮444―5　大沼麻紀　15才　学生）

7月7日に（大島弓子）別冊少コミ

怜子

あの最終ページの**怜子**の目をみたら、とりこにならずにはいられなかった。彼女こそは男の理想、男の夢、男の…故郷。高橋葉介氏が描くところの女性は皆美しいのです。そのなかでもとりわけ美しいのが怜子であって、今だかって彼女以上にイロッポクそして幼げな女性をぼくは見たことがありません。そんな彼女が、ぼくが毎日電車の中で出会うあの人に似ているのだから、ベスト キャラクターが彼女になるのはもうしごく当然なことなのです。（富山県東波郡福野町柴田屋730　中坪和久　18才）

卵（高橋葉介）マンガ少年

栗原宏美　神田鉄雄

増刊号だからって差別しないで！　サンデー増刊号には、**「ファントム無頼」**つーえらくおもろいまん画が、あるのですヨ。メカはうまいし、難点だった人物が、さすが1年年を越えるとうまくなって、キャラクターがスゲェ魅力的で、もー、タマラン!!（描くごとにうまくなってくるのよね）。独断と偏見と言われよーと、最高のキャラクターなのだ。今月号なんて、涙が出てくるワイ♡**栗さん**♡栗さん♡　それでも、栗さんじゃあイヤとゆー人のために、主人公の神田もいるし、一度は必ずみるべきだ！（仙台市茂庭折立北59　浅野純子　16才　学生）

ファントム無頼（新谷かおる）増刊少年サンデー

キャラクター人気投票最終発表

順位	前回	キャラクター名	作品名	作者名	得点
1	1	オスカー・ライザー	トーマの心臓	萩尾望都	一五三九
2	2	エドガー・ポーツネル	ポーの一族	萩尾望都	一二六七
3	3	アンジー	はみだしっ子	三原順	五九五
4	4	阿修羅王	百億の昼と千億の夜	光瀬龍 萩尾望都	五六七
5	5	ユリスモール・バイハン	トーマの心臓	萩尾望都	五二五
6	6	ヒデヨシ	ファンタジーゾーン	ますむらひろし	五二二
7	7	須和野チビ猫	綿の国星シリーズ	大島弓子	五一六
8	8	グレアム	はみだしっ子	三原順	四七八
9	9	エーベルバッハ	エロイカより愛をこめて	青池保子	四七七
10	10	フロルベルチェリ・フロル	11人いる!	萩尾望都	三七六
11	11	花岡数子	花岡ちゃんの夏休み他	清原なつの	三一一
12	12	ジルベール・コクトー	風と木の詩	竹宮恵子	二九三
13	13	フィリップ	アンジェリク	木原敏江	二六五
14	14	矢吹丈	あしたのジョー	高森朝雄 ちばてつや	二三九
15	17	ヒース・スワンソン	カリフォルニア物語	吉田秋生	二一六
16	18	ティリアン・パーシモン	エル・アルコン―鷹	青池保子	二〇七
17	14	ブラック・ジャック	ブラック・ジャック	手塚治虫	二〇六
18	20	サーニン	はみだしっ子	三原順	二〇三
19	19	ハーロック	宇宙海賊キャプテンハーロック	松本零士	一八四
20	23	阿素湖素子	やけくそ天使	吾妻ひでお	一七九
21	26	バージル・ワード	イブの息子たち	青池保子	一七〇
22	21	鷹塔摩利	ヴェッテンベルク・バンカランゲン	木原敏江	一六九
23	16	大山昇太	男おいどん	松本零士	一六〇
23	26	エーリク・フリューリンク	トーマの心臓	萩尾望都	一六〇
25	32	アラン・トワイライト	ポーの一族	萩尾望都	一五三
25	21	島村ジョー	サイボーグ009	石森章太郎	一五三
25	24	ホルバート・メチェック	変奏曲	竹宮恵子	一五三
28	55	メリーベル・ポーツネル	ポーの一族	萩尾望都	一五二
29	28	ソルジャー	地球へ……	竹宮恵子	一四七
30	37	タダトス・レーン	11人いる!	萩尾望都	一三五
31	37	蓑島サン	早春物語	清原なつの	一二八
31	35	とらじゃ	黒のもんもん組	猫十字社	一二八
33	40	田島望	つらいぜ!ボクちゃん	高橋亮子	一二四
34	31	セルジュ・バトゥール	風と木の詩	竹宮恵子	一二〇
35	48	日向温	いちご物語	大島弓子	一一八
36	44	レッド星	スターレッド	萩尾望都	一一七
37	30	オスカル	ベルサイユのばら	池田理代子	一一四
38	48	ヒース・イアソン	イブの息子たち	青池保子	一一三
39	57	ニジンスキー	イブの息子たち	青池保子	一一一
40	25	不動明	デビルマン	永井豪	一一〇
41	36	武田世津子	セッチシリーズ	沖倉利津子	一〇九
41	52	エドアルド・ソリティ	変奏曲	竹宮恵子	一〇九
43	43	ロック	超人ロック	聖悠紀	一〇五
44	40	三浦衣良	バナナブレッドのプディング	大島弓子	一〇四
45	33	ラシャーヌ	ラシャーヌシリーズ	魔夜峰央	一〇三
46	29	小林渡	いらかの波	河あきら	九九
47	48	御茶屋峠	バナナブレッドのプディング	大島弓子	九八
47	40	真柴一興	おしゃべり階段	くらもちふさこ	九八
49	53	ラフィエル	綿の国星	大島弓子	九七
50	59	森ちゃん	菜の花畑シリーズ	樹村みのり	九四

順位	前回	キャラクター名	作品名	作者名	得点
51	48	スネフェル	ファラオの墓	竹宮恵子	九〇
51	34	ノーラ・スコラ	ノーラシリーズ	御厨さと美	九〇
51	67	ユーリ・ミロノフ	アラベスク	山岸凉子	九〇
54	44	砂姫明日香	明日香シリーズ	和田慎二	八九
55	56	アトム	鉄腕アトム	手塚治虫	八八
55	39	岡ひろみ	エースをねらえ!	山本鈴美香	八八
57	46	ウォルフガング・リヒター	変奏曲	竹宮恵子	八五
58	48	飛葉大陸	ワイルド7	望月三起也	八四
58	71	ルシフィン・ドゥ・サゼ	みき&コーティ	成田美名子	八四
60	59	オヨヨ	しあわせさん	市川みさこ	八〇
60	59	柚木亜砂子	坂道のぼれ!	高橋亮子	八〇
62	47	タブチくん	くるくるぱぁティー	いしいひさいち	七八
63	58	島津亮	いらかの波	河あきら	七六
63	53	花子さん	春宵曲	森川久美	七六
65	66	景浦安武	あぶさん	水島新司	七五
66	62	アルベルト・ハインリヒ	サイボーグ009	石森章太郎	七三
66	69	オーギュスト・ボウ	風と木の詩	竹宮恵子	七三
66	64	カムイ	カムイ伝	白土三平	七三
66	69	ジェイムズ君	エロイカより愛をこめて	青池保子	七三
66	133	マックス	はみだしっ子	三原順	七三
71	108	オーガスティン	海にいるのは……	大島弓子	六八
71	83	ケン・アカバ	赤いペガサス	村上もとか	六八
71	62	もっちゃん	もっちゃんコミック	小森ネコ	六八
74	96	キリアン・ブルンスウィッグ	ポーの一族	萩尾望都	六七
75	103	美波唯	エリート狂走曲	弓月光	六六
75	78	グラン・パ	アメリカン・パイ	萩尾望都	六六
77	83	かりた	黒のもんもん組	猫十字社	六五
78	89	花村紅緒	はいからさんが通る	大和和紀	六四
78	114	人浦春奈	ぼくの初体験	弓月光	六四
80	89	有間皇子	飛鳥昔語り	清原なつの	六三
81	108	ロレンツオ・デ・クレメンテ	七つの黄金郷	山本鈴美香	六二
82	64	上杉鉄兵	おれは鉄兵	ちばてつや	六一
82	114	キース・アニアン	地球へ……	竹宮恵子	六一
84	67	カントク	1・2のアッホ!!	コンタロウ	六〇
85	108	飛鳥了	デビルマン	永井豪	五七
85	71	K先生	K先生の講義	蔵前仁一	五七
85	108	ねずみ男	ゲゲゲの鬼太郎	水木しげる	五七
85	91	ジョフレ・ド・ペイラック	アンジェリク	木原敏江	五七
89	75	バイトくん	バイトくん	いしいひさいち	五六
89	71	海棠林三郎	かぎりなくアホに近い男	亜月裕	五六
91	74	ジョジョ	ジョジョの詩	倉多江美	五五
91	83	ジュール・ド・フェリイ	風と木の詩	竹宮恵子	五五
91	75	宗方仁	エースをねらえ!	山本鈴美香	五五
91	83	リュシエンヌ・クレー	アメリカン・パイ	萩尾望都	五五
95	103	火浦健	野球狂の詩	水島新司	五四
95	75	タグ・パリジャン	空がすき!	竹宮恵子	五四
95	78	ひざかた歳三	マカロニほうれん荘	鴨川つばめ	五四
98	138	土方歳三	天まであがれ!	木原敏江	五三
98	83	富士一平	すすめ!パイレーツ	江口寿史	五三
100	161	パタリロ	美少年殺し	魔夜峰央	五二

順位	前回	キャラクター名	作品名	作者名	得点
101	96	麻宮サキ	スケバン刑事	和田慎二	五一
101	96	イーヴ・ルチアーノ	カリフォルニア物語	吉田秋生	五一
101	96	パスカル・ビケ	風と木の詩	竹宮恵子	五一
104	96	エルグ	スターレッド	萩尾望都	四九
104	82	ロック・ホーム	バンパイヤ他	手塚治虫	四九
106	128	坂東菊次郎	ノストラ探偵団事件簿	かわみなみ	四八
107	83	芥川まさみち	あくたれエッセイ	重富奎子	四七
107	103	イブ・ラクロワ	シメール	森川久美	四七
107	121	かるめら姫	狛江区立鎌切高校他	まついなつき	四七
107	121	エメラルダス	クィーン・エメラルダス	松本零士	四七
107	121	司馬乱	アポストロフィーS	大島弓子	四七
107	138	中山手線	おしゃべり階段	くらもちふさこ	四七
107	114	人浦狂児	ボクの初体験	弓月光	四七
107	96	ムサイの兄さん	D班レポート	坂田靖子	四七
115	92	森本加南	おしゃべり階段	くらもちふさこ	四六
116	145	シッタータ	百億の昼と千億の夜	萩尾望都	四五
117	96	里中智	ドカベン	水島新司	四四
117	150	キラ・クィーン	KILLA	大和和紀	四四
117	133	百鬼丸	どろろ	手塚治虫	四四
117	78	メーテル	銀河鉄道999	松本零士	四四
121	108	江藤茜	いらかの波	河あきら	四三
121	103	ソロモン	ルーとソロモン	三原順	四三
121	94	津村道子	シリーズ道子	高橋亮子	四三
121	114	ノンナ・ペトロワ	アラベスク	山岸凉子	四三
121	128	稗田礼二郎	妖怪ハンター	諸星大二郎	四三
121	78	トチロー	ガンフロンティア他	松本零士	四三

順位	前回	キャラクター名	作品名	作者名	得点
154	221	東三四郎	1・2の三四郎	小林まこと	三二
154	161	森ジロ	ジロがいく	真崎守	三二
154	138	SNOOPY	ピーナッツシリーズ	C・M・シュルツ	三二
154	150	トリトン	海のトリトン	手塚治虫	三二
154	165	新田友	坂道のぼれ!	高橋亮子	三二
159	188	草下亜麗	ミモザ館でつかまえて	大島弓子	三一
159	150	アルフレッド・シマック	スター・シマック	関あきら	三一
159	165	正助	カムイ伝	白土三平	三一
162	209	印南新吾	ヴェッテンベルク・バンカランゲン	木原敏江	三〇
162	221	石垣直角	おれは直角	小山ゆう	三〇
162	138	沖田総司	天まであがれ!	木原敏江	三〇
162	121	我王	火の鳥	手塚治虫	三〇
162		栗原宏美	ファントム無頼	新谷かおる	三〇
162	165	ジャスティン・レイ	イブの息子たち	青池保子	三〇
162	209	無名の端役	イブの息子たち	青池保子	三〇
169	158	クルト	ピグマリオ	和田慎二	二九
169	209	逆向春助	喜劇・新思想大系	山上たつひこ	二九
169	121	笹川華子	早春物語	清原なつの	二九
169	221	広岡監督	くるくるぱぁティー	いしいひさいち	二九
169	198	藤村甲子園	男どアホウ甲子園	水島新司	二九
169	188	ラム	うる星やつら	高橋留美子	二九
175	161	石田国松	ハリスの旋風	ちばてつや	二八
175		裾野桐子	草冠の姫	大島弓子	二八
175		ヤマトタケル	イブの息子たち	青池保子	二八
175		ルパン三世	ルパン三世	モンキーパンチ	二八
175	138	レオ	ジャングル大帝	手塚治虫	二八

順位	前回	キャラクター名	作品名	作者名	得点
127	91	つる姫	つる姫じゃー!	土田よしこ	四二
127	150	モトちゃん	とってもしあわせモトちゃん	萩尾望都	四二
129	145	地獄寺ぼさつ	ぼさつ日記	倉多江美	四一
130	187	オフィーリア	はみだしっ子	三原順	四一
131		夜羽	ヨハネが好き	大島弓子	四〇
132	128	こまわり	がきデカ	山上たつひこ	三九
133	94	テンプラ	ファンタジー・ゾーン	ますむらひろし	三八
134	133	いちご	いちご物語	大島弓子	三七
134	150	クーフー・リン	妖精王	山岸凉子	三七
134	121	颯田逸郎	逸郎クンシリーズ	倉多江美	三七
137	177	ダーナ・ドンブンブン	精霊狩り他	萩尾望都	三六
137	138	ヒョウタンツギ	鉄腕アトム他	手塚治虫	三六
137	114	ミシェル・デュトワ	ゲッシング・ゲーム他	山岸凉子	三六
140	138	石川五右衛門	ルパン三世	モンキー・パンチ	三五
140	103	ジャーラ	ペイル・ココーン	いたほしじゅうほうとアルゴノーツ	三五
140	145	椎名杏子	フレッシュグリーンの季節	篠有紀子	三五
140	133	北城尚子	生徒諸君!	庄司陽子	三五
144	188	サリキオス	ファラオの墓	竹宮恵子	三四
144	177	筒井恭一	楽園のこちら側	吉田秋生	三四
144	177	デューク東郷	ゴルゴ13	さいとうたかを	三四
144	150	ヤスダ	くるくるぱぁティー	いしいひさいち	三四
148	198	エドアルド・ルキン	アラベスク	山岸凉子	三三
148	198	グレアム・ペンギン	はみだしっ子	三原順	三三
148	114	九十九十寸	五十子さんの日	倉多江美	三三
148	133	フランソワーズ・アルヌール	サイボーグ009	石森章太郎	三三
148	121	堀口元気	がんばれ元気	小山ゆう	三三
148	114	山崎銀次郎	硬派銀次郎	本宮ひろ志	三三

順位	前回	キャラクター名	作品名	作者名	得点
180	177	奥上大地	バナナブレッドのプディング	大島弓子	二七
180	188	鬼太郎	ゲゲゲの鬼太郎	水木しげる	二七
180		北島マヤ	ガラスの仮面	美内すずえ	二七
180		ジョカ	ジョカへ	大島弓子	二七
180	165	谷口タカオ	プレイボール	ちばあきお	二七
180		太陽さん	ぼさつ日記	倉多江美	二七
180	138	ミルク	ミルクがねじを回す時	高橋葉介	二七
180	149	青江冬星	はいからさんが通る	大和和紀	二七
180	188	片桐哲矢	エリート狂走曲	弓月光	二七
180	165	美美	美美	吾妻ひでお	二七
180	150	ユーティ・ブラウン	みき&ユーティ	成田美名子	二七
191	209	サファイヤ	リボンの騎士	手塚治虫	二六
191	197	ジェット・リンク(002)	サイボーグ009	石森章太郎	二六
191	145	山門武	暗黒神話	諸星大二郎	二六
191	221	森蘭丸	F式蘭丸	大島弓子	二六
195	128	吾妻ひでお	やけくそ天使他	吾妻ひでお	二五
195	161	オリビエ・レッドフォード	7つの黄金郷	山本鈴美香	二五
195	221	ツトム	青い空を白い雲がかけてった	あすなひろし	二五
198	221	悪魔くん	ぼさつ日記	倉多江美	二四
198	198	エクタクローム	はいどうぞ他	中山星香	二四
198	133	影丸	伊賀の影丸	横山光輝	二四
198	221	颯田桃子	逸郎クンシリーズ	倉多江美	二四
198	177	神恭一郎	スケバン刑事	和田慎二	二四
198	158	館林毬	さようなら女達	大島弓子	二四
198	177	トリさん	男おいどん他	松本零士	二四
198	165	野辺家のえる	赤ッ毛のいとこ	萩尾望都	二四
198	177	村田陽	シリーズ・春と夏と秋と冬	ささやななえ	二四

207位以下のキャラクター

207位(23点) 奥羽浅葱「7月7日に」(大島弓子)、 鉄人28号「鉄人28号」(横山光輝)、 波目勇三「1・2のアッホ!!」(コンタロウ)、 花岡世界「月とスッポン」(柳沢きみお)、 ミー「とらじまのミーめ」(松本零士)

212位(22点) エイダ・ムア「はみだしっ子」(三原順)、 ギルバルス「ファンタジー・ゾーン」(ますむらひろし)、 橋本サン「わたしの宇宙人」(樹村みのり)、 クマさん「クマさんの四季」(和田慎二)、

216位(21点) 生田森太郎「いちご物語」(大島弓子)、 金第一行助「金第一行助の事件簿」(佐藤陽子)、 渋谷陽一「陽一さんのもしもし編集室」(小松よう子)、 努々山博士「ど次元世界物語」(諸星大二郎)、 流全次郎「男組」(池上遼一)、 バカボンのパパ「天才バカボン」(赤塚不二夫)、 星河しのぶ「二人の童話」(岩館真理子)、 本条亜里砂「銀色の髪の亜里砂」(和田慎二)、 柳沢日向「時への航海誌」(内田善美)、 山葉圭「翔んだカップル」(柳沢きみお)、 ジェルジ「無言歌」(木原敏江)、 羅生豪介「裂けた旅券シリーズ」(御厨さと美)、

228位(20点) 井氷鹿「妖精王」(山岸凉子)、 関谷綴「メリー・カップル」(鈴木雅子)、 ドミニク・シトロン「この娘うります!」(萩尾望都)、 火の鳥「火の鳥」(手塚治虫)、 山本轍「ワダチ」(松本零士)、 ユリウス「オルフェウスの窓」(池田理代子)、

234位(19点) アルベル・フランシス「ロンド・カプリチオーソ」(竹宮恵子)、 オサム「草笛の頃」(村野守美)、 牙狂児「キバの紋章」(真崎守)、 次元大介「ルパン三世」(モンキー・パンチ)、 星野鉄郎「銀河鉄道999」(松本零士)、 トリステス「すべて緑になる日まで」(大島弓子)、 ハリ・ハラ「孔子暗黒伝」(諸星大二郎)、 藤堂貴之「エースをねらえ!」(山本鈴美香)、

242位(18点) 稲刈真青「すすめ!パイレーツ」(江口寿史)、 茨木童子「大江山花伝」(木原敏江)、 鬼島森吾「はいからさんが通る」(大和和紀)、 ドリアン・レッド・グローリア伯爵「エロイカより愛をこめて」(青池保子)、 ナイルキア「ファラオの墓」(竹宮恵子)、 花形見鶴「すすめ!パイレーツ」(江口寿史)、 十束終笛「集まる日」他(竹宮恵子)

249位(17点) 亜美「デザイナー」(一条ゆかり)、 青子のお兄様「桜の森の満開の下」(清原なつの)、 御茶屋さえ子「バナナブレッドのプディング」(大島弓子)、 Q太郎「オバケのQ太郎」(藤子不二夫)、 佐倉魔美「エスパー魔美」(藤子不二夫)、 邪夢「たそがれは逢魔の時間」(大島弓子)、 トリさん「ぼさつ日記」(倉多江美)、 トーマ・ヴェルナー「トーマの心臓」(萩尾望都)、 名美「赤い教室」他(石井隆)、 南郷勇一「ストップ!!にいちゃん」(関谷ひさし)、 ネコちゃん「菜の花畑シリーズ」(樹村みのり)、 J・P・ボナール「風と木の詩」(竹宮恵子)、

261位(16点) アスラン・バトゥール「風と木の詩」(竹宮恵子)、 アンドレ・グランディエ「ベルサイユのばら」(池田理代子)、 春日夢殿「ヴェッテンベルク・バンカランゲン」(木原敏江)、 クラウス・ゾンマーシュミット「オルフェウスの窓」(池田理代子)、 東丈「幻魔大戦」(石森章太郎)、 殿馬一人「ドカベン」(水島新司)、 早川光「750ライダー」(石井いさみ)、 火野明「ペイルココーン」(いたはししゅうほう)、 身堂竜馬「ガクエン退屈男」(永井豪)、 竜崎麗香「エースをねらえ!」(山本鈴美香)、

271位(15点) 安中久仁「受難曲」(倉多江美)、 明智球七「アストロ球団」(中島徳博)、 片岡七海「水平線めざせ」(高橋亮子)、 キャンディス・W・アードレー「キャンディ・キャンディ」(いがらしゆみこ)、 クィーン・マブ「妖精王」(山岸凉子)、 ジョン・オービン「ポーの一族」(萩尾望都)、 雨野ダメ助「ダメおやじ」(古谷三敏)、 谷杏子「アラミス'78」(大和和紀)、 デスラー「宇宙戦艦ヤマト」(松本零士)、 野武「巨人たちの伝説」(星野宣之)、 パースペクティヴ・キッド「パースペクティヴ・キッド」(ひさうちみちお)、 アリオーナ・ロスマリネ「風と木の詩」(竹宮恵子)、

283位(14点) アーシュラ「アナスタシア・シリーズ」(花郁悠紀子)、 春日野伊香保「春宵曲」(森川久美)、 土井垣将「ドカベン」(水島新司)、 坂東菊正「ノストラ探偵団」(かわみなみ)、 めりた「黒のもんもん組」(猫十字社)、 諸星あたる「うる星やつら」(高橋留美子)、 ユキ7号「セクサロイド」(松本零士)、 ユーミン「ユーミン」(大島弓子)、 力石徹「あしたのジョー」(ちばてつや)、

292位(13点) 文市王「死んでしまった手首」(岡田史子)、 アマゾン・カーナイス「11人いる!」(萩尾望都)、 生田林太郎「いちご物語」(大島弓子)、 江崎イオナ「桜の森の満開の下」(清原なつの)、 おひきずりさん「はいからさんが通る」(大和和紀)、 金藤日陽「マカロニほうれん荘」(鴨川つばめ) 郷六平「博多っ子純情」(長谷川法世)、 コブラ「コブラ」(寺沢武一)、 沢田まこと「まことちゃん」(楳図かずお)、 柴田文吾「おやこ刑事」(大島やすいち)、 手塚治虫「バンパイヤ」(手塚治虫)、 Dr・キリコ「ブラック・ジャック」(手塚治虫)、 戸川万吉「男一匹ガキ大将」(本宮ひろし)、 新寺姫「聖祈苑にようこそ」(中山星香)、 ピノコ「ブラック・ジャック」(手塚治虫)、 伴俊作「鉄腕アトム」(手塚治虫)、 ブキミ「やけくそ天使」(吾妻ひでお)、 丸井輪太郎「サイクル野郎」(荘司としお)、

310位(12点) 一垣一丸「三月ウサギが集団で」(萩尾望都)、 遠藤蘭「ヒット・エンド・ラン」(あや秀夫)、 岡村響子「天人唐草」(山岸凉子)、 カーキー姫「ジョジョの詩」(倉多江美)、 唐あげ丸「ファンタジーゾーン」(ますむらひろし)、 鏡太郎「センチメンタルシティ」(森川久美)、 国立玉一郎「野球狂の詩」(水島新司)、 楠田幸子「あなたはだあれ」(沖倉利津子)、 真田四郎「宇宙戦艦ヤマト」(松本零士)、 写楽保介「三つ目がとおる」(手塚治虫)、 セイ・ペンダ・トゥパール「スターレッド」(萩尾望都) 田中清「のたり松太郎」(ちばてつや)、 金田チョッキン「チョッキン」(吾妻ひでお) 筒美一「愛のアランフェス」(槇村さとる) 哲学的先輩「ふたりと5人」(吾妻ひでお) 東大通「東大一直線」(小林よしのり)、 ドラえもん「ドラえもん」(藤子不二雄)、 聖マリア「学園マリア」(逆井五郎)、 藤枝蘭丸「はいからさんが通る」(大和和紀)、 星飛雄馬「巨人の星」(川崎のぼる)、 ミドリさん「垣根の魔女」(村野守美)、 ヤニパンツ「ファンタジーゾーン」(ますむらひろし)、 リバティ・バランス「ウェディング・ライセンス」(竹宮恵子)

333位(11点) アンケスエン姫「ファラオの墓」(竹宮恵子)、 赤目「カムイ伝」(白土三平)、 空木紙衣「本町通り」(倉多江美)、 火山灰裾野「ぼさつ日記」(倉多江美)、 上条あゆむ「すくらんぶるエッグ」(柳沢きみお)、 かおる「かおるでーす」(岡本ますみ)、 古代進「宇宙戦艦ヤマト」(松本零士) サスケ「サスケ」(白土三平)、 サム「墓掘りサム」(高橋葉介)、 ジョン・シルバー「宝島」(アニメ)、 杉浦由布子「星よきらめけ」(大谷博子)、 蘇我要「メタモルフォシス伝」(山岸凉子)、 垂目太郎「ルーズ!ルーズ!!」(コンタロウ)、 新田忍「メタモルフォシス伝」(山岸凉子)、 姫川くん「姫くずし」(竹宮恵子)、 フーコ「ファンタジーゾーン」(ますむらひろし)、 マリーン「マリーン」(萩尾望都)、 らんぽう「らんぽう」(内崎まさとし)、 猟奇王「猟奇王走る!」(川崎ゆきお)、

352位(10点) アンジェリク「アンジェリク」(木原敏江)、 嵐次郎吉「試験あらし」(聖日出夫)、 アーサー・ロレンス「7つの黄金郷」(山本鈴美香)、 沖田十三「宇宙戦艦ヤマト」(松本零士)、 尾崎小夜「小夜の縫うゆかた」(萩尾望都)、 カリン・ルービツ「アラベスク」(山岸凉子)、 貴船「草冠の姫」(大島弓子)、 ギデオン・ピカデリー「ギデオンシリーズ」(大和和紀)、 小石川杏「ディスコベービー」(槇村さとる)、 シモン・フェルディエール「ジョカへ」(大島弓子) ジャンヌ・ダルク「イブの息子たち」(青池保子)、 ジル「ジルベスターの星から」(竹宮恵子)、 白木葉子「あしたのジョー」(ちばてつや)、 鈴木ブチ猫「シルクムーン・プチロード」(大島弓子)、 スナフキン「ムーミン」(アニメ)、 杉村秋美「翔んだカップル」(柳沢きみお)、 須和野二三子「綿の国星」(大島弓子)、 象山小町「象山先生シリーズ」(高丘千栄子)、 千葉鷹志「エースをねらえ!」(山本鈴美香)、 どろろ「どろろ」(手塚治虫)、 楡崎玉三郎「玉三郎恋の狂騒曲」(岸裕子)、 つづれ屋21エモン「21エモン」(藤子不二雄)、 ニーノ・アレクシス・ソルティ「変奏曲」(竹宮恵子)、 葉月よきこ「F式蘭丸」(大島弓子)、 ボボ「ほえろボボ」(村野守美) ホモホモ7「ホモホモ7シリーズ」(みなもと太郎)、 ミーメ「宇宙海賊キャプテンハーロック」(松本零士) メチル・アルコール「エイトビート」(吾妻ひでお)、 夜来狂一「四畳半の物語」(永島慎二)、 ヤマザキさん「みき&ユーティ」(成田美名子)、 ラナ「故郷の歌は聞こえない」(河あきら)、 ルーファス「ちょっと不思議な下宿人」(吉田秋生)

総評

キャラクター人気投票の最終回である。終始他を圧倒してトップを走っていたオスカーが、エドガーの追撃をおさえ、千五百点台という高得点で最後を飾った。

上位を見渡して、まず目につくのは、やはり萩尾望都の強さであろう。ベスト5中4人を占めているのを始めとして、50位までに10人を送りこんでいる。萩尾望都特集号があったせいでもあるだろうが、とにかく群を抜いた人気をもっている。

その他では、はみだしっ子の健闘が光る。4人全員がベスト100入りを果たし、人気も急上昇している。

少年マンガでは、ヒデヨシが後退したものの、依然トップを維持している。14位には根強いファンの多い矢吹丈、以下B・J、ハーロックと比較的新しいキャラクターが続く。サイボーグ戦士たちも、009、004が元気に顔見せしている。

さて、昨年の「だっくす」12月号の漫画人気投票ベスト10と比べてみよう。

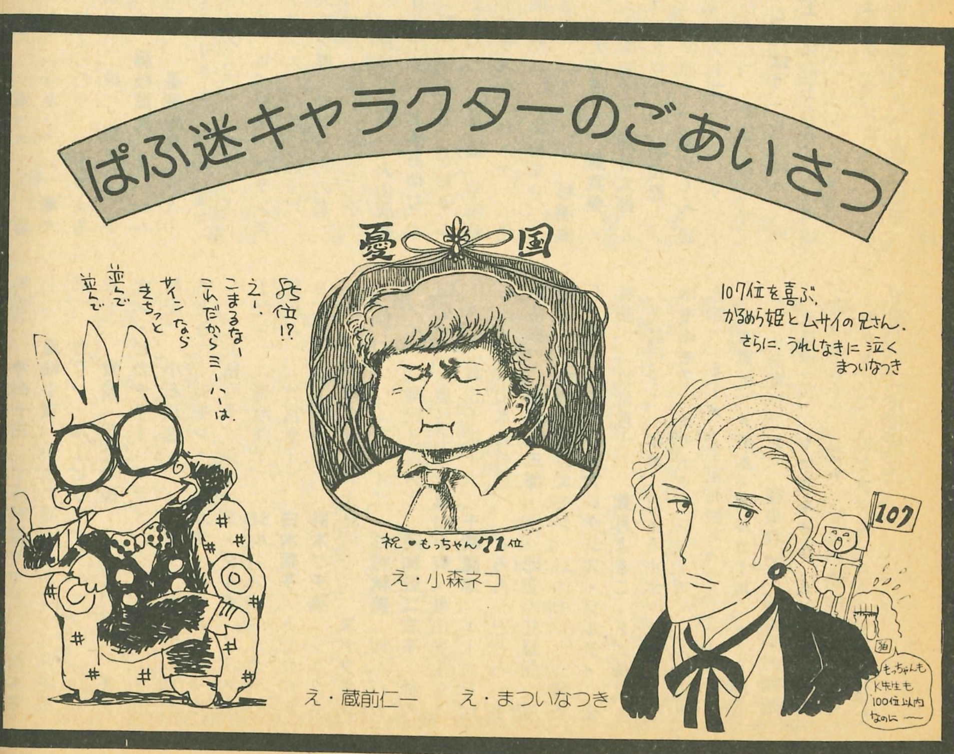
トップの「トーマの心臓」以下、上位陣はキャラクターでも上の方にランクされているが、その中で「火の鳥」のみ姿が見えない。これは、主役が移り変わる大河マンガのためであろうか。

逆に作品のランクが低くても上位に進出したものに、エーベルバッハ少佐がいる(作品では68位)。青池保子は他にも、バージル、ティリアンといったキャラクターが上位に食いこんでおり、好調である。また、木原敏江も、作品では今ひとつであるにもかかわらず(「アンジェリク」が64位)フィリップが13位と健闘している。これは、多くの作品に繰り返し登場させる。といった趣向でキャラクターの人気を高めた例といえるだろう。

このようにキャラクターの人気が作品から独立して存在する場合もあり、作品が忘れられてもキャラクターは生きつづけ得る。次々と造りだされる現在のキャラクターの中で、どれだけが生き残っていくのだろうか。

マンガ作品ベスト10(だっくす'78年12月号)

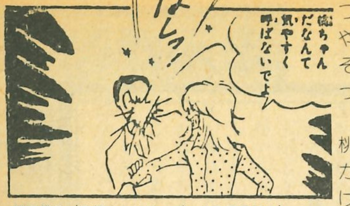
順位	作品名	作家名	得点
1	トーマの心臓	萩尾 望都	566
2	綿の国星	大島 弓子	379
3	風と木の詩	竹宮 恵子	361
4	ポーの一族	萩尾 望都	357
5	火の鳥	手塚 治虫	343
6	はみだしっ子	三原 順	245
7	キャプテン・ハーロック	松本 零士	213
8	あしたのジョー	ちばてつや	195
9	11人いる!	萩尾 望都	165
10	銀河鉄道999	松本 零士	153



え・小森ネコ
え・蔵前仁一　え・まついなつき

三浦衣良　御茶屋峠
(バナナブレッドのプディング　月刊セブンティーン)

漫画名場面名セリフ

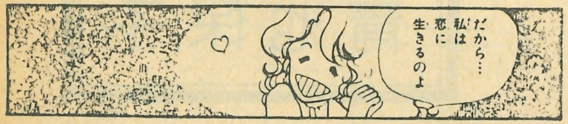


颯田桃子(逸郎くんシリーズ　JOTOMO)

キャラクターを印象づけるのは、その表情やしぐさであったり、そのセリフ、独白であったりします。

逸郎くんの姉さんの桃子さん、とっても気が強くて口が悪いんだけどすごくやさしいし、つる姫は嫌われることもあるけど、それでもみんなが好きで家老や稲さんにとってもやさしかったりする。笹川華子さんは美貌の才女なのにいつもふられ役、そんな彼女のこのセリフ、感動的ですらあります。B・Jの肉親への愛の深さ、そしてツトムのこの気持ち忘れたくないと思います。御茶屋峠さんの衣良ちゃんをひきうけてしまうやさしさと思いやり。日向温のふところにすべてつつみこんでくれる愛の広さ。すてきな言葉のあるシーンは絵もやはりすてきで、そのキャラクターのいちばんいい表情をしているのです。まぶたの裏に刻みつけておきたい名場面、心の片隅にしまっておきたい名セリフ、ほんとうにたくさんあります。

(つる姫じゃーっ　週刊マーガレット)



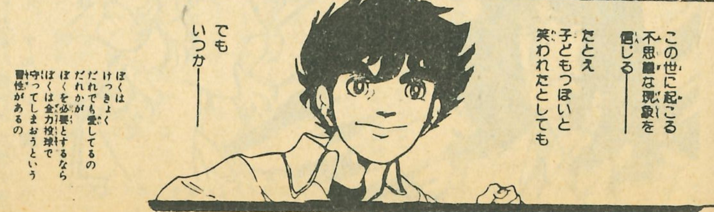
笹川華子(早春物語　りぼん)

キャラクターのベスト3を決めていく時、どんな風に思い起こしてくれたのでしょうか、あなたの瞳の中のキャラクターたちを。ベスト3だから、きらびやかなスターを選んだ人、ほんとうに昔からのおなじみさんを選んだ人、脇役でめだたないけどピリッと決まったキャラクターを選んだ人、いろんな人がいたでしょう。一つのテーマ（動物キャラ、作家で統一）で選んだ人、3ヶ月で合計9人のキャラクターに票をいれた人もいたし、3回も同じキャラクターにした人もいました。それぞれの趣向で選ばれたキャラクターたちは、各々に個性的で華やかなので、花に埋もれて死にそうな気分を味わいました。

ベスト3というかなり小さなわくに苦しんだという便りをたくさんいただきました。上位にかなり票が集中したという感もあります。でもほんとに多彩なキャラクターが集まりました。点数で単純に数えてしまうことに抵抗がないわけではないのだけれど、点数という客観的な手段をもちたかったのです、どうぞお許しを。そして、1点、1点に投票してくれた人のキャラクターへの愛着を認めてくれたら、感謝します。

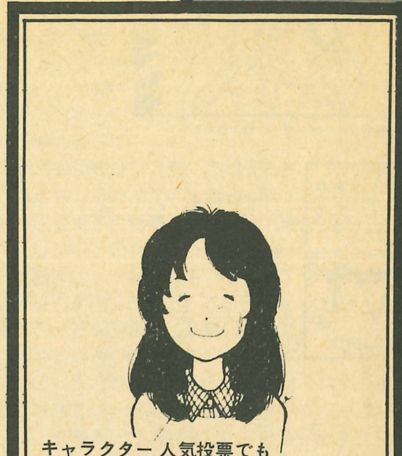
日向温(いちご物語　少女コミック)

ブラック・ジャック
(週刊少年チャンピオン)



ツトム(青い空を白い雲がかけてった　少年チャンピオン)

まんが家WHO'S WHO ⑤



キャラクター人気投票でも大活躍の……

青池保子

プロフィールと作品

本名、青池保子。昭和二十三年七月二十四日、山口県下関市に生まれる。土木建設業を営む家庭で、兄一人姉五人の七人兄弟の末娘として育った。たくさんの兄弟にもまれて育った幼児体験は、今でも群衆シーンの多用に現われていると自ら語る。また、音楽好きの一家だったので、幅広く深い音楽への関心が育ち、それは作品中によく反影されている。とくにロック好きは有名で、NHK—FMの「渋谷陽一のロック講座」に出演したこと（昭和五十二年十二月二十六日）も、記憶に新しい。

十五歳の時、水野英子に送った原稿が当時のりぼん編集長の目にとまり、昭和三十八年のりぼん増刊号で「さよならナネット」でデビューする。翌年第一回講談社新人まんが賞に応募し、最終審査に残ったことをきっかけに、週刊少女フレンドで「ローラのほほえみ」で本格デビュー。

その後昭和五十年まで、週刊・別冊少女フレンドを中心に、百本近い連載・読切まんがを発表した。

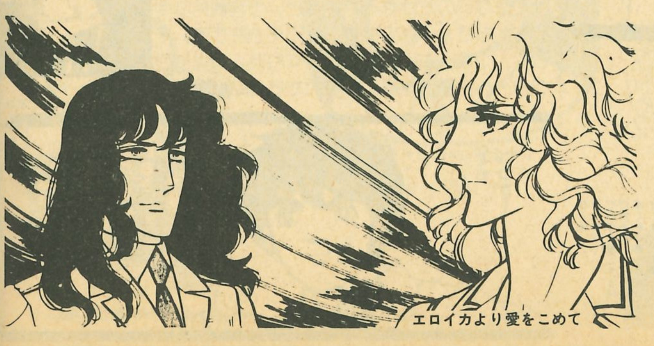
その間の主な作品は「パティばんざい」「はだしのロリータ」「グリーン・ヒル物語」といった、欧米を舞台にした作品と、「大すき！テツ先生」「おーい！青春」といった学園ものである。

ひときわ異色なのは昭和四十五年から週刊少女フレンドに連載された「青春海流」。泉大八の「おはよう日本海」のまんが化で、同級生との下らぬ賭けに本気になり、単身家を出て、間宮海峡に渡ってくる中学生の少女の話である。恋のための遍歴でも悲しい境遇の旅でもない、冒険のための冒険が、そこには描かれていた。当時の少女フレンドではスポーツ根性ものがセックス描写をとりいれたものと交替するきざしを見せていた。そんな中で既成の作家たちが今までになかったものを突然ものした不思議な時期でもあった。

現在人気を得ている「イブの息子たち」を発表したプリンセス誌との縁は、昭和四十九年の連載「ミリアム・ブルーの湖」から始まる。翌年昭和五十年に「イブの息子たち」を連載、三人の英国青年がまきこまれる、異次元世界の狂乱と倒錯趣味のおかしさで、絶大な人気をよんだ。今や青池氏の代表作となり、現在パート6を月刊プリンセスに連載中である。

姉妹篇ともいうべき、男色家の泥棒貴族と硬派のNATOの軍人のコメディー「エロイカより愛をこめて」のシリーズも大好評。

そのかたわら、昭和五十一年に別冊セブンティーンに連載した「七つの海七つの空」は、エリザベス一世時代の英国海軍とスペイン艦隊の戦いを描いた、硬派のシリアスなドラマ。少女まんがでは前人未踏だったと言ってよい「海戦もの」である。この時戦死した敵役であるティリアン・パーシモン大佐が主役の英国青年や相手役の少女を食ってしまったため、続けて大佐の過去を描く「エル・アルコン—鷹—」「テ



エロイカより愛をこめて

ンペスト」の発表となる。

最近はプリンセスを中心にまんがを発表する他、JUNEにイラストや座談会で登場している。

ララ8月号には長編読み切り「Z」を発表、これも硬派のドラマだ。

趣味性の強い「少女まんが」家

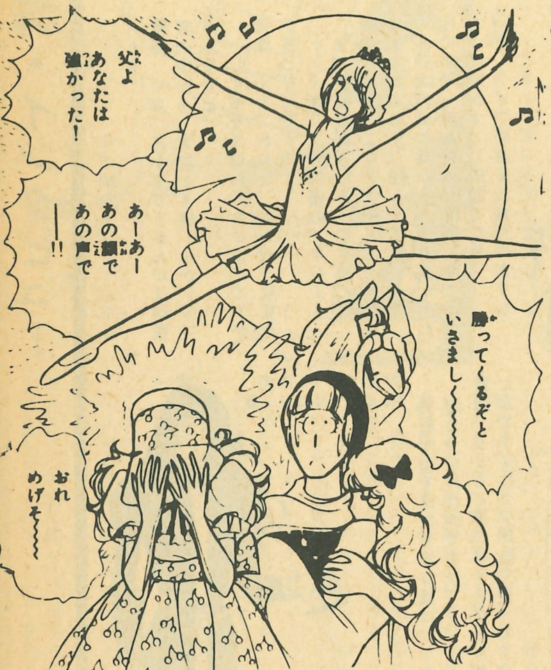
十余年間の少女まんが家生活の中で、その時代の要求にあわせて、怪奇、SF、ラブコメ、学園、深刻悲劇、ホームドラマ、スポ根に外国映画風まで、凡そ書かなかったジャンルのものはないに等しい作家である。そうやって器用貧乏にならず、十二年目に「イブの息子たち」や一連の海賊もので第二の花を咲かせるに到れたのはなぜか。

恐らくこの人の、趣味性の強さのためではないだろうか。昔から、黒目がちの少女を描いても、相手役の少年がなぜかがっちりした体格で面長で、成熟した大人を思わせた。

少年まんがばかりを読んでいたんだという。今だから言えることなのだろうが、あらゆる所で、可愛い女の子だの花や装飾は苦手だったと語っておられる。読む方には全然そんな風にみえなかったのだが。しかし青池の描く男性の方は、十余年の間、大股に歩くことを忘れず、いかなるやさ男でも大きな手と頑丈そうな骨格を失うことはなかった。

どうしてもこうなるのだとばかりに貫かれた作者の「趣味」が、やがて「イブの息子たち」の魅力ある登場人物をうみだす。何しろ厳しい排他的な美意識なくして男色趣味、倒錯趣味というのは成り立たないのだ。

そしてその趣味性の強さのために、男色狂乱喜劇を書こうと、海戦を書こうと、そこら「少女まんが」が失われることがない。何しろ厳しい排他的な美意識なくして少女趣味は成り立たないのだ……。



イブの息子たち

代表作紹介

○さよならナネット　昭38、りぼん増刊。孤児院を訪れたフランスの少女ナネットに淡い恋心を抱く剛と、二人の別れを描く。秋田書店プリンセスゴールド'79年初夏の増刊所載。

○ローラのほほえみ　昭39、週刊少女フレンド。貧しい画家が描いた薄命の少女ローラの肖像が、画家のために微笑する。主婦の友社ロマンコミック自選全集青池保子「オールマンものがたり」所載。

○はだしのロリータ　昭43、週刊少女フレンド。さざ師に連れられ富豪の孫だと名乗ったロリータが本物の孫だったと判る。若木書房刊、絶版。

○おーい青春！　昭44、週刊少女フレンド。合併した男子校と女子校のけんかと仲直りを描くコメディ。若木書房刊、絶版。

○青春海流　昭45、週刊少女フレンド。単身間宮海峡に渡る少女の冒険。

○グリーン・ヒル物語　昭46、週刊少女フレンド。アメリカ東部の、新聞記者の一家と医師の一家を中心に日常生活を描く。講談社コミックス刊。絶版。

○ハムレットを殺せ！　昭49、増刊少女フレンド。ミステリー仕立ての代表作の一つ。若木書房刊。

○イブの息子たち　昭50〜現在、月刊プリンセス。前述したとおり。単行本はパート5まで、秋田書店刊。

○七つの海　七つの空　昭51、別冊セブンティーン。集英社セブンティーンコミックス刊。

○エロイカより愛をこめて　昭51〜現在、ビバプリンセス。単行本は第一巻のみ秋田書店刊。以下続刊のみこみ。

○エル・アルコン—鷹—　昭52、「テンペスト」昭53、別冊セブンティーン。ともに「エル・アルコン—鷹—」として秋田書店から全二巻出ている。

テレフォン・インタビュー

青池先生の十余年来のファンのインタビュー子は、「イブの息子たち」のジャスティンのようにふるえ、口ごもってしまっていた。

しかし青池先生は「イブ」のバージルとヒースのように、やさしく、不得要領なる質問をうけとめ、気持ちよく答えて下さった。うっうっ、快感と恍惚の十分間（の約束だったが十五分間もしゃべってしまった）だったのだ。

——まんが家を志されたのはいつ頃からですか。

青池　自覚したのは中学の一年ぐらいです。

——では、その頃からストーリーまんがを？

青池　いえ、ストーリーまんがは幼稚園の頃から「お絵かき帳」にかいていたんですよ。

——イギリスがお好きなようですが。

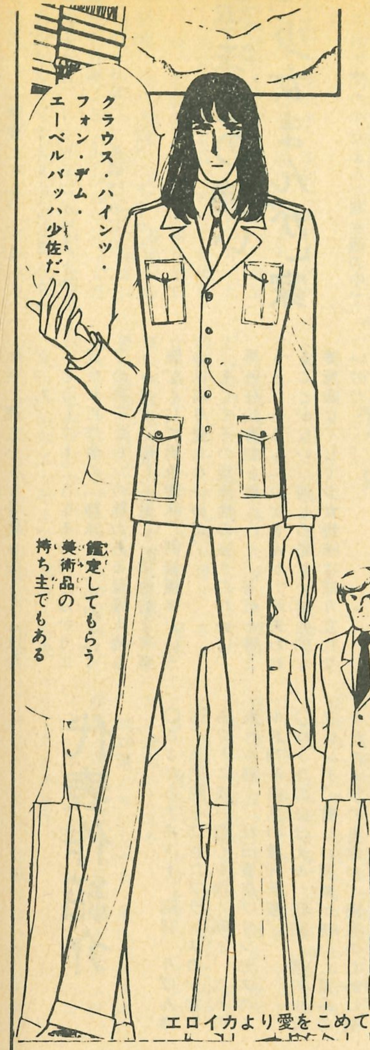
青池　ええ、わりと、何となく肌に合う感じなんです。

——イギリスの俳優の、ロバート・ショウがお好きなそうですが。

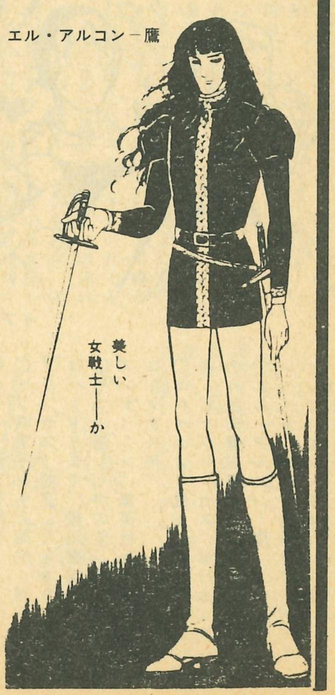
青池　ええ。こないだ死んじゃったんですよね、もう、惜しくて惜しくて。バルジ大作戦の時がとっても良かったんです。一番あの人が綺麗な時で（笑）。あごの線がすごく綺麗でした。

——「イブの息子たち」のような、男色が出て来たりする話はいつごろ考えつかれたのですか。

青池　もともと男のほうをかきたかったたんですよね。少年誌で育っちゃったもので。どうして少女雑誌は男と女の話しかないのかしらと（笑）不思議に思う方でしたのでごくごく自然に出て来ました。



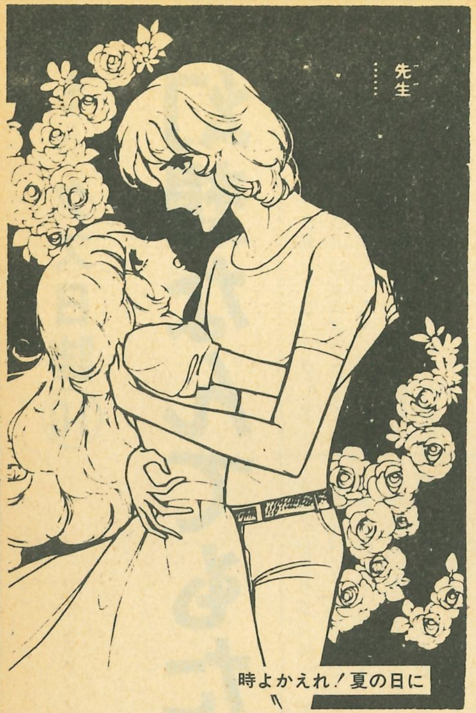
エロイカより愛をこめて



エル・アルコン―鷹

——一番お好きなキャラクターは……。

青池　今のところ、他人事ではないという気がしてるのはエーベルバッハ（『エロイカより愛をこめて』）ですね。あとはやっぱりティリアン・パーシモン（『エル・アルコン』他）——ヒースも好きなんですよね。最近ジャスティンも可愛くて、バージルも面白い男だなと思うし、みんなそれぞれ好きですね。ティリアンが死んだ時（『七つの海　七つの空』）はとっても後悔しました。早まったなあというか。一週間ぐらい何も手につかなかったです。まんが家になって初めて大後悔しました。



時よかえれ！夏の日に

——でも、それでティリアンの過去のお話が始まったわけで……。

青池　ええ、私は最初から悪役のお話がかきたかったんですけど、少女雑誌ですから勧善懲悪風な暗黙のルールがありますよね。で、仇役でしか出せなかったんですけど。『エル・アルコン』や『テンペスト』では悪とか善とかでなくて男の生き方としてかいてみました。あれも他人事じゃない感じでかいてましたけど（笑）。だからエーベルバッハみたいな子孫が突然出て来るんです。今エーベルバッハが一つの人格を持っちゃって一人で頑張ってるんです。あの一族は強いですよ（笑）

イブの息子たち

——もう、常に主役を食うというか。

青池　そう、下克上の典型というか。

——『イブ』のパート5に、無名の端役として出たり「JUNE」のイラストになったりチェーザレ・ボルジアさんを本格的におかきになる予定はありませんか。

青池　書きたいんですけど私の手には余るような気がしまして、ちょっと敬遠してるんです。チェーザレ・ボルジアってもろ肉食動物って感じで、とっても日本人がついていけないような人物じゃないかと思うんですよね。

——最近、コンサートには行かれましたか

青池　あ、ブルー・オイスター・カルト、すごくよかったです。

——『トラファルガー（昭53、月刊プリンセス連載）』の単行本は出ますか。

青池　まだ書きたい部分がたくさんあるんです、お話に関して。何十ページかかき足したいので——私、最近かき足すのが大好きで（笑）そういう形で、出るのはまだ先になると思います。

——昔の作品が再版されて単行本で出るという話はありませんか。

青池　ええ、私、昔のコメディは好きなんですけどね、シリアスなのは余り——。ですから、余り出したくないんです。

——お忙しいところ、どうもありがとうございました。

レポーター・志村葉子

参考資料
集英社「月刊セブンティーン（巻号不明）」『まんが家総登場　青池保子のページ　美しいものは美しいのだ！』
秋田書店「プリンセスゴールド初夏の増刊」昭和五十四年／「プリンセスロマンデラックス　青池保子の世界　イラスト集」昭和五十三年／「イブの息子たち」／「エロイカより愛をこめて」／「エル・アルコン―鷹」以上三冊プリンセスコミックス
主婦の友社「ロマンコミック自選全集、オールマンものがたり」昭和五十三年

コミックス日誌⑩

幻想なんてもたないでよ！

小野耕世

■恋人は外国マンガのなかに

お茶の水のホテルにとじこもって、コミックスの翻訳を続けているが、ちょうどいま、スパイダーマンの恋人が死ぬエピソードを訳したところだ。

このグエンドリン・スティシイという、淡いブロンド娘は、じっさいのところ、もうずいぶん長いあいだ、私のこころをとらえてきていたのですよ。まあ、だれでも、マンガのなかにはそうあれかしと願う、あこがれの女性のイメージを描くもので、それは、どの国のマンガでも同じだろう。

ところが、考えてみると、私の場合は、ファンタジイのなかの恋人というと、日本のマンガのなかに出てくるヒロインたちよりも、むしろ外国のマンガのなかの女性であることのほうが多くなってしまっている。

まあ、手塚治虫の作品のなかに出てくる女性たちを例外とすればのはなしだが、それにしたところで、手塚マンガの女たちというのは、画風のスタイルからいっても、外国マンガの女のようだといえないこともない。（ただ困ったことに、私の場合は、マンガのなかの女性ロボットが好きになってしまうのですが……。詳しくは、六月末発売の雑誌「SF宝石」創刊号に書いたSF短編「小説・手塚治虫漫画全集」をお読みください。これはいわば、京都から出たすてきな雑誌「レヴュー」創刊号に私が書いたこのマンガ家についてのエッセイ、まあ作家論である「葉緑素を持った女陰」の主旨を、小説化したものだと思ってくださってさしつかえないですけれどね……）。

しかし、こんなふうに、子どものときから外国マンガのなかの女たちに接し続けていると、これがおそろしいことに、私の女性観というかなにをセクシィと感じるかという、女性に対する美意識に、いつのまにか深く影響を及ぼしているのですよ。

だから、日本では、ほとんど人気のない（少くとも、ファンクラブができたり、映画雑誌の女優人気投票に顔などださない）ラクエル・ウェルチが私はひどく気にいっているのは、きっと、彼女自身というより、彼女の肉体に代表されるあのスタイルの式美女へのわたしの嗜好が（それは、印刷されたコミックスやイラストレイションによって育てられたものなのだが）のせいで、マンガのなかの夢だとばかり思っていたあの体型が、あまりに明白に、ラクエル・ウェルチとして、生きて動いていることへの感動なのでしょうな（などと、自分で分析して嬉んでいる。どうしようもないですね）。

■エロティックなスーパーガールたち

先日も、ある新聞から取材された。

アメリカのスーパーヒーロー・コミックスって、日本の劇画みたいに、描写が露骨じゃないですね、というから、もちろんですよ、まったくきれいなものです。いまはやりのレンズで女のはだかをのぞいて描くようなスタイルで、女のからだが魚河岸にあげられたまぐろみたいにごろごろして、それも、マンガのせまいフレームのなかで、性器をひらいてみせたいのだけれどそうはできないから、そこだけ空白になっている——しかし、フレームは小さいので、それがかえって、いわば、四畳半のなかでの汗みどろのセックスごっこ、それも、遊びというほど明かるくはなくて、少し汚れているほうがわいせつらしくていいわ——というような、汚ない映画館のなかでポルノ（まがいの）映画を見るのがいいのだよ——というような、いじましい——といってもよくなくて、というより、そういうとすぐ傷つき、いや、ぼく傷ついているのだとかえって威丈高になるような、結局は、男のからだも女のからだも、まあ、二メートルの高さはなく、重さも六〇キロくらいのもので、そのふたつが、重なりあっているだけのことに、目を血走らせている思いいれごっこ——というようなものは、スーパーガールたちの世界にはないのですよ。

まあ、説明するとこんなぐあいだけれども、いや、いたってアメリカのマンガは、きれいなものですと形としては答え、ところがね、私は、日本の、すぐはだかを出すマンガより、こっち

のほうがずっとセクシイで、エロティックだと、いつも思っているのですよ——と続ける。

そうでなかったら、だれがいったい、スーパーマンたちのマンガを読みますかね。あれは、アメリカの子どもたち、小学生低学年どもにとっても、私にとってと同様、四色刷りの両親保証ずみのポルノグラフィにきまっているではありませんかね。子どもが小さいときに読むものって、みんなそうですよ——なんてしたり顔でいってみる。

それは、ロイス・レインの、きっとした表情だけでも、ワンダーウーマンが、ちょっと身をかがめているだけでも、もうたまらなくエロティックだと思いませんか。

そこには、こちら好みの密室幻想はなくて、広い空をとんでいる姿があって、そうでなくてもアクションは、だいたいにおいて野外ということになる。だから、スーパーヒーロー、ヒロインたちの行動というのは、男と女のフィールド・ワークでありまして、どうも、こういうマンガばかり読んでいるものだから、私自身も、広い場所での性行為のほうが、なんだか身をかがめていなくてはいけないようなせまい場所より、ずっと好きになっているのかもしれない。

だいたい私は、広い場所が好きで、これを書いているホテルの部屋にしたところで、泊っているのはひとりだが、トゥイン・ルームなのだ。たまに、シングル・ルームにいると、ひどくふさいだ気分になってしまう。（とりわけ、日本のホテルのシングル・ルームは狭いからなあ）。

広い場所を散らかして、仕事をするのが性にあっていて、だから喫茶店でも、広くあかるい場所に限る。まわりにひとがいても、さわがしくてもかまわない。広がりが必要なのだ。（しかし、世のなかには、広所恐怖症というのがあって、そういうひとは、喫茶店にいっても、必ずはじのほうの席にすわる。私とは反対だ。私は、広くないと落着かない。

■ひたすらセクシィに

それに、このあいだのスーパーマン・ファミリイのマンガには、ロイス・レインが、女性の美容サウナみたいなスパー（spa. これが、アメリカで流行している）を舞台にした事件を取材にいって、はだかになってバスをつかうシーンがあった。これもセクシイだけれども、しかし、ここ十年たらずのうちに、アメリカのコミック・ブックの世界は、なんと、ニンフォマニア化の傾向を、急激にたどってきていることだろうか。

スパイダーウーマンにしても、ウルトラ・ガールにしても、ヴァイオレット・フィズにしても、バナナ・レディにしても（そんな女、いたかしら？）、コスチュームなんて申しわけで、からだの線は、はだかで歩いているのとまったく変りがない。ちょいちょいと、コスチュームのすそと腰のベルトでもかき加え、着色すれば、服を着ているということになってしまい、それで、健全優等生マンガということで通用してしまうのだが、なんのことはない、実質は、彼女たちははだかで空をとんだり、街なかを走ったりしているのと、同じなのだ。

むかしのコミック・ブックは、これほどではなかった。

しかし、いまや、コミック・ブック世界は、どうも、ストリップ劇場の（それも、日本のそれとはちがう）楽屋うらみたいな様相を呈してきていて、ただ彼女たちの舞台は、地球から、宇宙へとまたがっている。

ここで、絶対のおすすめ品をあげておくと、いちばんセクシィなのは——つまり、ポルノグラフィ的想像力を、私にとっていちばんそそるのは、「スーパーヒーロー・リージョン」というシリーズなのですね。ここでは、三〇人くらいの若い男女が、宇宙軍団としてとびまわっているのですから（いずれ私は、これもパロディ化しますけれども）、美女の見本市みたいなものだと思えばいい。

そういえば、ワンダーウーマンのセクシー度も、このところエスカレートするいっぽうで、そのなかに、彼女の生まれた地であるパラダイス島の伝説をコミック化したものがあった。古代の海を行く女だけの（アマゾン女族と）船のなかに、水からあがった女が片足を船べりにかけたうしろ姿（もちろん、神話のなかの女らしく、ひらひらのついたうすいコスチュームをひっかけているが）を描くひとコマがあって、ニューヨークの、ニール・アダムズの仕事場でこのページをめくりながら、「えへえ、こんなセクシーに描いてあるのは初めてだな。すごいぞ」といったのは、そのアダムズ本人だった……。

だから私は、なんだかわからない理屈から、コミック・ブックはどうもまだ——という人たちの気持がしれない。これほどのセックスの宝庫があるのに、それに気づかないとはかわいそうに……。

というのは私ひとりなのでありましょう。つまり私はというと、コミック・ブックのなかにありもしないセックスを夢想しつづけてはやくとせ、スーパーヒロインとあれば、すべて私のベッドのなかにはいってくる相手としか見ることのできない、海外マンガ中毒症の悲劇的な犠牲者でありますから、もう、からだのすみずみまで、その毒におかされている。あ、そここ、あ、いい、もっと、もっと…。しようがないなあ、ほんとに。ほら、これが今月のマンガだよ。このところ、仕入れがきつくてね。そんなことといわないでよ。ああ、はやく……なんてひとりでさわいで、針あと、じゃなかったマンガ跡がいっぱいな、見るも無残な、やせこけた腕を伸ばす……。は、はやく注射して……。

■小学五年生を英語で口説く話

しかし、こうも、外国マンガに骨がらみ汚染されていると、どうも、なまみの女性に対峙したときにも、症状があらわれてしまう。日本語だと、口説き文句がおどおどして、ひとつも出てこないのに、英語だと、平気ですらすらと出てしまう。（いや、これは、皮肉でも、いや味でいうのでもなんでもなく、そうなのですよ。たとえば、「スパイダーマン」のなかで、ピーター・パーカーは、ガール・フレンドにあうとEi, gorgeous!（やあ、すてきだね——というよりもっと軽く自然なあいさつ）と声をかけるけど、これも、英語だと楽に口から出る。だから、英語ではなしかけてくれる女性がいれば、こちらも楽だけれど、日本語だと、私は、失語症になって、相手をいらいらさせてしまう。そして、そんな自分にいらいらする……。

これは、かなり重症の幻想性セックス病ともいえて、しかし、そもそもは、マンガというやつ、子どものほうが、ぴったりすなおにわかって、読んでいるはずのもので、そうなると、私がいちばんはなしていて楽で、相手もそう感じるのか、実にのびのびと会話がはずむのは、小学五年生の女の子なのだ。むかし、YMCAで小学生に英語を教えていたとき、つくづくそう感じた。といって、小学五年生を口説くわけにもいかない……。

——というようなはなしをしたら、ひどくセクシーな、しかし私には身にあまる女性が、そうね、あなたは、小学五年生のままおとなになっちゃったみたいなひとですものね、わがままな点もそうだし、書いたの読んで、ほんとにそ

死んでしまったスパイダーマンの恋人グエンドリン・スティシイ

©MARVEL COMICS GROUP. TOEI LIC.

う思ったわ。
そういって、しかし彼女は「銀河連邦のクリスマス」を、私がなにもいわないのに、いつのまにか読んでいて、おもしろいからと、ほかの女性にすすめているというので、そんなことでたあいなくこちらはいい気持になるのですが、考えてみたら、ずいぶんなめられたはなしなのですね。でも、あの本のファンが、小学五年の男の子と、二八歳の女性だというのは、われながらおかしい。
でもね、そのあなたの幻想というのが、困りものなのよ。女って、幻想をもたれちゃうと、つらいものよ。とても負担になるのよね――そのことばは、たしかに私のいちばん痛いところを突いている……。

■いま読むべき三冊の本

このコミックス日誌は、なかば読書日誌みたいな面もあるけれど、いま読むべき本は、次の三冊であります。
外国の小説では、パシフィカ発行の「背く女」(上・下二冊)。すべての女性の必読書でありましょう。(いま手もとに本がなく、著者名を忘れた)。同じような狙いをもちながら、これと比べれば、エリカ・ジョングの「飛ぶのが怖い」は、読みすてのエンタテイメントであったことがわかる(それは、それですてきだったが)。私は、上巻のおわり、主人公の女性が夫から離婚ばなしをにおわされる場面まできて、次が気になり、下巻発売を待ちかねて本屋に走り(途中サンダルの皮が切れた)、下巻を、夜眠るのを惜しんでいっきに読み、おかげでゴールデン・ウィークの仕事のスケジュールがめちゃくちゃに狂ってしまった。平凡な家庭の女性のためにはもちろん、仕事をして自分は自立していると思っている女性も、思いあがりにおちいらないために――この足が地についた、アメリカの女性たちの、女性トイレからはじまる物語を読むべし。「飛ぶのが怖い」よりずっと重要な本だ。
日本の小説では(著者名を忘れたが)、CBSソニー出版より出た短編集(というべきか?)「陶幻境綺談」がいい、というよりすごい。私が関係者なら、ためらうことなくこの本に、直木賞、少くとも泉鏡花賞を与えるでありましょう。おそろしい才能がかくれていたものだ……。
て、最後に、人間選書の新刊、岡部俊著「裁判と言論」をあげる。これは、俊英の弁護士による、じつにみずみずしく、美しさすらあるエッセイ集。タイトルはそっけないが一読、あなたは……。わかりやすく、情熱がほとばしり、感性がきらめくこの本については、もっと長く書くべきなのですけれど。
「スパイダーマン」第一二一号のなかで死んだグエンドリン・スティシイ(ぼくの恋人でもあった)の冥福を祈りつつ……。
(一九七九年五月三〇日)

ぱふ。まんが倶楽部

カット　永島慎二

今月の佳作

▼ストーリー部門
「この際HOT☆コーク」 高寺彰彦
「肉体二重奏」 三上はやと
「夢のとびらから」 松本栄二
「THE FAIRY TALE OF UNIVERSE」 加山雅彦
「妖怪クリニック人面瘡」 高田健二
「そぞろ歩き」 若狭茂樹
「風船はおスキ?」 飛松徹夫
▼ギャグ部門
「銀河中央食品店」 米谷彰能
「ウルトラセブンイレブン」
▼コマ部門
「GRAPHIC CAR・TOON」 伊原よしゆき
黒田　歩

はじめに

今月はいろんな雑用に追われて、まんが原稿をキチンとみてないので、あまりたいしたことは言えないが、応募原稿がふえた割には「コレハ!!」という作品にめぐりあわなかった。それは、ここしばらくたてつづけに発表された各出版社の新人賞にも言えるんじゃないか（失礼）と思ってしまう。たしかに皆、水準以上の出来で、いちおう読ませてくれるのだけれど、こちら側の心ときめくSomething までもう一歩という感じなのだ。

「ぱふ」の応募原稿に限っていえば、皆、いい部分を持っているのだけれど、想いがストレートにこちら側につたわってこない弱点を各々持っていて、あと一歩だなと思ってしまう。もっともそれが出来ればそくプロなんだけれど。

えーとそれから、今号でぱふの新人賞の発表をしたけれど、お金・図書券、一ヶ月位遅れます。ごめんなさい。（K）

原稿募集のお知らせ

応募要項を必ず守って下さい！

●**ストーリー・ギャグ部門**
形式——十～三十ページ前後のもの。
寸法——一ページ・タテ270㎜、ヨコ180㎜（これは一般漫画雑誌サイズの一・二倍です）

●**コマ・マンガ部門**
形式——一ページ～三十ページ前後。
寸法——ストーリー部門と同じ。
しめきり——毎月五日（それ以後到着の作品は次号に持ち越されます）
発表——本誌上
あて先——〒160東京都新宿区西新宿6—3—2／唐川ビル・清彗社「ぱふ」編集部
資格——一切制限ありません。ただし作品は未発表のものに限ります。（同人誌発表の作品はかまいません）

●**原稿料**　準入選以上の方に当社規定の原稿料を。

●**画稿最終ページ裏に、**
住所・氏名・年齢・職業・電話番号、略歴を書いて下さい。各ページの裏にも氏名を忘れずに。

●作品返却希望の方は返信用の封筒と切手を同封して下さい。それ以外の方の返却には応じられません。

※コマ部門に投稿する人は作品にタイトルをつけて下さい

ぱふまんが新人賞上半期発表！

対象作品＝本誌1月号から6月号までの投稿作品
選考＝本誌編集部

◯佳作　賞金3万円

川井まき（東京都・20才）「おさと」
甚野幸一郎（大阪府・23才）「溺死未遂」

◯特別賞　図書券5千円分

なるさわせいじ（長野県・22才）「カリの時代」他
雪　雅之（福岡県・17才）「青い馬」他
福谷たかし（東京都・20才）「ジェリーロール ベイカー・ブルース」
若狭茂樹（東京都・22才）「風の部屋」
西方　薫（東京都・28才）「火曜の夜と水曜の朝」
内山　徹（新潟県・16才）「寒雀」
乾　弘之（東京都・25才）「枯葉問答」
加賀山敦子（群馬県・14才）「秋の追憶」
黒田　歩（福岡県・16才）「決断の時」他
岩本真治（福岡県・24才）コママンガ多数
伊原よしゆき（東京都・21才）「アニマル・ナンセンス」他

ぱふまんが新人賞設立！

上半期の新人賞は上記の様に決定しました。ひき続いて下半期の募集を行ないます。対象作品は7月号から12月号までの投稿作品です。上半期と同様に、右記の要領で応募して下さい。

入選…1名　賞金20万円
佳作…若干名　賞金未定

●ぱふまんが倶楽部の会員証を発行します。

1月号に投稿された方から、ぱふまんが倶楽部会員証を発行します。会員証を発行された方は、次からの投稿の時に、会員番号を忘れずに記入して下さい。

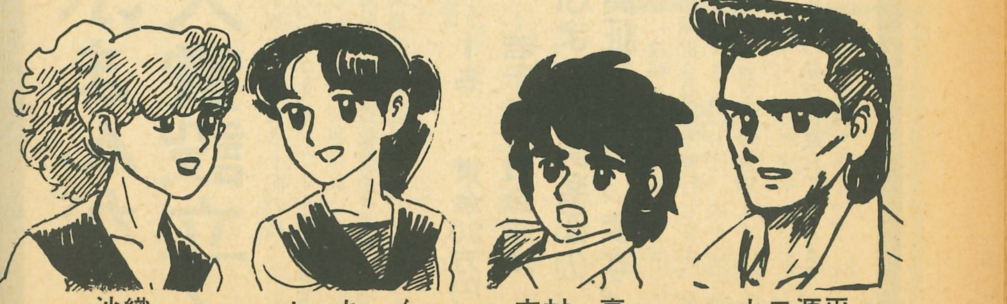
会員証の発行が遅れております。もうしばらくお待ち下さい。

ストーリー部門

佳作

この際HOT☆コーク（30P）

高寺彰彦（18歳）
練馬区貫井4の2の30富士見台ハイツ702号



■メイン・キャラクターだけで25名も登場するという屋根裏クラブシリーズの一話。

R高大番長木嶋の女である沙織は、T高の孫市に一目惚れする。沙織は木嶋にサヨナラをして、T高の文村亮に仲立ちを頼みにいくが、その現場を目撃した木嶋はふたりの仲を誤解してしまう。亮が火口源平の親友だと知って、うかつに手を出せない木嶋。だが、木嶋の話に源平は納得し、亮はふくろだたきにされる。わけのわからぬまま仲間を集め、復讐戦に挑む亮一派。向かえうつ木嶋一派。真相を聞かされて、大あわてで仲裁に走る源平…。

まず持ち込み原稿の『この際HOT☆コーク』から始めたいと思います。これはとにかく面白い作品でした。コマの運びや構図にスピード感があるため、作品全体（特にアクション・シーン）のリズムが小気味よく流れています。人物もよく描けているし、ペンタッチにも個性が感じられるので、これからが楽しみな人でしょう。

作者自身が楽しんで描いているのがよく伝わってくるし、それはそれで良いと思いますが、あまり画面のスミッコでふざけたり不必要にキャラクターをくずして描いたりするのはやめましょう。シリアスになったりマンガチックになったりコロコロと変えないで、自分の地をまじめに出すことから始めるのが良いと思います。この作品の場合、そういった遊びがストーリーをわかりにくくさせているようで惜しい。

絵のほうはうまいと思います。ひとつ注文をつけるとすれば、大事なコマにはそれなりのウエートを置いて描いて欲しいということ。骨組みだけのストーリーから下描きにはいる段階で、重点を置くシーンをよく考えて、魅力的な画面作りに励んでほしいものです。このエネルギッシュなムードは現段階でも人を魅きつける力があります。多作せず腰を落ち着けて製作に取り組んで下さい。

佳作

肉体二重像（31P）

三上はやと（19歳）

埼玉県新座市東2の8の6榎本方

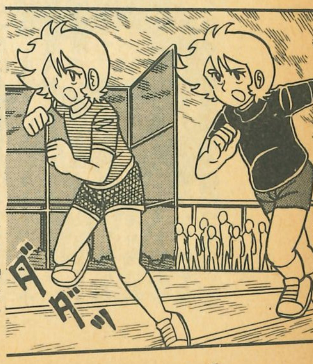
■筒美良は成績優秀でスポーツ万能の生徒。しかし転校してきた少年海原義男は、彼とうりふたつでしかも全く同じ能力の持ち主であった。事あるごとにはりあうふたり。不審に思った一教師が調べたところ、彼らは出生時間から指紋まで同じであった。ある日筒美はひとりの老人から肉体重像現象について聞かされる。それはひとりの天才として生まれるべき人間が、ふたりに分かれて生まれてしまった現象をさすのだ。もし片方が死ねば残ったひとりはもとの2倍の能力を持つようになるという。話を聞いて筒美は海原を呼び出すが、同じ話を聞かされ同じ能力をもつふたりは相討ちとなってしまう。老人は実は三重像の残りのひとりであったのだ。

『肉体二重像』は5月号の『悪魔の楽園』で佳作になった三上はやと君からの投稿二作目。本人は「5月号の批評を読む前に仕上げたので、指摘された点は検討していない」と言っていますが、前回よりぐっと読み安くなっていると思います。

筒美と海原の対立が深まってゆく過程を、きちんとエピソードの積み重ねで話せているし、ラストの悲劇へと向かう展開も無理がありません。また、重苦しい話ですが、ふたりの和解—握られた手—によってひとつの救いが提示されているため、読む側を納得させます。

SF的には設定がやや甘いという気もしますが、へんに難しい理論に走るよりも、ひとつのテーマを明解なストーリーで浮き彫りにしていくいまの方向で頑張る方が良いという気がします。

絵柄も一般的だし、かなり力量があるのだから、少年誌などに投稿して意見を聞かせてもらうのもよい勉強になると思いますがいかがでしょう。



佳作

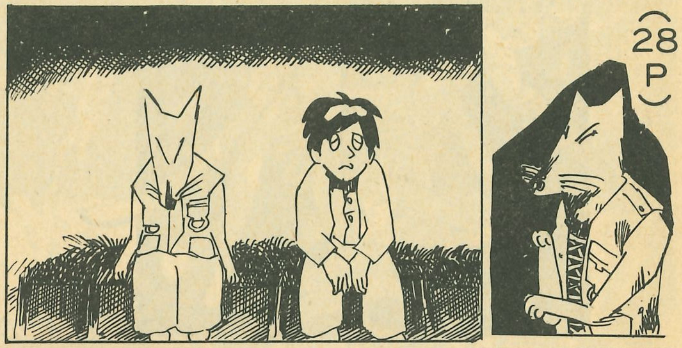
夢のとびらから（28P）

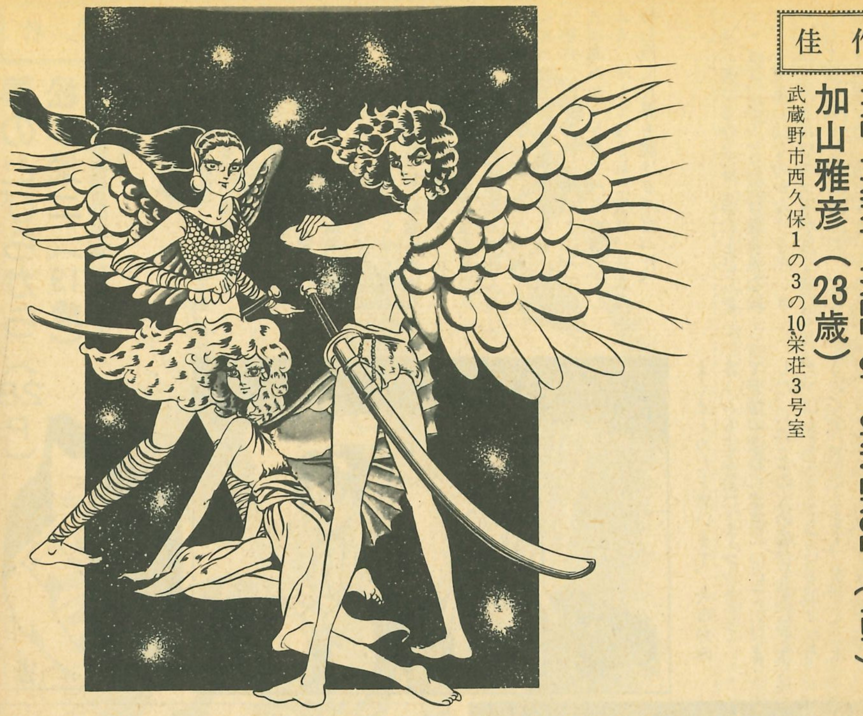
松本栄二（19歳）

大阪府高槻市群家新町15の2

■寄井はスーパー・マーケットに勤務するアパート暮しの青年である。ある夜部屋に帰った彼は、三太と名のるキツネのバケモノに会う。三太は自らを人間だと主張し、宝捜しを続けていると語る。それ以来寄井は三太につきまとわれて、ろくな目にあわない。しかし彼はあくせく働く日々の生活に疲れ、宝を追い求める三太の気持ちに同調するようになっていった。そしてついに宝の見つかる日が来た。河原でふたりが話していたとき、三太が匂いにつられて急に駆け出したのだ。あとを追いかける寄井。だがあと一歩のところで三太は高みから足をすべらせ落ちてしまう。そして残された彼は、三太の指し示した扉を開けるのだった。

次に掲げる作品は『夢のとびらから』です。かってのつげ義春風な絵で、一見重い話なのかな？と思いきや、ひょうきんなキツネが出て来たりして案外楽しく読めました。ただひたすら宝を追い求めるというあてどのない話ですが、ラストは実にうまくまとめたと思います。大阪弁のネームも主人公によくマッチしていて感情の流れに素直についていけました。ただこの人の場合も変にギャグっぽくしようとしている部分があるので気にかかりました。寄井と三太の心の交流をもう少し冷静に丹念に追ってみるのもよかったと思います。





佳作

THE FAIRY TALE OF UNIVERSE (42P)
加山雅彦 (23歳)

武蔵野市西久保1の3の10栄荘3号室

■広大な宇宙の片隅のある星では、バード族とパピヨン族が長い争いを続けていた。パピヨン族の天文学者ノアは、サタン星との衝突を予測し、レア王に停戦を進言した。平和協定の話し合いは順調に進むかに見えたが、ノアの娘サラとバード族の剣士イスカリオテの恋愛にバード族の王女サロメとパピヨン族の王子アロンらの嫉妬・妨害がいり混じり事は大きくなる一方。やがてそれは両族間の問題にまで発展し、破局の時は近づく…。

平野仁氏のアシスタントをやっていたという加山雅彦君の『THE FAIRY TALE OF UNIVERSE』は迫力十分のSFでした。気になる点を先に指摘すると、ストーリーがネームで進行して絵が説明の役目しかしていないということです。そのためかエピソードにもムダが多く、話が煩雑になっています。まず自分の意志を持った〝生きた〟キャラクターがいて、それが動いて話というものが出来るはず。人は作られた筋に従って行動するわけではないのですから、絵で人間を表現することを研究するのが肝要だと思います。こういう大きなドラマを創る技量は高く評価できます。話の整理がつけば、それに伴ってコマどりも整理されてくるでしょう。そうなればより一層迫力も増すはず。今後に期待します。

『妖怪クリニック人面瘡』はびっくりするほど緻密に描き込まれた原稿に驚きました。絵は大変うまいと思います。最近ではあまりお目にかかれなくなった妖怪ものに対する作者の思い入れはわかるのですが、線がきれいすぎるため、この手の話にはあわないような気がします。絵柄に合わせた話を考えたほうが、楽に創作に臨めるのではないでしょうか。14才の時から投稿を始め、手塚治虫氏に原稿を見てもらったこともあるとか。何かキッカケがつかめれば、ひとつ開けた世界を描けるかもしれません。

さて、『風の部屋』の若狭茂樹君からの投稿は『とうきょうしき』『FIN』『そぞろ歩き』の3作です。一度ファンになった人間なら、相変わらずの話術に無条件にニンマリしてしまうのですが、どうも作品の質が落ちてきているような気がします。日記的に自分の身の回りの題材を語ることに関しては一味違う才能を感じますが、基本的な話の組み立てに関してはまだまだ素人のように思います。時間と空間の表し方、場面の切り替え方などの基本点を押えた話作りを練習してほしい。まんがは右から左へ話が流れていくので、ネームをすんなり読ませるためには人物の配置や構図にも気を配る必要があります。大友克洋氏の影響なのか、絵に少し面白味が増していますが、じっくり描き込みさえすれば自然に絵は上達するものだから、一本一本線を丹念に引いて下さい。

佳作

そぞろ歩き (21P)
若狭茂樹 (22歳)

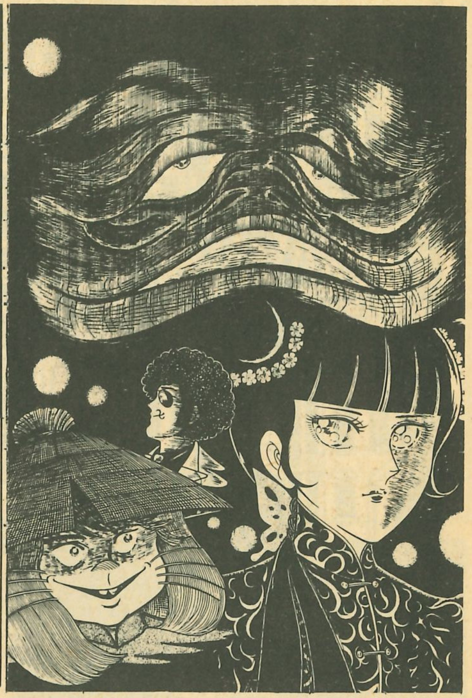
中野区野方1の28の15和楽荘2F10号

佳作

妖怪クリニック人面瘡 (21P)
高田健二 (22歳)

大阪市大正区三軒家東5の16の1

■園田純とその友人達を中心に、若者の青春像を淡々とした語り口で描いた作品。



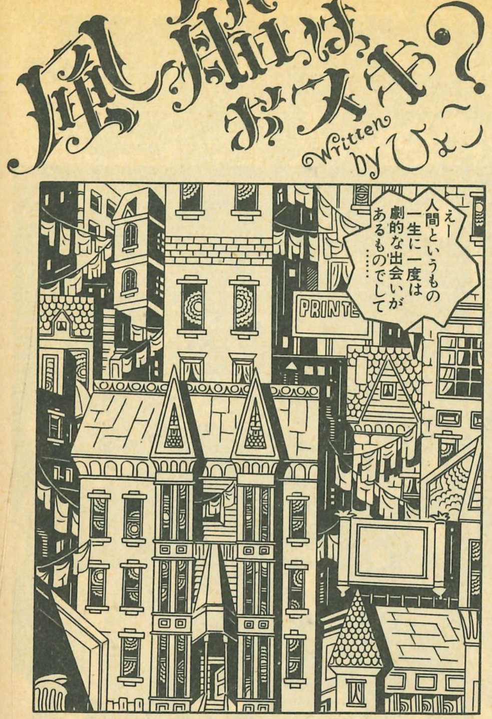
■少女華蘭は妖怪クリニックという仕事をしている。今回の依頼人宮内は腹部に大きな人面瘡をこさえて難儀していた。彼は角野商事の娘との結婚をひかえている。そしてそのために子供までできた恋人の洋子を裏切った過去がある。人面瘡は絶望して自殺した洋子の霊であった。華蘭の治療で無事結婚式を迎えた宮内であったが、洋子の霊の影に気が狂い新婦を刺し殺してしまう。

佳作

風船はおスキ？（10P）

飛松徹夫（20歳）
大阪府枚方村野東町66の3

■電信柱にからまった風船をとってやったことがキッカケで、かわいい女の子と知り合った男は、共に青春を生きゴール・インする。10年が過ぎ、女はひどい脂肪太り、おまけに風船好きはひどくなる一方。いや気がさした男は計画を練り妻を刺すが、妻は風船の如く空気を吹き出して飛ぶのだった…。



『密戒』で5月号佳作をとった飛松徹夫君からは全くイメージの違う『風船はおスキ？』の投稿です。「内容が軽薄な感じがしますが…。」とのことですが、こういう〝軽さ〟を出せるのは大事なことだと思います。人物は相変わらずやや印象が弱い。あまり図案的に描かないで下さい。ペンの太さをいろいろと変えて描いてみるのも新しいタッチの発見になるでしょう。またひとりの人間を描く際にでも単調に引かないで、ひとつずつ新しい線を見つけるつもりで引いて下さい。

その他、印象に残った作品を幾つかあげたいと思います。

怪物への恐れから団結し平和を築いた村人が、怪物退治を決意し出向いたところ、怪物はすでに死んでいたという『昔話』は、一社会の成り立ちの根本をついていて興味深いお話でした。

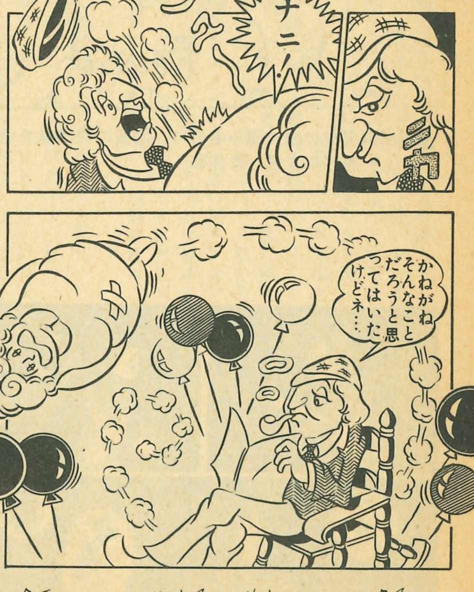
『SORATOBU NEW YORK』は特にどうという話でもないのですが、奇妙な味わいが感じられました。ニューヨーク幻想というものにもっと刻明に触れることが出来ればスゴイ作品になったでしょう。

『病気の人』は白黒の対象によって病気という設定の雰囲気作りに成功していました。

『お手玉』は非常に素直で好感の持てる作品ですが、母親を見つめる女の子の意見がひとつ欲しかった。

『それは喫茶店から始まった!!』は、ジョーク的なエピソードを削って真面目に描けば、テレビを捨てたことの感動がより確かなものになったと思います。

『地下の煙り』『銀河のはざまで』『If…』の3作は、絵もひと通りうまく描きこなせているし、無視できない魅力を持っていました。



その他の投稿作品

「昔話」（10P）
門脇千晶（22歳）
奈良県北葛城群上牧町桜ヶ丘2丁目29の7

「SORATOBU NEW YORK」（9P）
内山秀三（21歳）
東京都江東区常盤1の16の2

「病気の人」（16P）
岩本康子（?歳）
岩国市錦見1丁目4の10

「お手玉」（7P）
宮崎かつ代（?歳）
東京都杉並区善福寺町2の19の8大野方

「それは喫茶店から始まった!!」（22P）
木金和也（19歳）
愛知県岩倉市下本町真光寺79の3

「地下の煙り」（16P）
高根英博（26歳）
京都市左京区北白川下別当町17西村安平方

「銀河のはてまで」（35P）
福井和也（23歳）
千葉県我孫子市白山1の6の8の501

「If…」（16P）
服部得美（20歳）
埼玉県戸田市中町1の32の3第一永井荘

「時の来訪者」（8P）
山田道隆（22歳）
東京都八王子市子安町1の48の12子安コーポ101号室

「僕はほんとうにまともだよ」（17P）
吉岡裕之（19歳）
広島市金屋町5の5

「微・サイレント」（34 ）
青木浩史（19歳）
川崎市多摩区宿河原1547佐藤勇方

「Holiday」（12P）
大川 温（17歳）
千葉県我孫子市湖北台7の91の301

「贖いの雨」（10P）
波木 剛二（18歳）
山口県宇部市東区西梶返

「孤独」（15P）
土山龍司（22歳）
埼玉県浦和市下木崎773

「黄昏」（5P）
石津房之（20歳）
山口県山口市泉原3の27

「ミライノート」（8P）他一作
梅木泰宏（16歳）
大阪府藤井寺市北岡2丁目8の10

「せっかちの宇宙」（14P）
小森都支雄（17歳）
東京都小金井市東町4の22の3

「あいつ」（8P）
平野裕之（17歳）
三重県鈴鹿市南若松町南山中91 3

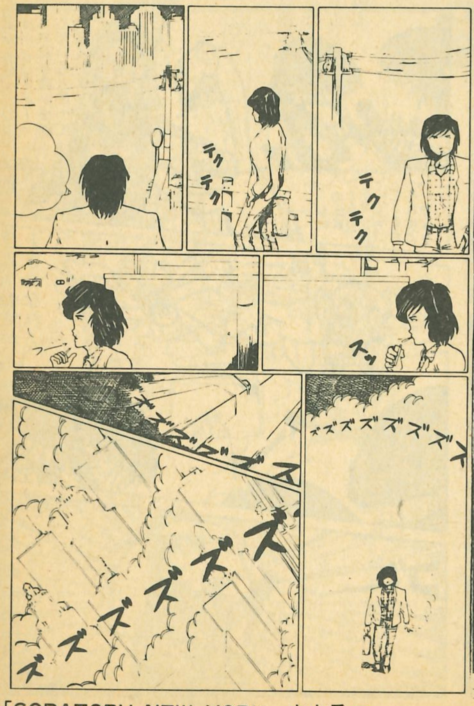
「野良犬」（14P）
林日出和（?歳）
東京都西多摩群羽村町神明台3の20の4

「すすはらい」（4P）
天草友情（18歳）
愛知県大府市東新町3丁目11番地2の312

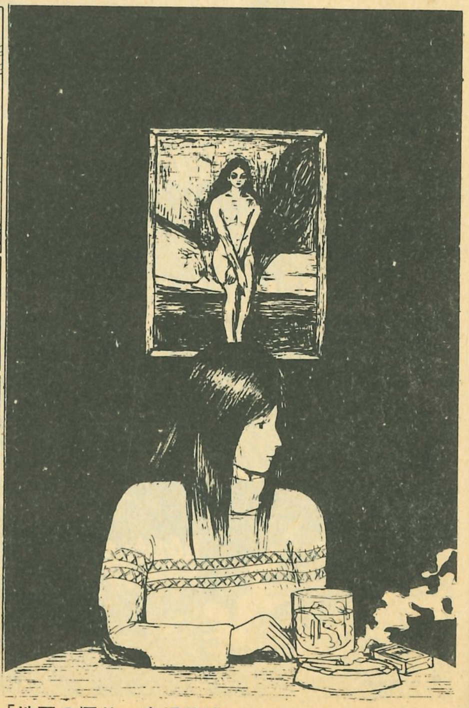
「忘れ物」（16歳）
夢幻大（20歳）
愛知県大府市東新町3丁目11番地2の312天草方

「究極」（8P）
市川俊雄（17歳）**橋本美千代**（16歳）
神奈川県川崎市高津区平1555の11（市川）

「星の伝説」（30P）
梅本典江、岩野小百合、浅野恵子、森川佳津子（16歳）
奈良市東寺林町18（岩野）



「SORATOBU NEW YORK」内山秀三



「地下の煙り」高根英博

ギャグ部門

佳作

銀河中央食品店（31P）
米谷彰能（23才）
石川県加賀市大聖寺町9

佳作

ウルトラセブンイレブン（15P）
三崎章弘（18才）
埼玉県飯能市双柳1の1

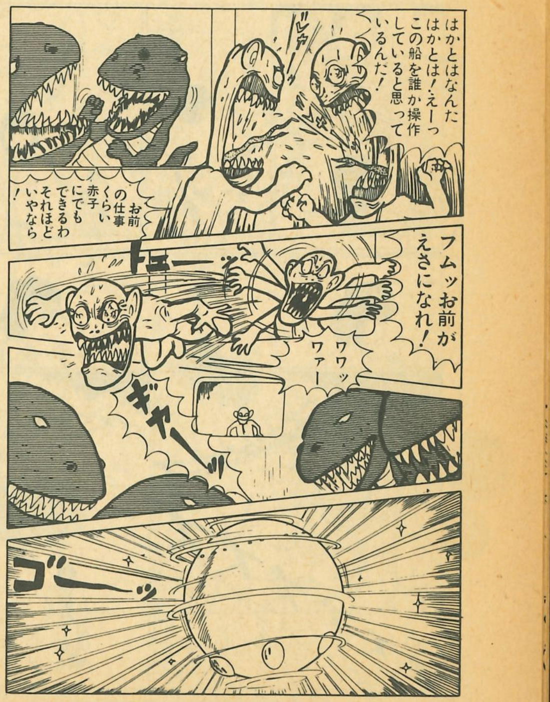
「アンドロメダ2」（31P）
松平書彦（22才）
兵庫県宝塚市中州1丁目10の11濤山荘
「私のように美しい娘」（4P）
篠山れお（19才）
東京都立川市栄町5の31の8神田方
「夜のバレリーナ」（15P）
神田　洋（22才）
富山県高岡市定塚5の36
「真夜中のトマトジュース」（10P）
石井敏郎（16才）
岡山市門田文化町2の6の18
「ヒーロー残酷物語」（5P）
牧野成吾（24才）
東京都武蔵野市境1の20の2境荘107号
「キャプテンフィッチャーマン」（12P）
板倉　億（13才）
四日市市森ケ山町　日本合成ゴム社宅5の102
「あ」（10P）
生井　正（15才
茨城県結城市田間中1302
「彼女はドラキュラ」（6P）
楠本奇子（?才）
大阪市東住吉区矢田住道町6の15荻野方
「ぼくの我がファウスト」（7P）
安野宏和（18才）
東京都世田谷区弦巻5の1の33の612
「スピード狂時代」（9P）
本間雄路（24才）
名古屋市中区栄5の10の16

ギャグ部門では4月号で『空にいっぱいの…』で佳作となった米谷彰能君の『銀河中央食品店』が出色の出来でした。恐龍を商品にして宇宙を旅している宇宙船の中では、エサの欠乏のため地球に立ち寄って人間をエサにする計画が進められていた。途中まではうまく進んだこの計画も、味方の裏切りやロボットの支障などがいり混じりメチャクチャ。ついには恐龍たちが暴れだす…といった話なのですが、なんといってもドタバタシーンのもつエネルギーが素晴しい。人間たちはもちろん、宇宙人のキャラクターにもおぞましさを超えた魅力があり、アクションにも躍動感がたっぷり。これで破綻に一枚加わるロボットにもっと人間味が出れだ、もっと作品に吸引力がつくのではないでしょうか。

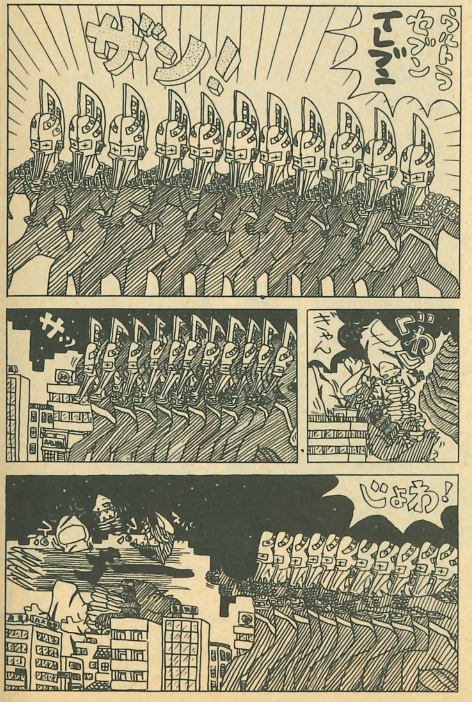
『ウルトラセブンイレブン』も中々面白い作品でした。キャラクターデザインだけでも十分笑えるし、パロディ作品にしてはあまりしつこくなく独立して楽しめるムードを持っています。

『アンドロメダ2』は面白いといえば面白いのですが、これだけではもったいない。うまいんだからもっとちゃんと描いてよ。

最後に篠山れおさんへ真崎氏のお言葉をお伝えします。「自分の描きたいものが見つかるまでは描かないでいい。」



「銀河中央食品店」米谷彰能



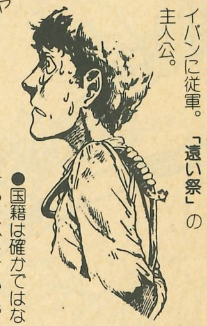
「ウルトラセブンイレブン」三崎章弘

●**内山会長**
釣りの会会長。戦時中は、サイパンに従軍。**「遠い祭」**の主人公。

●ニューヨークにやって来た日本人旅行者。**「さよならニッポン」**

●ニューヨーク在住。タイヤキ屋の用心棒。ハーバード大学法科卒。ホモである。**「さよならニッポン」**

●**三浦茂正**
高校陸上部のスプリンター。百m十秒五。がきデカと宇能鴻一郎を愛読する。**「短距離走者の連帯」**

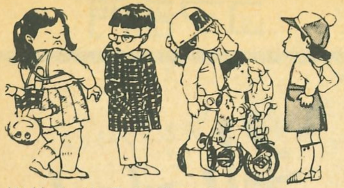


●国籍は確かではないが、おそらくベトナム人。米兵に首を吊られて死亡。家業は農業。**「橋と　そして…」**

●**「ヘンゼルとグレーテル」**の父親である。赤貧のわりにはデップリと肥満体である。恐妻家。

●無思想、無節操の大学生。一獲千金を夢見て大麻境を目指す。**「大麻境」**

●**茂正**
南浦和在住の学生。しかし、その実体は宇宙パトロール銀河方面担当地球支部所属、シゲマである。**「宇宙パトロール・シゲマ」**

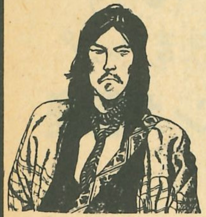


●**酒井ゆきえとその仲間**
大友作品になくてはならぬ名子役たち。酒井ゆきえのデビューは**「スカッとスキリ」**、**「酒井さんちのゆきえちゃん」**においては主役を務める。ワルガキ北の湖とのコンビは絶妙。**「宇宙パトロールシゲマ」**にもチョイ役で出演。

●**「さよならニッポン」**の主人公。父親の死後、保険金でニューヨークに渡り、空手、柔道の通場を開く。

●**「さよならニッポン」**で主人公の弟子となっている。父親は元プロボクサーで街の顔役。しかし、親子とも根は善良らしい。

●**「ヘンゼルとグレーテル」**の悪役。ヘンゼルを飼育するが、逆に食べられてしまう。もともと案山子らしい。



●音楽修業のためアメリカを旅する若者。元グループサウンズのアイドルという栄光の過去を持つ。マリファナを愛用。**「さよならニッポン」**

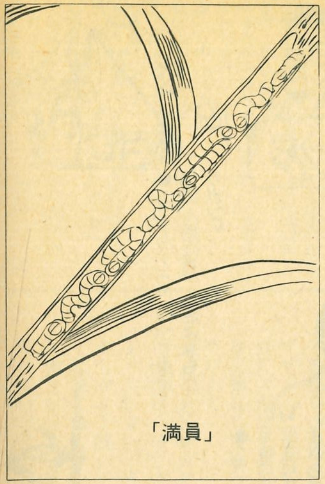
●**松堂**
暴力団今井組所属。性格は残忍。通称マットーの兄貴。弟分辰に殺されたらしい。**「トウキョウチャンポン」**

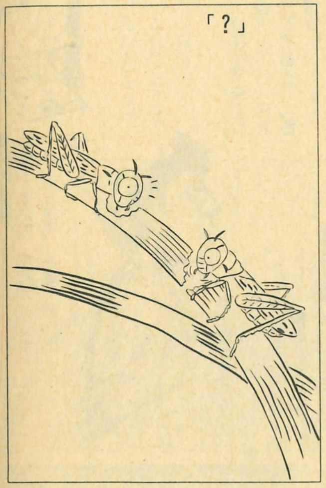
コマ部門

秋竜山の コママンガ講座

佳作

コママンガ（17P）
伊原よしゆき（21才）
足立区東和1の30の2

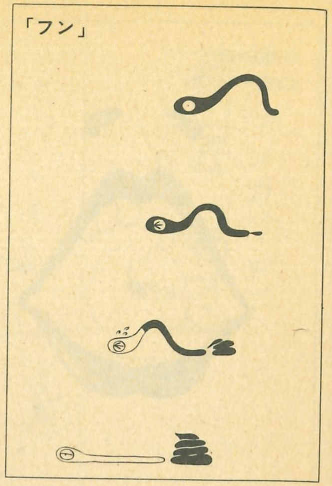

「満員」


「?」

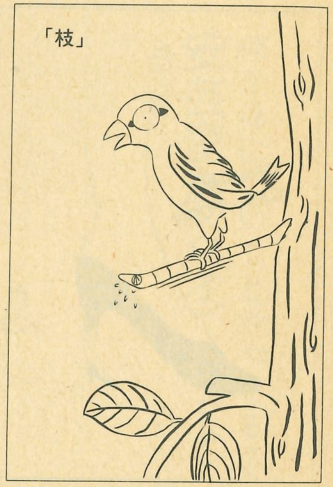
秋　——まず、伊原よしゆき君（21才）からお願いします。

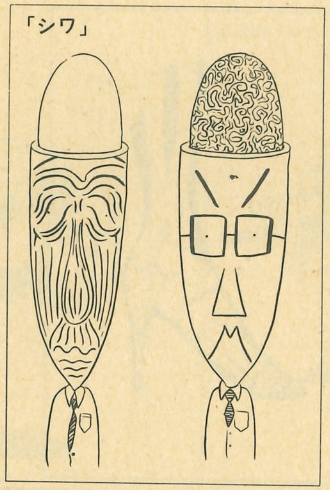
やはり伊原君の場合は昆虫のまんがおもしろいね。人物のまんがより昆虫のまんがの方がズバ抜けてるような気がするんだ。昆虫のまんがの場合、あまり描いてる人がいないでしょ。だからたとえアイデアがそれほど優れていなくても、昆虫だというだけで楽しめるっていう…ひとつのまんがの世界の穴かもしれませんね。人物になっちゃうと何か物足りなさを感じるんだよね。やっぱり省略の仕方なのかな。この人はやっぱり昆虫ものが一番得意だと思うんだよね。ここの所をどんどんのばしていくのが良いと思いますよ。必ずどんな人だって自分の得意なものってあると思うんだよね。得意なものをどんどんのばすっていうやり方がひとつの勉強になると思うんだ。これ全部おもしろいよ。昆虫を擬人化してないでしょ。昆虫そのものが出るわけだよね。それがおもしろいですよね。昆虫そのものを変に擬人化せずに、しかもまんが的に出すっていうやり方はなかなかいいと思うんだ。

筆を使ってるのかなあ。何だろね。ペンじゃないだろうけど、いい感じだね。この人はやっぱり昆虫ものをどんどん描いて、昆虫の伊原って言われるようになればしめたものだって気がするんだ。


「フン」

「PUNK!」

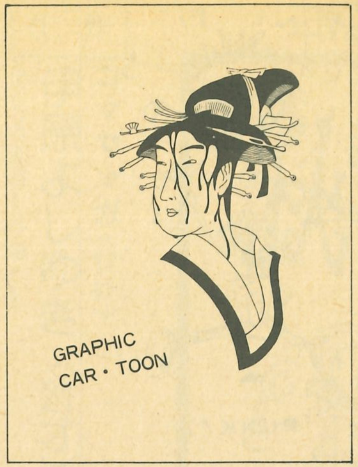

「枝」

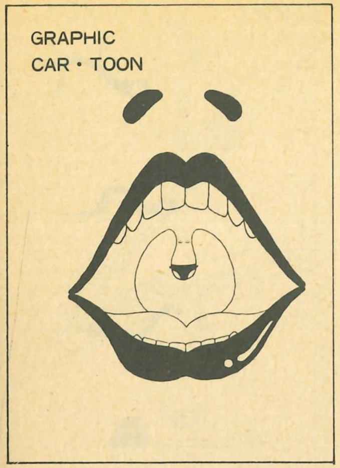

「シワ」

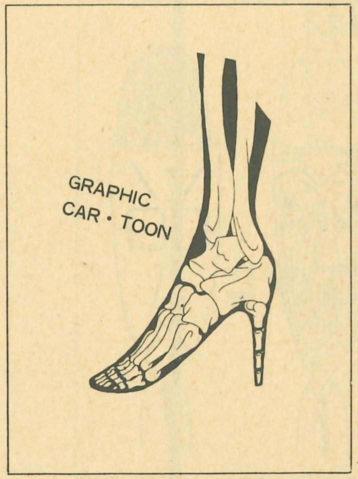
佳作

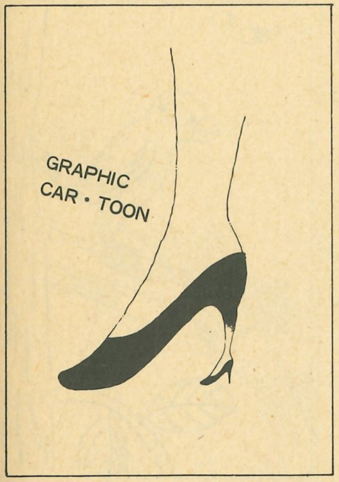
GRAPHIC CAR・TOON（10P）

黒田　歩（16才）
福岡県行橋市門樋中町









——次は常連の黒田　歩君（16才）。

秋　この手の手法は今までみんなやってるんだよね。だからそういう面では損だなって気がするね。たとえおもしろくても損だって気がするんだよね。先にやってるだけにね。よっぽど変わったものでなければ損ですよ。

——彼自身はおたよりによると、新しい型のユーモアの表現みたいな事を書いているんですけど。

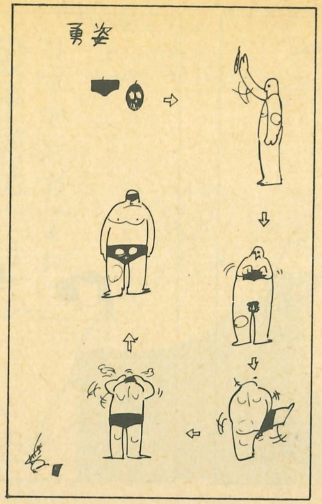
秋　これね、全部やってる手法ですよ。手形にしても、骨のやつにしても、ストローにしても、みんなやってるわけね。こればっかりばんばん描きなぐって相当枚数描いても、これで認められるって事はちょっと大変じゃないかなって思うな、みんなやってるだけにね。

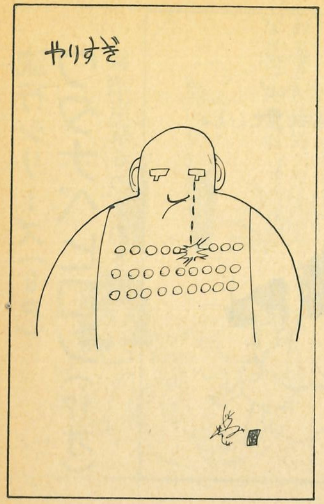
——彼自身も何か、これをひとつの実験みたいな感じで描いてみたようなんですが…。

秋　それは良いと思いますよね。実験は大いに結構でね、人がやってようがやってまいがどんどんやるって事は勉強になると思うんだよね。でもこれは非常に損だね。決してこういう事をやってはいかんというんじゃないけど、「あーこれはみんなもうやり尽くしたものだよ」っていう感じがする。

コママンガ（5P）

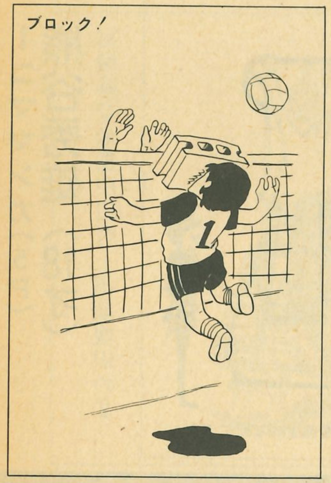
井口匠（15才）
北区赤羽西3～33～10





何か体にいいことやってる？（17P）

安芸里志（17才）
埼玉県



——二度目の投稿の井口匠君（16才）。

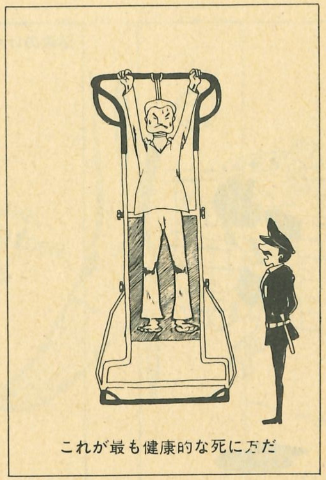
秋　線は、このサインなんか見ると出来上がっちゃってる感じだけど、アイデアで苦しんでほしい。何かおもしろいアイデアはないかってちょっと真剣に考えてみるといいんじゃないかな。描きなぐりでも良いと思うんだ。ひとつのテーマをじっくり描く場合と、ふたつの勉強法があると思うんだよね。プロになった場合はどちらも大切だけど、人によってタイプがあるから、色々やってくうちに自分のものをつかむんじゃないかと思うんですけど。

——次は安芸里志君（17才）。前の投稿で佳作になってます。

秋　選者の側として注意して見てるのは、アイデアの面で何か他人と違ったものがないかってことなんだ。絵は描いてるうちにうまくなってくし、初めから上手な絵を描くタイプや、努力して自分の世界を築くタイプがあるからね。この人はアイデアの発想法がやっぱりみんながやっているような発想ですから、それじゃあライバルはいっぱいいるし大変だろうね。だから、自分の世界をまず見つけて、ヘタでもいいからそれを遮二無二描いて作り上げていくっていう勉強法が大切だと思う。

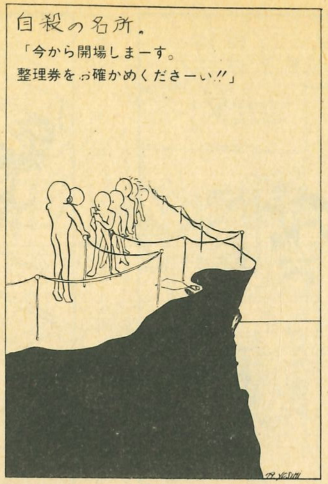
流行シリーズ（8P）
ワタナベヒロシ（17才）
岩沼市桜5の2の8

1コママンガ（5P）
熊谷秀雄（18才）
宮城県登米郡中田町上沼籠壇111の2

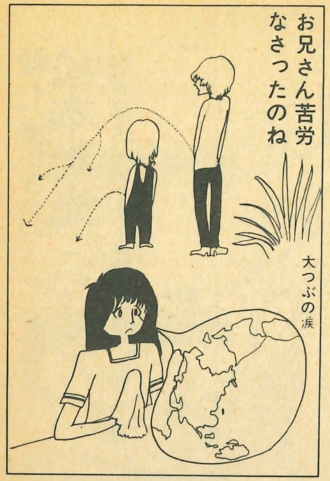


1コママンガ（4P）
本間雄路（24才）
名古屋市中区栄5の10の16

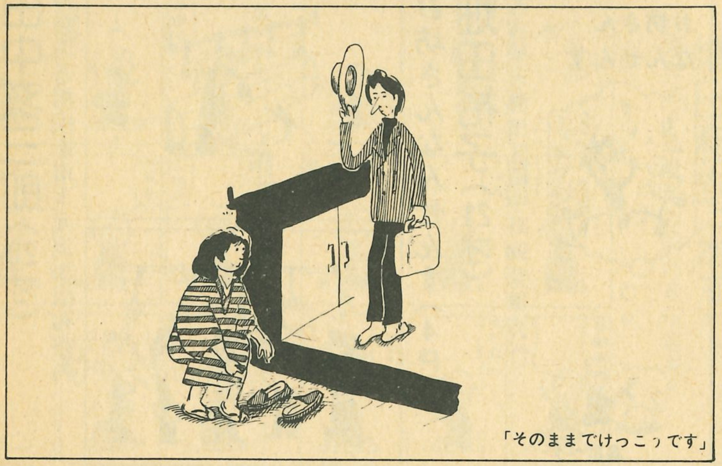
コママンガ（4P）
尾崎陽一（18才）
山口県防府市緑町2の4の5



コママンガ（4P）
金子智子（20才）
山口県末武下1091の2



1コママンガ（3P）
佐藤　靖（24才）
茨城県新治郡桜村妻木625柴原ハイツ207



秋　これも17才のワタナベヒロシ君。この人も同じような事が言えるね。これがこの人のものなのかどうかわからないけど…。この「コンタクトテレビ何をするにも君といっしょ」っていう作品を見ると、彼の個性はこれじゃないかっていう気はするね。人物の飛び上がった歩いてる感じがおもしろいね。やはりこの線をのばすことだろうな。勉強すればのびる人ですよ。

—熊谷秀雄君（18才）。2回目です。

秋　こう見てると、何か傾向がみな似てるような気がするね。みんなひとりの人が描いたようだよね。ですからこの投稿欄を見て他人がやってないような事をやるのが近道って気がするんだ。そういう面で考えてみるとよいですね。

—本間雄路さん（24才）。

秋　この人もまだ自分のものじゃない、どこかで見たようなまんがだね。原稿は汚なくても、自分の個性が出せればいいんだからね。きれいに描いてあるんだけどさ、この人物にしても何となく個性の無いデッサンだって気がするよ。この手、指が6本あるけど意識的に描いたんだろうね。手とか足なんか描くと案外自分のに似るものだよ。そういう点から自分のデッサンを見直してみるのもいいよ。

（注）指が6本あるというのは上の作品ではありません。

—尾崎陽一君（18才）。

この人の場合は省略はしてあるんだけどデフォルメが弱いね。孤島ものとか、自殺ものとか、みんながやってる世界をやってみるのは勉強になるよね。だけどまだ素人くさいなって感じだ。その分可能性はあるけど…。描いていくうちにうまくなるんじゃないかな。

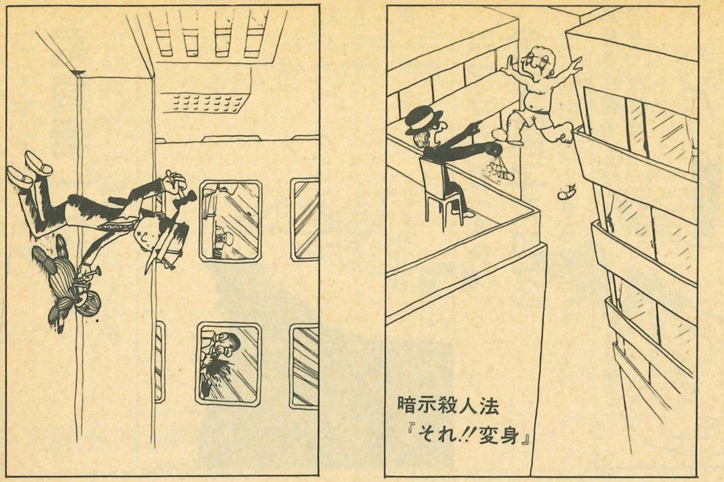
—金子智子さん（20才）。

秋　趣味としてやってく分には何も言えないな。だけどここへ送ってくるからにはプロを目ざす人が多いと思うんだ。となると、どこかで見たような絵っていうのは一番の弱点だよね。早くこういうのを卒業してほしい。それには何をしたら良いかって事になるんだけど、きちんと作品を描こうとすると堅くなって自分のものを忘れてしまうから、気楽に無意識に描いた落書きなんかに注意してみるといいね。スケッチブックのはじっこなんかをさ。

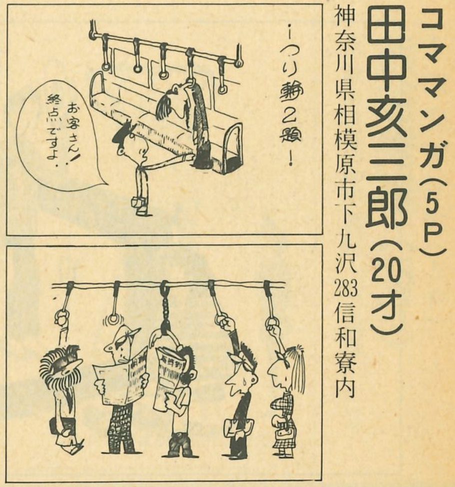
—佐藤　靖さん（25才）。この人は

秋　もうかなりの回数になります。素人っぽさを売りものにしてプロになるって事は大変だよね。それはやはりちゃんとしたものを描いた上での素人っぽさっていう事だと思うんだ。目新しさのない作品では、少し行き詰まっちゃうと思うよ。

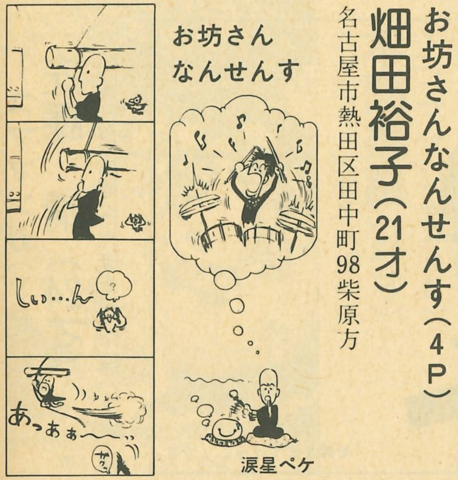
殺し屋（9P）
松本泰光（17才）
福岡市西区原8丁目38の37



コママンガ（5P）
田中亥三郎（20才）
神奈川県相模原市下九沢283信和寮内



お坊さんなんせんす（4P）
畑田裕子（21才）
名古屋市熱田区田中町98柴原方



―松本泰光君（18才）。彼は3度目ぐらいかな？

秋　この人はおもしろいよ。ちょっと変な才能のある人ね。"間"っていうか、"間の笑い"のわかってる人ね。期待できるよ。一風変わった味があるから、おもしろいものを描こうっていう努力さえ怠らなかったら、描ける人じゃないですか。

―田中亥三郎さん（20才）。

秋　この人、絵がちょっと変わってるよね。悩まず自分の世界を描いていけば良いんじゃないかな。それが近道だろうと思うんだけどね。

―畑田裕子さん（21才）。

秋　コマ運びに個性があるね。こういうのは理屈じゃないから、どんどん描いて体で覚えるしかないだろうね。ようするにたくさん描くということ以外批評のしようがないんだよね。

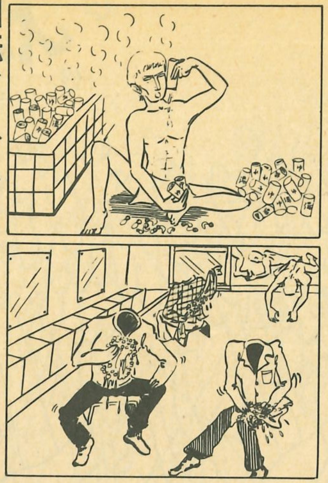
―大橋健造さん（21才）。前回同様たくさん描いて送ってくれました。

秋　この人も素人っぽいね。でもこれだけ描く熱意はたいしたもんだと思いますよ。アイデアはおもしろいね、奇抜で。ちょっとブラック・ユーモアの素質のある人かな。

―次は例の回転まんがの大坂伸子さん（26才）です。

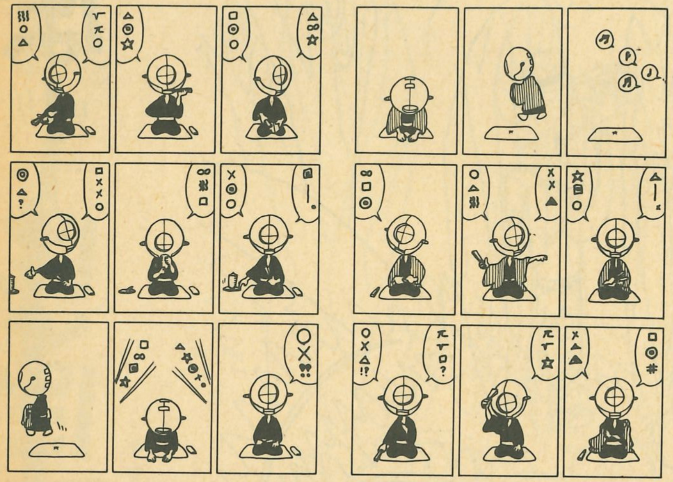
秋　ああ、この人ね。この人はうまいなあ。この人はこれを描き続けてみるのがいいでしょう。日本には

おふろやナンセンス（27P）
大橋健造（21才）
広島市皆美町3丁目4の41飯田アパート内



回転マンガ（5P）
大坂のブコ（25才）
東京都町田市金森222第12都営120の3

コママンガ（18P）
増田和幸（20才）
調布市小島町2の38の6桜庭方



これの描き手はいないからね。ペンの使い方もいいし、これはこれでもう完成された世界じゃないかな。

―これは持ち込みなんですが、増田和幸君（20才）。

秋　これも個性に乏しいね。人物なんかちょっと伊原君ぽいところがある。そうすると伊原君の方が知られてるから印象が薄くなるよね。丁寧には描いてあるけど…。でもこの落語のは面白いね。この感じのってあまりないから、たくさん描いてみたらどうかな。

コママンガ2枚
尾藤幸子（16才）
大阪府高石市東羽衣1の3の22

コママンガ3枚
生井　正（15才）
茨城県結城市関中

4コママンガ10枚
楠本奇子（?才）
大阪市東住吉区矢田住道町6の15荻野方

1コママンガ4枚
安野宏和（18才）
東京都世田谷区弦巻5の1の33の612

コママンガ6枚
小出賢志（17才）
神奈川県相模原市千代田1の2の14

ミーコとスズム（4コマ2枚）
土瀬忠史（26才）
八戸市白銀町小沼16の7

かなしい日本人（コマ7枚）
伏見　貢（18才）
清水市青葉町7の16

コママンガ2枚
石塚祐二（20才）
北海道旭川市永山1条20丁目成澤方

秋竜山の自由ほんぽー

秋竜山の自由ほんぽー

われらが同人誌

漫画同人誌紹介

ゆめ

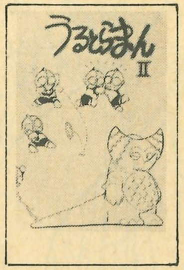
B5判青コピー158P（20号）
〈連絡先〉〒637—11奈良県吉野郡十津川村上野地小学校職員住宅No.2　わたなべまこと

よけいなことに気を使わずに、自分のマンガを書いていこうという感じが良く出ていてすばらしい。現在25号まで発行されているそうで、チームワーク抜群というところでしょうか。特に**松島明子**さんの「○×国……**赤い疑惑**」は楽しい作品です。これからもどんどんおもしろくなりそうな同人誌で、前号の感想・批評をもちまわりでやっているのも、その原動力になりそうな気がします。

うるとらまん

B5変型オフセット140P（2号）
〈連絡先〉〒491愛知県一宮市今伊勢町宮後東茶原43—3　浅野正樹

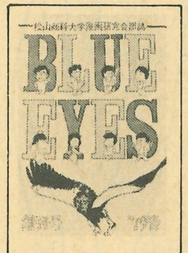
いろいろなジャンルのマンガがあって、読んでいて楽しい同人誌です。但し、どこかで見たような絵もありますよ。それでも、**おぜき**さんの「**憂己**」は非常におもしろかったし、**山田章夫**さんの「**リーム**」は長編49P、力作です。全体的に読みやすく、完成度は高いと言えるでしょう。



BLUE EYES

B5判オフセット90P・250円
〈連絡先〉〒790松山市文京町4—2　松山商科大学漫画研究会

いかにも創刊号という感じで、絵が荒かったり、話しの落とし方がよくあるパターンだったりはするけれど、ほとんどのページをストーリーまんがが占めているのでとりあげました。なかでも**白石明**さんの「**おかしなおかしな物語**」はギャグタッチの、タイトル通りおかしい作品（うっ、ギャグに甘い）です。これからの本ですね、がんばって下さい。



でんでん虫

B5判オフセット104P（4号）
〈連絡先〉〒982仙台市南小泉中河原1—1—277　阿部美智子（グループ名・蝸牛）

かなり幼い感じの絵が多いのですが、身近なことを題材にして言いたいことを言ってやろうという姿勢がみられて、好感の持てる同人誌です。特に**山岸ひろみ**さんの「**退屈な呼吸**」は適確な話の進め方で印象的な作品。このような作品がどんどん出てくれば「でんでん虫」の未来は明るい。まとまりがあってよいのですが、こじんまりとしていて、そこが欠点といえば欠点かも。誰かひとり、このまとまりを突き破るような人がいたなら、ぐんとよくなるだろうと思えるのです。

いとぐるま

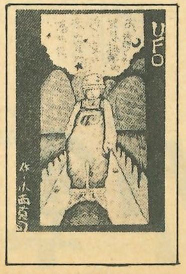
A5判オフセット108P（送料共550円）
〈連絡先〉〒290市原市五井5149—4—302杉山方　めるへんめーかー

プロ・半プロの人達ばかりの同人誌です。商業誌ではできないような、自由な世界を築いていきたいとのこと、やはりみんなとても上手い。傾向として、ファンタジック、オトメチックと形容詞はそんな感じ。安心して読んでいられるけれど、新鮮なストーリーっていうのはなかったみたい。もっとシッチャカメッチャカなほうがおもしろいっていう気もします。

UFO

A5判変型黒コピー8P
〈連絡先〉札幌市中央区南20条西12丁目　小西克司

完成度が高いとか低いとか、きれいだとかキタナイとか、そんなことを言わせない迫力があって、個人誌かつ一つの作品のみという ハンデにもかかわらずとりあげました。ネームがとても素晴らしい。それだけのことですが。



志群漫（∑）

B5判オフセット228P（3号）
〈連絡先〉〒154東京都世田谷区駒沢5—11—17長谷川荘3号室　高橋正人

まんがはもちろんのこと、マガジンやサンデーの特集、手塚治虫論など、読み物のほうもガンバッテルみたい。駒沢大学漫画倶楽部の、4年中心の会誌だそうで、下級生のもみたいなという気がします。全体的に少年マンガが好きな人が多いようで、作品もそういった感じのものがほとんどです。読切中心というのもいいし、**高永明**さんの「**冒険少年シビック君**」は主人公が生き生きしていて特に目立った作品。他の作品は主人公に魅力がなくて少しダレるみたい。でも読みごたえはあります。

まんが同人誌募集

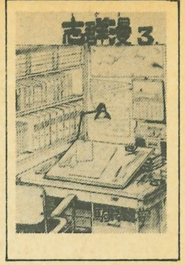
ぱふ誌上におけるまんが同人誌の紹介も定着してきた感があります。毎日のように送られてくる同人誌の数の多さに驚き、全国に散らばっているまんがを愛する人々のこの情熱がひとつずつでも結びついていけば、どんなにか素晴しいことだろうと思うのです。

まずは存在を確かめあうことから始めましょう。自分達はここでこんなに頑張っているぞ、という意志表示が欲しいのです。呼ぶ声があれば答える声が必らずあるはず。さあ！あなたの活動をアピールして下さい。

なるべくたくさんの同人誌を「われらが同人誌」のコーナーで紹介したいと思います。

できれば完成された作品の載っている本を送って下さい。そのほかにも、会誌や活動状況に関する説明を書いて頂ければ幸いです。

送り先はぱふ編集部「われらが同人誌係」です。なお、連絡先を忘れずに。待ってます。

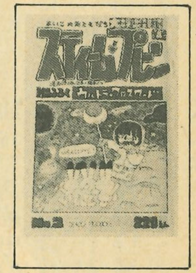


スティーム・ブレーン

B6変型オフセット80P（3号）送料共320
〈連絡先〉〒252神奈川県茅ヶ崎市東海岸北4—15—39　植松清

漫画と読み物と記事の雑居ビル、というフレーズ通り、まんが以外の部分もかなりある本です。まんが研でも、文研でもない玩弄館（発行元）は、「大娯楽雑誌」という新しいかたちの雑誌作りを行なっています。

それで、まんがはどうかというと、達者な人達が楽しめる作品を書いているのです。写植も入れたりして、極めて読みやすいものになっています。こういった形式のよのは概して自己満足になりやすいのですが、そこをビシッとしめているのは立派。それにしても20×27の別冊クロスワードには脱帽です。



NEBULA

B5判オフセット56P（3号）
〈連絡先〉〒249逗子市桜山1—9—8中島方永堀郁巳

実質的な創刊号だそうで、ガンバッテいる感じはわかります。一見SF風のファンタジーがこの本全体の基調をなしています。しかし、最も印象的だったのは**藤村まもる**さんの「**トテモヨクデキタ1日**」であり、これが失恋少女の立ち直る話であるということはこの本の弱い面を示しているともいえるでしょう。

絵魔

B5変型オフセット84P（3号）
〈連絡先〉〒951新潟市水道町2—5932広川方里子

絵のうまい人が多く、わあすごい、というのが第一印象。ストーリーは4編あって、吸血鬼、運命の糸を紡ぐ3人の女神（ギリシア神話、ただしここではひとりしか出てこない）、幽霊つき、というのがそのうちの3つに出てくるということから、この本の性格がわかると思います。「いとぐるま」と同じく、プロやプロに近い人が描いているので、絵がうまいのは当然といえば当然。ただ、自分の描いてる作品が、本当に自分が読みたい作品なのかってところがとても疑問に感じます。ストーリーが既製のもののアレンジであること、それも確かに一つの方法論ではあると思いますが、もっと新鮮なものを読みたい、いまのあなたと出会いたいというのは無理でしょうか。とはいえ、非常に水準の高いものであることは確かです。

風刊リュック

A5判オフセット156P（3号）300円
（連絡先）〒114北区中十条2—23—11関口荘2Fプランナッツ工房

まず表紙からして同人誌っぽくなく、びっくり。でも、中身のまんがは、正に同人誌っぽく。そういえば、ふつうの本屋さんでもよくみる表紙だし。レジの横なんかにさりげなく置いてあったりします。まんがだけでなく、インタビューやルポルタージュなんかもあります。中で楽しく読めたのは、**船田今日子**さんの「**キョンキョン中国へ行く**」です。マンガ・ルポの形になっていて、極めて簡潔かつそのままに自分の見た中国を描く中に作者の人柄がにじみ出て、とても素敵です。全体として、特別絵がうまいとかストーリーが抜群だとかいう作者はあまりせんが手のかかった、よくまとまった本です。

ODIN

B5判オフセット166P（5号）
〈連絡先〉〒670姫路市大津区平松218—7川端まゆ子

三たびプロの人達の参加している同人誌の登場です。ほとんどがストーリーまんがであるという、一種のいさぎよさがあって好感が持てます。プロの**森脇真末味**さんロッキング・オンの**竹内昌代**さんなどの有名人(?)も描いているので、興味のある方はどうぞ。だいたいみんな良い出来で、完成度はさすがです。表紙も（ちゃんと出てるかな）とてもすばらしい出きばえで、感心してしまいます。

カチッと作られた同人誌を読みたいという人へのおすすめ品。

ダイナミックス

B5判オフセット68P350円
〈連絡先〉〒980仙台市荒町124

遠藤真紀

この同人誌はプロジェクト形式という方法で毎号の発行を行なっています。つまり同人会の同人誌ではなくて、各号ごとにメンバーを募集するという方式です。いわゆる同人誌――商業誌と相対する位置にある同人誌としては中々良い本作りが出来ているのではないでしょうか。読者の反響を丹念に拾い上げている「おたよりコーナー」や同人誌とは何なのかを考えた「WHAT IS THE 同人誌？」など、自分たちの活動の拠点をひとつ〳〵確かめるページをキチンと設けている点に感心しました。肝心のストーリーマンガの出来ばえにやや難があるような気もしますが、**内海敏彦**氏の「**宵闇まで**」（2号）「**声**」（5号）のようにしっかりした描き込みがなされている作品もあって、ちょっぴり驚かせてくれます。仙台市内なら書店でも取り扱っているようですし、堅固な基盤の上に根をおろした建設的な本ですね。

われらが同人誌新企画

声（20P）

内海敏彦

仙台の同人誌ダイナミックスより転載

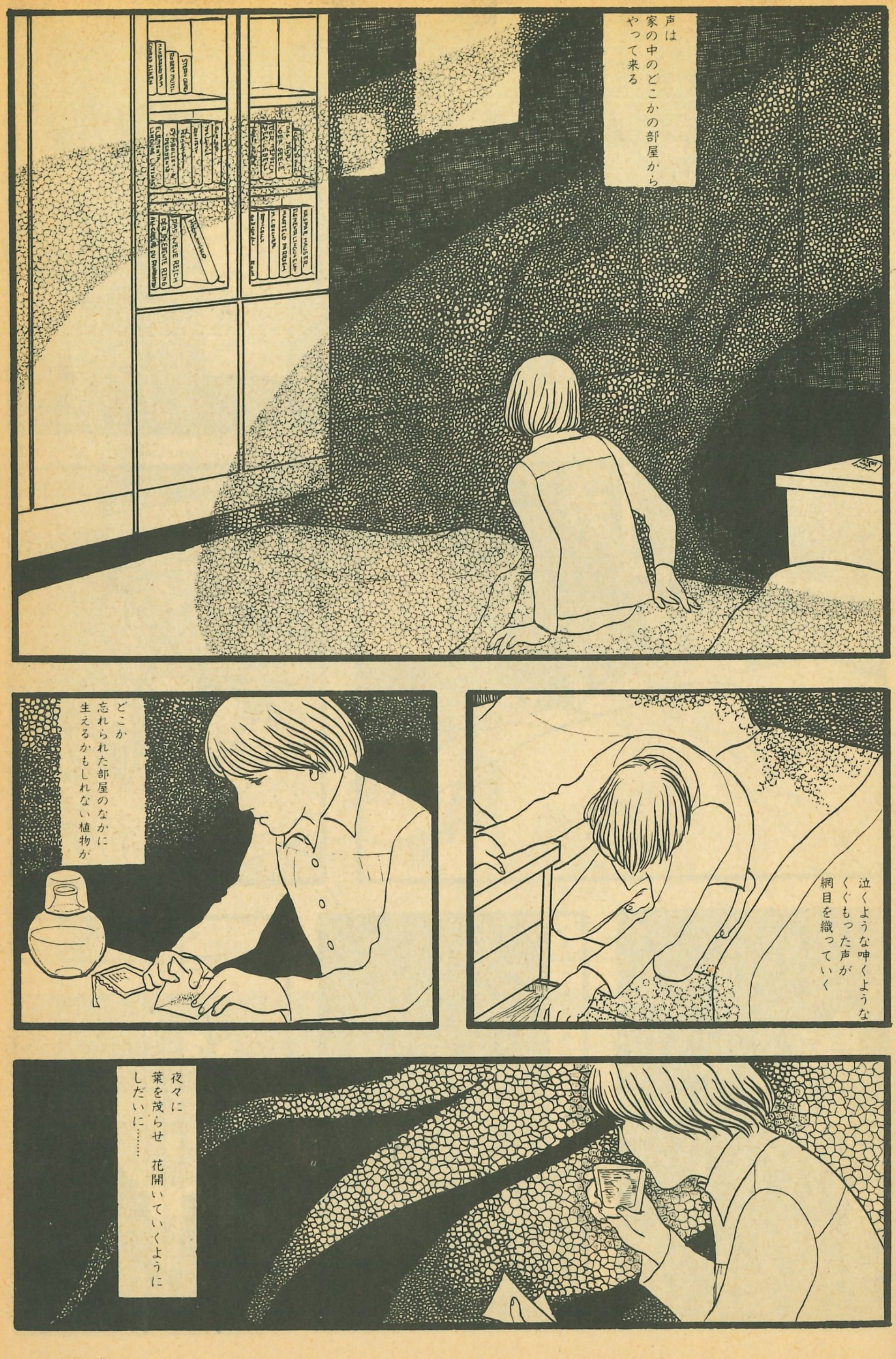
次のページから始まるまんが作品は、同人誌からの転載で、『ぱふ』の新企画―新しい試みです。〝ぱふまんが倶楽部〟で優秀作品を掲載するだけでなく、送られてきた同人誌の中に、全国の読者に披露するに価する作品が見つかった場合にも、積極的に声をかけていこうというものです。その最初の作品は「声」。仙台で活躍中の『ダイナミックス』に発表された内海敏彦氏の作品です。極めて「同人誌」臭の強い作品ですが、幻想的な魅力を内包した個性は一種の世界に達していると見てよさそうです。さて、読者のみなさんはいかがでしょう。

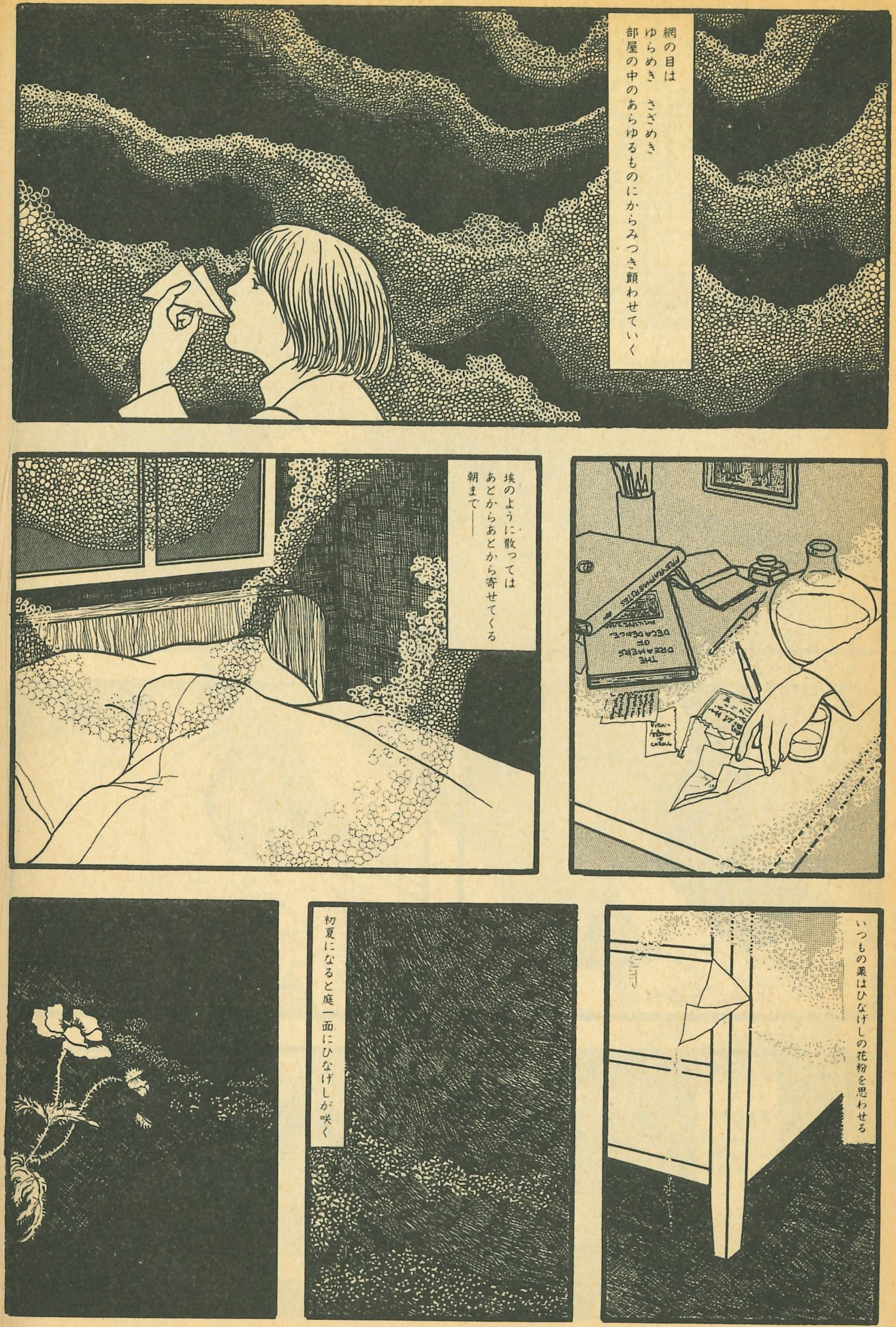
『声』について

『声』はこのページの上部で紹介した同人誌「ダイナミックス」の第5号に掲載された作品です。作者の内海敏彦氏については、詳しいことはわかっていません。というよりは、あまり詳しいことは載せないでほしいということなので、こちらも何も聞かなかったわけです。内海敏彦というのもペン・ネームだそうで、作品から、あまり表に出たがらない作者の性質が感じとれる気がします。そういうわけで、内海さんへのおたよりは、上記「ダイナミックス」宛にお願いします

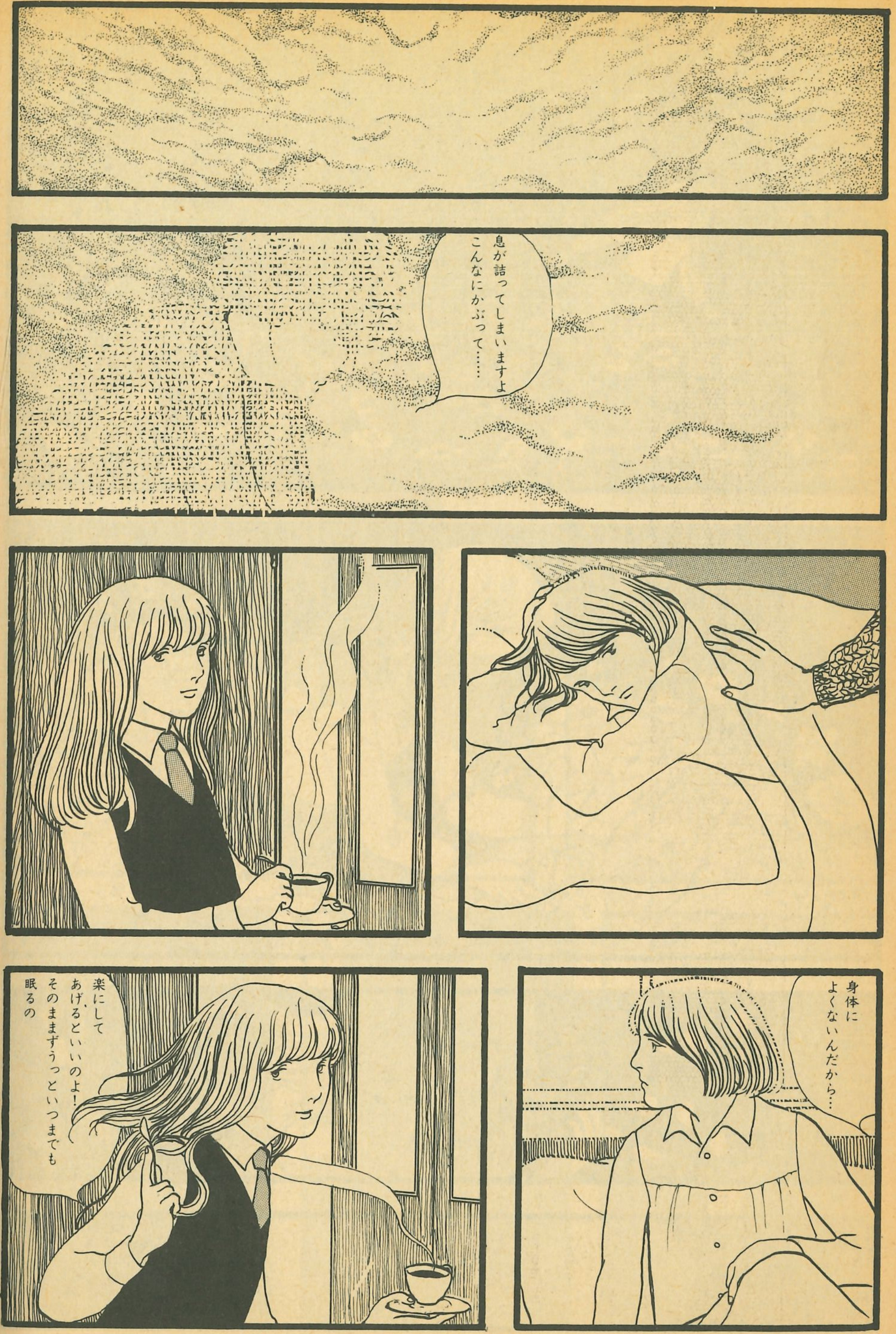
さて、内容について触れたいと思います。何よりもまず緻密な描きこみ方が目を引きます。空気中に浮遊するホコリさえ描写してあるのではないか…ふとそんな気がしてきます。単にたくさんペンを入れているとか、やたらていねいに描いてあるとかいうことではなく統一のある情景のとらえ方表わし方は、それだけでひとつの隔離された世界を構築することができます。内海氏の作品の場合、誰が語るというわけでもない不思議なナレーションが画面に響いていて、それが繊細な絵と結託して、詩的な広がりをもつフィーリングを発しているようです。

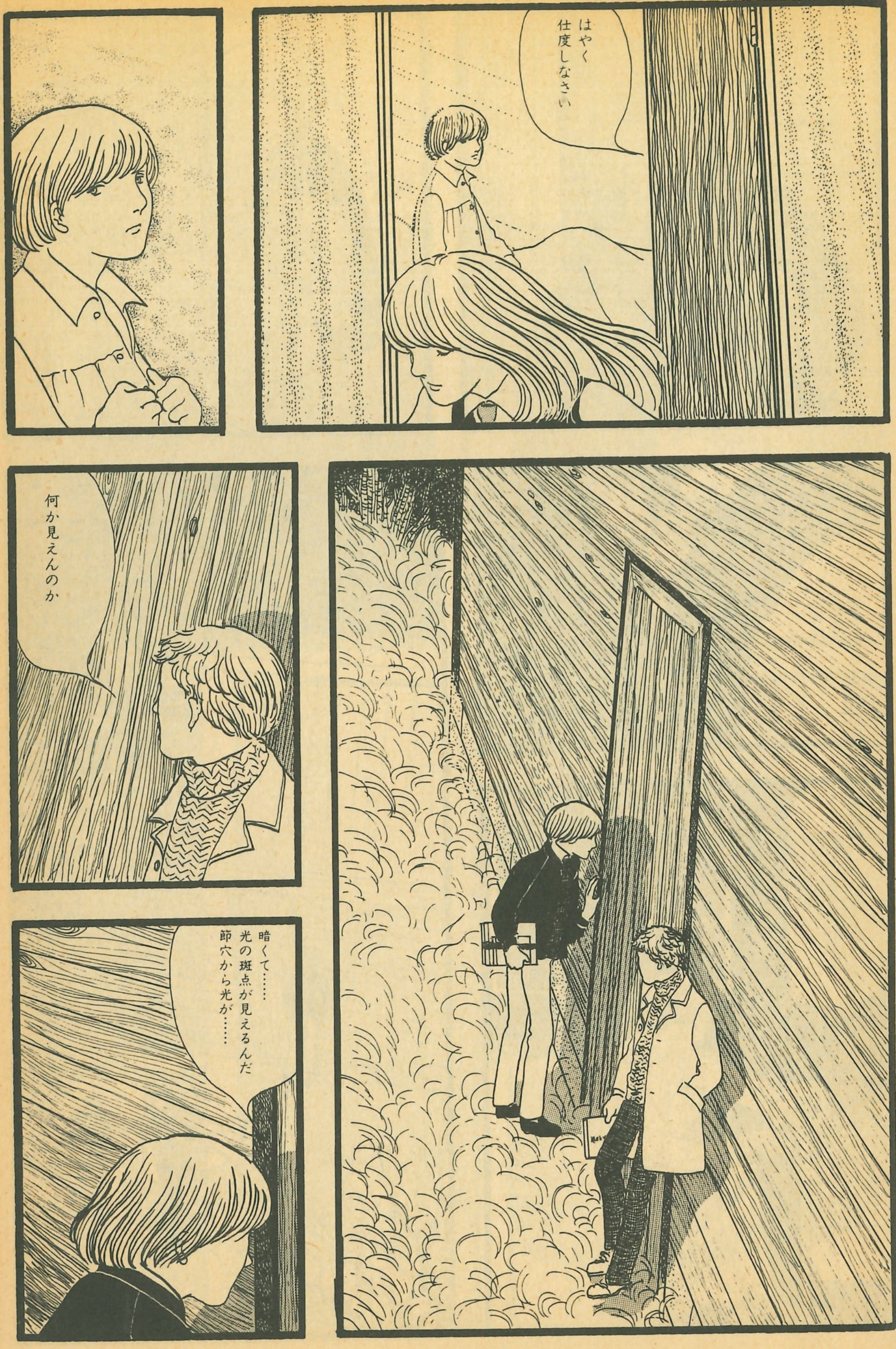
また　あの声に満ちた夜が来る

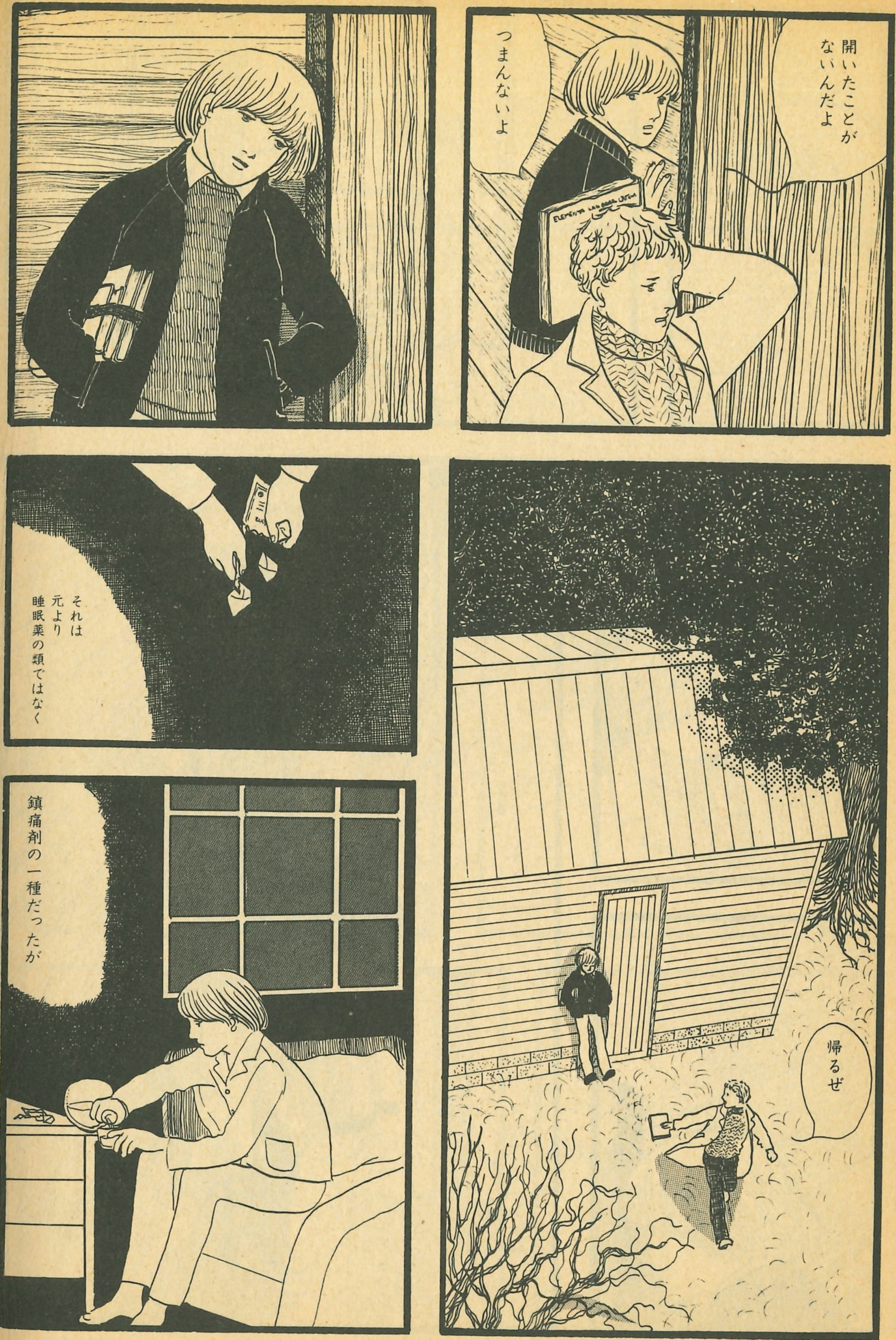

声は
家の中のどこかの部屋から
やって来る
どこか
忘れられた部屋のなかに
生えるかもしれない植物が
泣くような呻くような
くぐもった声が
網目を織っていく
夜々に
葉を茂らせ　花開いていくように
しだいに……


網の目は
ゆらめき　さざめき
部屋の中のあらゆるものにからみつき顫わせていく
埃のように散っては
あとからあとから寄せてくる
朝まで——
THE DREAMERS OF DECADENCE
初夏になると庭一面にひなげしが咲く
いつもの薬はひなげしの花粉を思わせる

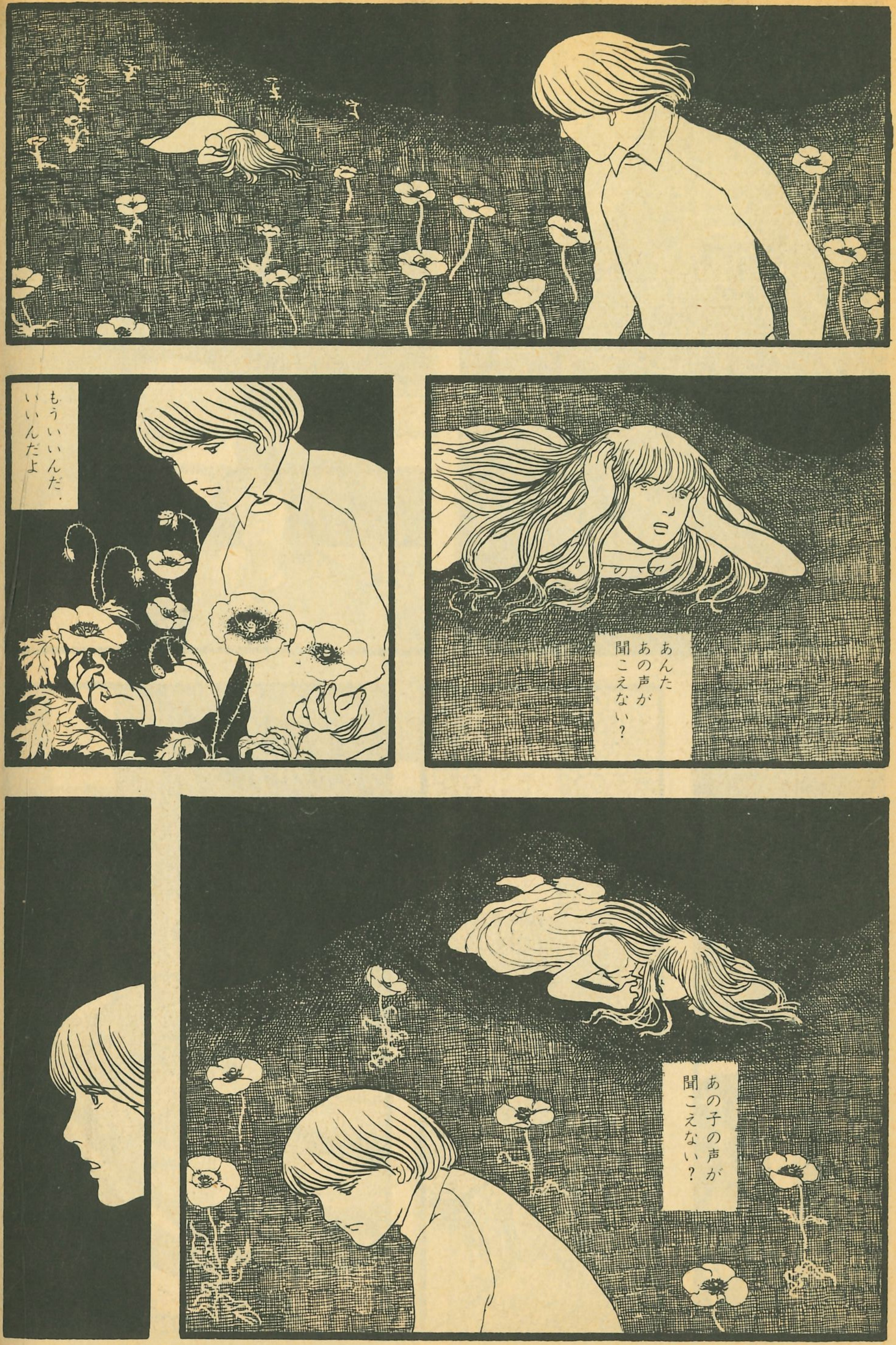
ねえ　おまえ
聞こえないか？
弟の声が
聞こえないかい？


息が詰ってしまいますよ
こんなにかぶって……
身体に
よくないんだから…
楽にして
あげるといいのよ！
そのままずうっといつまでも
眠るの

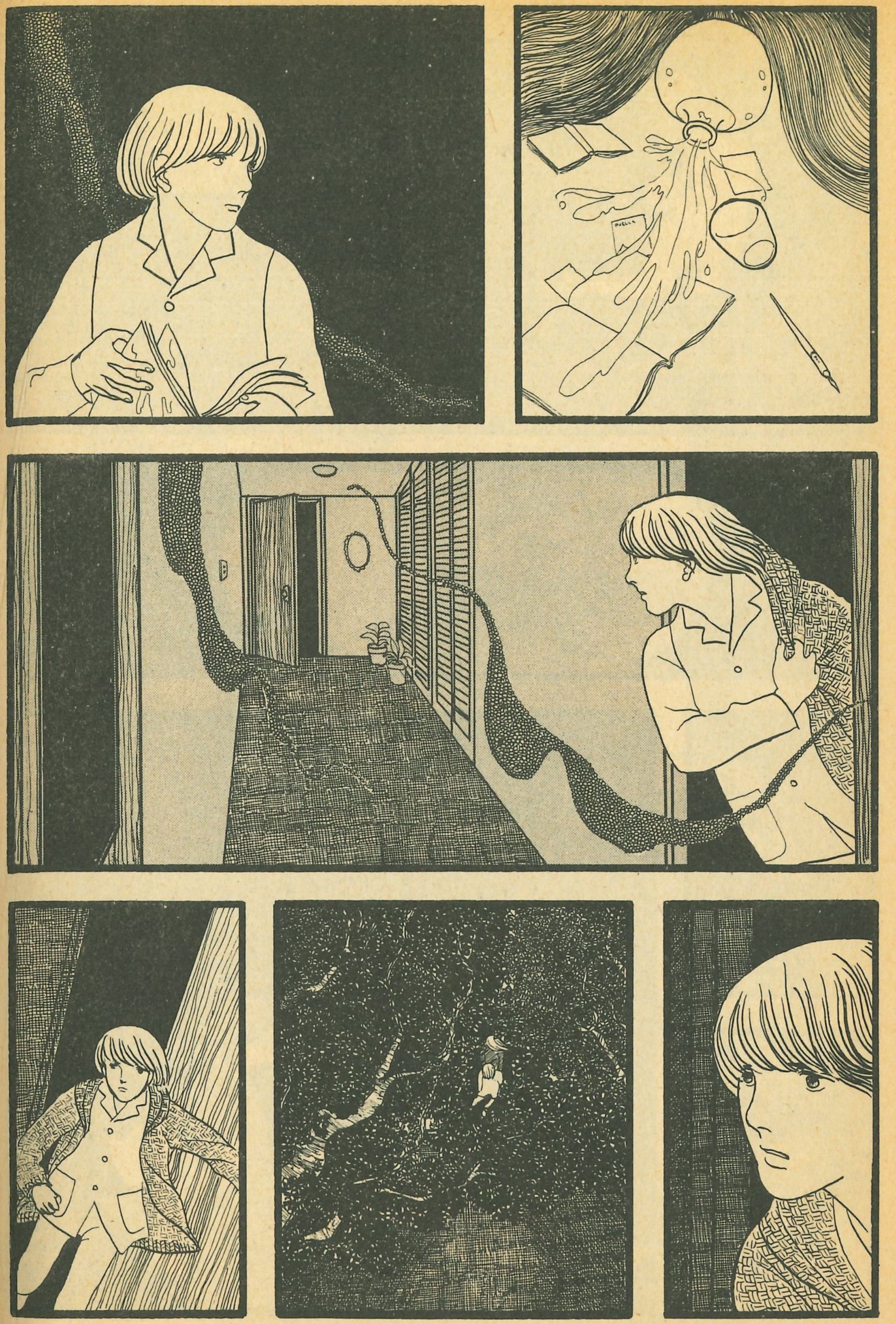

はやく
仕度しなさい
何か見えんのか
暗くて……
光の斑点が見えるんだ
節穴から光が……

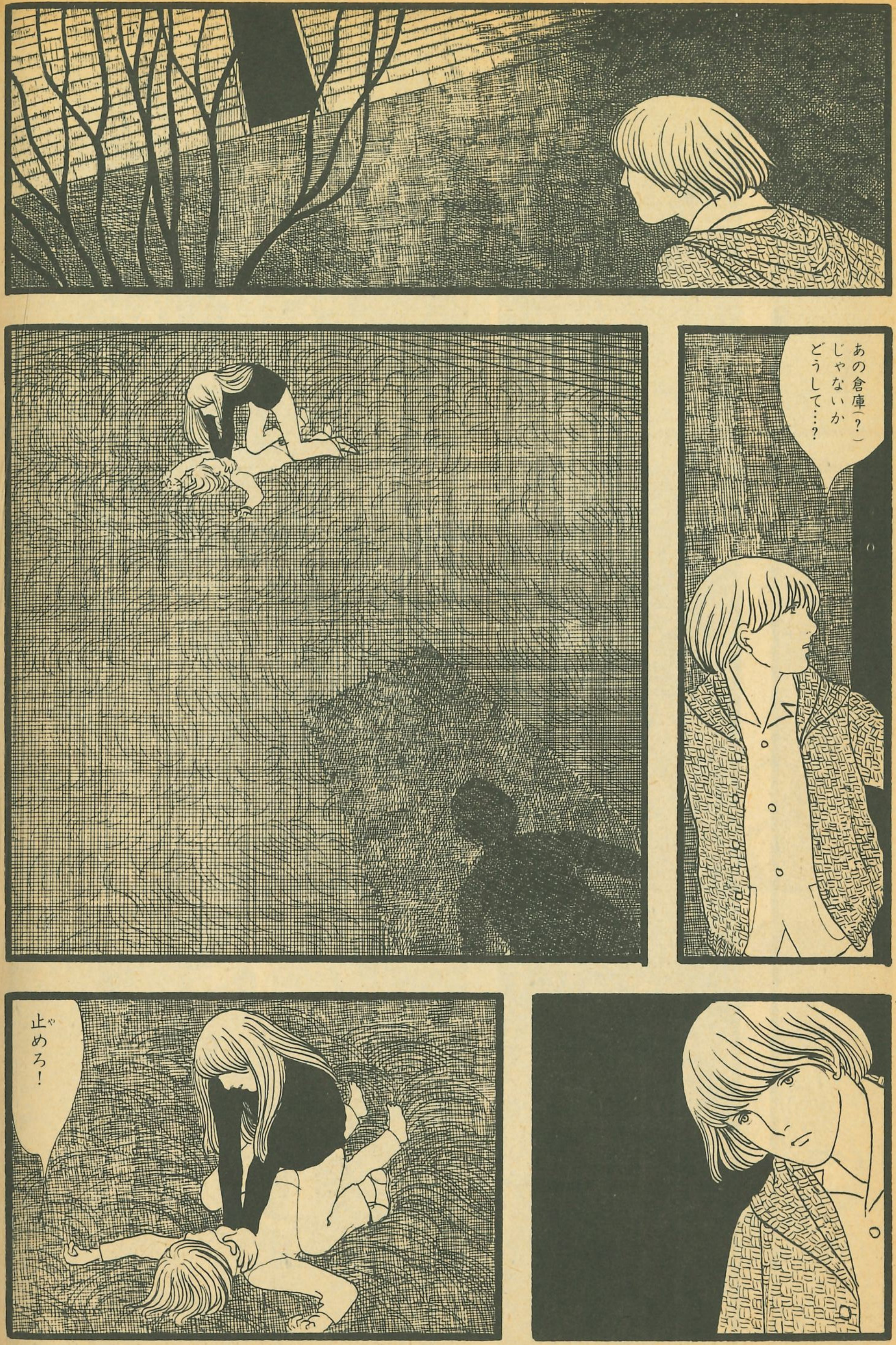

開いたことがないんだよ
つまんないよ
帰るぜ
それは元より睡眠薬の類ではなく
鎮痛剤の一種だったが

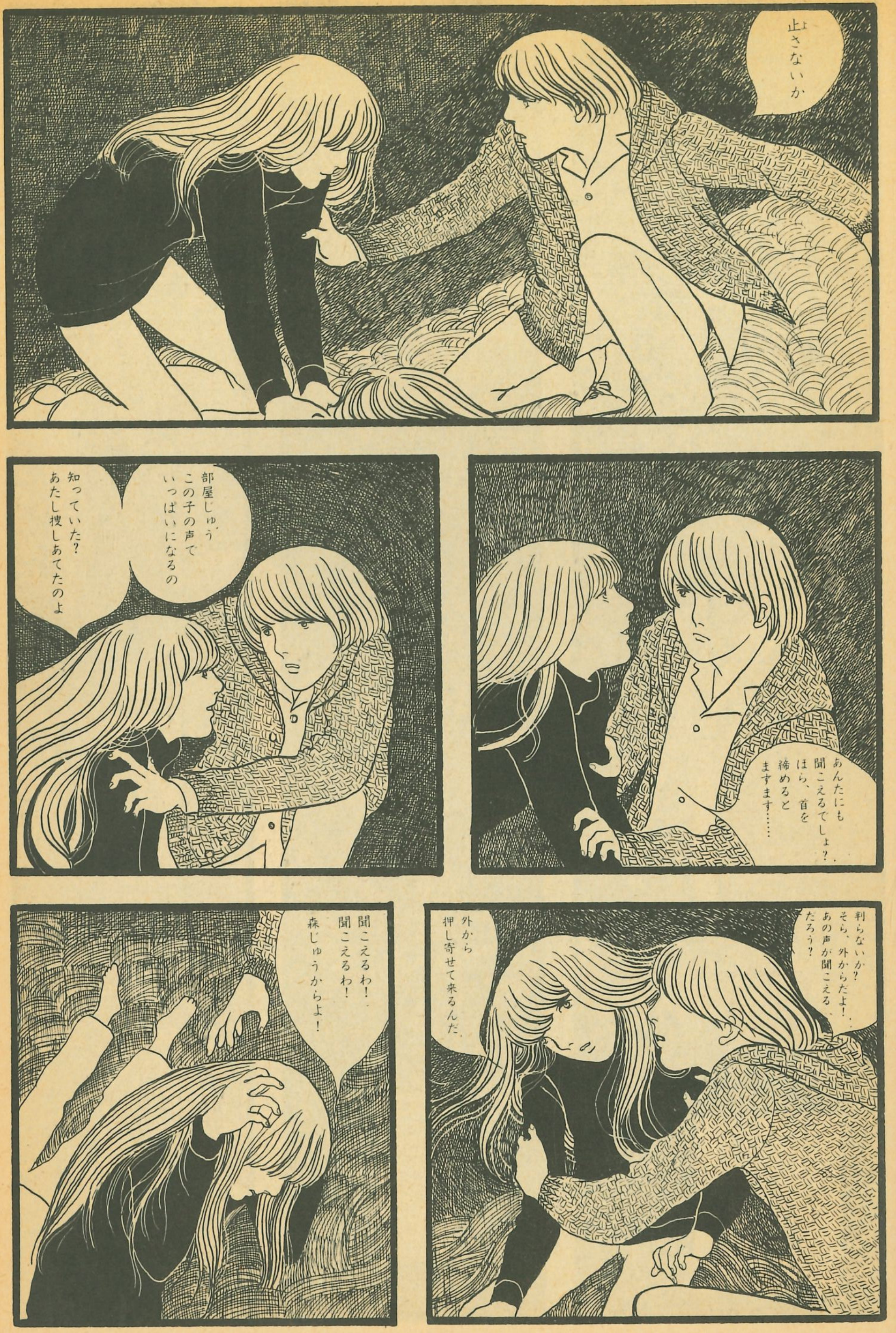
薬を飲むと眠くなる
そして朝、目を覚ますとしばらくのあいだ身体が妙に軽くなって
特有の匂い（ひなげしの花粉と同じように芳香には遠いけれど記憶につきまとって離れない）に浸される
家じゅうがあの声でいっぱいだ
声は網の目をなし
ひとつひとつの目がささめいてあらゆるものを顫わせていく……


あんた
あの声が
聞こえない？
もういいんだ.
いいんだよ
あの子の声が
聞こえない？

おまえ
何しているんだ？
どこに行くんだ？
声がゆらゆら
部屋にかかっている
あ…！

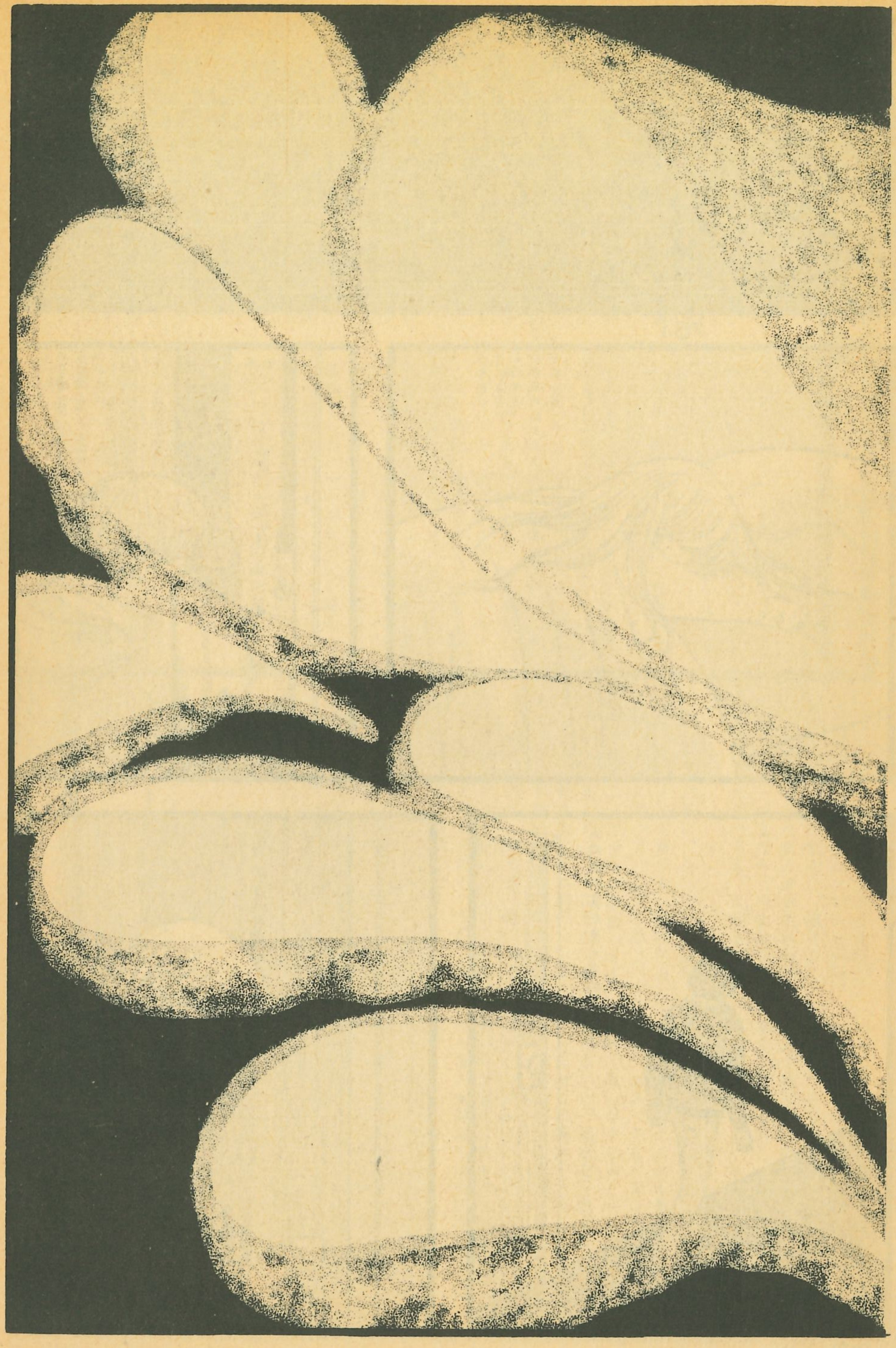


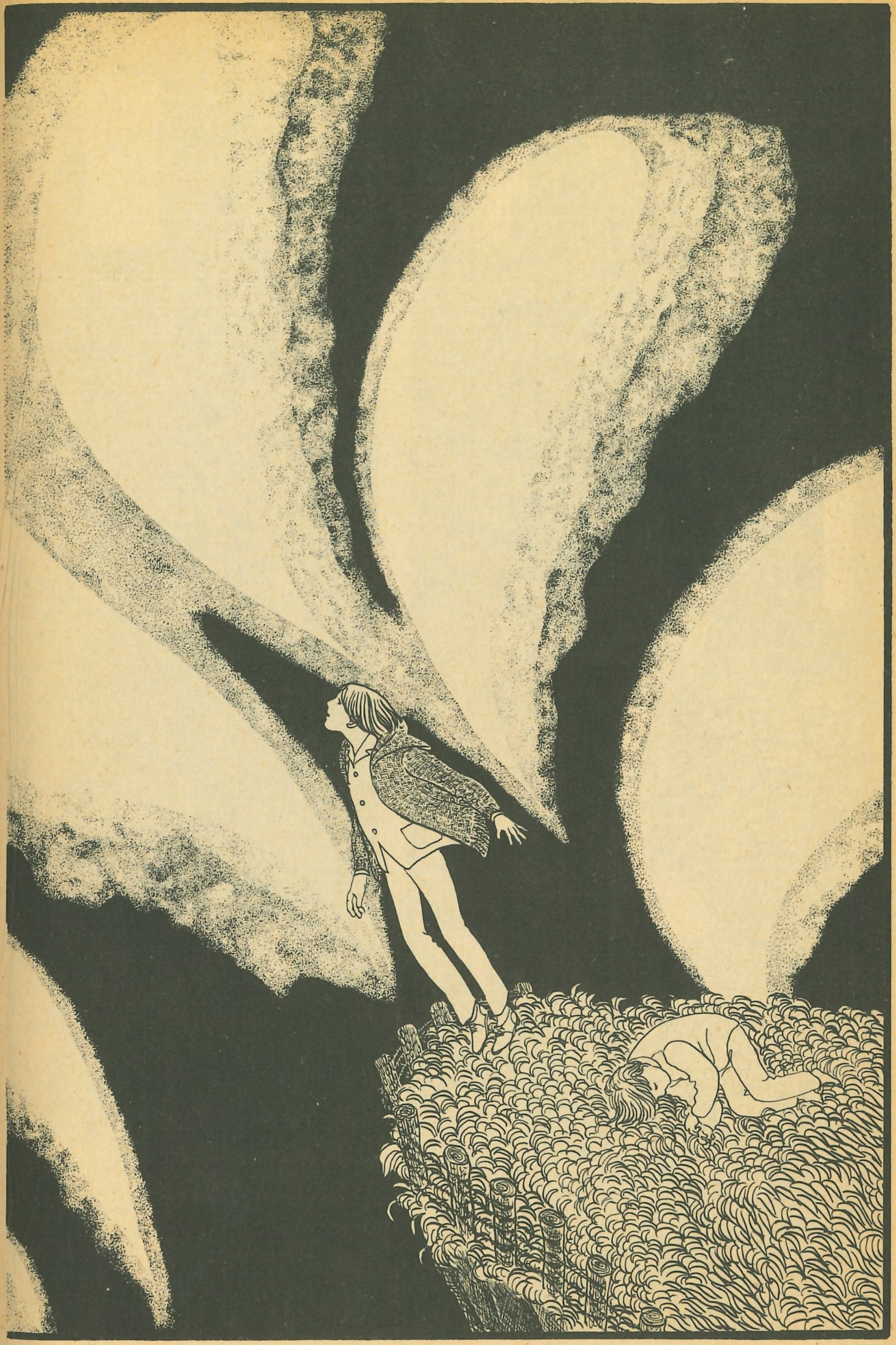

あの倉庫(?)じゃないかどうして…?
止めろ！

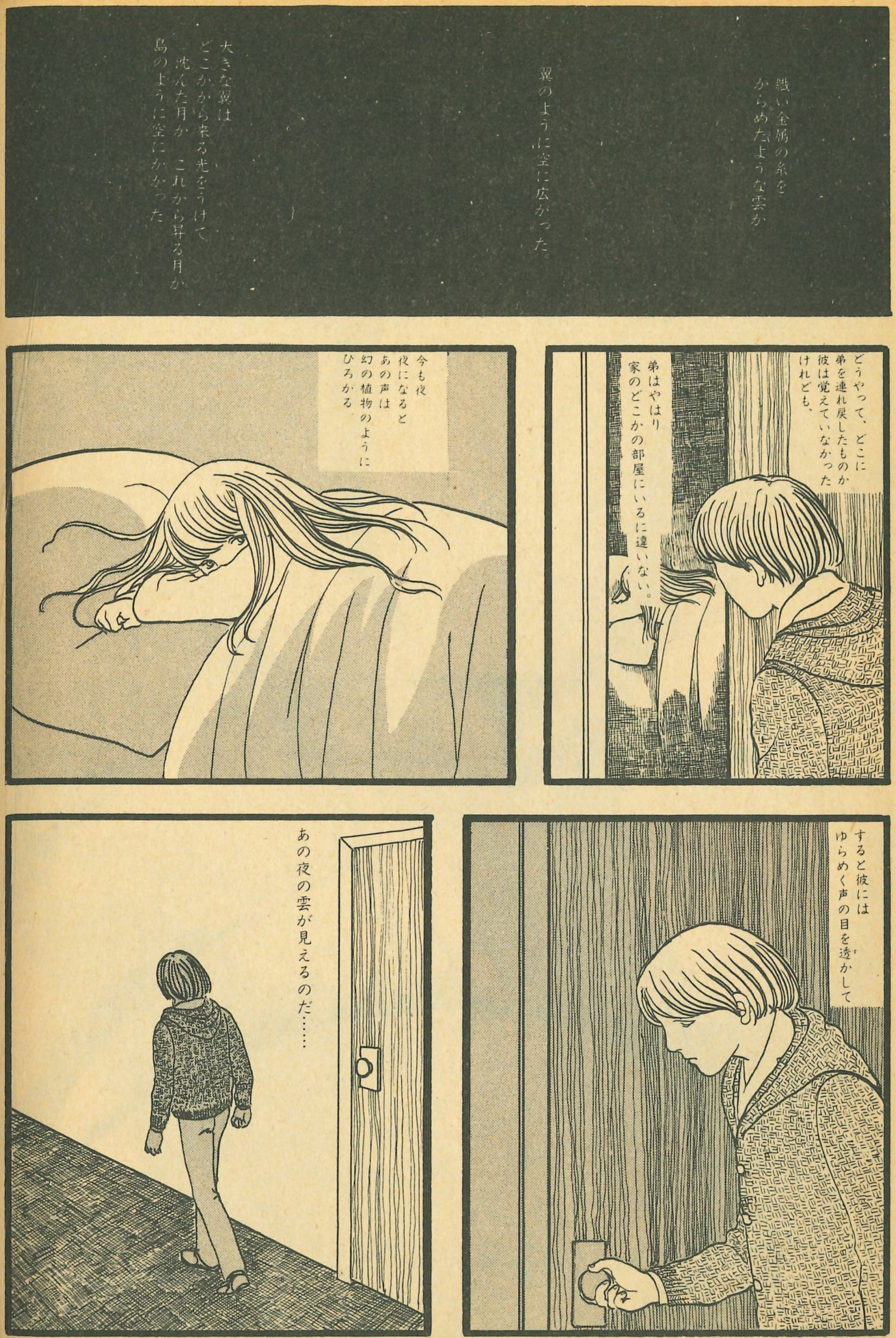

止さないか
部屋じゅうこの子の声でいっぱいになるの
知っていた? あたし捜しあてたのよ
あんたにも聞こえるでしょ? ほら、首を締めるとますます……
判らないか? そら、外からだよ！ あの声が聞こえるだろう?
外から押し寄せて来るんだ
聞こえるわ！ 聞こえるわ！ 森じゅうからよ！

夜の森の樹々の間を
声が漂っていた。
彼の弟の足は
地面を踏んだことがない。
家の中のどこかの部屋で…
弟の上にも
夢がのしかかってくるのかも
しれない、と彼は思った。
(いったい、この子が夢なんか
見るのだろうか?)

―声が消えていく―
弟は眠っているらしかった。
―ああ、道を間違えてしまった。
ここは行き止まりじゃないか…
夜の空が拡がっていく







1978/3/14

松下則之のコラム

読者は神様

○前から不思議に思っていたことがある。いつからマンガ家は「先生」になったんだろう。

文月今日子先生に、この物語の感想をおよせください。感想を村上もとか先生に送ろう。全力をこめてかいて下さっている でこタンにお便りを。etc、etc……。

数えあげたらキリがない。歌手のお客様が神様なら、マンガの読者だって神様だ。その神様が何故、マンガ家を「描いてくださっている先生」と敬わねばならぬのか。大体、力関係も圧倒的に読者優位のハズなのだ。選択権は読者にあるのだから。それとも、こんなに素晴らしい作品をボクらのためにありがとう、といった尊敬と感謝をこめた「先生」なのかな。読者は別に卑屈になる必要はなかろう。マンガ家を先生、先生と祭り上げつつ、マンガスクールやマンガ賞で読者のマンガ家人の夢をあおる。これは明らかに、売らんかなの出版社の戦略だ。読者がその尻馬にのる必要は全くないのである。読者の主体性を出版社に搦め取られてはなるまい。

○先日、驚嘆すべき事件に遭遇した。これに較べたら、「先生」なんてメじゃない。読売新聞5月2日付朝刊の『ヤングジャンプ』広告にいわく本宮ひろし・手塚治虫・川崎のぼるほか、一流スターの傑作勢ぞろい!! 御時世である。とうとうマンガ家もスターになった。これからは、キャーッと黄色い歓声をあげ、紙テープを投げ散らしつつ、マンガのページを繰らねばならぬ。これを事件と呼ばずして、何を事件と呼ぼう。マンガ家をスターと認定したその最初の事例として、マンガ史に記し留めるべき事件である。

○大体、マンガ家は最近表へ出すぎるのではなかろうか。作品を通して読者と関わるのが、作家の本スジだと思うのだけれど。資本の論理がまかり通る世の中だ。致し方のないことではあるのだろう。しかし、そろそろ出版社の論理に対すべく、読者の論理を自覚し確立すべき時期ではありますまいか。冷静に貪欲に熱烈に作品を享受する読者の論理を。いかがですか、読者諸氏。

志村葉子のコラム

少女フレンドは一生懸命

大作家におぶさる保守的な雑誌だそうだが私は週刊少女フレンドが大好きなのだ。その理由は、親にかくれて初めて買ったまんがこれだったから。で、いまだに、つまらないと思うことはあっても、大好きなのだ。

二、三ヶ月前に、久しぶりに週刊少女フレンドでも買うか（別冊の方は割とまめに買っている）と思った。だけど板本こうこさんのが載ってるから、終わるまで待つことにした。どうしてか。板本氏に昔は期待してたのだ。でも本格的にプロになってから、絵が荒れて、崩れて、嫌になってしまったのだ。で、彼女の連載が終わったので買ってたら、また連載が始まってしまった。

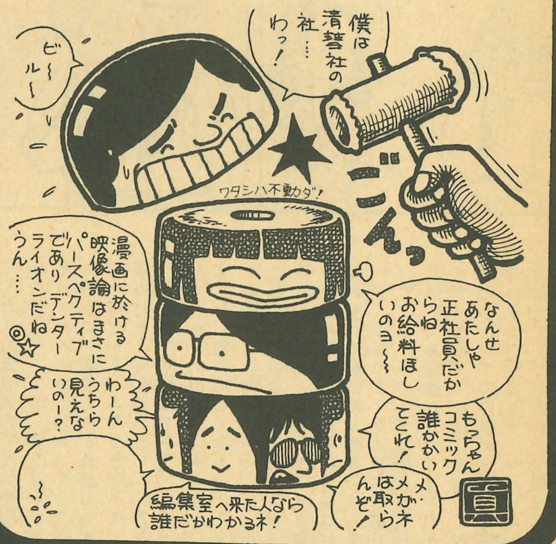
6月20日号から始まった「恋までとどけ！」は、しかし、面白かった。校庭使用権をとりあって中学生の男子と女子がサッカーの試合で決着をつける話。今どき、男子たちと女子たちがぶつかってどうこうという話なのだ。そういうぶつかりあいの中から、男と女の違いを理解し、恋が芽生えていく話らしい。ああ、少女フレンドだなあ。そんな、身につまされる話を載っけるから、マニアに嫌われるんだよ。そんなこと関係ないんだ。買ってくれる層に好かれてれば。ああ。でも、身につまされる話の、思いだすなぁという感じが、面白かった。嫌味なく書かれてるし。

だけどこの雑誌、ときどき遅れまいと頑張るから面白いのよ。カセットテープのレーベルを付けたのには驚いた。最近これをやる雑誌は多いけどまんが雑誌では初登場じゃないの？

あと、情報のページを、「ポパイ」や「GALS LIFE」のコラムみたいにしている。それからまんがスクールの講評文を呼びかけ風にしている。お兄さま風に。

ますます好きになったりして。

VOICE TO VOICE
Letters from Readers



§1 作品としての批評を

大童一心

ぱふは、読者の批評欄を作るべきです。何故いつまでも説得力のない、友人とのおしゃべりみたいな意見ばかりのせるのですか。（VOICE TO VOICEのこと）それを悪いとはいいません。しかし、この本にはそれだけしかないではないですか。それが楽しいことはわかりますが、それだけでいいとはとても思えません。例えばいつも、「すごーくいやな感じ、ゼンゼンテーマがちがうじゃない、どきっとさせられた。」とか、何故すごーくいやなのか。それをちゃんとした自分の文章にしてほしいのです。批評というとすぐめくじらをたてて、マンガは楽しんでればいいといわれる人がいますが、その人達にもわかってもらうために、キネ旬時代の白井さんの言葉を書かせてもらいます。

「一つの映画から自分の感性を通じて受け取ったサムシングは、それが消えてしまわないうちに、自分なりのやりかたで『論理化』し『記録』しておかないと、それは時間のたつに従って薄れ、消滅してしまうのです。（白井）」

そして、映画監督大林宣彦氏の言葉「批評も作品なのですよ」そう批評も「創造」だと思います。マンガを書けない人は批評という作品を、そして、ぱふはその場所を。

（世田谷区千歳台5—14—3　18才浪人）

§2 悪口を言える人ってスゴイ

高橋弥栄子

私は、自分では全然言わないのだが、悪口を聞くのが好きです。特におもしろいのは、Aという人からBという人の悪口を聞き、Bという人からAという人の悪口を聞くこと。私はあまりグループにもぞくさずいつも一匹狼でそれでいてやたらと顔が広いので、そういった悪口を聞く回数が多い。実におもしろい、本当におもしろい。けれど自分で悪口を言うということは大キライで仮に言ったり書いたりしても自己嫌悪を感じる。う〜〜だからへいきで「私は〜がキライだ」と言える人に尊敬の念をいだいてしまう。だからこのぱふの読者の声が、大好きです。もっとスペースをとるべきだ。

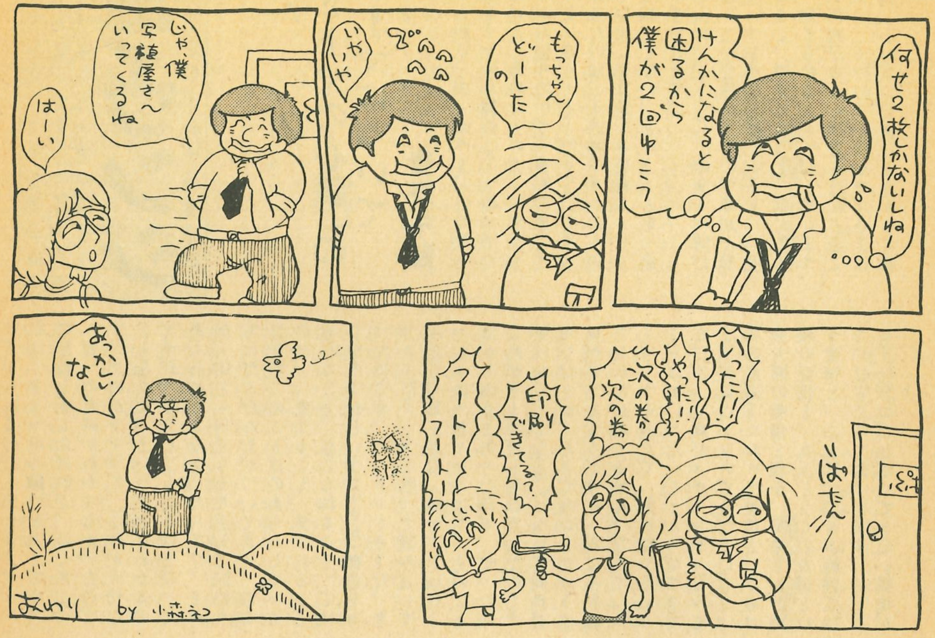
（群馬県渋川市半田1768の24　17才県立渋川女子高校）

fromぱふのおと　5月4日　つくだに？　御つけもの？（野口新菜）　ワッフル2箱！〈栗田美紀〉

fromぱふのおと

5月5日　お土産……オニギリ　三重県からはるばるやって参りました。昨日も今日も楽しかったデス。今日は処分本の整理で指の皮がはげてしまった。〈佐藤日登美〉

もっちゃんコミック



§3 悩みながら読んでます

田中治子

創刊から読んでるけど、すごいねみんな。相変わらずいろーんな意見があって、それを通じてまたあとから別の意見がいっぱいでてきたりして。それはとってもいいことだと思うけど、正直いって時々疲れるんだ。いろんな人の意見読んでて共感覚えて色々考えて、でも、おしまいには、どれがほんとうなのかってまた考えちゃうよ。読者それぞれ感じ方がちがうのだから、あたりまえっていえばあたりまえだけどサ。「○月号の○○さん、それはちがう○○じゃないか」とかいう意見があると、アーまたか、他人のことなどほっときゃいいのにーと思っちゃう。（イヤ、これではいけない?）。怠慢すぎるだろうか!? 私、自称デザイナー兼マンガ家の卵（のかけらにもおよばないかもしれん）で、作家の人たちがいう、作品のテーマは読者が感じとってほしいっていう気持ちよくわかるけど（本当はわかってないのかも…? まだプロにはほど遠いし）…。ほんと、一つの作品が、何人もの読者の手にかかるとテーマがいくつもになって、でもそれが全部ほんとのテーマだっていえるかもしれませんよね（その人にとっての）。んー。また、混乱しそう! こんなこと書くと、じゃ、ぱふなんか読むな!って言われそうだけど、それでもつい手が出るってのは、やっぱりぱふの魅力(?)なのかなァ?? とにかく大好きなマンガこれからも考えながら読みつづけていくつもりです。

（〒175　板橋区徳丸2の5の7　18才　某デザインの学校の1年VG組）

§4 80年代へ向けて

島田朋子

「黄昏通信」よかったあ～。叫びを表出するものとしてまんがのことを考えてます。わたしはまんがが描けなくて涙するけど、同じ叫びを持つものとして、まんがにかかわりたい。まだ今のまんがは自閉（というより内へと召還）したままではないかと思うが。このひそやかな胎動が、何らかの意味でくだけるのを期待します。あっ期待してるだけではいけんのね。そういう状況をいっしょにつくります。じゃ。

（福岡市西区梅林258—6　23才　あそびにん）

♬ウン。いっしょにつくろー!

fromぱふのおと

5月6日（日）　うららかな連休末日、やってきました〝ぱふ〟へ。あっ、人が来た。仕事始まるのかな～。〈馬場伸一〉

§5 ワンパターン映画はやめてよ

青野重夫

最近の邦画は全々おもしろくない。人を殺せば映画になると思ってるんじゃないだろうかと疑いたくなる程人の死ぬ場面が多い。ところが、それを観ている観客はというと、ほとんどが人殺し経験もなく、これからも殺さないまま一生を送るだろうと思われる平和な国民だ。その人たちが人殺しの映画を観にくるというのは、とても恐しいものを感じる。たしかに人を殺すということは、それ自体がショッキングで、映画の要素になりやすく、客よせの材料となる。しかし逆に作る側にしてみれば、これ程楽な話はないわけで、これはもう麻薬のようなもので、どんどんとバイオレンス映画のできそこないのようなものを作っていく。今評判の「復讐するは我にあり」にしてもそうで、人殺しに至るまでの厳の変化を無視して、殺人のくり返しに終始していた。そして観客は、このリズム映画に、一応はなる程と納得して、また毎日の退屈な生活にもどっていくだけではないか。「東京物語」や「荷車の歌」をみた人たちは今どこにいったのだろう。もうそろそろ人殺しはやめて、考えさしてくれる映画にチャレンジしてほしいのです。ちなみに最近みたベスト3は「竹山ひとり旅」「ソドムの市」「バリーリンドン」よ～～。

（世田谷区桜丘5—26—15　飛矢崎富栄様方　20才）

§6 新入りですよろしく

田中雅人

冗談ばかり書いてすみませんね。（本当に…）

この「ぱふ」という雑誌の存在は以前から知っていましたが、買ったのははじめてだったのです。ですから傾向や内容もまだ、はっきりとはつかめておりません。少々入っていきにくいような気がしますが、僕の大好きなマンガの専門誌（それも良識ある）であるだけでじゅうぶんです。自分のマンガを雑誌にのせたいと思っている僕としてはこのような雑誌があるだけでやる気がでるのです。未来のマンガのさきがけとなってほしいです。明るいマンガの未来を信じて。

（千葉県我孫子市寿2—17—9　20才　アルバイト）

ぱふ オピニオン ラウンジ

§7 「トーマの心臓」のテーマについて

妻野千鶴

ぱふ5月号、184〜185ページのあたりに「トーマの心臓のこと」のってたんだけど、あの4人の方々の意見とゆーかお便りの中で一番私の感じてることに近く、そーだそーだと思って読めたのは、大西裕子サンのものでした。(私は買いそびれて2、3月号読んでない、とゆーことを一応書いておきます。)?さんが、「トーマ…」のテーマ何だと思う? て書いてたのですが、私は、ハッキリことばでいうと、「愛すること 愛されること 信じること 信じられること」だと思います。(大西裕子さんと同じように)そしてこの、4つのことばをモーさまは、「翼」ということばにおきかえて描いておられるのだと思います。

私は「トーマの心臓」をよんで非常に感動しましたけれど、はじめこの「翼」の意味がわからなかったのです。これがテーマで、これが大切なことなんだ、ということはわかるのですが、どうしてもことばとなってあらわれてこなかったんです。それが、何ども何どもくり返して読むうちにだんだん形がついてきて、ある日突然このことばのあらわしているのは、「愛すること、愛されること、信じること、信じられること」ではなかろーかという(なぜか)確信をもったのです。あっきっとそーだ、あっそーだきっと、と思って読み返してみたら、第二巻の(確か)P130にくっきりはっきりきっぱり、そのことばがそのままあったので、ぜったいこれがテーマだと私は思ったのです。それから、「トーマ」について同性愛モンだとか、そーでないとかゆう意見がでてるようですが、私は不思議でしかたがありません。なんで「トーマ…」を読んで「同性愛」ということばがいったいどっからでてきてんだ!!(文章がメチャクチャなってますが気にしないでください。)私の意識下において愛情というのは、恋人間の愛情と親子、兄弟とかの肉親の愛情と、友人どうしの友情という愛情と、ことばにできる範囲では3つほどあると思ってます。そしてもうひとつことばにできない愛情があると思います。それは友情の中にはいるのかもしれませんが、私としてはその中にいれたくないので、名前のない愛情として、もうひとつの形をとっています。それを私は異性にも同性にもときどき感じて、(それは憧れなのかもしれません。)ああ、私はあの人が好きだなー…と思うことがあります。友人に聞いてみるとやっぱり、その人を好きだという話しなので、あっ、きっとこういう人がアムールをもってるんだなーと思ってしまいます。(私はユーリもアムールをもっていると信じています。)つまり「トーマ…」の中にでてくるいろいろな愛情は、どれも今私がかいたよーな、人間間の深い愛情のことで、「同性愛」ということばとは全然ちがうものだと思ってます。あせって書いてしまったので、文意もめちゃくちゃになっちゃったみたいだけど、てきとーにわかってよんでください。

(〒020 岩手県盛岡市加賀野1丁目2の10)

§8 「トーマの心臓」のテーマについて

坂本広子

「トーマの心臓」のテーマについて、5月号の大西さんの意見と少し違うことを言いたい! ユーリは翼をもぎとられてた。だから自分には人を愛する資格がない。だからこそ心の底でトーマを愛してるのをどんなに恐れたか。いつもユダを自分に見てた。そしてキリストがそのユダをも愛してたことをとても信じられなかった。聖書なんてただの紙切れだった。でもトーマがこんな自分でも、そしてオスカーもこんな自分の罪を許してくれて愛してくれてると知った時、ユーリはトーマの遺言が理解できた。トーマはユーリがひきちぎられた翼をくれたのだ。自分の翼をユーリにあげるため、トーマは死んだ。(だからトーマは当然天国へ行ってるはずなのだから、トーマの亡霊を昇天させるためにユーリが牧師になったのではないのです。)ユーリはトーマの愛と同時にユダを愛しているキリストの愛を理解したから、生きてる時には語り合えなかったトーマと語り合いたいと願い、牧師になるのダ。牧師になって全ての罪人を愛するためなんて……ユーリはそんなにしゃちほこばっていない。もっと自分の気持に表直だ。〝トーマの心臓〟は命がけでユーリを愛するトーマの愛=キリストの愛のすばらしさ! 誰もがめぐり合える愛じゃないと思う。私たちは悲しいかな、見せかけの愛をよくほんとの愛とまちがえる。

(〒805 北九州市八幡東区前田1―8―2 20才 家事手伝)

from ぱふのおと

とってもちっちゃいビルですネエ――。またひとつ、オリコーさんになりました。ガンバッテチョーダイ、ぱふのみなさん。応援しまっす。〈えんどうたかこ♡〉

§9 よく読んでみようよ

斉藤はるみ

私は、いろんな事いい合うってすごくいいと思うんです。「トーマの心臓」がきらいだとか、好きだとか……けれど、とにかく、読まなければわからないのだと思います。「トーマの心臓」にしたって他の物にしたって私、1回読んだだけでわかった(理解できた)のなんてほんとに少数しかありません。私がばかなのかもしれませんけれども。だいたい、私の場合、竹宮恵子さんや萩尾望都さんの初期の作品など、みな小学校低学年の時に読んだものですから、「もう一度読んでみよう」といつも思っています。パッと読んだだけで「―ああ―いいマンガだ」そんな風に思っても月日が経つにつれて、そうは思わなくなりますし、人それぞれ考え方、感じかたちがうのは当然です。でも、自分の考えを絶対正しいと思うのだけは、あまりやらないでいてほしいのです。

(千葉県船橋市海神町3―119道路公団住宅3―102号 15才 千葉県立船橋西高等学校)

§10 表現することのすばらしさ

福井賀子

春がきたのです。ヒェー! すごいことがおこった。私は綿の国星のすごいのがわかった気がした。春がこなけりゃわかんなかった。冬の間チビ猫はネンネしていた。葉っぱがザワザワいう春がきて大島弓子がラスト見開き2Pの文章でなにいってるかわかった。ほんとはわからないんだけど心臓の裏側にぴんぴんきた。チビ猫の視点は私の中にもあるんだ。ああ、葉っぱがザワザワ……それをながめていると綿の国星ってマンガが春に読まなきゃわからないんだ、春を感じとる神経がはたらかなきゃわからないんだ……って思った。大島弓子先生の夏のマンガは夏に秋のは秋に冬のは冬に春のは春によまなきゃなにもわからないのだ。それは私が季節々々にしか働かない不器用な感じ方をしているからで、**季節がかんじられない時に大島弓子がわかるわけないとも思った。** 今までダサクと思いほうり出してあった綿の国星があまり美しいものだったのでびっくりしたのでここにかいてみた。

吉田秋生さんのすごいことにおどろいた。カルフォルニア物語、ぱふでたしか1位とったと思ったけどほんとに読んでみるまでわからなかった。楽園のまん中でもこれよみたいばかりに別コミをかい、受験勉強のハゲみにしている。吉田秋生さんはこれからの人だ。(今までももちろんいいけど) 少女まんがしかよまないけど、たしかに私は描くことに反映させてしまう。自分はこうは描かないと思う人もいるしこれはかきたいんだ、これこそ理想だっていう描き手もいる。こういうとぜったいナマイキだけど自分のかききれないものを表現する人をみると感動してしまう。あこがれてしまう。

4月号、たそがれつうしんのしょうかいで同人誌は今どこを飛ぶかという文が答えをみつけてくれた気がした。

才能なんかまったくないのはわかっているが「表現したい」ってものがあるんだ。そう考えてる人もたぶんいると思う。

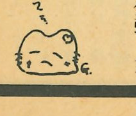
(〒274 千葉県船橋市松が丘1の44の9)

§11 これからじゃない?

AMI

「〝ぱふ〟ってマニアの雑誌ね」ウチのイトコがこう申しておりました。私もやっぱりそう思う。(私もマニアです) たしかにおもしろく読ませてもらってるけど、少女マンガマニアのための雑誌にかなり(80%〜60%、月によってちがいはある)かたむいてる感じ。いっそ少女マンガ専門誌にならんかネ、少女マンガブームだ等といわれているせいもあるんかナァ。(ブームよ早く去れ!!) あっそれから〝綿の国星〟についてなのだけど、1月号をみて松本りょう子さんにお手紙だそうと思ったの、でももう少しみれば反応も色々わかるだろうと5月号まできたわけ。大島弓子ブームというか、マニアが過熱してるわりには過激な意見ないのネ。私はかなりの大島弓子マニアだけど〝ミルクパン・ミルククラウン〟まで今のとこ読んで、ショックだとも大けっ作だとも思わない。只、「ああこれはまぎれもなく大島サンの作品だ」とか「彼女らしい作品だ」と思ったにすぎなかった。好みでいわせてもらえば「黄昏は……」の方がおもしろかった。〝綿の国星〟完結したらまとめて読んでみたいナ、そして、むしろこの作品を契機にすごい作品を描いてくれる様なそんな気が、私はするんだけどナ……!?

(横浜の元町からBusで5分弱 18才 学生)



from ぱふのおと

5月19日 はれ はじめて〝ぱふ〟の編集部に来ました。合田氏にシビアな感想をいただき、顔をひきつらせつつ、どうもありがとうございましさ。みなさん、立教のマン研よろしく… 〈北川怜子・北川れい子さんとは別人です〉 (もちださんを初めてこの目で見ました♡♡) (あたりまえだけど写真のとおりの人ですね♡)

fromぱふのおと

5月22日　試験前のワンパターン　1（ねむ～～アイスコーヒーのむぞ）　2（全然きまよらへんわ）　3（もイッパイ、くい）　4胃っ、胃が!ぐさあっ　〈小川Gai〉

§12 「綿の国星」見直した

福澤智恵子

「綿の国星」の番外編「ミルクパン・ミルククラウン」を読んで、「綿の国星」をちょっぴりみなおしてあげようかなと思ったのデス。私、あのメス猫、好きですワ♡とつぜん毛をさか立てる所なんかリアリティがあっておもしろかった。「綿の国星」読んだけど別にまわりがさわいでいるほどスゴイとは思わなかったのに「ミルクパン・ミルククラウン」は、読み終った時、ポーッとしてしまいました。セリフの流れも良く、萩尾望都先生にまさるともおとらないくらいでしたワ。

そして最後のオチ、母性本能ってのはあんなふうに目覚めるのか……ミルククラウンをかぶり、雨の中を走るチビ猫をかばうかのようにまっ白で大きなケープを広げた様は、まだ若いメス猫でさえも、「母」に見えてしまうから不思議です。

「綿の国星」を、もう一度初めから読みなおしてみようかなと思う今日、このごろデス。

（神奈川県横須賀市長井町県営住宅10の4　15才　県立横須賀大津高等学校）

§13 〝四月怪談〟よかった

川嶋秀行

大島弓子の新作〝四月怪談〟はよかった。大島弓子は、僕にあらためて、生きることのすばらしさ、楽しさを感じさせてくれた。最近、大島弓子がおもしろくない、〝綿の国星〟がおもしろくないという人が紙上をにぎわしているようだが、そういうのは個人の好みである。でも大島弓子の形容はおもしろいではなく、いいなぁという言葉の方がぴったりするような気がする。

前日、竹宮恵子のサイン会及びティーチインに行ってきました。色々とおもしろい話も聞けたし、村上知彦も見れたし、よかったのだ。ジルベールは17才ぐらいで死ぬそうです。

（大阪市天王寺区清水谷町8—23　17才　大阪星光学院）

§14 青春のバイブル——樹村みのり

古嶋玲子

15才で漫画家としてデビューした、樹村みのりは、年間1作～、多くて5作のペースで、地道なスタートをはじめた。10才の時、読んだ「にんじん」は、私に、確かなメッセージを残し、12才では、「跳べないとび箱」の呪文は、主人公と同様に私を縛った。多感な、中学2年で、「ローマのモザイク」「わたしたちの始まり」の2作により、私は、完全なみのりーnistとなる。

オスカルのように、りりしさを持つのでもなく、たぐいまれな美貌の持ち主というのでもない。主人公の少年、少女は、ガラスではりめぐされた心を持ちながら、ある者は、とぎすまされたナイフを持っているかのように、シャープさでそれをカムフラージュし、（たとえば、それは、ロージーであったり、直ちゃんだったり、ビリーだったりする）、ある者は、やさしさのオブラードを、自らのためではなく、他の者に提供する。（それは、森ちゃんだったり、マリオおじさん、そしてアーサー先生）きざですが、樹村みのりは、〝青春のバイブル〟——という気がするのです。

はい。

（〒500　岐阜市六条大溝3—9—17　辻寮内　20才　学生）

§15 〝砂の巨人〟と〝アリオン〟

久保田浩司

マンガ少年の4・5月号の砂の巨人には久々に驚かされました。絵のうまさ、魅力あるキャラクター、そしてストーリーのすばらしさ、どれを取ってもまさに、「少年マンガ健在なり」という感じでした。特に、後編のもり上がりがすごかったですね。諸星氏の新しい世界として、今後もこのような作品を作られるよう期待します。

徳間書店より発行された〝リュウ〟に載せられていたアリオン、何となく新鮮なものを感じさせられました。作者、安彦氏はぱふの読者にはあまりなじみがないと思うが、（なんといってもこれがデビュー作だそうで）その新しい感覚には少々注目に価するんではと思い書いた次第です。

（〒830　福岡県久留米市高良内町花の谷団地4号　16才　高校生）

§16 セブンティーンの作家に注目

小倉知明

福原ヒロ子さんや曽祢まさこさんや津雲むつみさんらセブンティーンなどの作家が人気がないのはなぜだろう。彼女らはコンスタントに良い作品を出しているのに。特に福原ヒロ子さんはストーリーテーラーとしては第一級のマンガ家と思われるのに。彼女は竹宮さんも青池さんも描いていない、レズをあつかわれる貴重な存在だというのに。パフの読者は何を見ているのだ。

（宮崎県都城市甲斐元町5—8　18才　鹿児島高等予備校）

fromぱふのおと

5月29日　あこがれの（?）編集室へついにやってきました。文月今日子先生の直筆のお返事を、ここでもみせびらかしてしまった。たこやきも、おいしそうに食べてもらえて、よかったです!!　〈中野区上高田4～18～1～204　西村緑〉

§17 江口寿史さん大好き!

魚住加代

私、江口寿史さんがおととしの夏のはじめごろ少年ジャンプでヤングジャンプ賞に輝きデビューなさった時からずっーとファンなのです。その時の作品名が「恐るべき子どもたち」です。私は、えらく感激し今から思えばたいしたことないハガキを出したンですが、彼は、そんな私にイラスト入りのすてきな返事をくれたんです。

もちろんそのハガキもデビューなさった時からの作品は、たった1つのがしただけで全部保存してあります。そして、おととしの夏もおわり「恐るべき……」にでていたイッペイや同時に赤塚賞をうけていた作品「八時半の決闘」の犬井さん・猿山ちゃんがそろって「すすめ!パイレーツ」の連載がはじまったのよねェ～!!

彼は、アドリブ・ギャグとかいわれて、うれて人気もずーっと2年やってあがったけど、一歩一歩私から遠のいていくような気がする。まぁ、ファン一人一人にあいさつしてたんじゃ彼、今スランプなのに死んじゃうよね。私がいいたいのは、作品が遠のいていくみたい……こんなこといっていても私やっぱりファンはやめないのよね! じゃ、いわなきゃいい? いいじゃない! いわせてよ! すごいなぁ! の一言ヨ。結局おもしろいのよね、おそまつ! なんのこっちゃ

（〒937　富山県魚津市諏訪町3—7　17才　富山県立桜井高　3年）

§18 有意義なおしゃべりを

倉持享子

人の性格が多種多様であるように好みも様々です。私は、ミーハーであり、マニアであり、ただの読者に過ぎないのですけど（昨今は、ただの読者に徹しようと決めているのですが）私は、萩尾望都さんも大島弓子さんも竹宮恵子さんも一条ゆかりさんも樹村みのりさんも大好きです。〝ちゃお〟も読みます。〝なかよし〟も読みますし、〝セブンティーン〟も読みますし〝JUNE〟も読みます。読まないのは、少年漫画ぐらいなものです。〝大島弓子の世界〟がわからなくても〝トーマの心臓〟なんて好きではなくても、いいじゃないですか。嫌いなら沈黙していて下さい。

好きでもない作品について、あれやこれや批判するのでしたら、好きな作品について、好きなことを書く方が余程、有意義でしょうと思いますけど。

（千葉県柏市布施1358　20才　花でもないOL）

§19 作品のテーマについて

岡本　修

前略　読者の意見を読んでて思うことがあったので書きます。ぱふ読者諸氏にもの申す

OPINION LOUNGE　とか読んで思うのだけれど、「大島弓子がわからない」とはどういうことなのだろう。また5月号の「トーマの心臓」に関する意見で「そもそもあの作品は……」などと述べているのも理解に苦しむ。後者についてはテーマ、テーマと言われてたけど、芸術一般のテーマをどうして普遍化できるだろう。客体（作品）は一つでも、それを見る主体（僕ら）の環境・思考能力・人生体験は全く違うのだから、理解の仕方も千差万別である。それを「あの作品のテーマは——」なんて一般論のように、さもそれが「絶対的」であるように言われても、それは独断と自己陶酔以外の何物でもないと思う。また「トーマの心臓」でも「風と木の詩」でも皆が深刻に悩む程のことはないと思う。哲理めいているだけで哲学ではないのだから。

再び「理解」の問題にもどるけど、ある作家の全作品を読んでもわからない人はわからないし、一つの短編を読んだだけでもわかる人はわかる。けれど芸術の理解なんて自己流でいいんじゃない? たとえ「トーマの心臓」を「現代ソビエトのブレジネフ・スターリニズムを巧みな比喩において倒置した意欲作」なんて風に考えても悪くはないと思う。第一作者の方だって、自分の思ってることがすべて理解されてしまったら、こんなつまんないことはないわけで、やっぱり核心はボヤかしておき、後は僕らの想像力に任せているのだと思う。つまりそれは僕ら次第で0にも100にもなるし、一人一人の感受性の相違による意見のくい違いから対話が生まれるのだから。

結論：たくさん読んでるからって自分だけ理解した気になって人を見下すのはやめよう。わかんないって卑屈になるのはよそう。

最後にひとこと、清原なつのってサイコー。

（191　日野市南平8—16—25　18才　代ゼミ南平寮253号　現役にあらず、大学生にあらず）

5月30日 中学時代のお友達の岡崎さんに、「ぱふには返本の山がある」とお話ししたら、先月号から、まじに買うようになった。！〈かとーさん〉

☆特集COMの時代によせられたおはがき

§20 COMはCOM ぱふはぱふ

尾崎真紀子

このごろのぱふは私自身として独走していると思うのですが、今回のCOMの特集はショックでした（別に香月さんの事を責めるつもりはないのです。私は香月さんが好きなのですから）。このCOMの特集は、COMの時代にCOMを読んでいた人にとっては、とてもなつかしい気持ちで読めたかもしれません。でも今の私達は、よほどマンガの好きであった人達でなければ、読んでいないと思うのです。ちがうでしょうか。読んでいて、何かとってても疲れたのです。大島号から読んでる私にとっては今のぱふは回を重ねるごとに、読みつかれが多くなって来たのです。大島号の時は、同人誌的な所もあり、気楽に読めたのですが、今は、何か気楽に読めなくなり、固苦しくなって来たと思うのです。何か編集部の方々に〝僕らはマンガに対してエリートなんだ〟という気持ちがあるのではないでしょうか？　もっと若い年代も読んでいるんだという事を考えて下さい。ぱふはぱふ、COMはCOMなのです。このごろCOM的な考え方になっているので心配です。COMの取りあつかい方にしたってAgain的なやり方をしたらもっと気楽に読めたんじゃないかなと思っています。そして読者に甘えるなんて事はやめてね。なんかとってもシビアに言ってしまいましたが、これが今私の思っている半分です。もっとぱふの考えを、思想をきちんともって下さい。

（東京都杉並区西荻南1—22—10　16才　学生）

♬なるほど、そーとられてしまったか。でも、あれはCOMの亡霊に引導を渡すための特集だったのです。編集部内でもCOMを知らない人間は多いのですよ。おっしゃるとおり〝ぱふ〟は〝ぱふ〟。もっとしっかりしなきゃ！

§21 銀字塔をめざせ

北原篤

今迄COM、COMとさわいでいた人たちのいいたい事が、少しわかったような気がします。私は一度もCOMを読んでいません。だからかもしれませんが、もっとCOMというものから脱却した方がいいと思います。確かに「まんが」というものを変えた、一つの原点ともよべるものかもしれません。しかし、原点は原点としてとらえられるべきであり、それ以上でも、以下でもないはずです。特集はかろうじて、それわきまえていたようですが、中には原点をそれ以上のものとしてとらえている方もおられるようです。「ぱふ」は今のままでは、turning pointをつくるだけの力はないと思います。しかし、そのうち、金字塔とまでいかなくても銀字塔をうちたてる力を内に秘めている気がします。

（川崎市中原区上小田中1089　19才　浪人）

§22 若き読者から一言

本純一

私は16才。COMは読んだ事がない。COMは確かに大きな存在だったかも知れない。しかし内容を知らない私にはCOMの話は単に昔話しにすぎない。'60年代—学園紛争、ビートルズ、そしてCOM。現在とのつながりがはっきりとつかめない私にとって、それらは単なる歴史上の事実でしかない。思い出話をのせるだけならこんな特集は、（少なくとも私にとっては）無意味でしかない。どうせ特集するのなら、COMを見た事もない読者にも理解できるようにしてほしい（いまやもうCOMはほぼ入手不可能なんですから）。〝ぱふ〟にいやらしい同人誌的性格を持ち込まないでほしい。けれどCOM、一度読んでみたいなァ、本当に。

（大阪市西成区橋2—6—12　16才　灘高等学校）

§23 COM時代の人間デス

高橋康博

〝COM〟という文字を見て、すぐ飛びつきました。私もCOMの時代の人間なのです。あの頃は、COMの発売が待ちきれなくて、前日から何度も何度も本屋に行った記憶があります。その頃のCOMは、ふろくも含めて、現在も全て持っています。貴誌の中で、COMの表紙が1号分抜けていたのが、ちょっと気にかかります。

さて、貴誌についてですが、だっくすの頃、何回か読んだことがあります。しかし、COMに熱中したように、貴誌を買うということはないのです。それは、貴誌の内容がどうのこうのというのではなく、私自身がCOMの時代と変わってしまったからなのです。座談会を読んでいて、あの時代を作った人々が、今もがんばっているのを知り、うらやましくも感じます。

私は、古書となったCOMを大切に、あの時代をなつかしく思いながら生活していきます。ぱふも、何年后かには、〝ぱふの時代〟を築き上げ、なつかしく、その時代を大切にする人々を作り上げてください。

貴誌のご発展をお祈り申し上げます。

（川越市大字今福1017—26坂本荘2—2　25才　団体職員）

§24 COM時代の漫画少女より

河野久子

店頭で「ぱふ」を見かけて、早速はじめて買いました。今まで発行されていたのは知らなかったのですが、〝COM特集〟という文字を見たとたん買う気になったのです。中学生の頃に創刊から愛読していたCOMなのです。その頃私は漫画を描いており、同級生を誘って同人誌を発行していました。その後、色々な雑誌に投稿していたところ、漫研特集という企画に載せたい、という話があり、そこで本を見た人が多勢集まり、50人位の漫研を運営していました。しかし、全国に多く散らばった為、会費や原稿等の収集がつかず、次第に私の勝手でやめてしまいました。その後、COMで私の血は騒ぎ、漫画家への夢はますますふくれあがり、授業中といわず放課後徹夜までして描き続けていました。高校に入るとまた同級生を集めて漫画同好会を作り、楽しくやっていたのですが、ある時、友人関係で漫画に挫折し、その後、あまり描かなくなってしまいました。他にも又、遊びを覚え、漫画を描きたいといつも思いながら、結婚もして今に至っています。だんだんと夢が薄らぎ、ペンを持つ回数も少なくなって今では描いていないのはとても淋しい事です。でも当時の作品や今でも漫画を見ると、また昔の気持がよみがえるのです。そんな時の私は他人から見るときっと一番生き生きしてるのではないでしょうか。

（横浜市中区錦町5、6—613　25才　主婦）

§25 COMにまつわる思い……

内山由美子

COM特集、P11からの表紙とても良かった。あれだけずらっとならべてあると、それだけで何か伝わって来るような気がします。

♬めぐる季節の人の世に
　夏もあります秋もある。冬さえあるに春だけを
　をんなは春を売りまする

というのは真崎守さんの詩で、浅川マキさんが歌っている「死春記」という歌ですが、なぜか急にこの歌が思い出されて、それから真崎守さんのはみだし野郎たちがなつかしく、樹村みのりさんの「お姉さんの結婚」は良かったなぁ……etc.、とりとめのない事をいろいろと思い出しました。昔は良かった!!　なんて言うつもりはありませんが、やっぱりCOMということばは、私にいろんな事を思い出させてくれるようです。嗚呼、のすたるじい。

（新潟県三条市二ノ町281　☆才　教員）

§26 あの時代への羨望

高橋玲子

私は、『COM』という雑誌と直接的な関わりを持った人間ではない。だが『COM』という雑誌の『なんたるか』は、かじった程度だが知っているつもりなのです。（たんなる自己満足で言っている）しかし、こう私達のまわりで『COM』という名が『浮遊』しているのですから、「きゃーっ！私『COM』っていうの知ってるわよ！」と16才のなまいきな小娘が言ってまわるのぐらいはカンベンして頂きたい。そして、ハッキリ言ってしまうと、「なーによ！　あんな古い本の話なんかもちだして！」とあきれ顔でつぶやいた事があったのです。でも、ここでなまいきな私は考えた、なぜ自分はそう言いながら、『COM』の記事（特集）を目を皿のようにして読みあさったのかを。よーするに、うらやましいのですよね。『COM』という時代があった、と言う人達がそして、その『COM』を取りまく熱気が……『COM』の特集ステキでしたよ。読み終えたあとで思ったんです、「私の『COM』って何かなっ」って。

（川崎市川崎区京町3丁目12番1の604　16才　市立川崎高校）

5月31日 こんなせまい部屋からあれだけの本ができるとはオドロキ！ふ〜〜ん、本というものは、どんな所でもできるのだなァー（ははは、才能があれば）〈高野かおり〉

6月1日　バックナンバー買って帰ります。さし入れもってきた人は、まけてくれるんだって！　いくらかなぁ、と思ってたら、450円もまけてもらっちゃった。ワーイ！　風邪をおしてやってきたかいがありました♡　〈4月に、新潟からやってきた石川真由美〉

§27 今こそぐら・こんを

高砂直美

私はCOMを読んでた時、小学生だったので、よく判らない部分が大部分ありました。でも、判らないなりに、印象に残っている漫画がずいぶんあって、むしろCOMが終ってからのち、折り折りに思い出されては時々に影響を受けて来たように思われます。時は常に美化作用をもたらすので、今、安直に他の雑誌と較べたいとは思いませんが、それでも今や各誌花盛りのマンガスクールなどの傾向を見るにつけ、ぐら・こんの幅広さ、自由さが、時折りなつかしくなり、今こそ必要なのではないかとも思うのです。（〒299—32　千葉県山武郡大網白里町北飯塚36—4　22才　ヒマ人）

§28 ちょっと5月号について

小室直美

5月号は、ちょっと、VOICE TO VOICEが少なくありませんでしたか？　みんなのメチャクチャ(失礼！)なおたよりをすご―く楽しみにしているのに、序々に、スペースが減ってきているような気がします。

今回のCOMの特集、私にはあんまりおもしろくありませんでした。COMの時代には、私はまだマンガにめざめていませんでしたから、全くCOMなんていう存在は知らなかったのです。ぱふ（だっくす）を買いはじめたら、やたらCOMとかガロとかあるので、多いと思うんだけど、みんな知っていたのでしょうか？　それから大島さんの特集の再録、試みがすてきでした。（丹羽郡扶桑町南山名字森34　17才　尾北高校）

§29 ぱふがんばれ！ぼくもがんばる

三浦　真

アニメのキャラクターが許されるなら、文包なしにコナンとラナをあげたいところですが……僕は現実を非難するより、ひたむきに理想をつくりあげていく、そんな人達が好きです。

「狼は生きろ、豚は死ね」という宣伝が、特に鼻につくものでもなくなってしまった今であっても「人間として生きたい。」と言える主人公が出現してくれることを期待しています。

追伸　COMの時代、とてもおもしろかったですよ。COMが出版されていた当時、僕は小学生でしたが、創刊号だけ読んだことがあります。田舎にいたもので第二号以降は手に入れることができませんでしたが、それでも東京という都会であれだけエネルギッシュにまんがが追及されていたことを知り、何か自分の指標ができたような気がしたものでした。ぱふも負けず（外的諸状況に）にがんばってください！

（〒181　三鷹市井の頭1の24の19泉マンション305号　18才　予備校生）

☆まんが作品によせられたおはがき

§30 森雅之さんの〝笑顔〟

松風裕美

私、78年12月号から「ぱふ」(だっくす)を買いはじめたから、よく誌面に「森雅之」という名前がでてきたけれど、まるで興味なかったの。でも初めて森雅之さんの作品に出会って、感激。一枚のイラストが、こんなにヒトをひきつける力があるなんて知らなかった。一見無雑作に描かれた線が、ベタが、作品のイメージに大きく作用している。特に132ページの笑顔。変にかざり立てることなく、まっすぐに私のムネに伝わる。日ごろ少女マンガのきらきらしい笑顔しか知らない私にとって、森さんの笑顔は、新鮮で初めて本物にであえた気分。「ぱふ」を開くたびに森さんのイラストじっくりみて、いつしか、つられて笑えんでいる私に気づく。

編集のおにーさま、おねーさまがた、森さんのイラストを、あのよーな上質な紙に上質な印刷でのせていただいて、ありがとうございます☆　またやってくださぁい❢

(〒943　新潟県上越市北城町一丁目5の15　17才　直江津高校)

♬森雅之特集の載っている'78年11月号も買って下さい。よろしく(わ～CMじゃ)。

§31 編集室で徹夜した少年より

菊川幸夫

先日は2日もそちらにいすわってしまいどうもおさわがせしました。持田さんにはおすしをどうもありがとうとお伝えください。話は

まったく変わりますが、柴門さんのまんがおもしろかったです。大田サンにキスされた後で「身体に気をつけろよ」というときの原田クンのてれっぷりがなんともいえず心に残りました。

表には書きませんでしたが、もしかして今号の中でいちばん良かったのは「COM」の中での真崎さんの文なのかもしれません。ぼくもちゃんとゼンマイをいっぱいにまいて〝GOFLIGHT〟！（P47の2段目の4行目「申しぶんない」が、「申しぶんなり」になっていますが、誤植のことはとやかく言わないことにしましょう。一度編集部をのぞくとかわいそうになってしまう)。

ところで「苗木を越えて」でヒロインの名が〝大田薫〟となっていますが、どこかで聞いたような名ですね。意識してつけたのですか？

ぱふの編集員のかたがたは写真うつりがいいですね。香月さんはもっともの静かな美人かと思っていましたが、どちらかといえばおもしろいという感じでしたし小川さんもあんがいふけているのですね。でも写真より男まえでしたよ。

才谷さんともう一人の方（やのさん？）たん生日おめでとう！

（〒347　埼玉県草加市花崎224　16才　埼玉県立不動岡高校）

♬あのときはゴクローサンでした！

§32 K先生ひどい！

君島千鶴子

蔵前さん、お願いですからもう「K先生の講義」やめて下さい。なぜあんな残酷なことを、さも正当そうに開き直って書けるのですか？

5月号にのっていた、たった7コマのある漫画を見てわたし怒りにふるえてしまいました。

作者は何が言いたくて、K先生を書き続けているのかわたしわかりません。

もしかして作者は、正義の味方や善人に対するコンプレックスを持っているのではないか、とさえ思えてしまいます。お願いですから、あんな悲しい話、もう書かないで下さい。

坂口尚さんという漫画家、つい最近知ったのですが、大変興味を持ちました。もしよかったら、「ぱふ」で、彼のことを少し大きくとりあげて下さいませんか？

(横浜市港北区日吉3―18―15　19才　とある女子短大の学生)

§33 まんが倶楽部読後感

早川民夫

ぱふまんが倶楽部の『火曜の夜と水曜の朝』は面白い載け方がしてありましたが、こんなミスにめげずに頑張ってほしいですな。作者、編集者とも、もっとも編集者はこの程度のミスはなれているでしょうが。読者もなれてます。

『寒雀』は最高によかった。字がないのがよいですな。

黒田君の漫画はプロ級ですな。このままでもプロとしてやって行けるんじゃないでしょうか。

大島弓子特集再録はよかったですな。ちょうど78年7・8月号から読み始めたので、6・7月号以前は、読んでなかったのですね。幻の特集が読めて得したような気分です。今後もどんどん再録してください。発売日にまに合わせるのは、なんたって手抜きですよ。

(〒478　愛知県知多市日長下田97　31才　無職)

●まんが家志望の諸兄へ

ぱふ編集室にて直接皆様の作品を拝見します。日時は毎週金曜日の午後2時からに限ります。必ず事前に電話をいれて確認をとってからおいで下さい。力作を待ってます。

※「会員募集」及び「伝言板」へのお便りは、必ず官製葉書に180字以内でまとめて、表に「会員募集」又は「伝言板」と朱書して下さい。「情報」の場合も、200字程度で記事を書いていただけるとありがたい。

☆その他の本誌の内容についてのおたより

§34 サンデーを迫害しないで

匿名希望

なんといったらよいのか、″今月の話題作″などのコーナーでは、特集作家や、話題にのせて、いつもきまった人しか喜ばないような作品ばかりでてると思う。つまり、このようなコーナーでは、全般にわたって、まんべんなくよんでいる人が、いろんな個性を選ぶべきだと思うのに。いつも、週刊○○からは××が良い、悪いではおもしろくない。というところで、パフにはサンデーをよんでる人がいないのではと疑いたくなる程、サンデーを迫害している!「おやこ刑事」「ヒット・エンド・ラン」「男組」「赤いペガサス」「番外甲子園」「ファントム無頼」など、話題作がたくさんあると思うのに……。

ところで、伝言板の「春のレクイエム」というのは、私の記憶では大和和紀の作品ではないかと思いますがどーですか?

(神奈川県相模原市東林間7—32—8 19才 浪人)

§35 樋川さん大西さんありがと

石井信子

『ぱふ』って、怖い!! だって何気なく書いた文が載ってしまうのですもの。油断ならないわ。ところで5月号の「ぱふオピニオンラウンジ」を読んで感激してしまった。私の筆の足りなさを補ってくれるような文章が2つも載っていたのですもの。わかっている人はわかっているし、人にはそれぞれ好みがあるのだしと思って「トーマの心臓」のことで心を痛めるのはやめましたわ。でも「トーマの心臓」に何も感動しない人って私、どういうことに感激するのかナァと心配になってしまう。ゴメン……。

ところで5月号のP185で私の名前が『?』になっていたのは???……まっさか私、名前を書き忘れたのでせうか?……でもそのおかげで強く生きてゆけるわ。名前が載ってしまったら外を歩けないよォー。

(豊島区長崎1—14—10 22才 文教大学4年)

♬ヒヒヒ。今度は載ってしまった。

§36 真崎さんの表紙はステキですよ

川口祥代

4月号の「Voice to Voice」に、どなたかが、「真崎守」さんの″表紙″が良くないと書いておられたけど……。ひど〜い!! 私、気に入ってるんだけどナ。絶対やめないで下さい!! ベスト雑誌は″ララ″にゆずってしまったけれど、表紙は絶対、貴誌が勝ってます!! そりゃ、山岸涼子さんや、大島弓子さん、大矢ちきさん、内田善美さんたちの表紙だったら、きれいでしょうが、らしくないじゃありませんか!! 「真崎守」さんの表紙が本にあっていて最高だと思うけど……。

(〒664 伊丹市千僧2—22 22才 大学生)

§37 作品と友

植原みゆき

ぱふ5月号の湯田伸子さんの大島弓子グラフィティー、とっても素敵でした。作品そのものを分析してみるのもいいですけれどマンガとそれを読んだ時期の個人的生活状況の決して切り離せない関わりを語るこの文は、そのまま私のものとして、心にしみます。

大島弓子の作品を読んだ後の感動と″自分の中にある感性をその作品の中に見いだした時の狂おしいような共感は、それを分かちあう友人を得たという喜びと重なって私の中に存在したのですから。

素晴らしい最後の文は大島弓子の作品に関わる生活を持ったことのある人々みんなの思いのような気がします。大島弓子特集Part2期待します。

(東京都小平市花小金井5—517 18才 学生)

§38 再録特集ありがとう!

吉村美幸

大島弓子氏の特集を再録していただいて、どうもありがとうございます。あの時何故か、さんざまよったあげく買わなかったのがくやしくてたまらなかったのですが、このような信じられない形で、またまた読めるなんて! ぱふだからこそできるのだと、喜んでいます。つきましては、あの倉多江美氏の特集も、またあのような形でだしてもらえれば全国の涙をみたファンも喜ぶことと思います、私も、喜んで買わせていただきます。来月のユーミン PART 2、楽しみにしてます。

(福岡市南区長丘3丁目1の34 〒815 19才 店員)

♬特集・大島弓子の再録は大好評でした。あの頃からの″ぱふ″ファンの人にはゴメンナサイ。

§39 可能性に期待

高田美貴

皮肉のつもりではないのだけど、この本ってまんが以外はおもしろいと思ってしまう。この大きさでまんがを載せるのって、ちょっときついのです。しかも投稿作品を1ページに4枚分のせるのですもん。それでも大きい本ならいいけど、この本小さいからせっかくのった人もかわいそう。なんか方法がないのかしら。いまだ試行錯誤の状態のようなので仕方ないかもしれないけど、この本のめざす目標がわかんない。混沌としていてまとまりがなさすぎるのです。あんまり一つの方向をめざしすぎるのも問題だけど、これでは何がいいたいのかわかんない。いいものと悪いもの(こういういい方ってすごく主観的すぎるけど……)が極端にあって、ごっちゃ煮になってるみたいです。最も、今一番雑誌の中では可能性を感じるのですが……どうぞ期待を裏切らないで下さい。

(〒836 福岡県大牟田市上官町4—48 20才)

♬文庫本サイズのコミックスが出る時代。文庫本は本誌の$\frac{1}{2}$。小さくても載った人は喜んでくれていると思います。もちろん大きい方が良いに決まってますが……。

§40 胸踊る気持ちよ

光本真弓

書店でなにげなく「特集萩尾望都」につられて買ったけど、特集自体はたいしたことなかったけど、ここ6年ほど、マンガに御無沙汰していた私にとって、知らない雑誌が、ベストテンの大部分であり、まだ読んでいないマンガが、空の星の数ほどもあることをこの本は教えてくれて、マニアのマニアたるイヤミも全編あふれてるけど、ひさしぶりに「ウヒョヒョ」と胸踊る気持ちを味わさしてもらいました。皆が認めるベスト作品をこれから初めて読める私の幸せ。皆がワーストと呼ぶ作品、雑誌を、心ときめかせ本屋で立読みする自分の姿を想像すると、自然に顔がニタニタしてくるのをどうしようもできないのです。

ベストもワーストも、マンガはそれなりに、ステキなのです。それは音楽が美しいのや、大作家(と文芸評論家に言われてきた人)の文芸作品の研究が疲れる、苦しいものである、ということと同じくらい、あたりまえのことなのです。

(東大阪市横沼町3丁目13—1 20才 大学生)

§41 TVヤマト2が終わった

相多孝子

「宇宙戦艦ヤマト2」が終りました。あれは悪い話の見本みたいなものです。キャラクターが自分で動かないのです。作った話にあわせて動いたのです。だから島君が宇宙にほうりだされた時、(3月17日「宿命の対決」)雪は「島さあん!」とさけぶ(いつもは島くんなのに)ばかりで助けに行こうとしない。テレサが助けることになっていたからです。PART1の雪ならきっと島くんをおいかけたと思うのです。最初のうちは威厳のあったズオーダーも最後の方では幼児向け番組の悪者と同じく勝利のバカ笑いをして「オレは悪者だぞー、強いんだぞー」(これはヤマトの戦いを正当化するための強調?)と言うくせにテレサが近づいた時おそれおののくばかりで何もできない。(何かしたら時間オーバー)……うそだ!! ズオーダーは何か行動したはずだ!! デスラーが一番彼らしかったのではないかと思います。(古代との対決のとき、よかったなあ)……テレサではじまりテレサでおわったヤマト2。ヤマトは結局、島とテレサを会わせたきっかけで、テレサは島に会わなかったら宇宙のために死んだりはしなかったのでしょう? プロデューサーの西崎さん、あれが宇宙愛(う、はがうくセリフ)なのですか。私高3のくせにわからないわ…。

私これでもヤマト好きなのですよォ! 特にPART1が。ところでみなさ〜ん。機動戦士ガンダムはさいこーですよおーっ☆!!みて!みて!みてぇーっ!!

(〒240—01 神奈川県三浦郡葉山町一色1415 17才 横須賀市立商業高校)

伝言板

●マン研「あにゅある」会員（含、購読）募集中。50円切手同封にて御連絡を。（〒982−02仙台市茂庭字人来田山47の161 DCの16高橋）

●女の子のサークル"DREAM・LAND"です。マンガ・イラスト・ポエム・童話・アニメの好きな人全員集合!! 詳しくは50円切手同封で。（〒612京都市伏見区深草中ノ島町41の8 山崎方 秋篠杏奈）

●漫研「えおみたか」会員募集！ なんと現在8名。青コピーにへばりついているみじめな会。でも個性あふれる自由な家族的会であります。是非参加して下さい。ストーリーマンガ中心の会です。（〒016能代市東町11番6号 越後谷正子）

●小説・ポエム・イラスト等を描くの好きな人、ミニコミ「トランキライザー」を読みませんか！ 切手80円送って下さい。（〒133江戸川区東小岩4の4の6 新井康之）

●漫画研究会"COSMIC"。漫画が好きでやる気のある人を望んでいます。誰か入って!! 50円切手とカット同封の上ご連絡下さい。（〒240横浜市保土ヶ谷区新井町340千丸台団地1310 樋浦由美）

●漫画研究会「Vampire」会員募集中。カットと50円切手で左記へ…。（〒073−03北海道歌志内市神威桜ヶ丘S51の1の8持田様方「スタジオD」内 秋月 翔）

●マンガ研究会"スペシャル"会員募集！ 会費3ヶ月500円。月1回会報発行。不定期会誌発行。まァ一言で言ってしまえば同人誌。商業的な面は少ない。自分の言いたい事をそのままマンガにしようというのが目的です。（〒132江戸川区松島2の20の24 島田恵子）

●マン研「デス・ローデス」会員募集。無限の可能性を秘めた発展途上のマン研です。人間でさえあれば文句はいいません。うでに自信のある方いらっしゃいませ!! 入会希望者は50円切手とカットを同封の上左記へ!!（〒963郡山市麓山1の5の39 佐藤方 七瀬 遙）

●会員募集マンガ研究会。18才以上の方でヤル気と暇のある方。マンガの描ける描けないは問いません。詳しくは50円切手同封の上連絡して下さい。（〒125葛飾区青戸2の18の9 金沢恵子）

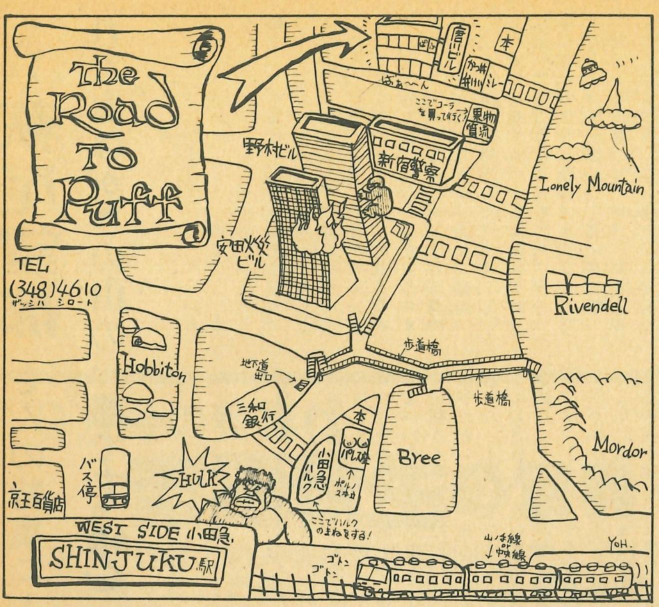
●漫画研究会『あむ』。ストーリーマンガの描ける人なら誰でもいいです。会員は少ないですが、やる気まんまんです。会員が少なすぎて会誌ができません。カットと50円切手同封の上。（〒535大阪市旭区生江3の16の19 勢 亮二）

●今度、"今、歌謡曲を僕たちの手に！"の名のもとに、歌謡曲（日本人による日本人のための音楽）評論中心のミニ・コミ誌「あなたがわかってくれなかった歌謡曲」を作ります。現在、スタッフ・会員・購読者を、大々的に募集中です。詳しくは、往復ハガキで連絡を！（〒184小金井市貫井北町1の24の13ゆたか荘内 梶本 学）

●会員募集、漫研"我楽多"。低レベルですが"ぱふ"に負けないくらい漫画を愛する同人誌を作りたい！ 50円切手とカット（手紙だけでも可）。（〒074北海道深川市一己町中ノ沢 大塚祐貴子）

●漫研「トワイライト」会員募集中。会員8名。平均年齢15才。やっと3号を出したばかり。50円切手とカット同封で連絡を。案内書送ります。（〒678−02兵庫県赤穂市南宮町5−4 木村真由美）

●満研「ぱろ＊らん」第1期会員募集中。ストーリーまんがの描けない方、カットしか描けない方、いいじゃありませんかマンガが好きであれば…いっしょに遊びましょう!! 希望者は50円切手とカット数点同封の上。（〒535大阪市旭区赤川1の2の11川本方「ぱろ」）



来る前に必ず電話してね！
新宿区西新宿6 3 2唐川ビル

会員募集

★交流会募集。美唄南高内漫画研究会『MUTATION』では交流会を募集しています。漫画・アニメ・ポエム等を取り入れ20頁程の青コピー誌と肉筆回覧誌を発行しています。なるべくなら同じような高校内の漫研と。（〒072美唄市東三条北二丁目 大山明美）

★木原敏江先生のF.C.パロディサークル、他の所在地を知っている方、どーかおしえて下さい。お礼はのちほど。（〒233横浜市港南区日野町2943 明智宏子）

★月刊OUT'77年12月号を譲って下さい。お礼はカラー復刻版"超人ロック"VOL1・2。もちろん送料当方負担。譲って下さる方はハガキで御連絡を！（〒800−02北九州市小倉南区下貫藤田町1545−15 藤田 修）

★月刊マンガ少年'78年1月号から'79年4月号までを束にして買って下さる方ご一報下さい。場合によりバラ売りもします。往復ハガキで連絡を。（〒353埼玉県志木市柏町6の14の23 奥河内秀子）

★'76年から'78年までの少女漫画誌をお譲り致します。週マ、週マ増刊、プチマ、別マ、デラマ、別マ増刊、花とゆめ、週コミ、別コミ、週フレ、週フレ増刊、別フレ、リリカなど、200冊以上。原則として定価の半額＋送料ですが、破損の多い物は多少値引きいたします。先着順、お一人一冊限りですので、第三希望まで書いて往復葉書で御連絡を。（〒237神奈川県横須賀市船越町2の43 仲田美香）

★求ム!!「回転木馬」。大矢ちきが"りぼん"で連載していたものです昔のものですがあのころは単行本になるものと思っていたのにクソッタレめ。だれか持ってたら売って下さい。マンガについて話してみよう。あいうえお。（〒461名古屋市東区東二葉町28 後藤安代）

★一条ゆかり先生の「5愛のルール」をどなたか譲って下さい（50年5月号〜12月号"りぼん"）。全部でなくても一号分でも結構です。送料はこちらでもちますし、お礼は相談の上で…。とにかくご連絡を。（〒457名古屋市南区西桜町5番地 山副準美）

★「未来少年コナン」全26回をビデオにとっています。一人で楽しんでいるだけではもったいないので、どなたか一緒に見ましょう。ただし朝の9時頃からはじめて終わるのは夜の7時半ぐらいになります。おハガキ下さい。（〒678兵庫県相生市大島町3の26 和田宜久）

★萩尾望都さんの『あそび玉』の載っている'72年別冊少女コミック1月号、もしくは山田ミネコさんのハルマゲドン・シリーズのコミックスで『冬の円盤』のいずれでも、もし譲って下さる方がいたら是非お願いします。お礼もできるかぎりするつもりです。心あるおハガキ待ってます（〒390長野県松本市開智2丁目9の10浅田きよ子方 小関まゆ美）

★デビッド・ボウイ主演の「地球に落ちてきた男」をTVビデオに録画された方、ぜひ譲って下さい。ビデオ代＋送料はこちらでもちます。お礼は相談の上で。（〒464名古屋市千種区橋本町2の7 山内富美子）

★僕の単行本コレクションの中から少年マンガ、少女マンガの数冊を超安価でおわけします。本種はここに書ききれないので、下記の住所までハガキを出して下さい。無料で案内書を返送します。（〒981宮城県角田市角田字中島上170の5 江本康生）

★"だつくす"の倉多江美号・大島弓子号を売って下さい。お願いします。気長に待ってます。（〒146大田区池上8の24の8 大坪 満）

★吉田秋生の「どうぞハートの代金を」「マダム・プレルの人魚」「悪魔と姫ぎみ」「楽園のこちらがわ」「ヨナの百夜一夜物語」「ナサナエルの肖像」、夢野一子の「白い道化師」、森脇真末味の「OH！マイ兄貴どの」を譲って下さい!! もちろん送料はこちらもち。お礼ははずかしながら私のカットで。まずは連絡を!!（〒583大阪府藤井寺市西古室2の9の1 松井朝子）

★"だつくす"ばつくなんばー譲ります。送料＋原価で。これが載って20日以内にお返事下さい。往復ハガキにてまずは御連絡を。多数の場合抽選となります。ところでLaLaでノストラシリーズを描いてるかわみなみさんについて何か知ってる方教えて下さい。（〒243神奈川県老海名市さつき町2の16の101 佐藤道子）

★"だつくす"倉多江美特集及び、"June"の創刊号から譲ります。値段を書いて往復ハガキで。それと竹宮恵子に関する物なんでもいいですからありましたら連絡下さい。（〒949−85新潟県十日町市水沢654の2 金沢ゆき子）

★"だつくす"倉多江美号を持っている方、500円以下のあなたの希望価格で譲っていただけませんか？ または第2特集の所の「SFマンガベスト30」「SFマンガスキャナー」のコピーを譲っていただけないでしょうか？ なるべくなら本の方を譲っていただきたいのですが…。もう少し高い価格でも…くわしくは相談の上で。まずお葉書下さいませ。（〒411静岡県三島市谷田桜ヶ丘2144 宮川由美）

★LaLaを創刊号より1979年5月号までひとまとめ（出来る限り…場合によっては小売りも受けつけますので、そちらの方も一応御一報を）で売りたいのです。金額は相談の上でまずは御一報を。（〒136東京都江東区北砂3の16の16 馬場 博）

★プチコミックの'78年1月号〜'79年1月号を適価で譲るか売って下さい。また樹村みのりさんの作品なんでも良いです。下さい。樹村さんのファンの方文通しませんか？

★心ある方、細川知栄子著「アテンション・プリーズ」（講談社コミックス）の第1・2巻を、あなたの希望価格＋送料で譲って下さい。まずは葉書で御連絡を！（〒144東京都大田区本羽田1の5の24 佐藤喜吉）

★河あきらの「わすれな草」「ゆがんだ太陽」「太陽への道」「木枯し泣いた朝」、一条ゆかりの「こいきな奴ら」、三原順の「われらはみだしっ子」、竹宮恵子の「ファラオの墓」（2、7、8巻）、月刊ララ'77年9・12月号、'78年〜12月号、'79年1〜5月号を適価で譲ります。（〒321−43栃木県真岡市熊倉町3614 伊藤 忍）

☆萩尾望都さんの特集によせられたおはがきの山の一部です。2

●ぱふの4月号・3月号と比べると、72ページも違うのに、10円しか違わない。でっ、でもモーサマ特集をやってくれたから買ったど。渋谷のサイン会もばっちし行った。ウー、感激！　あっ、今月号でおもしろかったものの4番目に、「ユーミンランドは非合理の美学」を入れてしまう。あれ、良かった。4月24日は何の日だ!?　ユーミンの「綿の国星・4」がLaLa6月号に載って発売される日なのだ。うっく。月セのモーサマ「恐るべき子どもたち」中々、タッチが変わって良い良い♥　でもぱふの読者って、ユーミンのことキライな人っていないのね。はりあいがないワ。私？　もちろん大好き。（酒井香津恵　学生　16才　栃木県下都賀郡藤岡町大字中2 5 8の5）

●萩尾望都の作品「十年目の毬絵」の説明がわずか1カット、1行しかないというのは、どういうわけか。なぜSFにばかり重点を置くのか。青春物もこんなにいい作品があるのに、編集者の目は腐ってんのか。それでも、今の世はSF載せないと読んでもらえんのか。そんな本ならつぶれてしまえ！（田中和喜　18才　学生　山口市大字黒川2 2 2 1）

●今月号のぱふ。何か心に残るものが少なかったような気がします。大好きな望都さんの特集だというのに。くいたりんというか、せんべいを食べたいと思ってたのに、まんじゅうをくわされた、というか、とにかく変な感じです。気分が悪い。今月号のぱふははっきり言って不快なのです。どこが不快か。これ！　と言ってあげるところに困るのがまた不快。ただみんな中途半端という感じ。枚数が（紙数が）つきた、とか後にまわそうとか、そうでなければ最初のほうでぐだぐだというて本論になかなかはいってくれなかったり、ほんとうに読んでよかったなあと思えるのはどこにあったんだろう。微熱とのどがれにうちかって、本屋にとんでったのは何のためだったんでしょう。何だかいやあな気持です。私があんまり期待しすぎたのが悪かったのかなあ。たぶん今日は体の調子が悪いので何もかもいやなのでしょう。机にすわってるのがしんどいのです。明日になったら見方が一転しているかもしれませんから安心して下さい。カゼひきのためですから。でも、今月号一番楽しかったのは広告でした。（中村友美　15才　高校生　大阪府堺市田出井町2－42）

●店頭で「ぱふ」を見つけ340円払うと、急いで家に持って帰り喜びでふるえる手で本を開きました。特集、萩尾望都の世界から読み始めました。79枚もの橋本氏の萩尾望都論はさすがに圧巻であり、萩尾望都がグラフィティもなかなかユニークでした。しかし、1つゼイタクを言わせてもらうと読者の意見、手紙、萩尾望都論を少しでもいいからのせてくれたらもっと良かったのではないかと思っています。（板山裕介　19才　大学二年　北九州市八幡東区枝光2丁目5－29）

●萩尾望都さま、大好き。愛しています。あなたへのあこがれは、あなたを知った6年前から少しも色あせる事はありません。あなたの作品、ほんとうにすばらしい。そして、あなたも。美しくすてきな望都さま、「トーマの心臓」や「ポーの一族」「アメリカンパイ」「ヴィオリータ」「ユニコーンの夢」「11人いる！」「3月ウサギが集団で」等々、忘れる事ができません。本当にありがとう。（鈴木苑江　24才　学生　青梅市友田2の1）

羽仁五郎の大予言

いかにして21世紀に生き残るか

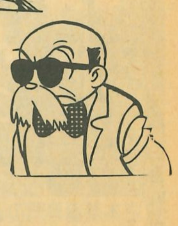
羽仁五郎の大予言
序　章　歴史的な立往生
第一章　世界同時ファシズムの脅威
第二章　裁判は階級的である
第三章　文部省を廃止せよ！
第四章　権力が教育を破壊する
第五章　監獄へ(INTO JAIL)
第六章　終末論の時代
羽仁五郎かく語りき
羽仁五郎の『2001年』
羽仁五郎年譜(付・全著作目録)
●980円　好評発売中！

話の特集
東京都渋谷区神宮前4－30－6－789
☎(405)－0810 振替・東京8－90714

9月号の特集は
吉田秋生の世界です

1978年度読者の人気投票長編作品部門、で1位になった吉田秋生さんに関する文章を編集室まで送って下さい。　はさみこみのハガキに書いてくれてもいいですよ。あ、それから吉田さんに対しての質問とか資料なんかも手持ちのものがあったら送って下さい。

10月号の特集は
手塚治虫キャラクター大全集です



やっぱりなんといってもまんがの神様は手塚治虫さんです。いままでに2度程ほんのすこし登場していただいたんですがこんどは本格的登場です。

本格的といっても、まんが家生活30年の手塚さんのことです。ぱふのペースでいくと10冊や20冊の本ができてしまう。それで今回は手塚治虫さんのキャラクターだけの総特集です。手塚さんのロックが好きだとかハムエッグもスカンク草井もすてたもんじゃないなどといった投稿まってます。

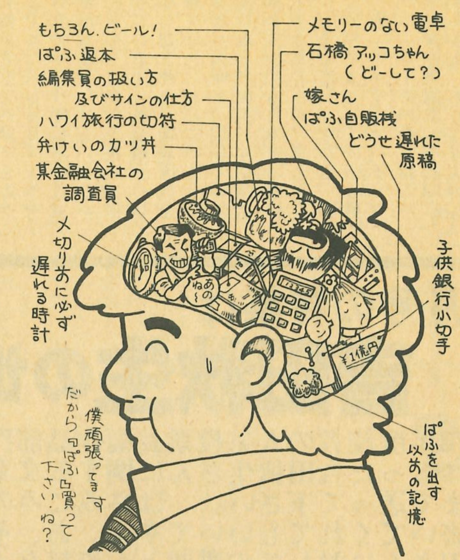
梶原一騎小特集を組んでみます。

劇画原作界では、開拓者でありその人ありと言われている梶原氏ですが、まだ、梶原劇画に関しての十分議論がなされていないのでちょっとここらで梶原さんの小特集を組んでみます。読者の側からの力作論文を待ってます。

もっちゃんの

いってみたっていいじゃないか

カット木村二三夫



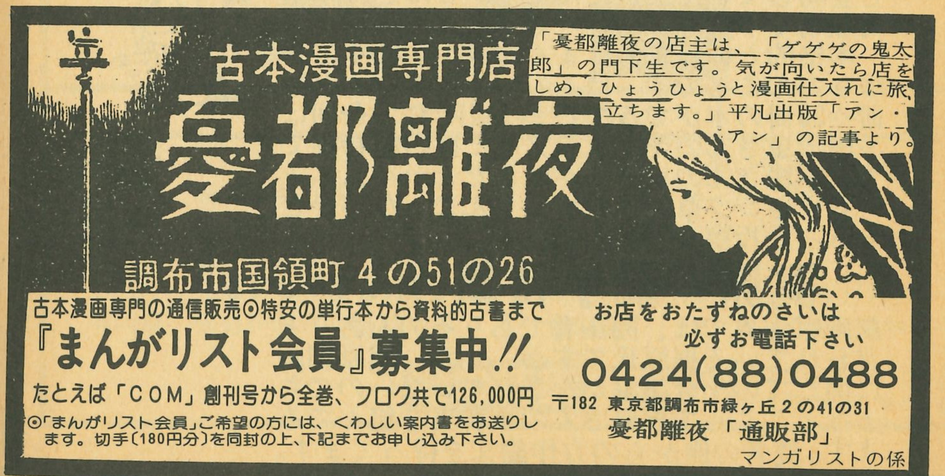
▼今号も発売が遅れそうだ。最近は、二十五日発売も危なっかしい。ところで今号の遅れに拍車をかけたのが一匹のチビ犬。ある編集員の友達（原稿を依頼している）のアパートに突然転がり込み、徹夜で原稿を書こうとしたが、犬がうるさくて書けない、ということで翌日、編集室に置いていった。

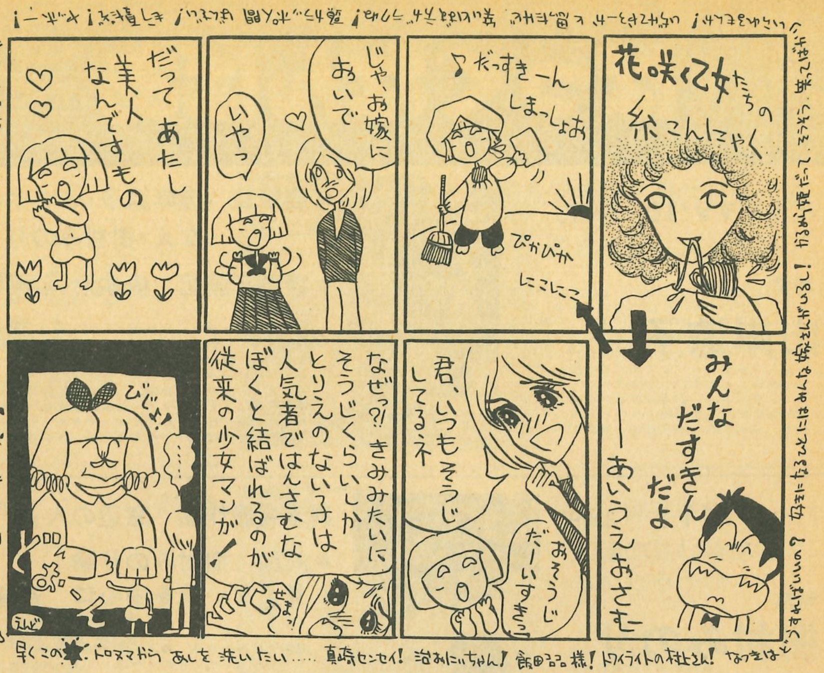
あたりかまわず大や小をたれ流し、そのたびに編集員がティッシュペーパーを持って追いかける。

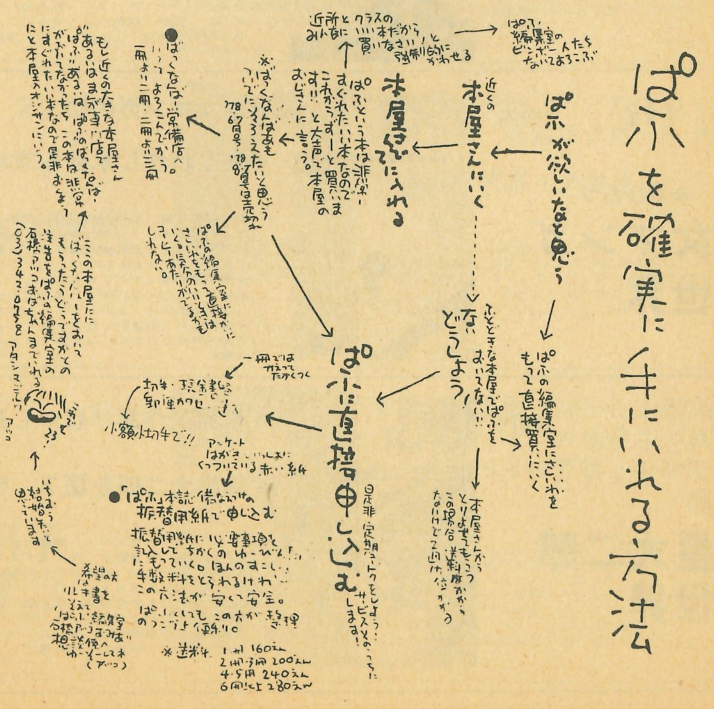
さらに問題なのは夜。誰もいなくなるとキャンキャンとうるさく近所迷惑だ。それでなくとも夜騒いだりして大家さんから白い目でみられているのに、犬を飼っているなんてことがわかったら大変だ。というわけで誰か一人が徹夜でめんどうを見ることになった。さらに困ったことにどうも体の具合が悪いらしい。そこで犬猫病院に連れていったところ、腹の中に虫がいるらしいとのこと。薬を飲ませ、さらに病院通いを二回。ようやく元気になったが、このみごとに雑種然とした風貌の持ち主、しかし、なかなかかわいい。誰が飼ってみたいという人はいませんか。持参金（バックナンバーなど）を付けますが……申しおくれましたが生後二ヶ月位のオスです。

▼さて、というか何というか、定価の話ですが、三百四十円にしてこの七月号で四ヶ月目。来たな、と思う人もいるかもしれませんが、そうなのです。値上げの話なのです。

ざっくばらんな話（何がざっくばらんなのか、こう何度も重なると自分でも心苦しい）三百八十円はどうでしょうか。四色のカラーページを二倍の八ページにし、二色のページもふやし、と考えています。正直なところ減ページも考えましたが（このところページ数の変動がありましたが、二百三十ページを基本としていました）やはり、今のボルテージをおとさず、またさらに充実させるため、減ページは避けたいと思うわけです。ただし、今回は一方的というわけではなく、読者の意見も充分に聞いてみたいと考えています。三百四十円でもっと長い期間やっていけると考えていましたのでためらいがあるのです。この内容とボリュームで三百八十円は高いでしょうか。ぜひ意見を聞かせて下さい。なおこのことについては最後のページで編集長が詳しく書きますので、合わせて参考にして下さい。







ばっくなんばあ

だっくす9・10　280円

特集
山岸涼子

＊座談会　山岸涼子・ささやななえ・樹村みのり

＊妖精王国記　橋本治vs早川芳子

たたかいの拠点としての弱さ　村上知彦／漫画と私　森永都子・松田政男／特別対談「ウナギイヌは満州生れか」②唐十郎・赤塚不二夫・若松孝二／トマトジュースの日々　小野耕世／最近気になる新人漫画家たち・少女マンガ家編／（新連載）現代少女マンガ家展望　ミドリアキラ・B級劇画講座　西脇英夫・やあやあ！ビートルズがやってきた　竹中労／☆星座物語　森雅之☆万年床進化論　ケン吉

だっくす11　320円

特集
樹村みのり

＊未発表作品「窓辺の人」

＊対談　樹村みのり論①
見えない秋を中心に　斉藤次郎

前略樹村みのり様　森永都子／樹村みのりセリフグラフィティ／樹村みのり作品リスト／ぼくはアメリカにいてました　辻尚人／☆森雅之全作品（写真物語・街でうたう雲雀・夜と薔薇・雪の中の小さな足跡・もろびとこぞりて・一杯のコーヒーから・ゆうれい）☆怪獣　蔵前仁一☆竜が行く!!　田森庸介☆ヨシコの大冒険　才谷遼☆SOS漫画　藤田博幸

だっくす12　280円

特集　今飛びたつ
少女マンガの世界

＊少女マンガのゆくえ　村上知彦

＊失なわれし水分を求めて 橋本治

樹村みのり論（菜の花畑シリーズを中心に）斉藤次郎／岡田史子のマンガの繁みのざわめきそのほか　小野耕世／マンガ戦線共闘せよ　中島梓／かつてはみんな少女マンガをかいていた／COMの時代／竹宮恵子講演録—少年なるものをめぐって／たこやき対談　ケン吉vs湯田伸子／漫画家人気投票　最終回／拝啓中島梓様　北川れい子／とうに夜半すぎて　矢崎泰久／（新連載）ビアンコ・エ・ネーロ　白井佳夫☆アラビアの空に似た瞳アラスカの空に似た瞳　森雅之

ぱふ 1　280円

特集
諸星大二郎の世界

＊未発表作品「むかし死んだ男」

＊諸星大二郎を語る　手塚治虫

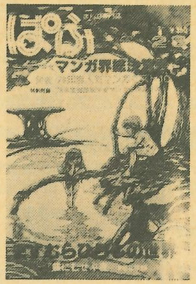
イイレントインタビュー　諸星大二郎／諸星大二郎君への手紙　光瀬龍／しんとしずまりかえった異常な世界　山田正紀／諸星世界の幻獣グラフィティ／諸星大二郎作品リスト／あたまの中の細密画　小野耕世／くたばれ中央公論　橋本治／雑誌人気投票中間発表／たこやき対談②　ケン吉VS湯田伸子／（新連載）まんが家WHO'S WHO／☆九段の母　湯田伸子☆ポポクロイス物語②　田森庸介

＊バックナンバーをお求めの方は、P237を参照下さい。

＊尚、このページに掲載されている号以外の在庫はございません。

ぱふ 2・3　350円

特集
ますむらひろしの世界



＊手塚賞受賞作「霧にむせぶ夜」

＊'78 年度まんがベストテン

クリスタルインタビュー・イン・アタゴオル　ますむらひろし／ますむらひろしと不思議の絵のことを少し　森永都子／アタゴオル辞典／ますむらひろしに99のしつもん／ますむらひろし作品リスト／ロールオーバー78　村上和彦／劇画河下流周辺　飯田耕一郎／「大島弓子」ラフスケッチ　矢野敬子／イージー・ゼイ・カム　川本三郎／'78年度少女漫画リスト／世界を変えた唇—大矢ちき論—　橋本治／シアーズ・ローバック式の日々小野耕世／'79年度の邦画界の状況は—白井佳夫・斎藤正治・小野耕世・西脇英夫

ぱふ 4　340円

特集
萩尾望都の世界

＊眠りの中へ　橋本治

＊今、若い人達の読む雑誌はどうなっているんだろうか

天路歴程～あるいは青春の書～　三村遼／ストーリー・スターレッド／萩尾望都グラフティ／萩尾望都作品リスト／ぱふ美術館「阿修羅王」／マトモ週刊誌の漫画が面白くない　椎名誠／ティーチ・イン斉藤正治⑥　VS寺山修司「ユーミンランドは非合理の美学」／（新連載）まんが月評　村上知彦☆ザ・スターマン　田森庸介

ぱふ 5　350円

特集
COMの時代

＊COM＝BIG3インタヴュー
手塚治虫　石森章太郎　永島慎二

＊再録　特集・大島弓子

ぐら・こんから巣立った作家たち　岡田史子・竹宮恵子・諸星大二郎／まんが評論の旗手対談　村上知彦VS橋本治／ティーチ・イン斎藤正治VS寺山修司「たかが少女」の恐しさ‐萩尾望都を中心に‐‐苗木を越えて　柴門ふみ　キス　森雅之

ぱふ 6　340円

特集
大島弓子の世界 2

＊散談・筆談「聞いたか新緑よ…」
大島弓子／真崎守

＊ブルーベリー 邪夢と少年売春
橋本治

別の国星　川又千秋／夢の話　斎藤次郎／星界通信　汝夢波ユキ／松本りょう子さんへの手紙　森永都子／チビ猫グラフィティ　合田一志／大島弓子著作集（カラー）／ぱふ美術館　ミルクの手（大島弓子）／ティーチ・イン斉藤正治「日本人の頭悩をだめにした漫画劇画」についてvs松沢光雄／まついなつき／（新連載）劇画河口下流周辺●飯田耕一郎／おさと川井マキ

バックナンバーがそろう書店

バックナンバーを置いてくださる書店を捜しています。置いてくださる書店の方、ぱふ編集部（☎348—4610）にお電話下さい。

〈北海道地区〉

小樽　紀伊国屋　☎0134・33・1381
稲穂２丁目22—８（小樽駅）

札幌　紀伊国屋　☎011・231・2131
中央区南１条西１丁目（地下鉄大通り駅）

旭屋書店　☎011・241・3007
中央区３条西４丁目エイトビル内

旭川　Books 平和三条店　☎0166・22・7544
３条８丁目（平和通り）

室蘭　㊌室蘭工大生協　☎0143・44・6060
水元町36—８（東室蘭駅）

函館　森文化堂　☎0138・23・3238
松風町３—13（松風町バ停）

鈴木書店　☎0138・52・0924
松影町24—18（柏木町バ停）

〈東北地区〉

秋田　秋田　加賀屋　☎0188・33・3111
中通り２丁目６—51（秋田駅）

あさひ屋　☎0188・63・3208
大町３—５—２（大町）

山形　山形　八文字屋　☎0236・22・2150
本町２丁目４—11（七日町バ停）

蔵王書店　☎0236・41・8355
香澄町２　２—１

宮城　仙台　仙台書店　☎0222・01・2401
中央１丁目７番１号

共同書店駅前店　☎0222・66・2211
中央４丁目１—１遠藤チェーン駅前店内（仙台駅）

福島　郡山　東北書店　☎0249・22・4878
駅前２丁目７—15

会津若松　新栄書店　☎02442・8・2104
中町１－４　オサダビル３F

〈関東地区〉

茨城　水戸　川又書店駅前店　☎0292・31・0102
宮町２—２—30

ツルヤブックセンター　☎0292・25・2711
南町１—４—24（水戸駅）

土浦　共栄堂土浦店　☎0298・21・6134
大和町９—19（土浦駅）

栃木　足利　ブックスアミーカ足利店　☎0284・41・4111
氷楽町3623（キンカ堂書籍部）

群馬　前橋　煥乎堂　☎0272・23・1211
本町１—３—４（前橋駅）

多野郡　愛心書房　☎0274・2・7580
新町2070の１（高崎線新町駅）

埼玉　大宮　大宮新星堂　☎0486・44・2345
錦町630（大宮駅）

越谷　雄峰堂越谷店　☎0489・62・4238
弥生町９の13（東武線越谷駅）

千葉　千葉　プラザ多田屋　☎0472・24・1333
中央３—17—１

船橋　西友ストア新北習志野店　☎0474・63・1221（内73）
習志野台１—35—１（新京成北習志野駅）

旭屋書店　☎0474・24・7331
本町７丁目１—１（船橋東武５F）

木更津　ブックス松田屋　☎0438・23・4210
東中央１－３－12（国鉄内房線木更津駅）

柏　西口マサノ　☎0471・44・2111
旭町１—１—４（柏駅）

神奈川横浜　栄松堂　☎045・321・6831
西区南幸１—５—１（横浜駅相鉄ジョイナス４F）

㊌神奈川大生協　☎045・481・5688
神奈川区六角橋３丁目３—26—18

厚木　内田屋書店本店　☎0462・21・4631
中町２—５—３

小田原　八小堂　☎0465・22・7111
栄町１—４—５（小田原駅）

〈東京都〉

新宿　書原コモナーレ　☎03・205・1565
歌舞伎町PePe６F（西武新宿線新宿駅）

積文館　☎03・348・7461
西新宿１—26—２野村ビル内（新宿駅西口）

新宿紀伊国屋　☎03・354・0131
新宿３－17－７

高田馬場　未来堂　☎03・209・0656
高田馬場２丁目17—４菊月ビル（高田馬場）

池袋　旭屋書店　☎03・986・0311
西池袋東武エア・キャッスル10F

原宿　ブックス・ラ・フォーレ　☎03・495・0447
神宮前１—11ラ・フォーレ原宿内

神田　高岡書店　☎03・291・9309
神保町１—９（地下鉄神保町駅）

書泉グランデ　☎03・295・0011
神保町１—３（地下鉄神保町駅）

お茶の水　茗溪堂　☎03・291・2811
神田駿河台２丁目１

銀座　福家書店　☎03・574・6993
銀座陽栄ビル内（地下鉄銀座駅）

飯田橋　文鳥堂書店飯田橋店　☎03・260・1957
下宮比町１

水道橋　旭屋書店　☎03・296・3781
三崎町１—３—12水道橋ビル１F

高円寺　湘南堂　☎03・314・5555
高円寺南３—57—10高円寺パル（高円寺駅南口）

恒陽堂　☎03・315・1514
高円 寺南1—7—1（地下鉄丸の内線東高円寺駅上）

西荻窪　プラザート書店　☎03・332・1187
西荻窪南３－15－３　ホビット村

高井戸　近藤書店　☎03・325・1711
赤堤４—48—10（京王線高井戸駅）

下北沢　白百合書店　☎03・460・1141
北沢２—24—３（小田急線下北沢駅）

武蔵小金井　㊌法政大工学部生協　☎0423・81・9140
梶野町３丁目７—２

国分寺　けやき堂　☎0423・23・8022
本町３—１—１（国分寺駅）

調布　憂都離夜（古書店）　☎0424・88・0482
国領町４—51—26（京王線国領駅）

真光書店　☎0424・87・2222
布田１—36—８（京王線調布駅）

田無　朋文堂　☎0424・62・0956
本町２—１—12（西武新宿線田無駅北口）

町田　福家書店　☎0427・25・2132
原町田6—13—20アメリカ屋2F（小田急線原町田駅）

〈中部地区〉

静岡　静岡　江崎書店　☎0522・54・4481
呉服町２—６（静岡駅）

浜松　戸田書店　☎0534・48・8288
佐鳴台１—11—11

愛知名古屋　新端有隣堂　☎052・831・1147
瑞穂区弥富通１—42（新端線新端駅）

今池有隣堂　☎052・731・2369
千種区神田町４—15（地下鉄今池駅）

三省堂　☎052・562・0077
中村区名駅１—１—２ターミナルビル

白樺　☎052・771・5208
名東区藤ケ丘164（地下鉄藤ケ丘駅）

石川　金沢　至誠書房　☎0762・41・4298
野町２—１—２（犀川大橋）

〈近畿地区〉

京都　京都　駸々堂京都店　☎075・221・0348
中京区河原町六角下ル

セイレイ社　☎075・414・0470
上京区烏丸通今出川下ル

東寺書店　☎075・661・0118
南区東寺南門前

奈良生駒郡　いかるが書店　☎07457・5・5689
斑鳩町興留（近鉄線法隆寺駅）

大和橿原　若草橿原店　☎07422・4・2310
久米町（近鉄線久米駅）

大和郡山　啓林堂　☎07435・3・8001
南郡山町572（近鉄大和郡山駅）

和歌山田辺　あおい書店　☎0739・22・2736
あおい通り（紀伊田辺駅）

大阪　大阪　駸々堂阪急５店　☎06・312・3321
北区角田町三番地阪急ファイブ５F

駸々堂京橋店　☎06・353・2413
都島区東野田町２—１—38京阪ショッピングモール２F

駸々堂ナンバ店　☎06・633・2906
南区南街会館東入口

紀伊国屋梅田店　☎06・372・5821
北区芝田１—１—３梅田阪急３番街内

㊌大阪工大生協　☎06・953・7362
旭区中宮５—12—１（市バス中宮）

㊌大阪市大生協　☎06・697・0924
住吉区杉本町459（阪和線松本町駅）

堺　天牛堺支店　☎0722・71・1415
津久野町１丁目２—１（阪和線津久野駅）

天牛三国ケ丘店　☎0722・57・4333
向陵中町２丁目97（阪和線三国ケ丘駅）

吹田　㊌関西大学生協　☎06・388・7641
千里東３—10—１（阪急千里山線関大前駅）

兵庫　宝塚　コミックランド・キリン堂　☎0797・73・3006
南口２丁目14—３—１（阪急今津駅南口）

西宮　㊌関西学院大学生協　☎0798・51・1168
上ケ原

〈中国地区〉

鳥取　鳥取　駅前富士書店　☎0857・23・7271
末広温泉町164（鳥取駅）

米子　米子書店　☎0859・22・3191
紺屋町27（本通り）

島根　松江　今井書店　☎0852・24・2230
殿町63（南殿町バ停）

岡山　岡山　細謹舎　☎0862・25・4421
表町２丁目１—37（表町電停）

紀伊国屋　☎0862・32・3411
中山下２—２—２

広島　広島　中央書店ニュー胡店　☎0822・49・0688
胡町３—17ニュー胡店２F

紀伊国屋　☎0822・25・3232
基町６番27号広島センタービル内

フタバ図書胡店　☎0822・48・3888
堀川町６—18

広島積善館　☎0822・48・3151
紙屋町２丁目３—26（本通り電停）

佐伯郡　中央書店　二日市ブックセンター　☎0829・32・9582
二日市町2丁目3−7

呉　錦堂　☎0823・24・4343
本通り３—１—16（本通りバ停）

山口　山口　文栄堂　☎08392・25611
道場門１丁目３—11（山口駅）

宇部　末広書店　☎0866・31・0086
常盤町２丁目２—１—29

下関　米田啓文堂　☎0832・22・2116
豊前田商店街内（下関駅）

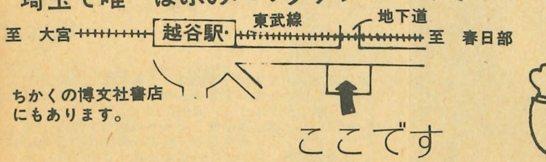
〈四国地区〉

愛媛　松山　高木書店　☎0899・45・7520
大街道２—４

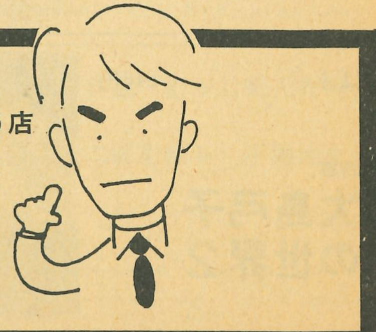
明星書店　☎0899・21・3083
大街道２—４

本の 雄峰堂 越谷店

埼玉で唯一ぱふのバックナンバーのそろう店



ちかくの博文社書店
にもあります。



〒343　埼玉県越谷市弥生町９－13

プレゼントだよ!

官製葉書に希望品名を明記してお申し込み下さい。応募の際は下の応募マークをお貼り下さい。応募マークの無いものは無効になりますから注意して下さい。

〆切は5月15日です。定期購読者の方は、その旨を一応お書き下さい。いつも発送が遅れているおわびとしてすこうーし考慮させていただきます。
"プレゼントだよ" の宛先は
〒160 東京都新宿区西新宿6−3−2
唐川ビル1F "ぱふ" 編集室
『プレゼントほしい係』まで。

夜行

巻頭の4色カラー「外のふくらみ」つげ義春、から始まって、つげ忠男、古川益三、菅野修、いしいひさいち等豪華な顔ぶれ。『漫画主義』第14号も加わって240ページ、1300円のこの本を、北冬社さんの提供で5名に。

梶井純

『漫画主義』同人の梶井純が、『週刊読書人』に過去連載されたマンガに関する時評をはじめ、ここ4、5年の著者のマンガ評論を1冊にまとめたもの。定価1400円と少々高いところを、北冬社さんの提供で5名の方に

SFファンタジア⑥まんが編

学研から出ているSFファンタジアシリーズの6冊め、マンガ編を10名の方にプレゼント。松本零士が編集顧問をしている。カラーが豊富で、巻末には日本SF漫画史年表（迷宮'79）もついて、128ページ、定価980円。

カスタム・コミック

5月に創刊されたカスタム・コミックのNo.2がでてる。6月11日発売、執筆陣は、つげ義春、つげ忠男、牧美也子、横山光輝、水木しげる、松森正、松本零士、永島慎二等。日本文芸社さんの提供で10名の方に。

牝あわせ／清水おさむ
恥辱の制服／中島史雄

このごろやたらと目につき始めた三流劇画の単

人アッカーマン／田たつお

新田たつおの奇々怪作人アッカーマンガとうう単行本になった。どくらい奇々怪作かはとかく自分で読んでみてください。この本を双葉社さんの提供で10名の方に。ACTION COMICS、定価は480円

手塚治虫マンガの魅力／清水勲

清山社の "マンガの魅力シリーズ"、最初巻の "手塚治虫マンガの魅力" を10名にプレゼント。B6並製200ページ、定価980円。手塚マンガのテクニック、キャラ等について書かれている。カラー原画8ページつき。

さた ゴキブリホイホイ踊りのヒトコマです。
外 朝は10時過ぎから夜6時ぐらいまでに当編集室まで
ナは ひかえて下さい。「グラスをやりたいナア」アツのログセ。

丸三書店 ☎0899・31・8501
湊町4

高知 ブックINN片桐 ☎0888・22・0431
本町2丁目バームスビル地下

金華堂 ☎0888・22・0161
帯屋町1−13−14（帯屋町バ停）

〈九州地区〉

福岡 福岡 金文堂本店 ☎092・751・1166
中央区天神2丁目地下3番地（西鉄福岡駅）

福屋書店 ☎092・721・8267
中央区天神1丁目1−1天神コアビルB1

本のパピルス ☎092・721・8544
中央区舞鶴1丁目6−22

紀伊国屋 ☎092・721・7755
中央区天神1丁目11−11天神コアビル6F

九州大学生協文系書籍部 ☎092・641・9431
東区箱崎3−32−20（九大北門バ停）

小倉 福屋書店 ☎093・531・4501
小倉北区魚町1（魚町銀天街電停）

ナガリ書店 ☎093・521・1044
小倉北区魚町3（魚町銀天街電停）

八幡 駅前書店 ☎093・631・0341
八幡西区黒崎町2丁目（国鉄黒崎駅）

久留米 安徳書店 ☎0942・32・7762
六門町8−32(国鉄久留米駅 六門町バ停)

飯塚 元野木書店 ☎09482・2・0048
飯塚18−17（新飯塚駅）

佐賀 佐賀 金華堂 ☎0952・22・6178
白山2丁目5−19（白山商店街バ停）

佐賀大学生協 ☎0952・26・2938
本庄町1番（左大西バ停）

長崎 佐世保 ブックス育文堂 ☎0956・24・4588
本島町3−8（四ケ町通り）

長崎 長崎総合科学大学生協 ☎0958・39・5721
堺町64

熊本 熊本 金龍堂 ☎0963・52・3828
安正町1−4（鈎屋デパート横）

熊本大学生協 ☎0963・43・6515
黒髪2丁目40−1

大分 大分 本町晃星堂 ☎0975・33・0231
中央町1−1−17

東京ブックス ☎0975・37・0910
府中町1−1−1大分PARCO5F

宮崎 宮崎 宮崎大学生協 ☎0985・26・2811
船塚町1−1（花殿町バ停）

寿屋宮崎店 ☎0985・27・4111
橘通り東4−8−1（宮崎駅）

鹿児島 鹿児島 春苑堂いずろ店 ☎0992・22・2131
東千石町11−6

ハミダシ☆ばっくなんばーをおいてくれる店

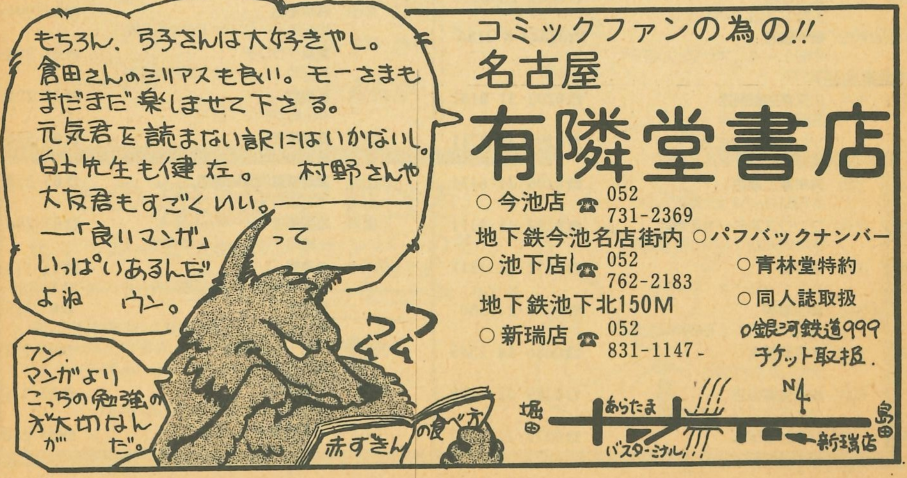
石川 金沢 ブックス宮丸 ☎0762・64・8793
片町48パティオ4F

〈東京都〉

小平 明文堂 ☎0424・62・1441
花小金井1−12−6（西武新宿線花小金井駅）

早稲田 ナイキ漫画館(現代マンガ図書館内) ☎03・204・1923
鶴巻町307番地（都バス鶴巻町）

国分寺 三省堂国分寺店 ☎0423・25・3211
本町2−11−5（国鉄国分寺駅）



次号予告

村野守美の世界

人情の機微と日本の風景を
叙情豊かに描く、
職人村野守美の世界!!

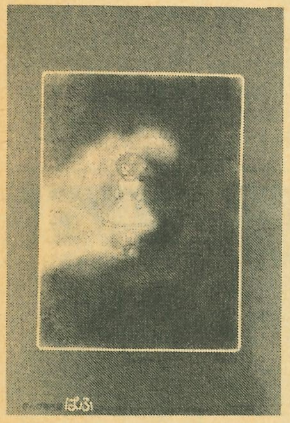
ぱふ読者アンケート vol. 2

最近気になる新人漫画家たち

覚えてますか？　去年の9・10月号で、『最近気になる新人漫画家たち』《少女マンガ家編》というページがあったことを。あれの続きをやりたいと思います。なるべくなら今回は少女マンガ家以外にしてほしいのだけど……マァ強制はしません。一番推したいと思う人をひとりだけ書いて送って下さい。それをもとに、新人マンガ家の小特集（？）を組みたいと思います。〆切は7月15日。ヨロシクネ。

ぱふ読者全員プレゼント

『ミルクの手』ポスター



〈大島弓子作〉

●先号でも紹介したとおり、大島さんが「ぱふ」のために描いてくれた〝ミルクの手〟のポスターができました。精緻で丹念なパステル画なので、特別にできるだけ原画に近づけるようにしてつくりました。そこで、読者の皆さんにはすまないけれど下記の要領で実費と送料だけいただいて、読者全員プレゼントをします。

●ポスターは折れないように円筒で送ります。ポスター実費 100円＋円筒代30円＋送料 100円、計230円（郵便為替か切手で）を右の応募マークに添えて、編集部まで送ってください。住所・氏名もきちんと書いてください。

飯田耕一郎（いいだ　こういちろう）まんが家。三流エロ劇画を語れる貴重な人材の一人である。先日大島弓子さんにお会いして大感激。でも「本とかの持ち合わせがなかったし――」ということでサインをもらいそこね、大いに残念がっていた。

村上知彦（むらかみ　ともひこ）評論家。「ぱふの今号の登場のボクのところはいつも仕事で忙しいってことしか書いてくんない！」という抗議の声があがったので、では近況はと聞いてみると「別に何も」何かないの!?「あ、部屋にクモが出たよ。」

高宮成河（たかみや　せいか）幻の『漫画ジャーナル』（２号しか出てない）編集長。『漫画新批評大系』『チャンネル・ゼロ』などで活躍中。背が高くて劇画風シリアスな外見だけどカットをお願いしたら、こっちに合わせてくれたのかギャグタッチで話してくれた。

畑田国男（はただ・くにお）まんが家。大の野球ファンです。しかしなんと往年の西鉄ライオンズファン!!（『ぱふ』の読者ははたして知ってるだろうか？中西・大下・稲尾を。）東京生れ、東京育ちのわりには、生粋のアンチ・巨人。

秋竜山（あき　りゅうざん）まんが家。今回のまんが倶楽部の講評をお願いしに行った際、別の出版社の方とＵＦＯのお話しをしていた。「あったら面白いねえ」などと笑いながらざっくばらんに話をする秋先生。頼もしい人である。

松下則之（まつした　のりゆき）成城大学大学院国文学江戸文学専攻。ことしは卒論を書いて卒業する予定専門は、俳諧、松尾芭蕉さんだとか。『さらば映画の友よ』のシューマさんに、顔立ちや雰囲気が似ておられますね。

志村葉子（しむら　ようこ）青山大学文学部日文４年。卒論の題目も決定し、忙しいはずなのに、今回は、ネコさんのかわりに今月の話題作を担当。まんが家Who's Whoで青池保子さんをレポート。葉子風青池保子ア・ラ・カルトはいかがでしたか。

西脇英夫（にしわき　ひでお）東史郎名で劇画原作者。映画評論家。「うーん、連載を続けているうちに、だんだんとりあげる作家がいなくなったなあ。」西脇さんとこに原稿とりにいくとビール工場屋上のビアガーデンでビールが飲めます。うれしいなア。

大友克洋（おおとも　かつひろ）まんが家。ようやくいろんなところから注目され始めた。『ＲＵＮ』（ＧＯＲＯ）が終って、ヤングコミックで短期集中連載を開始、その次には、アクションデラックスでの「ファイアー・ボール」に次ぐ大作がひかえている。

真崎守（まさき　もり）まんが家。NHKの『マルコポーロの冒険』を演出。又『水滸伝』を書き下し中。その他文章、イラスト、アニメの企画会議の地獄の日々の息抜き（？）か「ネェ、大友さんのインタビュー、僕も連れてって」

渋谷陽一（しぶや　よういち）ロック評論家兼ディスク・ジョッキー兼『ロッキング・オン』編集長。この本が出るころには初めての評論集を出して、ほっと一息ついてるはずの渋谷さん。最近、デジタル・ギャグ・マンガという新語を発明して、マンガ評論家に変身!?

鏡明（かがみ　あきら）またの名、岡田英明。SF作家、翻訳家、ロック評論家。186センチ 90キロという体力にモノをいわせて、ハードボイルドから少女マンガまで幅広く活躍。『SFマガジン』にヒロイック・ファンタジィを書き、『奇想天外』ではエッセイを連載中。

大森一樹（おおもり　かずき）映画監督。「暗くなるまで待てない」城戸賞受賞の「オレンジロード急行」と自主製作映画の旗手としてがんばっている。現在、新作のシナリオを執筆中。「学校にも行ってます」――大学生でもある。

青池保子（あおいけ　やすこ）まんが家『月刊プリンセス』・『ビバ・プリンセス』・『JUNE』・『LaLa』などで活躍中。TVの『モンティ・パイソンショー』が好きで、『プリズナーNo.6』のパトリック・マクグーハンがお気に入りとか。そんな青池さんの好みが彼女のマンガに反映されてますね。

小森ネコ（こもり　ねこ）先号の『プチコミック』の「ユーミンおもちゃ箱」で、大島弓子さんがねこさんの６月号の批評「れんげの花束一つで生と死はどちらにもひっくりかえるもんだ」という意見をうれしい言葉として書いていました。

丸山友岐子（まるやま　ゆきこ）写植ライムライトのおばちゃん。こんど『わが愛と性の履歴書』という本を自費出版。『朝日ジャーナル』・『読売新聞』・『共同通信』・『アサヒ芸能』と各誌予想以上の大絶賛。テレビのモーニングショーにも出演。世間の大反響にとまどい気味の丸山先生でした。

才谷遼（さいたに　りょう）「さらば映画の友よ」の原田真人監督の映像感覚は日本人離れしててよいなと絶讃。はたして１コマのすばらしいカットはすべてを言いつくすことができるか?!

矢野敬子（やの　けいこ）本誌編集者・レイアウト担当。大島さんの特集の時はすっかり参ってしまい、その後特集引退宣言を出してからはや１ヶ月、まるで若葉のように日々伸びやかになっていきます。「好きな仕事をやってる時が一番楽しいですね。」

村石憲一（むらいし　けんいち）本誌編集者、早稲田大学文学部英文科博多生れ博多育ちの博多っ子純情。今回のサブ特集「キャラクター人気投票」を担当。おかげで今までパーフェクトに近い授業出席率も激減。２日に１晩徹夜という悲惨さでした。

石橋アッコ（いしばし　あきこ）本誌必殺編集人。営業、雑役その他一済やります。特に料理人としての腕はあり、『ぱふ』の貧しい食生活に絶大なうるおいを与えています。銀幕のスターをめざすアッコちゃんです。出演依頼は『ぱふ』まで。

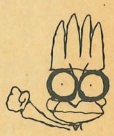
持田幸雄（もちだ　ゆきお）本誌発行人兼社長。夏ダ!!ビールだ!!クーラーだ!!梅雨もまだ来ぬというのになんという暑さでしょう。しかし冷房よりももっちゃんを冷やすことができるのは、鬼より恐い、落ちない手形であります。

香月千成子（かつき　ちせこ）本誌編集者。ガンコな親爺さんのもとから家出。２週間の流浪の日々も終え落ちつき先も見つかったが……。家出現在進行中、顛末は次号で。

白井佳夫（しらい　よしお）映画評論家。今回から担当が４Ｐにと２倍に増え、読者の声がぐんとはいるようになったよ。先日封切られた山根成之監督の「黄金の犬」ゲスト出演普段は絶対にしないネクタイをして緊張の面もちの白井さん。やはり映画は観る方が楽か？。

小田克也（おだ　かつや）東映動画勤務。映画評論家でもある。小田さんの連載も一年を越えた。それなのにはらった原稿料はたった10分。来月にはきっとはらいますから……（本がもっと売れたら……）

蔵前仁一（くらまえ　じんいち）うーむ。うーむ。うーむ。うーむ。一応慶応大学は卒業、現在、デザイン研究所で「絵の勉強をきちんとしたい」ので頑張っております。うーむ。



小野耕世（おの　こうせい）評論家。いろいろなメ切が重なると、お茶の水のホテルにかんづめになってしまう。今回初めてホテルを訪ねた編集子、ロビーのゆったりした雰囲気のなかで原稿の待ち時間も気になりませんでした。

永島慎二（ながしま　しんじ）まんが家。夜と昼がひっくりかえる生活をここ数年続けている。『カスタムコミック』（日本文芸社）で久々の近況報告「堕落した猫」を発表。

内海敏彦（うちうみ　としひこ）今号のわれらが同人誌で紹介した、仙台市内の書店で販売されていて漫画同人誌「ダイナミックス」所属の実力派。投稿だけでなく同人誌から〝われらが同人誌〟拡張企画の第１号。画面に溢れる不思議な魅力はいかが？

小川春樹（おがわ　はるき）本誌執筆者。男27才。漫画時評を担当。筆が早く、集中するとあっというまに原稿が仕上ります。夏に向って、髪をさっぱりと切った小川さん、他人の結婚式の世話ばかりではなく、自分のことも考えましょう。

LAST WORDS
さいごにひとこと

●南海電鉄K駅の本屋のオバサン、僕が「りぼん」買う時ジロリと見るのやめて下さい。(大阪府南河内郡狭山町ぐみの木753―48　松浦隆　19才)

●いやあ松沢先生のおっしゃることはまったくわかりません。(横浜市神奈川区片倉町769　片岡宏文　18才)

●冗談は、モチダさんの体重と発売日ダケにしてください。(さいたまけんかわぐちし　安芸些吐志　凡才)

●インベーダーが恐くてエレベーターに乗れっか!(板橋区若木1の23の1　小野寺紳　20才)

●ジュリーといい持田さんといい今年の夏は変なのが流行りそうですね――いやねいやねより(伊丹市稲野2の73伊丹寮　植松由美子　20才)

●うっ、うっ、これが載ったら長房団地第2自治会の村八分じゃあ(東京都八王子市長房町588―34―3　石井大士　14才)

●「ひとこと」がひとこと、「ひとことがひとこと」がひとこと、「ひとことがひとことがひとこと」がひとことがひとこと……(埼玉県児玉郡児玉町下浅見631―3　石井総子　16才)

●私、本屋でバイトしているんですが、たまにパフの発売日を聞かれるんです。その時はいつも『さあ～あの本だけは、いつでるのかさっぱり』と答えています。(三重県伊勢市倭町135　谷口みち子　21才)

●西大道町にも中野荘がある。東淀川区民と大経大生は「いしいひさいち」に文句があるぞーっ!(大阪市東住吉区駒川町5―4　児玉雅裕　21才)

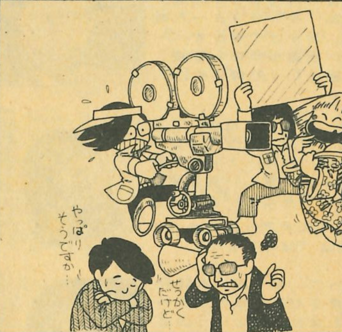
●今月の表紙はえがった!読者の声がすぐにとりいれられるのね。みなおしちまった。(東京都世田谷区宮坂3―34―2―40　藤本宏記　16才)

●しかし…誤植に気がつくほどマジメに読む人ってヒマですネ。(港区西麻布4―11―25　近藤淳　19才)

●チビ猫が欲しいよ。(埼玉県大宮市御蔵41―16　武藤貞一　19才)

●まついなつきちゃんて、以外に色っぽいんですね!!(大阪府豊中市桜の町3―8―36　西元朗　20才)

編集後記



ぱふに遊びに来た時は、一気をつけよう、甘い言葉とムゴい罠。せめて、今月号がでる時まで…生きていたい……。(瀕死のA)

すでに梅雨入り、うっとおしい季節となりました。その中で救いは紫陽花。編集部の近くの新宿警察署の脇にも大輪の紫陽花が濃いブルーで咲いています。移り気なのは紫陽花の色よりも人の心なんでしょう。雨の中では憂うつな気分、ちょっとした晴れ間にはすぐはしゃぎだす私もそうな気分屋さんです。はやく編集の仕事から開放されてはしりまわりたいな。(香)

僕はこんな事では負けないぞー!(つ)

じゃ、お先に失礼します。(葉)

1979年もすでに、半分が過ぎようとしている。ふとぱふ一月号の編集後記を見る。今年の目標が書いてある。ぜんぜん実行していない。一つためいきをついて考える。人間が怠惰にできているのだろうか。もりたじゅんの新作が出ないのもさびしいな。そうだ!こんな所でぐだぐだしていてもしょうがない。原稿なんか捨てているのが悪いんだ。ぱふがなんだ!持田外にでよう。はい、持田さんそこにいたんだ!!あれっ、まじめがなんですか。(フジ丸)にやってますよ～～～。

むかし、西新宿通い。今、西新宿に安田火災ビルや野村ビルのかわりでニチイやユニードのかわり眺め、家路をたどる午前5時。特まぁ、とにかく忙しかった。集なんて担当するもんじゃないね。今月ローダンは3冊しか読んでいない、先月24本みた映画も0本。そして只今、完徹二日目でまだ仕事中。

しかし、今月編集部に来た読者は不運だったね。

「キミたち、しごと、する?」なんて甘い言葉で気イ狂いそうな集計やらされて。ようやくおわった今、ほんとうに、たくさん、ありがとう。(K・M)

最近ちょっと疲れぎみである。そろそろ生活改善をするべきだ。毎日きちんと寝ないといかんな。毎日きちんと食わんといかんな。部屋のそうじもせんといかんな。せんたくも毎日せんといかんな。いや毎日する必要はないだろう。それより仕事をちゃんとやろう。もっと根性でプロに徹しないと。ドラムで食費をかせごうか。(G)

アーアー、メ切前の編集室に咲く花一輪。少しやつれが見えますわ。これはきのう切ったばかりの髪のせい、それとも忍び寄るシシの音か。あたいも見かけによらシずと年なのね。来月からはトシも吹きとぶ体力づくり、まずは第一発送から。わたい発送部に鞍代えするの。力仕事は任せてね。助人求む、助平はダメヨ。よろしくねフン。(アキコ嬢ちゃん)

雨音に口無の匂いでもつまみだし、壁の汚点にでもなってとぐろをまきたいと思いこがれつつも、まるで夏に突入した如き暑さ。クーラーへ熱き秋波を送るも、海へ海へとあわただしく心がはやる。いっそ亜米利加へでもぶっ飛んで、毛唐の言語体系の軽さのなかで、ズルズルずいぶん重いおひきずりを忘れてはしゃいでみたしと久々に買ったペンギンブックスをパラパラめくりながら思うよ。どこにいても「私は私」(桂)

何故、濃が「ぱふ」に在るのか不思議である。兎角、五年越しで敬愛していた大友先生の特集を御手伝い出来て、誠に濃は果報者よ。これで心おきなく就職出来る…かな?わははははは。(久保田)

一年前の初夏、小さな胸をときめかせ、はやる動機をおさえつつ、そびえたつ唐川ビルを恐る恐る訪ねたのが嘘のよう。アッ!という間にときは過ぎ、もうすぐ10代とお別れだなんて……。一年前には広い部屋もなかったクーラーもなかった、冷蔵庫もフライパンも鍋かまも無かった。それに比べると今の豊かさは嘘のよう……。あーあ、なのにどうしてこの忙しさは変わらんの!?(千)

こんなの書くのは初めてのことやっぱりもう少し寝たほうがいいのかな。ほとんどのロックのくだらなさに愛想がつきて、「わかってるフリをしててクファンにあきれはて、いるロックファンだ。」仕事をやられねば、ああ、仕事だ。なんとかしてて、という義務感と、はいうこたくさんと寝てやろうと、とかどう気持の中で、仕事は全然いにかくらないという状態は、とうかがっていて、ヤバイ状態は、混乱とか、カタがついて良かった。めき散意味なホッとしたというかくに終らせばしフレーズの中でわ…わってほしい。良かったという時代は終わるだろう。(健)

●8月号の発売予定日は8月1日です。(習志野市谷津1―2―3　黒岩雅彦　19才)

●発売予定日に本屋に出たぱふの雄姿を見たい。(東京都目黒区中央町2―12―13　石田健樹　17才)

●姫…あなたは、やっぱりイイ女!!(6月号の写真見て)(静岡市大谷836―144　藤田正太郎　17才)

●早くしないから26になってしまったじゃない。(岡山市福城2―8―2　小出資子　26才)

●あっ、空が青い!(横浜市港北区日吉7丁目22番4号　関多江子　15才)

●広川さんが好きです。(東京都大田区上池台3―35―15　小山内三保子　15才)

●実はこれ最初に書いているのだ。だからさいごじゃないのだ。うにゅうにゅ。あーまんがを描きたい。でも才能がない。えい、どーしてくれる。ふにゃー。(分裂ぎみ…)(埼玉県上福岡市上福岡2の6の2　泉名文子　15才)

●ぱふは今月号をもって廃刊となります。長い間御愛読ありがとうございました。(調布市深大寺518西条方　村田弘幸　23才)

●もっちゃんいっちゃいやー(埼玉県上尾市原市団地4―14―504　遠山一志　17才)

●定期購読にすると何かもらえるのですかあ?(京都市中京区壬生松原町1―25　おおはらゆうこ　16才)

●東京って遠いのね。(奈良市高畑町橋街道389―1　棚橋昭栄)

●1979年5月26日午前中、お茶の水で生徒手帳を拾ってくれたユガミさん、どうもありがとう。(G)

●めぐまれない子に愛の手を、「ぱふ」には読者を、わたしには職を(静岡県浜松市鹿谷町39―6　本多由美子　20才)

●こないだラジオでオスギとピーコと近田春夫と橋本治4人あわしてしまい(四姉妹)といってましたぜ。(朝霞市根岸台6―3―16のぼる荘　佐熊環　19才)

●私は今日世界一幸せな女の子になれたのです。「ぱふ」を知って!(宮城県名取市高館吉田字窪田17　大内由里子　16才)

●マガジンの増刊を見てびっくり!ケン吉があんなに美人だったなんて…(東京都東久留米市下里4―1―39―509　郷間佳市郎　16才)

▼〆切り日もとっくに過ぎたのに、またイロイロとずれこんで深夜作業の続くある晩、去年の暮まで編集を手伝ってくれたK氏が訪ねてきた。

彼は今、もう一度、絵の勉強をしたいというので昼は会社勤め、夜はデザイン学校に通っている。

そのK氏が言う。

「これが、普通の常識でいう、普通の会社なら、もう、とっくの昔に潰れるんだろうにね――」

本当にそのとうりなのだ。潰れたっておかしくないのだ。会社経営がもう通常の常識をいっしてしまっているのだ。それでも一年間続いた。

もうすこし、もうすこし頑張ればナンとかなるとやってきて、あっという間に一年以上が過ぎた。執筆者にも安い原稿料ですが来月こそは払いますといいながら、一年間も未払いのままだ。執筆者の方々だけではない、本当にいろんな人達にこの一年間協力してもらった、それなのにロクなお礼も出来てない。それどころか毎月発行という編集営業（うちは編集も営業もいっしょくたなのだ）雑務に追われて不義理ばかりしている。仕事に追われて、窓の向うで季節ばかりが次々に通り過ぎていく。

ここ一年半ばかりの疲労と鬱積が体の中に充満して、どうしていつまでもこうなのだろうと、ひとりになったとき、ためいきと一緒に脱力感が襲ってくる。

ことの根本は要は金なのである。金が不足している。それだけの話だ。

他の言い方をすれば、金がうまく回転していないのだ。今、「ぱふ」は総部数の7割から7割5分、売れている。売れていると書いた。普通の出版社では、これだけ売れれば、売れていることになるのだが、うちではこれではダメなのだ。事実、半年以上も前からアチコチで『オタクノホンウレテルッテネ』とよく言われているが、これはあくまで繰り返すと普通の常識でいう売れているということだけなのだ。

では、普通の出版社とうちとの違いはなにか。

つまり、普通の出版社は、うちのように、製作費が本の売り上げを大幅に上まわるような本は作らない(作れない？）のである。これは経済の常識から言ってあたりまえのことである。

今、「ぱふ」では一号につき百万の赤字が出ている。累系赤字は考えるだに恐しい。バックがいるわけではない。持田さんが、毎日、汗だくになって走りまわっての借金なのだ。

ここにおもしろい話がある。真崎さんがある出版社の編集のひとに「ぱふ」をみせて、「コレヲ、キミノシュッパンシャデダストスレバイクラノネダンヲツケルナリヤ」と聞いたら、その編集者氏、しばらく黙考したのち「千二百エンナリ」と答えたという。

長が長がと書いた。編集後記にちっともなってないやと反省しつつ、結論を言うと、すみません次号より本誌値段を三百八十円にさせてもらいます。なんとかよろしく。でも、七月末日までの定期購読の申し込み者には今迄の値段で。

最後になったけど、今月は大友克洋さん、いそがしいところど－もいろいろとありがとう。

（可部）

●スタッフ募集
右のよ－な事情で編集体制も遅れがちなのでここはひとつ無理をして正社員をひとり募集します。ただし薄給激務ですのでその辺を考慮して希望者は写真在中の履歴書と、「**自分がぱふでなにをしたいか**」という題で四百字×2・3までの文を同封してぱふ編集室まで送って下さい（〆切り7月15日頃迄）

●広告についての問い合わせは―ぱふ編集室・石橋まで☎(03)342・0758

●まんが専門誌ぱふ　1979年7月号（通巻43号）1979年7月1日発売　●発行人　持田幸雄　●編集人　可部達郎／ぱふ編集室　☎(03)348・4610　●振替　東京5－48324　●銀行振込　三井銀行新宿西口支店普通預金・109－4099080　●印刷所　光陽印刷株式会社・東京都新宿区築地町8●製本所　エンドー製本・東京都荒川区西日暮里1－46－3　●定価340円
発行　清彗社　〒160東京都新宿区西新宿6－3－2唐川ビル―F／2F